全学共通教養科目

（授業科目名 五十音順）

科目名	衣・食・住Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	世界の食文化			
担当者	松本　衣代			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
多様な食文化の学習を通じて、異文化の生活習慣を理解し、柔軟に受けとめる姿勢を養うことを目標とする。自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し，多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

[授業概要]
食文化は基本的な生活文化であり、あまりにも身近で日常的であるがために、自らの食習慣や食に対する捉え方が当然のことであり普遍的なものであると思いこみがちである。この授業では、具体的な事例を通して異なる食文化の諸相を学びながら、自らの食文化を改めて内省し、比較対照によって自文化を相対化することを試みる。また、食文化の変容や受容の事例を通して、食文化が、実際には固定的なものでも不変のものでもないということ、生活文化としての食文化とは何かを学ぶ。授業はオムニバス形式とし、各分野の専門家を特別学外講師として招いて実施する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎回の授業の予習や復習や日頃から，世界の食部関するニュース等に関心を持つこと。各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
Ⅰ. アジア太平洋地域の食文化
①東アジアの食文化――
1. 日本の米食・肉食・魚食文化　(特別学外講師)
2. 韓国の食文化　(特別学外講師)
②東南アジアの食文化――フィリピン・ラオスを中心に
1. フィリピンの食文化　(特別学外講師)
2. ラオスの食文化　(特別学外講師)
3. ブータンの食文化　(特別学外講師)
③太平洋地域の食文化――ニューギニア島，ミクロネシア地域の食文化:
1. 根菜を主とする食文化
2. ニューギニア島の食文化
Ⅱ. アフリカの食文化:
1. アフリカの食の特質　(特別学外講師)
2. 雑穀、バナナ、キャッサバ～作物の起源と伝播～　(特別学外講師)
3. アフリカ狩猟採集民の食　(特別学外講師)
Ⅲ. 欧米の食文化:
1. アメリカの食文化(特別学外講師)
2. 欧州の食文化(特別学外講師)
Ⅳ. まとめ
1. 世界から見た日本食

科目名	衣・食・住 Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	世界の食文化			
担当者	松本　衣代			

[成績評価方法]
レポート(70%), 授業中の課題(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
レポートは後日添削後, 返却します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート

[教科書(ISBN)]
パワーポイントとDVDを使用します。

[参考書(ISBN)]

科目名	衣・食・住 Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	食の楽しみと健康			
担当者	本田　まり、佐藤　誓子、松本　衣代、吉川　豊、木村　大輔			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	参加体験型授業	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・食の楽しみやおいしさは、味覚だけでなく様々な感覚や心身状態の影響を受けることを理解している。
・食の楽しみは、子どもから高齢者、傷病者などすべてにおいて重要であることを理解している。

[授業概要]
人は必要な栄養素を食べ物で摂取することで生命を維持している。また、バランスよく栄養素を摂取することが健康のために重要であることが、栄養学で明らかにされてきた。さらに食は「何を、誰とどのように食べるか」によって、栄養成分で得られる以上の健康と豊かさを与えてくれる。
本講義では、それぞれの分野で実務経験を有する講師がオムニバス形式により、専門的観点から「食の楽しさと健康」について講述し、「どのように食べるか」について考えていく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃から授業に関するニュース等に関心をもち、予習復習を合わせて4時間程度の自己学習に努めてください。

[授業計画]
1. オリエンテーション、食の楽しみと食育 （健康スポーツ栄養学科　本田まり）
2. 糖質、脂質、たんぱく質の消化と吸収1 （健康スポーツ栄養学科　木村大輔）
3. 糖質、脂質、たんぱく質の消化と吸収1 （健康スポーツ栄養学科　木村大輔）
4. 嗅覚：匂いの化学 （健康スポーツ栄養学科　吉川豊）
5. 味覚①美味しさを感じる仕組み（健康スポーツ栄養学科　松本衣代）
6. 味覚②味覚テスト　　（健康スポーツ栄養学科　松本衣代）
7. 味覚③食べるを楽しむ　　（健康スポーツ栄養学科　佐藤誓子）
8. 乳幼児の食の楽しみと健康　（神女中山手保育園管理栄養士　佐野知子）
9. 触覚：テクスチャーと味　　（大和製衡株式会社　岡部修一）
10. 視覚：美味しさと見た目　　（リジェネカフェオーナー　佐伯志保里）
11. 食物アレルギーの子どもの食の楽しみと健康（一般社団法人LFA Japan代表 大森真友子）
12. 高齢者、傷病者の食の楽しみと健康 （健康スポーツ栄養学科　本田まり）
13. テスト、まとめ （健康スポーツ栄養学科　本田まり）

科目名	衣・食・住 Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	食の楽しみと健康			
担当者	本田　まり、佐藤　誓子、松本　衣代、吉川　豊、木村　大輔			

[成績評価方法]
レポート60%、テスト20%、授業態度20%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・レポートは、代表者の授業の際に口頭でフィードバックする予定です。
・テストは、テスト終了後に解説をします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート、テスト

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

科目名	イタリア語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	イタリア語入門			
担当者	吉冨　文			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
イタリア語を読む、書く、聞く、話すための基礎的な能力を身につけることを目指す。

[授業概要]
いつかイタリアに行ってみたい。そう思っている人は多いのではないでしょうか。歴史、文学、建築、アート、音楽、映画、ファッション、料理……。どの側面から見てもイタリアは興味深い国です。そして、イタリアで話されているイタリア語は、音の響きが美しく、日本人にとって発音しやすい言語と言われています。そんなイタリア語を、いつか、近い将来に旅行するときのために勉強してみませんか？
授業では、イタリアへ行ったときに、あるいはイタリア人と知り合ったときに、簡単なコミュニケーションができるように、基本的な文法事項を学習し、得た文法知識を応用させて会話へと発展させていきます。
英語が苦手な人も大丈夫です。みんなゼロからのスタートです。
授業ではイタリアの文化についても紹介していきます。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度です。
授業で学習した内容をふり返り、本当に理解できているか確認しましょう。
教科書に出てきた単語や表現の意味や使い方をノートにまとめ、暗記しましょう。
授業で指示された練習問題に取り組みましょう。

[授業計画]
1. イタリアについて
2. イタリア語の挨拶とアルファベート
3. カフェで注文する(名詞と冠詞)
4. 居場所や出身地を言う(文の語順、動詞essere)1
5. 居場所や出身地を言う(文の語順、動詞essere)2
6. 食べ物の味を言う(形容詞1)
7. 身に付けている物の色を説明する(形容詞2)
8. 自分の持ち物や年齢を言う(動詞avere、0～20の数)
9. 何を買うか言う・住んでいる所、働いている所を言う(-are動詞規則活用)1
10. 何を買うか言う・住んでいる所、働いている所を言う(-are動詞規則活用)2
11. 行き先を言う・今夜の予定について話す・職業を言う(-are動詞不規則活用)1
12. 行き先を言う・今夜の予定について話す・職業を言う(-are動詞不規則活用)2
13. まとめ

P10001190 [CH1-023]　　[1全]*前期火5

科目名	イタリア語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	イタリア語入門			
担当者	吉冨　文			

[成績評価方法]
試験(60%)、受講態度(40%)で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
答案用紙を回収後、解答の解説を行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:試験、受講態度

[教科書(ISBN)]
Italiano Italianoーイタリア語はじめの一歩ー　著者名:マッテオ・カスターニャ、吉冨　文著　出版社:朝日出版社
(978-4-255-55314-6)

[参考書(ISBN)]

P10001190 [CH1-023]　　[1全]*前期火5

科目名	イタリア語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	イタリア語入門			
担当者	吉冨　文			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
よく使われる文や表現が理解でき、現地での買い物など簡単なやり取りができるレベルを目指す。

[授業概要]
前期に引き続き、教科書に沿って文法事項を学習しながら会話によるコミュニケーションへとつなげていきます。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度です。
授業で学習した内容をふり返り、本当に理解できているか確認しましょう。
教科書に出てきた単語や表現の意味や使い方をノートにまとめ、暗記しましょう。
授業で指示する課題に取り組みましょう。

[授業計画]
1. 前期のおさらい
2. 食べたい物、飲みたい物を言う(-ere動詞規則活用1)
3. 余暇について話す(-ere動詞規則活用2)
4. 何を飲むか言う(-ere動詞不規則活用1)
5. 情報を尋ねる(-ere動詞不規則活用2)
6. 好みを言う(-ire動詞規則活用1)
7. バカンスの予定を話す(-ire動詞規則活用2)
8. いつ、何をするか言う(-ire動詞不規則活用1)
9. 今夜の予定を言う(-ire動詞不規則活用2)
10. カフェで注文する(名詞・定冠詞・形容詞の複数形)
11. 時刻を言う・20～100までの数
12.しなければならないことを言う(補助動詞)
13. まとめ

P10001200 [CH1-024]　　[1全]*後期火5

科目名	イタリア語Ｉ－２	後期	演習	１ 単位
サブタイトル	イタリア語入門			
担当者	吉冨　文			

[成績評価方法]
試験（60%）、受講態度（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
答案を回収後、解答の解説を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：試験、受講態度

[教科書（ISBN）]
Italiano Italianoーイタリア語はじめの一歩ー　著者名：マッテオ・カスターニャ、吉冨　文著　出版社：朝日出版社
（978-4-255-55314-6）

[参考書（ISBN）]

P10001200 [CH1-024]　　[1全]*後期火5

科目名	イタリア語会話 I	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	吉冨 文			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
基本的なフレーズの運用能力を身につけ、自分の考えをある程度表現できることを目指す。

[授業概要]
いつかイタリアに行ってみたい。そう思っている人は多いのではないでしょうか。歴史、文学、建築、アート、音楽、映画、ファッション、料理……。どの側面から見てもイタリアは興味深い国です。そしてイタリアで話されているイタリア語は、音の響きが美しく、日本人にとって発音しやすい言語と言われています。そんなイタリア語を、いつか、近い将来に旅行するときのために勉強してみませんか？
この授業では、イタリア語で簡単なコミュニケーションが取れるよう、CDの会話を聞いてイタリア語の音に親しみながら発音練習を重ね、使える語彙や表現を増やしていきます。
イタリア語I-1, I-2を受講した皆さんは、これまで学習した文法や語彙を元に、より実践に即した表現を学習していくことになります。
イタリア語を学ぶのは初めてという皆さんは、挨拶から始めますので安心して受講してください。
授業ではイタリアの文化も紹介していきます。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度です。
授業で学習した内容をふり返り、本当に理解できているか確認しましょう。
出てきた単語や表現をノートにまとめ、暗記しましょう。
授業で指示された練習問題に取り組みましょう。

[授業計画]
1. あいさつ、名乗る・名前を尋ねる
2. 出身地、どこの国の人か言う
3. 調子を尋ねる・答える
4. 友だちを紹介する1
5. 友だちを紹介する2
6. 職業を言う1
7. 職業を言う2
8. 100までの数・年齢を言う
9. カフェで注文する
10. レストランでで注文する・好みを伝える
11. 余暇の過ごし方を話す1
12. 余暇の過ごし方を話す2
13. まとめ

P10010220 [CH2-028] [1看2健]*後期火4

科目名	イタリア語会話 I	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	吉冨　文			

[成績評価方法]
試験（60%）、受講態度（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
答案を回収後、解答の解説を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：試験、受講態度

[教科書（ISBN）]
授業中に配布する教材

[参考書（ISBN）]

P10010220 [CH2-028]　　[1看2健]*後期火4

科目名	イタリア語講読 I	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	吉冨 文			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
イタリア語の基礎を固めつつ、文の仕組みを把握し、まとまった文章を理解できるようになる。

[授業概要]
歌の歌詞を通して、文法の学習や発話練習、原文読解の練習を進めていきます。
イタリア語を勉強したことがある皆さんは、これまでに学習したことをふり返りつつ、使える語彙や表現を増やしていきましょう。
イタリア語を初めて学ぶという皆さんは、発音から説明しますので、安心して参加してください。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度です。
授業で学習した内容をふり返り、本当に理解できているか確認しましょう。
教科書や配布するテキストに出てきた単語や表現の意味や使い方をノートにまとめ、暗記しましょう。
授業で指示する課題に取り組みましょう。

[授業計画]
1. 歌1(名詞と冠詞)
2. 歌1(「～が必要だ」の表現)
3. 歌2(現在形の活用)
4. 歌2(進行形)
5. 歌3(形容詞)
6. 歌3(名詞と冠詞の復習)
7. 歌4(時、頻度を表す副詞)
8. 歌4(前置詞・冠詞前置詞)
9. 歌5(代名詞)
10. 歌5(「～が好きだ」の表現)
11. 歌6(近過去1)
12. 歌6(近過去2)
13. まとめ

P10010240 [CH2-030] 【閉講】[2全]*前期火4

科目名	イタリア語講読 I	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	吉冨 文			

[成績評価方法]
試験(60%)、受講態度(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
答案を回収後、解答の解説を行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:試験、受講態度

[教科書(ISBN)]
授業中に配布するテキスト

[参考書(ISBN)]

P10010240 [CH2-030] 【閉講】[2全]*前期火4

科目名	英語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	Let's enjoy speaking English !			
担当者	井上　優大			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introduction
2. classroom activities (based on textbook chapter 1)
3. classroom activities (based on textbook chapter 1)
4. classroom activities (based oh textbook chapter 2)
5. classroom activities (based on textbook chapter 2)
6. classroom activities (based on textbook chapter 3)
7. classroom activities (based on textbook chapter 3)
8. classroom activities (based on textbook chapter 4)
9. classroom activities (based on textbook chapter 4)
10. classroom activities (based on textbook chapter 5)
11. classroom activities (based on textbook chapter 5)
12. classroom activities (based on textbook chapter 6)
13. classroom activities (based on textbook chapter 6)

科目名	英語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	Let's enjoy speaking English !			
担当者	井上　優大			

[成績評価方法]
Active participation (40%), Homework (30%), In-class assignments (30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題の形式に応じて、授業内やmanaba上で適宜フィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:In-class assignments

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:In-class assignments

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:In-class assignments

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:In-class assignments

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:In-class assignments

[教科書(ISBN)]
Keynote 2　著者名:David Bohlke　出版社:CENGAGE Learning　(978-1-305-96504-1)

[参考書(ISBN)]

P10000750 [CH1-007]　　[1福st]*前期火3

科目名	英語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	All-round practice for communication in English			
担当者	M. チョル力			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
The purpose of this course is to help students develop the English language skills necessary for communication in a variety of situations in daily life.

[授業概要]
This course prepares students for communication in various situations encountered in society, by helping them develop their English language skills from multiple perspectives. The course is based on topics familiar to university students, inspiring confidence and encouraging active participation in classroom activities. The lessons introduce new information, such as vocabulary or grammar items, in context, to facilitate the learning process. Videos are also provided, encouraging active listening. Speaking practice is essential for this course, encouraging the students to express their opinions and debate with their classmates.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
The students should review each lesson and complete the indicated assignments. They should also prepare for the following lesson, as advised in class.

[授業計画]
1. Introduction – Lesson 1: Holidays (1)
2. Classroom activities – Lesson 1: Holidays (2)
3. Classroom activities – Lesson 2: School (1)
4. Classroom activities – Lesson 2: School (2)
5. Classroom activities – Lesson 3: Nature (1)
6. Classroom activities – Lesson 3: Nature (2)
7. Classroom activities – Lesson 4: Free Time (1)
8. Classroom activities – Lesson 4: Free Time (2)
9. Classroom activities – Lesson 5: Food (1)
10. Classroom activities – Lesson 5: Food (2)
11. Classroom activities – Lesson 6: Technology (1)
12. Classroom activities – Lesson 6: Technology (2)
13. Final assessment

科目名	英語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	All-round practice for communication in English			
担当者	M. チョル力			

[成績評価方法]
Active participation: 40%
Assignments: 30%
Final assessment: 30%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Feedback and explanations for the assignments will be given during class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:積極的授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:積極的授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:積極的授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:課題、期末テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題、期末テスト

[教科書(ISBN)]
Expanding Horizons: Critical Thinking through Authentic Video ＜CEFR A1-A2＞ 著者名:Charles Browne and Yuji Tanabe 出版社:南雲堂 (9.7845231791e+12)

[参考書(ISBN)]

P10000750A [CH1-007] [1福ad]*前期火3

科目名	英語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	Let's enjoy speaking English !			
担当者	R. バンデン			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation, active listening and discussions of English cultural expressions such as songs and movies. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction and cultural understanding in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Review the previous lesson, and understand the course materials well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introduction
2. Power English Beginner 1 + English Culture
3. Power English Beginner 1 + English Culture
4. Power English Beginner 2 + English Culture
5. Power English Beginner 2 + English Culture
6. Power English Beginner 3 + English Culture
7. mid-term review + exam
8. Power English Beginner 3 + English Culture
9. Power English Beginner 4 + English Culture
10. Power English Beginner 4 + English Culture
11. Power English Beginner 5 + English Culture
12. Power English Beginner 5 + English Culture
13. final review + exam

科目名	英語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	Let's enjoy speaking English !			
担当者	R. バンデン			

[成績評価方法]
中間試験 45%　最終試験 45%　参加 10%
Mid-term exam 45%　　Final exam 45%　　Participation 10%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Answers and explanations on each unit will be given in class,
with notes posted to Manaba afterwards if necessary.
各単元の解答と解説は、授業で行い、
その後、必要に応じてマナバにノートを掲示します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Polling self-reflection by students

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Monitoring participation and attendance

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Polls

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Monitor student-to-student discussions

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Embedded in the test questions

[教科書(ISBN)]
Power English　著者名:Power English editorial team　出版社:大学教育出版(Daigaku Kyoiku Shuppan)
https://www.kyoiku.co.jp/　(Not given yet)

[参考書(ISBN)]

P10000750B [CH1-007]　　[1栄st]*前期火1

科目名	英語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	英語の基礎から応用まで(1)			
担当者	杉田　米行			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
英語運用能力の基礎を見直し、応用し、英語による簡単なコミュニケーションをとることができるようになる。
①自己紹介や自分自身について、大学生活や身の回りのできごとについて英語で述べ、受け答えができるようになる。
②場面に基づいて、短い会話の全体的な内容を把握できるようになる。
③相手の話す内容に集中して耳を傾けることができるようになる。
④理解が不十分な場合、積極的に相手に確認することができるようになる。
⑤発音や会話練習に積極的に参加できるようになる。
⑥聞き取った内容を書き留めることができるようになる。

[授業概要]
英語が得意・好きな人もいれば、そうでない人もいるかもしれません。もういちど英語の最初から復習しながら、徐々に進んでいきましょう。英語力を高める方法はいろいろありますが、聞く、読む、書く、話すの4つの技能を伸ばしましょう。
　教科書と小生が長年蓄積してきた「杉田英語データベース」を中心に授業を行います。私の役目は皆さんの英語力アップの支援をすることです。暗唱に挑戦してみましょう。実は、英語力アップにとって暗唱は効果的です。日本語を見ると即座に英語がでてくるようにしましょう。そして、その暗唱した英文を書いてみましょう。そうすることで、使える英語になります。
　この授業では,皆さんの英語力アップの「やる気」を見せてください。英検、TOEIC等英語の外部試験に挑戦してください。また、本学ではさまざまな国際交流のイベントがありますので、積極的に参加してください。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
・新出単語は辞書をひいて確認しておいてください。
・次の授業のテキストの指定個所を読み、わからない単語などがあれば辞書で意味を調べておいてください。
・各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1 時間程度)。

[授業計画]
1. Introduction to this class(Welcomeテスト、授業の進め方、予習・復習の仕方、成績評価方法、自己紹介等)
2. P. English Intermediate I Lesson 1 "The Benefits of Time Management" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &杉田英語データベース応用#1; 受講生との個別面談#1
3. 前回の復習;P. English Intermediate I Lesson 2 "THE PRESIDENT' S PLAN" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &杉田英語データベース応用#2; 受講生との個別面談#2
4. 前回の復習;P. English Intermediate I Lesson 3 "Reading to Comprehend Familiar Content" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &杉田英語データベース応用#3; 受講生との個別面談#3
5. 前回の復習;P. English Intermediate I Lesson 4 "BLACK POLITICAL ACHIEVEMENTS" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &杉田英語データベース応用#4; 受講生との個別面談#4
6. 前回の復習;P. English Intermediate I Lesson 5 "Reading Primary and Secondary Sources" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &杉田英語データベース応用#5; 受講生との個別面談#5
7. 前回の復習;P. English Intermediate I Lesson 6 "AMERICANIZATION" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &杉田英語データベース応用#6; 受講生との個別面談#6
8. 前回の復習;P. English Intermediate I Lesson 7 "Foundations of Memory"(リーディング、リスニング、文法・語彙) &杉田英語データベース応用#7; 受講生との個別面談#7
9. 前回の復習;P. English Intermediate I Lesson 8 "The Decline of Labor: The Homestead and Pullman Strikes" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &杉田英語データベース応用#8; 受講生との個別面談#8
10. 前回の復習;P. English Intermediate I Lesson 9 "Preparing to Study" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &杉田英語データベース応用#9; 受講生との個別面談#9
11. 前回の復習;P. English Intermediate I Lesson 10 "Education and the Middle Class" (リーディング、リスニング、文法・語彙) & 理解確認テスト#1
12. 前回の復習;P. English Intermediate I Lesson 11 "Understanding Test Anxiety" (リーディング、リスニング、文法・語彙) & 理解確認テスト#2
13. 前回の復習;P. English Intermediate I Lesson 12 "EXPERTISE AND EFFICIENCY" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &まとめ

科目名	英語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	英語の基礎から応用まで(1)			
担当者	杉田　米行			

[成績評価方法]
授業への参加度・授業態度(60%)、理解度確認テスト＃1(20%)、理解度確認テスト＃2(20%)で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
原則として、試験の次の授業内でフィードバックをします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業への参加度・授業態度(60%)、理解度確認テスト＃1(20%)、理解度確認テスト＃2(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業への参加度・授業態度(60%)、理解度確認テスト＃1(20%)、理解度確認テスト＃2(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業への参加度・授業態度(60%)、理解度確認テスト＃1(20%)、理解度確認テスト＃2(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業への参加度・授業態度(60%)、理解度確認テスト＃1(20%)、理解度確認テスト＃2(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業への参加度・授業態度(60%)、理解度確認テスト＃1(20%)、理解度確認テスト＃2(20%)

[教科書(ISBN)]
＊『P. English』電子本(大学教育出版、2022)https://www.kyoiku.co.jp/
＊杉田英語データベースはワード・PDF等で随時配布
著者名:P. English作成チーム　出版社:大学教育出版 (未定)

[参考書(ISBN)]

P10000750C [CH1-007]　　[1栄ad]*前期火1

科目名	英語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	Let's enjoy speaking English !			
担当者	R. バンデン			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation, active listening and discussions of English cultural expressions such as songs and movies. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction and cultural understanding in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Review the previous lesson, and understand the course materials well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introduction
2. Power English Beginner 1 + English Culture
3. Power English Beginner 1 + English Culture
4. Power English Beginner 2 + English Culture
5. Power English Beginner 2 + English Culture
6. Power English Beginner 3 + English Culture
7. mid-term review + exam
8. Power English Beginner 3 + English Culture
9. Power English Beginner 4 + English Culture
10. Power English Beginner 4 + English Culture
11. Power English Beginner 5 + English Culture
12. Power English Beginner 5 + English Culture
13. final review + exam

科目名	英語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	Let's enjoy speaking English !			
担当者	R. バンデン			

[成績評価方法]
中間試験 45%　最終試験 45%　参加 10%
Mid-term exam 45%　　Final exam 45%　　Participation 10%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Answers and explanations on each unit will be given in class,
with notes posted to Manaba afterwards if necessary.
各単元の解答と解説は、授業で行い、
その後、必要に応じてマナバにノートを掲示します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Polling self-reflection by students

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Monitoring participation and attendance

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Polls

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Monitor student-to-student discussions

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Embedded in the test questions

[教科書(ISBN)]
Power English　著者名:Power English editorial team　出版社:大学教育出版(Daigaku Kyoiku Shuppan)
https://www.kyoiku.co.jp/　(Not given yet)

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	英語の基礎から応用まで(1)			
担当者	杉田　米行			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
英語運用能力の基礎を見直し、応用し、英語による簡単なコミュニケーションをとることができるようになる。
①自己紹介や自分自身について、大学生活や身の回りのできごとについて英語で述べ、受け答えができるようになる。
②場面に基づいて、短い会話の全体的な内容を把握できるようになる。
③相手の話す内容に集中して耳を傾けることができるようになる。
④理解が不十分な場合、積極的に相手に確認することができるようになる。
⑤発音や会話練習に積極的に参加できるようになる。
⑥聞き取った内容を書き留めることができるようになる。

[授業概要]
英語が得意・好きな人もいれば、そうでない人もいるかもしれません。もういちど英語の最初から復習しながら、徐々に進んでいきましょう。英語力を高める方法はいろいろありますが、聞く、読む、書く、話すの4つの技能を伸ばしましょう。
　教科書と小生が長年蓄積してきた「杉田英語データベース」を中心に授業を行います。私の役目は皆さんの英語力アップの支援をすることです。暗唱に挑戦してみましょう。実は、英語力アップにとって暗唱は効果的です。日本語を見ると即座に英語がでてくるようにしましょう。そして、その暗唱した英文を書いてみましょう。そうすることで、使える英語になります。
　この授業では、皆さんの英語力アップの「やる気」を見せてください。英検、TOEIC等英語の外部試験に挑戦してください。また、本学ではさまざまな国際交流のイベントがありますので、積極的に参加してください。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
・新出単語は辞書をひいて確認しておいてください。
・次の授業のテキストの指定個所を読み、わからない単語などがあれば辞書で意味を調べておいてください。
・各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1 時間程度)。

[授業計画]
1. Introduction to this class(Welcomeテスト、授業の進め方、予習・復習の仕方、成績評価方法、自己紹介等)
2. P. English Intermediate I Lesson 1 "The Benefits of Time Management" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &杉田英語データベース応用#1; 受講生との個別面談#1
3. 前回の復習;P. English Intermediate I Lesson 2 "THE PRESIDENT' S PLAN" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &杉田英語データベース応用#2; 受講生との個別面談#2
4. 前回の復習;P. English Intermediate I Lesson 3 "Reading to Comprehend Familiar Content" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &杉田英語データベース応用#3; 受講生との個別面談#3
5. 前回の復習;P. English Intermediate I Lesson 4 "BLACK POLITICAL ACHIEVEMENTS" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &杉田英語データベース応用#4; 受講生との個別面談#4
6. 前回の復習;P. English Intermediate I Lesson 5 "Reading Primary and Secondary Sources" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &杉田英語データベース応用#5; 受講生との個別面談#5
7. 前回の復習;P. English Intermediate I Lesson 6 "AMERICANIZATION" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &杉田英語データベース応用#6; 受講生との個別面談#6
8. 前回の復習;P. English Intermediate I Lesson 7 "Foundations of Memory"(リーディング、リスニング、文法・語彙) &杉田英語データベース応用#7; 受講生との個別面談#7
9. 前回の復習;P. English Intermediate I Lesson 8 "The Decline of Labor: The Homestead and Pullman Strikes" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &杉田英語データベース応用#8; 受講生との個別面談#8
10. 前回の復習;P. English Intermediate I Lesson 9 "Preparing to Study" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &杉田英語データベース応用#9; 受講生との個別面談#9
11. 前回の復習;P. English Intermediate I Lesson 10 "Education and the Middle Class" (リーディング、リスニング、文法・語彙) & 理解確認テスト#1
12. 前回の復習;P. English Intermediate I Lesson 11 "Understanding Test Anxiety" (リーディング、リスニング、文法・語彙) & 理解確認テスト#2
13. 前回の復習;P. English Intermediate I Lesson 12 "EXPERTISE AND EFFICIENCY" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &まとめ

科目名	英語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	英語の基礎から応用まで(1)			
担当者	杉田　米行			

[成績評価方法]
授業への参加度・授業態度(60%)、理解度確認テスト＃1(20%)、理解度確認テスト＃2(20%)で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
原則として、試験の次の授業内でフィードバックをします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業への参加度・授業態度(60%)、理解度確認テスト＃1(20%)、理解度確認テスト＃2(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業への参加度・授業態度(60%)、理解度確認テスト＃1(20%)、理解度確認テスト＃2(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業への参加度・授業態度(60%)、理解度確認テスト＃1(20%)、理解度確認テスト＃2(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業への参加度・授業態度(60%)、理解度確認テスト＃1(20%)、理解度確認テスト＃2(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業への参加度・授業態度(60%)、理解度確認テスト＃1(20%)、理解度確認テスト＃2(20%)

[教科書(ISBN)]
＊『P. English』電子本(大学教育出版、2022)https://www.kyoiku.co.jp/
＊杉田英語データベースはワード・PDF等で随時配布

著者名:P. English作成チーム　出版社:大学教育出版 (未定)

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	Let's enjoy speaking English !			
担当者	伊藤　孝治			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunities to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation, and active listening. This course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in various social situations. Assignments, quizzes, and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day. Please spend at least 2 hours on the work. Both attending the class and active participation are very important.

[授業計画]
1. Introduction
2. classroom activities (based on textbook chapter 1)
3. classroom activities (based on textbook chapter 2)
4. classroom activities (based on textbook chapter 3)
5. classroom activities (based on textbook chapter 4)
6. classroom activities (based on textbook chapter 5)
7. mid-term review
8. classroom activities (based on textbook chapter 6)
9. classroom activities (based on textbook chapter 7)
10. classroom activities (based on textbook chapter 8)
11. classroom activities (based on textbook chapter 9)
12. classroom activities (based on textbook chapter 10)
13. overall review

科目名	英語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	Let's enjoy speaking English !			
担当者	伊藤　孝治			

[成績評価方法]
Assignment (40%), Active participation (60%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題の形式に応じて、授業内やmanaba上で適宜フィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:ペアワーク・グループワーク

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業用課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:ディスカッション

[教科書(ISBN)]
『Let's Learn English through Various Subjects: FromCulture to SDGs』 著者名:チョルカ・ラルカ・マリア、伊藤孝治編著　出版社:大学教育出版 (978-4-86692-203-4)

[参考書(ISBN)]

P10000750F [CH1-007]　　[1心st]*前期月3

科目名	英語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	Let's enjoy speaking English!			
担当者	守家　輝			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.
Advanced class: TOEIC score (400～600)
Standard class: TOEIC score (300～400)

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation (class assignments etc.) is necessary.

[授業計画]
1. Introduction
2. classroom activities (based on textbook chapter 1)
3. classroom activities (based on textbook chapter 1)
4. classroom activities (based on textbook chapter 2)
5. classroom activities (based on textbook chapter 2)
6. classroom activities (based on textbook chapter 3)
7. classroom activities (based on textbook chapter 3)
8. mid-term review
9. classroom activities (based on textbook chapter 4)
10. classroom activities (based on textbook chapter 4)
11. classroom activities (based on textbook chapter 5)
12. classroom activities (based on textbook chapter 5)
13. classroom activities (based on textbook chapter 6)
14. classroom activities (based on textbook chapter 6)
15. Overall review

科目名	英語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	Let's enjoy speaking English!			
担当者	守家　輝			

[成績評価方法]
授業参加（毎回の宿題提出）60%
期末レポート40%（manabaまたは直接メールで提出、詳細はmanabaでご確認ください）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業内課題(英作文)、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業内課題(プレゼンテーション等)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業内課題(グループディスカッション)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業内課題(プレゼンテーション等)、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業内課題(プレゼンテーション等)、期末レポート

[教科書（ISBN）]
World Link 1 with My World Link Online Practice and Student's eBook　著者名：Nancy Douglas; James R. Morgan　出版社：Cengage Learning.　(9.7803575021e+12)

[参考書（ISBN）]

科目名	英語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	All-round practice for communication in English			
担当者	M. チョル力			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
The purpose of this course is to help students develop the English language skills necessary for communication in a variety of situations in daily life

[授業概要]
This course prepares students for communication in various situations encountered in society, by helping them develop their English language skills from multiple perspectives. The course is based on topics familiar to university students, inspiring confidence and encouraging active participation in classroom activities. The lessons introduce new information, such as vocabulary or grammar items, in context, to facilitate the learning process. Videos are also provided, encouraging active listening. Speaking practice is essential for this course, encouraging the students to express their opinions and debate with their classmates.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
The students should review each lesson and complete the indicated assignments. They should also prepare for the following lesson, as advised in class.

[授業計画]
1. Introduction – Lesson 7: Inventions (1)
2. Classroom activities – Lesson 7: Inventions (2)
3. Classroom activities – Lesson 8: Future (1)
4. Classroom activities – Lesson 8: Future (2)
5. Classroom activities – Lesson 9: Travel (1)
6. Classroom activities – Lesson 9: Travel (2)
7. Classroom activities – Lesson 10: Literature (1)
8. Classroom activities – Lesson 10: Literature (2)
9. Classroom activities – Lesson 11: People (1)
10. Classroom activities – Lesson 11: People (2)
11. Classroom activities – Lesson 12: History (1)
12. Classroom activities – Lesson 12: History (2)
13. Final assessment

科目名	英語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	All-round practice for communication in English			
担当者	M. チョル力			

[成績評価方法]
Active participation: 40%
Assignments: 30%
Final assessment: 30%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Feedback and explanations for the assignments will be given during class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:積極的授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:積極的授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:積極的授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:課題、期末テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題、期末テスト

[教科書(ISBN)]
Expanding Horizons: Critical Thinking through Authentic Video ＜CEFR A1-A2＞　著者名:Charles Browne and Yuji Tanabe　出版社:南雲堂 (9.7845231791e+12)

[参考書(ISBN)]

P10000760 [CH1-008]　　[1福ad]*後期火3

科目名	英語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	Let's enjoy speaking English !			
担当者	井上　優大			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introduction
2. classroom activities (based on textbook chapter 7)
3. classroom activities (based on textbook chapter 7)
4. classroom activities (based oh textbook chapter 8)
5. classroom activities (based on textbook chapter 8)
6. classroom activities (based on textbook chapter 9)
7. classroom activities (based on textbook chapter 9)
8. classroom activities (based on textbook chapter 10)
9. classroom activities (based on textbook chapter 10)
10. classroom activities (based on textbook chapter 11)
11. classroom activities (based on textbook chapter 11)
12. classroom activities (based on textbook chapter 12)
13. classroom activities (based on textbook chapter 12)

P10000760A [CH1-008]　　[1福st]*後期火3

科目名	英語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	Let's enjoy speaking English !			
担当者	井上　優大			

[成績評価方法]
Active participation (40%),Homework (30%), In-class assignments (30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題の形式に応じて、授業内やmanaba上で適宜フィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:In-class assignments

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:In-class assignments

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:In-class assignments

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:In-class assignments

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:In-class assignments

[教科書(ISBN)]
Keynote 2　著者名:David Bohlke　出版社:CENGAGE Learning　(978-1-305-96504-1)

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	Let's enjoy speaking English !			
担当者	R. バンデン			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation, active listening and discussions of English cultural expressions such as songs and movies. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction and cultural understanding in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Review the previous lesson, and understand the course materials well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introduction
2. Power English Beginner 6 + English Culture
3. Power English Beginner 6 + English Culture
4. Power English Beginner 7 + English Culture
5. Power English Beginner 7 + English Culture
6. Power English Beginner 8 + English Culture
7. mid-term review + exam
8. Power English Beginner 8 + English Culture
9. Power English Beginner 9 + English Culture
10. Power English Beginner 9 + English Culture
11. Power English Beginner 10 + English Culture
12. Power English Beginner 10 + English Culture
13. final review + exam

P10000760B [CH1-008] [1栄st]*後期火2

科目名	英語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	Let's enjoy speaking English !			
担当者	R. バンデン			

[成績評価方法]
中間試験 45%　最終試験 45%　参加 10%
Mid-term exam 45%　　Final exam 45%　　Participation 10%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Answers and explanations on each unit will be given in class,
with notes posted to Manaba afterwards if necessary.
各単元の解答と解説は、授業で行い、
その後、必要に応じてマナバにノートを掲示します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Polling self-reflection by students

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Monitoring participation and attendance

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Polls

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Monitor student-to-student discussions

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Embedded in the test questions

[教科書(ISBN)]
Power English　著者名:Power English editorial team　出版社:大学教育出版(Daigaku Kyoiku Shuppan)
https://www.kyoiku.co.jp/ (Not given yet)

[参考書(ISBN)]

P10000760B [CH1-008]　　[1栄st]*後期火2

科目名	英語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	英語の基礎から応用まで(1)			
担当者	杉田　米行			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
英語運用能力の基礎を見直し、応用し、英語による簡単なコミュニケーションをとることができるようになる。
①自己紹介や自分自身について、大学生活や身の回りのできごとについて英語で述べ、受け答えができるようになる。
②場面に基づいて、短い会話の全体的な内容を把握できるようになる。
③相手の話す内容に集中して耳を傾けることができるようになる。
④理解が不十分な場合、積極的に相手に確認することができるようになる。
⑤発音や会話練習に積極的に参加できるようになる。
⑥聞き取った内容を書き留めることができるようになる。

[授業概要]
英語が得意・好きな人もいれば、そうでない人もいるかもしれません。もういちど英語の最初から復習しながら、徐々に進んでいきましょう。英語力を高める方法はいろいろありますが、聞く、読む、書く、話すの4つの技能を伸ばしましょう。
　教科書と小生が長年蓄積してきた「杉田英語データベース」を中心に授業を行います。私の役目は皆さんの英語力アップの支援をすることです。暗唱に挑戦してみましょう。実は、英語力アップにとって暗唱は効果的です。日本語を見ると即座に英語がでてくるようにしましょう。そして、その暗唱した英文を書いてみましょう。そうすることで、使える英語になります。
　この授業では、皆さんの英語力アップの「やる気」を見せてください。英検、TOEIC等英語の外部試験に挑戦してください。また、本学ではさまざまな国際交流のイベントがありますので、積極的に参加してください。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
・新出単語は辞書をひいて確認しておいてください。
・次の授業のテキストの指定個所を読み、わからない単語などがあれば辞書で意味を調べておいてください。
・各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1 時間程度)。

[授業計画]
1. Introduction to this class(Welcomeテスト、授業の進め方、予習・復習の仕方、成績評価方法、自己紹介等)
2. P. English Intermediate II Lesson 1 "Context of Communication" (リーディング、リスニング、文法・語彙)＆杉田英語データベース応用＃11; 受講生との個別面談＃1
3. 前回の復習;P. English Intermediate II Lesson 2 "THE 1912 PRESIDENTIAL ELECTION" (リーディング、リスニング、文法・語彙)＆杉田英語データベース応用＃12; 受講生との個別面談＃2
4. 前回の復習;P. English Intermediate II Lesson 3 "How Do You Control Your Online Communication Strategies?" (リーディング、リスニング、文法・語彙)＆杉田英語データベース応用＃13; 受講生との個別面談＃3
5. 前回の復習;P. English Intermediate II Lesson 4 "WAR: BRIEF AND DECISIVE" (リーディング、リスニング、文法・語彙)＆杉田英語データベース応用＃14; 受講生との個別面談＃4
6. 前回の復習;P. English Intermediate II Lesson 5 "Listening Is a Communication Action" (リーディング、リスニング、文法・語彙)＆杉田英語データベース応用＃15; 受講生との個別面談＃5
7. 前回の復習;P. English Intermediate II Lesson 6 "WAR ERUPTS IN EUROPE" (リーディング、リスニング、文法・語彙)＆杉田英語データベース応用＃16; 受講生との個別面談＃6
8. 前回の復習;P. English Intermediate II Lesson 7 "The Role of Equity and Inclusion" (リーディング、リスニング、文法・語彙)＆杉田英語データベース応用＃17; 受講生との個別面談＃7
9. 前回の復習;P. English Intermediate II Lesson 8 "Ratification of the Treaty of Versailles" (リーディング、リスニング、文法・語彙)＆杉田英語データベース応用＃18; 受講生との個別面談＃8
10. 前回の復習;P. English Intermediate II Lesson 9 "THE POWER OF RADIO AND THE WORLD OF SPORTS" (リーディング、リスニング、文法・語彙)＆杉田英語データベース応用＃19; 受講生との個別面談＃9
11. 前回の復習;P. English Intermediate II Lesson 10 "Be Mindful of Microaggressions" (リーディング、リスニング、文法・語彙)＆ 理解確認テスト#1
12. 前回の復習;P. English Intermediate II Lesson 11 "THE HARLEM RENAISSANCE AND THE NEW NEGRO" (リーディング、リスニング、文法・語彙)＆ 理解確認テスト#2
13. 前回の復習;P. English Intermediate II Lesson 12 "Title IX and Higher Education" (リーディング、リスニング、文法・語彙)＆まとめ

科目名	英語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	英語の基礎から応用まで(1)			
担当者	杉田　米行			

[成績評価方法]
授業への参加度・授業態度(60%)、理解度確認テスト＃1(20%)、理解度確認テスト＃2(20%)で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
原則として、試験の次の授業内でフィードバックをします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業への参加度・授業態度(60%)、理解度確認テスト＃1(20%)、理解度確認テスト＃2(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業への参加度・授業態度(60%)、理解度確認テスト＃1(20%)、理解度確認テスト＃2(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業への参加度・授業態度(60%)、理解度確認テスト＃1(20%)、理解度確認テスト＃2(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業への参加度・授業態度(60%)、理解度確認テスト＃1(20%)、理解度確認テスト＃2(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業への参加度・授業態度(60%)、理解度確認テスト＃1(20%)、理解度確認テスト＃2(20%)

[教科書(ISBN)]
＊『P. English』電子本(大学教育出版、2022)https://www.kyoiku.co.jp/
＊杉田英語データベースはワード・PDF等で随時配布
著者名:P. English作成チーム　出版社:大学教育出版 (未定)

[参考書(ISBN)]

P10000760C [CH1-008]　　[1栄ad]*後期火2

科目名	英語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	Let's enjoy speaking English !			
担当者	R. バンデン			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation, active listening and discussions of English cultural expressions such as songs and movies. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction and cultural understanding in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Review the previous lesson, and understand the course materials well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introduction
2. Power English Beginner 6 + English Culture
3. Power English Beginner 6 + English Culture
4. Power English Beginner 7 + English Culture
5. Power English Beginner 7 + English Culture
6. Power English Beginner 8 + English Culture
7. mid-term review + exam
8. Power English Beginner 8 + English Culture
9. Power English Beginner 9 + English Culture
10. Power English Beginner 9 + English Culture
11. Power English Beginner 10 + English Culture
12. Power English Beginner 10 + English Culture
13. final review + exam

科目名	英語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	Let's enjoy speaking English !			
担当者	R. バンデン			

[成績評価方法]
中間試験 45%　最終試験 45%　参加 10%
Mid-term exam 45%　　Final exam 45%　　Participation 10%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Answers and explanations on each unit will be given in class,
with notes posted to Manaba afterwards if necessary.
各単元の解答と解説は、授業で行い、
その後、必要に応じてマナバにノートを掲示します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Polling self-reflection by students

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Monitoring participation and attendance

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Polls

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Monitor student-to-student discussions

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Embedded in the test questions

[教科書(ISBN)]
Power English　著者名:Power English editorial team　出版社:大学教育出版(Daigaku Kyoiku Shuppan)
https://www.kyoiku.co.jp/　(Not given yet)

[参考書(ISBN)]

P10000760D [CH1-008]　　[1看ad1]*後期火1

科目名	英語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	英語の基礎から応用まで(1)			
担当者	杉田　米行			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
英語運用能力の基礎を見直し、応用し、英語による簡単なコミュニケーションをとることができるようになる。
①自己紹介や自分自身について、大学生活や身の回りのできごとについて英語で述べ、受け答えができるようになる。
②場面に基づいて、短い会話の全体的な内容を把握できるようになる。
③相手の話す内容に集中して耳を傾けることができるようになる。
④理解が不十分な場合、積極的に相手に確認することができるようになる。
⑤発音や会話練習に積極的に参加できるようになる。
⑥聞き取った内容を書き留めることができるようになる。

[授業概要]
英語が得意・好きな人もいれば、そうでない人もいるかもしれません。もういちど英語の最初から復習しながら、徐々に進んでいきましょう。英語力を高める方法はいろいろありますが、聞く、読む、書く、話すの4つの技能を伸ばしましょう。
　教科書と小生が長年蓄積してきた「杉田英語データベース」を中心に授業を行います。私の役目は皆さんの英語力アップの支援をすることです。暗唱に挑戦してみましょう。実は、英語力アップにとって暗唱は効果的です。日本語を見ると即座に英語がでてくるようにしましょう。そして、その暗唱した英文を書いてみましょう。そうすることで、使える英語になります。
　この授業では、皆さんの英語力アップの「やる気」を見せてください。英検、TOEIC等英語の外部試験に挑戦してください。また、本学ではさまざまな国際交流のイベントがありますので、積極的に参加してください。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
・新出単語は辞書をひいて確認しておいてください。
・次の授業のテキストの指定個所を読み、わからない単語などがあれば辞書で意味を調べておいてください。
・各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1 時間程度)。

[授業計画]
1. Introduction to this class(Welcomeテスト、授業の進め方、予習・復習の仕方、成績評価方法、自己紹介等)
2. P. English Intermediate II Lesson 1 "Context of Communication" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &杉田英語データベース応用#11; 受講生との個別面談#1
3. 前回の復習;P. English Intermediate II Lesson 2 "THE 1912 PRESIDENTIAL ELECTION" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &杉田英語データベース応用#12; 受講生との個別面談#2
4. 前回の復習;P. English Intermediate II Lesson 3 "How Do You Control Your Online Communication Strategies?" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &杉田英語データベース応用#13; 受講生との個別面談#3
5. 前回の復習;P. English Intermediate II Lesson 4 "WAR: BRIEF AND DECISIVE" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &杉田英語データベース応用#14; 受講生との個別面談#4
6. 前回の復習;P. English Intermediate II Lesson 5 "Listening Is a Communication Action" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &杉田英語データベース応用#15; 受講生との個別面談#5
7. 前回の復習;P. English Intermediate II Lesson 6 "WAR ERUPTS IN EUROPE" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &杉田英語データベース応用#16; 受講生との個別面談#6
8. 前回の復習;P. English Intermediate II Lesson 7 "The Role of Equity and Inclusion" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &杉田英語データベース応用#17; 受講生との個別面談#7
9. 前回の復習;P. English Intermediate II Lesson 8 "Ratification of the Treaty of Versailles" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &杉田英語データベース応用#18; 受講生との個別面談#8
10. 前回の復習;P. English Intermediate II Lesson 9 "THE POWER OF RADIO AND THE WORLD OF SPORTS" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &杉田英語データベース応用#19; 受講生との個別面談#9
11. 前回の復習;P. English Intermediate II Lesson 10 "Be Mindful of Microaggressions" (リーディング、リスニング、文法・語彙) & 理解確認テスト#1
12. 前回の復習;P. English Intermediate II Lesson 11 "THE HARLEM RENAISSANCE AND THE NEW NEGRO" (リーディング、リスニング、文法・語彙) & 理解確認テスト#2
13. 前回の復習;P. English Intermediate II Lesson 12 "Title IX and Higher Education" (リーディング、リスニング、文法・語彙) &まとめ

科目名	英語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	英語の基礎から応用まで(1)			
担当者	杉田　米行			

[成績評価方法]
授業への参加度・授業態度(60%)、理解度確認テスト＃1(20%)、理解度確認テスト＃2(20%)で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
原則として、試験の次の授業内でフィードバックをします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業への参加度・授業態度(60%)、理解度確認テスト＃1(20%)、理解度確認テスト＃2(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業への参加度・授業態度(60%)、理解度確認テスト＃1(20%)、理解度確認テスト＃2(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業への参加度・授業態度(60%)、理解度確認テスト＃1(20%)、理解度確認テスト＃2(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業への参加度・授業態度(60%)、理解度確認テスト＃1(20%)、理解度確認テスト＃2(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業への参加度・授業態度(60%)、理解度確認テスト＃1(20%)、理解度確認テスト＃2(20%)

[教科書(ISBN)]
＊『P. English』電子本(大学教育出版、2022)https://www.kyoiku.co.jp/
＊杉田英語データベースはワード・PDF等で随時配布

著者名:P. English作成チーム　出版社:大学教育出版 (未定)

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	Let's enjoy speaking English !			
担当者	伊藤　孝治			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunities to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation, and active listening. This course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in various social situations. Assignments, quizzes, and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day. Please spend at least 2 hours on the work. Both attending the class and active participation are very important.

[授業計画]
1. Introduction
2. classroom activities (based on textbook chapter 1)
3. classroom activities (based on textbook chapter 2)
4. classroom activities (based on textbook chapter 3)
5. classroom activities (based on textbook chapter 4)
6. classroom activities (based on textbook chapter 5)
7. mid-term review
8. classroom activities (based on textbook chapter 6)
9. classroom activities (based on textbook chapter 7)
10. classroom activities (based on textbook chapter 8)
11. classroom activities (based on textbook chapter 9)
12. classroom activities (based on textbook chapter 10)
13. overall review

科目名	英語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	Let's enjoy speaking English !			
担当者	伊藤　孝治			

[成績評価方法]
Assignment (40%), Active participation (60%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題の形式に応じて、授業内やmanaba上で適宜フィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:ペアワーク・グループワーク

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業用課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:ディスカッション

[教科書(ISBN)]
『Let's Learn English through Various Subjects: From Culture to SDGs』 著者名:チョルカ・ラルカ・マリア、伊藤孝治編著　出版社:大学教育出版 (978-4-86692-203-4)

[参考書(ISBN)]

P10000760F [CH1-008]　　[1心st]*後期月3

科目名	英語Ⅰ－2	後期		1 単位
サブタイトル	Let's enjoy speaking English!			
担当者	守家　輝			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.
Advanced class: TOEIC score (400～600)
Standard class: TOEIC score (300～400)

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation (class assignments etc.) is necessary.

[授業計画]
1. Introduction
2. classroom activities (based on textbook chapter 7)
3. classroom activities (based on textbook chapter 7)
4. classroom activities (based on textbook chapter 8)
5. classroom activities (based on textbook chapter 8)
6. classroom activities (based on textbook chapter 9)
7. classroom activities (based on textbook chapter 9)
8. mid-term review
9. classroom activities (based on textbook chapter 10)
10. classroom activities (based on textbook chapter 10)
11. classroom activities (based on textbook chapter 11)
12. classroom activities (based on textbook chapter 11)
13. classroom activities (based on textbook chapter 12)
14. classroom activities (based on textbook chapter 12)
15. Overall review

科目名	英語Ⅰ－2	後期		1 単位
サブタイトル	Let's enjoy speaking English!			
担当者	守家　輝			

[成績評価方法]
授業参加（毎回の宿題提出）60%
期末レポート40%（manabaまたは直接メールで提出、詳細はkissシステムでご確認ください）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業内課題(英作文)、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業内課題(プレゼンテーション等)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業内課題(グループディスカッション)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業内課題(プレゼンテーション等)、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業内課題(プレゼンテーション等)、期末レポート

[教科書（ISBN）]
World Link 1 with My World Link Online Practice and Student's eBook　著者名：Nancy Douglas; James R. Morgan　出版社：Cengage Learning.　(9.7803575021e+12)

[参考書（ISBN）]

科目名	英語Ⅱ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	環境問題、食、グローバリゼーション、異文化			
担当者	深井　美智子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○|
プレゼンテーション	○|	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
地球を取り巻く環境問題に関する知識を増やすとともに英語コミュニケーション能力のアップを目指す。

[授業概要]
全世界の課題である環境問題、食の問題、またそれらを理解するうえで必要なグローバリゼーション、異文化などを英語で考え、英語で自分の考えを表現できることを目指す。必ず、各自予習復習を通し、英語のフレーズなどを増やすよう、努力すること。学生の積極的な授業参加を期待する。また、サブマテリアルとして映画などDVD教材を使う。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
　各ユニットのトピックについて、事前にインターネットなどで調べておくこと。その際、疑問に思うことを必ず見つける。授業内でその疑問点の解明に努めることで、より深い知識を身につけることになるだろう。各回、予習復習合わせて2時間程度すること。

[授業計画]

1. Chapter1 Global Perspectives
2. Chapter2 Climate Change1
3. Chapter2 Climate Change2
4. Chapter3 Water1
5. Chapter3 Water2
6. Chapter4 Clean Energy1
7. Review
8. Chapter5 Poverty1
9. Chapter5 Poverty2
10. Chapter6 Hunger1
11. Chapter6 Hunger2
12. Chapter7 Children1
13. Review

科目名	英語Ⅱ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	環境問題、食、グローバリゼーション、異文化			
担当者	深井　美智子			

[成績評価方法]
レポート課題＋テスト60%、授業態度40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
テストは実施後返却し、各自が自分の答案を見直す機会を設ける。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度・テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業態度・テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度・テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業態度・テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業態度・テスト

[教科書(ISBN)]
Living as Global Citizens-An Introduction to the Sustainable Development Goals　著者名:Kazuya Oseki他　出版社:南雲堂　(978-4-523-17931-3)

[参考書(ISBN)]

P10000770 [CH2-001]　　[2福]*前期火5

科目名	英語Ⅱ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	Let's enjoy speaking English !			
担当者	井上　優大			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introduction
2. classroom activities (based on textbook chapter 1)
3. classroom activities (based on textbook chapter 1)
4. classroom activities (based oh textbook chapter 2)
5. classroom activities (based on textbook chapter 2)
6. classroom activities (based on textbook chapter 3)
7. classroom activities (based on textbook chapter 3)
8. classroom activities (based on textbook chapter 4)
9. classroom activities (based on textbook chapter 4)
10. classroom activities (based on textbook chapter 5)
11. classroom activities (based on textbook chapter 5)
12. classroom activities (based on textbook chapter 6)
13. classroom activities (based on textbook chapter 6)

科目名	英語Ⅱ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	Let's enjoy speaking English !			
担当者	井上　優大			

[成績評価方法]
Active participation (40%), Homework (30%), In-class assignments (30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題の形式に応じて、授業内やmanaba上で適宜フィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:In-class assignments

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:In-class assignments

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:In-class assignments

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:In-class assignments

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:In-class assignments

[教科書(ISBN)]
Keynote 2　著者名:David Bohlke　出版社:CENGAGE Learning　(978-1-305-96504-1)

[参考書(ISBN)]

P10000770A [CH2-001]　　[2栄A]*前期火4

科目名	英語Ⅱ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	異文化理解			
担当者	虹林　桃子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
異文化への理解を深め、英語についての知識や表現力を身につけることを目指す。

[授業概要]
This course aims to acquire basic English reading skills by learning various expressions and vocabulary. Students can learn and understand foreign cultural backgrounds through reading children's literature. Classroom activities help students improve their communication skills. Homework assignments and quizzes are given at the discretion of the instructor.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Review the previous lesson, and read the textbook for the next. Look up the words in the dictionary if it is unfamiliar. About two hours of study is required. Not only attending the class but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introduction
2. Classroom Activities (based on textbook Chapter 1)
3. Classroom Activities (based on textbook Chapter 1)
4. Classroom Activities (based on textbook Chapter 3)
5. Classroom Activities (based on textbook Chapter 3)
6. Classroom Activities (based on textbook Chapter 5)
7. Classroom Activities (based on textbook Chapter 5)
8. Classroom Activities (based on textbook Chapter 7)
9. Classroom Activities (based on textbook Chapter 7)
10. Classroom Activities (based on textbook Chapter 9)
11. Classroom Activities (based on textbook Chapter 9)
12. Classroom Activities (based on textbook Chapter 9)
13. Overall review

科目名	英語Ⅱ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	異文化理解			
担当者	虹林　桃子			

[成績評価方法]
Quizzes (20%), Active participation (30%), Assignments (50%).

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Quizzes and assignments will be returned after correction.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業パフォーマンス、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業パフォーマンス

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業パフォーマンス、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業パフォーマンス、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:小テスト、レポート

[教科書(ISBN)]
More of Milly-Molly-Mandy　著者名:Joyce Lankester Brisley　出版社:Macmillan Children's Books　(ISBN-10: 1529010691
ISBN-13: 978-1529010695)

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅱ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	グローバルコミュニケーション			
担当者	E. ラポーザ			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	Yes	グループワーク	Yes
プレゼンテーション	Yes	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
To study English vocabulary and essential conversation management associated with hospitals, doctors, and patients for students in pursuit of becoming healthcare professionals.

[授業概要]
In this English for Specific Purposes course we will focus on situational conversations common to encounters in hospitals, and in doctor/patient relations. Vocabulary learning will emphasize not only daily conversational content but also work specific related content. We will cover the four basic skills of English including grammar points, listening excercises, reading, and conversation. The course will be suitable for all levels of student. It is expected that students will actively participate in the lessons through role play, impromptu conversation practice, and discussions. There will be occasional reading and writing assignments to be done for homework.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Review vocabulary for each lesson and complete the self-study review tasks.

[授業計画]
1. Getting to know your classmates
2. Hospital Departments
3. Application Forms
4. Parts of the Body
5. Illnesses
6. Daily Routines
7. Hospital Objects
8. Review I
9. Hospital Procedures
10.Hospital Directions
11.Directions Outside of the Hospital
12.Taking a Medical History
13. Summary

P10000770C [CH2-001] [1看B]*前期火2

科目名	英語Ⅱ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	グローバルコミュニケーション			
担当者	E. ラポーザ			

[成績評価方法]
平常の授業態度、クイズ、口頭発表、テスト等が評価の基準 Students will be graded on various criteria as determined by the instructor including (but not limited to) attendance, class participation (50%) , homework assignments (15%) , quizzes (5%) , tests (15%) and presentations (15%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Answers and explanations on each unit will be given in class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:試験

[教科書(ISBN)]
Vital Signs (revised edition)
Essential English for Healthcare Professionals 著者名:Vivian Morooka and Terri Sugiura 出版社:南雲堂 (9.7845231787e+12)
Vivian Morooka and Terri Sugiura 著者名:南雲堂 出版社:9.7845231776e+12

[参考書(ISBN)]

P10000770C [CH2-001] [1看B]*前期火2

科目名	英語Ⅱ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	環境問題、食、グローバリゼーション、異文化			
担当者	深井　美智子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

地球を取り巻く環境問題に関する知識を増やすとともに英語コミュニケーション能力のアップを目指す。

[授業概要]
全世界の課題である環境問題、食の問題、またそれらを理解するうえで必要なグローバリゼーション、異文化などを英語で考え、英語で自分の考えを表現できることを目指す。必ず、各自予習復習を通し、英語のフレーズなどを増やすよう、努力すること。学生の積極的な授業参加を期待する。また、サブマテリアルとして映画などDVD教材を使う。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
　各ユニットのトピックについて、事前にインターネットなどで調べておくこと。その際、疑問に思うことを必ず見つける。授業内でその疑問点の解明に努めることで、より深い知識を身につけることになるだろう。各回、予習復習合わせて2時間程度すること。

[授業計画]

1. Chapter1 Global Perspectives
2. Chapter2 Climate Change1
3. Chapter2 Climate Change2
4. Chapter3 Water1
5. Chapter3 Water2
6. Chapter4 Clean Energy1
7. Review
8. Chapter5 Poverty1
9. Chapter5 Poverty2
10. Chapter6 Hunger1
11. Chapter6 Hunger2
12. Chapter7 Children1
13. Review

P10000770D [CH2-001]　　[1看A]*前期火2

科目名	英語Ⅱ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	環境問題、食、グローバリゼーション、異文化			
担当者	深井　美智子			

[成績評価方法]
レポート課題＋テスト60%、授業態度40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
テストは実施後返却し、各自が自分の答案を見直す機会を設ける。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度・テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業態度・テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度・テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業態度・テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業態度・テスト

[教科書(ISBN)]
Living as Global Citizens-An Introduction to the Sustainable Development Goals　著者名:Kazuya Oseki他　出版社:南雲堂 (978-4-523-17931-3)

[参考書(ISBN)]

P10000770D [CH2-001]　　[1看A]*前期火2

科目名	英語Ⅱ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	環境問題、食、グローバリゼーション、異文化			
担当者	深井　美智子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

地球を取り巻く環境問題に関する知識を増やすとともに英語コミュニケーション能力のアップを目指す。

[授業概要]
全世界の課題である環境問題、食の問題、またそれらを理解するうえで必要なグローバリゼーション、異文化などを英語で考え、英語で自分の考えを表現できることを目指す。必ず、各自予習復習を通し、英語のフレーズなどを増やすよう、努力すること。学生の積極的な授業参加を期待する。また、サブマテリアルとして映画などDVD教材を使う。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
　各ユニットのトピックについて、事前にインターネットなどで調べておくこと。その際、疑問に思うことを必ず見つける。授業内でその疑問点の解明に努めることで、より深い知識を身につけることになるだろう。各回、予習復習合わせて2時間程度すること。

[授業計画]
1. Chapter8 Gender1
2. Chapter8 Gender2
3. Chapter9 Refugees1
4. Chapter9 Refugees2
6. Extra Culture and religions1
7. Extra Culture and religions2
8. Review
9. Chapter12 Plastic Waste1
10. Chapter12 Plastic Waste2
11. Partnership1
12. Partnership2
13. Review

科目名	英語Ⅱ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	環境問題、食、グローバリゼーション、異文化			
担当者	深井　美智子			

[成績評価方法]
レポート課題＋テスト（60%）、授業態度（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
テストは実施後返却し、各自が自分の答案を見直す機会を設ける。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度・テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業態度・テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度・テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業態度・テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業態度・テスト

[教科書（ISBN）]
Living as Global Citizens-An Introduction to the Sustainable Development Goals　著者名：Kazuya Oseki他　出版社：南雲堂 （978-4-523-17931-3 ）

[参考書（ISBN）]

科目名	英語Ⅱ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	異文化理解			
担当者	虹林　桃子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
異文化への理解を深め、英語についての知識や表現力を身につけることを目指す。

[授業概要]
This course aims to acquire basic English reading skills by learning various expressions and vocabulary. Students can learn and understand foreign cultural backgrounds through reading children's literature. Classroom activities help students improve their communication skills. Homework assignments and quizzes are given at the discretion of the instructor.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Review the previous lesson, and read the textbook for the next. Look up the words in the dictionary if it is unfamiliar. About two hours of study is required. Not only attending the class but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introduction
2. Classroom Activities (based on textbook Chapter 2)
3. Classroom Activities (based on textbook Chapter 2)
4. Classroom Activities (based on textbook Chapter 4)
5. Classroom Activities (based on textbook Chapter 4)
6. Classroom Activities (based on textbook Chapter 6)
7. Classroom Activities (based on textbook Chapter 6)
8. Classroom Activities (based on textbook Chapter 8)
9. Classroom Activities (based on textbook Chapter 8)
10. Classroom Activities (based on textbook Chapter 10)
11. Classroom Activities (based on textbook Chapter 10)
12. Classroom Activities (based on textbook Chapter 10)
13. Overall Review

科目名	英語Ⅱ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	異文化理解			
担当者	虹林　桃子			

[成績評価方法]
Quizzes (20%), Active participation (30%), Assignments (50%).

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Quizzes and assignments will be returned after correction.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業パフォーマンス、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業パフォーマンス

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業パフォーマンス、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業パフォーマンス、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:小テスト、レポート

[教科書(ISBN)]
More of Milly-Molly-Mandy　著者名:Joyce Lankester Brisley　出版社:Macmillan Children's Books　(ISBN-10: 1529010691
ISBN-13: 978-1529010695)

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅱ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	環境問題、食、グローバリゼーション、異文化			
担当者	深井　美智子			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

地球を取り巻く環境問題に関する知識を増やすとともに英語コミュニケーション能力のアップを目指す。

[授業概要]
全世界の課題である環境問題、食の問題、またそれらを理解するうえで必要なグローバリゼーション、異文化などを英語で考え、英語で自分の考えを表現できることを目指す。必ず、各自予習復習を通し、英語のフレーズなどを増やすよう、努力すること。学生の積極的な授業参加を期待する。また、サブマテリアルとして映画などDVD教材を使う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
　各ユニットのトピックについて、事前にインターネットなどで調べておくこと。その際、疑問に思うことを必ず見つける。授業内でその疑問点の解明に努めることで、より深い知識を身につけることになるだろう。各回、予習復習合わせて2時間程度すること。

[授業計画]
1. Chapter8 Gender1
2. Chapter8 Gender2
3. Chapter9 Refugees1
4. Chapter9 Refugees2
6. Extra Culture and religions1
7. Extra Culture and religions2
8. Review
9. Chapter12 Plastic Waste1
10. Chapter12 Plastic Waste2
11. Partnership1
12. Partnership2
13. Review

P10000780C [CH2-002]　　[1看A]*後期火2

科目名	英語Ⅱ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	環境問題、食、グローバリゼーション、異文化			
担当者	深井　美智子			

[成績評価方法]
レポート課題＋テスト（60%）、授業態度（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
テストは実施後返却し、各自が自分の答案を見直す機会を設ける。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度・テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:授業態度・テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度・テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業態度・テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業態度・テスト

[教科書（ISBN）]
Living as Global Citizens-An Introduction to the Sustainable Development Goals　著者名:Kazuya Oseki他　出版社:南雲堂 （978-4-523-17931-3 ）

[参考書（ISBN）]

科目名	英語Ⅱ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	金田　直子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
世界各国の文化・風習とくに授業の後半は食文化を取り上げ、各国の興味深い側面を多角的に学びます。

[授業概要]
「日本ではそんなものは絶対に売れない！」「日本ではそんな使い方を絶対しない！」というような私たちの目には奇異に映るアイテムを通し、各ユニットで"Guess what?!"(なんだと思う？！)と問いかけながら紹介します。そしてそのアイテムがなぜその国で愛され、長年使用されているのかを知ることで、異文化理解を深めていきましょう。また、各ユニットの会話文ではその国の食文化にも触れているので色を通して日本と世界の国々の違いを楽しみましょう。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎回の授業では予習が必須です。事前に辞書などを使って予習をしてきてください。

[授業計画]
1. 授業オリエンテーション＋Unit1 Canada Natural Beauty Abounds 自然に恵まれた調和の文化とは！
2. Unit1
3. Unit2 Thailand Where Culture and Fragrance Harmonize　香りにこだわる文化とは！
4. Unit3 Germany Leaders in Protecting Our Environmentボールを愛する環境先進国ドイツとは！
5.　Unit4 Turkey Finish Up Your Coffeeコーヒーとお茶がつなぐ人情文化とは！
6. Unit5 Russia Home to the Coldest Place Inhabited by Humans　極寒に生きる文化とは！
7. Unit6 Israel A Land of Tradition and Technology 伝統と文化が融合する文化とは！
8. Unit7 South Africa the County with 11 Different Names　アフリカ最南端の親睦文化とは！
9. Unit12 South Korea: The Crossroads of Food, Culture, and Tradition 食で深まるきずな文化とは!
10.　Unit8 The United States: A Nation on the Road 自動車大国、アメリカとは!
11.　Unit10 Bangladesh: Where Chaos and Peace Coexist バングラディシュの混沌とのどかさとは!
12.　まとめ
13. 確認テスト

P10000780D [CH2-002]　　[1看B]*後期火2

科目名	英語Ⅱ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	金田　直子			

[成績評価方法]
授業内での発表（30%）、小テスト（50%）、確認テスト（学期末）（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：毎週の小テスト、確認テスト（学期末）を通して学習内容のさらなる理解と確認をおこなう

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業内での発表(ペアワークやグループワーク含む)を通して自他の意見をまとめ互いの意見を理解しあう

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業内での発表(ペアワークやグループワーク含む)通して外国諸国の文化や言語に触れる

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：確認テスト（学期末）（20%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：小テストや確認テストを通して授業の内容を論理的に理解し、自分の言葉で簡潔にまとめる

[教科書（ISBN）]
Guess What?!-Intercultural Surprises-世界の衝撃アイテムから学ぶ15の国の文化と人々　著者名：Akiko Tsuda, Chris Valvona, Masayo Obe.　出版社：南雲堂 （978-4-523-17930-6　C0082 ）

[参考書（ISBN）]

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	R. バンデン			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement of practical English skills
実践的英語運用能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on communicating in socially and culturally sensitive ways that are relevant in the English speaking world.
このコースは、生徒がこれまでの英語学習で行ってきたことを定着させ、発展させることを目的としている。英語圏で通用する、社会的・文化的に配慮したコミュニケーションに重点を置く。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Review the previous lesson, and understand the course materials well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introduction
2. Power English Intermediate 1 + English Culture
3. Power English Intermediate 1 + English Culture
4. Power English Intermediate 2 + English Culture
5. Power English Intermediate 2 + English Culture
6. Power English Intermediate 3 + English Culture
7. mid-term review + exam
8. Power English Intermediate 3 + English Culture
9. Power English Intermediate 4 + English Culture
10. Power English Intermediate 4 + English Culture
11. Power English Intermediate 5 + English Culture
12. Power English Intermediate 5 + English Culture
13. final review + exam

P10000850 [CH3-001] [3福栄A]*前期火5

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	R. バンデン			

[成績評価方法]
中間試験 45%　最終試験 45%　参加 10%
Mid-term exam 45%　　Final exam 45%　　Participation 10%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Answers and explanations on each unit will be given in class,
with notes posted to Manaba afterwards if necessary.
各単元の解答と解説は、授業で行い、
その後、必要に応じてマナバにノートを掲示します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Polling self-reflection by students

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Monitoring participation and attendance

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Polls

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Monitor student-to-student discussions

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Embedded in the test questions

[教科書(ISBN)]
Power English　著者名:Power English editorial team　出版社:大学教育出版(Daigaku Kyoiku Shuppan)
https://www.kyoiku.co.jp/　(Not given yet)

[参考書(ISBN)]

P10000850 [CH3-001]　　[3福栄A]*前期火5

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	M. チョル力			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement of practical English skills
実践的英語運用能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Students will be expected to do assignments from the previous class.
前回の授業で与えられた課題等を必ず仕上げて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]
1. Introduction – Lesson 1: Speaking about yourself
2. Classroom activities – Lesson 2: What do you do?
3. Classroom activities – Lesson 3: What does he look like?
4. Classroom activities – Lesson 4: Where are you from?
5. Classroom activities – Lesson 5: Likes and Dislikes
6. Classroom activities – Lesson 6: What's she like?
7. Mid-term assessment
8. Classroom activities – Lesson 7: Tell Me About Your Family
9. Classroom activities – Lesson 8: Communication
10. Classroom activities – Lesson 9: How Are You Feeling?
11. Classroom activities – Lesson 10: Memories
12. Classroom activities – Lesson 11: Talking About Health
13. Final assessment

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	M. チョル力			

[成績評価方法]
Active participation 積極的授業参加: 40%
Mid-term assessment 中間テスト: 30%
Final assessment 期末テスト: 30%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Answers and explanations for the assignments will be given during each class. Feedback for the mid-term assessment will be given during class, following the assessment.
課題の回答・解説は、授業内で行う。中間テストに対するフィードバックは、テストの次の授業内で行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:積極的授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:積極的授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:積極的授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:中間テスト、期末テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:中間テスト、期末テスト

[教科書(ISBN)]
Speaking of People 著者名:Peter Vincent, Naoko Nakazato, and Alan Meadows 出版社:南雲堂
(9.7845231791e+12)

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	R. バンデン			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement of practical English skills
実践的英語運用能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on communicating in socially and culturally sensitive ways that are relevant in the English speaking world.
このコースは、生徒がこれまでの英語学習で行ってきたことを定着させ、発展させることを目的としている。英語圏で通用する、社会的・文化的に配慮したコミュニケーションに重点を置く。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Review the previous lesson, and understand the course materials well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introduction
2. Power English Intermediate 1 + English Culture
3. Power English Intermediate 1 + English Culture
4. Power English Intermediate 2 + English Culture
5. Power English Intermediate 2 + English Culture
6. Power English Intermediate 3 + English Culture
7. mid-term review + exam
8. Power English Intermediate 3 + English Culture
9. Power English Intermediate 4 + English Culture
10. Power English Intermediate 4 + English Culture
11. Power English Intermediate 5 + English Culture
12. Power English Intermediate 5 + English Culture
13. final review + exam

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	R. バンデン			

[成績評価方法]
中間試験 45%　最終試験 45%　参加 10%
Mid-term exam 45%　　Final exam 45%　　Participation 10%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Answers and explanations on each unit will be given in class,
with notes posted to Manaba afterwards if necessary.
各単元の解答と解説は、授業で行い、
その後、必要に応じてマナバにノートを掲示します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Polling self-reflection by students

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Monitoring participation and attendance

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Polls

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Monitor student-to-student discussions

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Embedded in the test questions

[教科書(ISBN)]
Power English　著者名:Power English editorial team　出版社:大学教育出版(Daigaku Kyoiku Shuppan)
https://www.kyoiku.co.jp/ (Not given yet)

[参考書(ISBN)]

P10000850B [CH3-001]　　[1看A]*前期火3

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	深井　美智子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement of practical English skills
実践的英語運用能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Students will be expected to do assignments from the previous class.
前回の授業で与えられた課題等を必ず仕上げて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]

1. Introduction
2. conversation skills(1): opening
3. conversation skills(2): exchanges
4. conversation skills(3): politeness
5. speech skills(1): choosing topics
6. speech skills(2): organization
7. speech skills(3): students' speeches
8. Mid-term review
9. presentation skills(1): choosing topics
10. presentation skills(2): organization
11. presentation skills(3): material preparation
12. presentation skills(4): physical message
13. Overall review

P10000850C [CH3-001]　　[1看B]*前期火3

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	深井　美智子			

[成績評価方法]
Active participation40%, Presentation 30%, Final assessment(Test) 30%
授業参加度（発言等） 40%、口頭発表 30%、小テスト 30%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
テストは実施後返却し、各自が自分の答案を見直す機会を設ける。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度・テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:授業態度・テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度・テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業態度・テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業態度・テスト

[教科書（ISBN）]
English In Tune　著者名:Robert Hickling他　出版社:センゲージラーニング （978-4-86312-393-9）

[参考書（ISBN）]

P10000850C [CH3-001]　　[1看B]*前期火3

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	演習	1 単位
サブタイトル	Discussing global issues in English			
担当者	守家　輝			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement of practical English skills.
実践的英語運用能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Students will be expected to do assignments from the previous class.
前回の授業で与えられた課題等を必ず仕上げて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]
1. Introduction
2. classroom activities (based on textbook chapter 1)
3. classroom activities (presentation/textbook chapter 2)
4. classroom activities (presentation/ textbook chapter 3)
5. classroom activities (presentation/ textbook chapter 4)
6. classroom activities (presentation/ textbook chapter 5)
7. classroom activities (presentation/ textbook chapter 6)
8. classroom activities (presentation/ textbook chapter 7)
9. classroom activities (presentation/ textbook chapter 8)
10. classroom activities (presentation/ textbook chapter 9)
11. classroom activities (presentation/ textbook chapter 10)
12. classroom activities (presentation/ textbook chapter 11)
13. classroom activities (presentation/ textbook chapter 12)
14. classroom activities (presentation/ textbook chapter 13-14)
15. Overall review

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	演習	1 単位
サブタイトル	Discussing global issues in English			
担当者	守家　輝			

[成績評価方法]
授業内アクティビティ（プレゼンテーション等）60%
期末レポート 40% （ manabaまたは直接メールで提出、詳細はmanabaでご確認ください）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
発表については、授業内で講評を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(英作文)、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(プレゼンテーション等)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(プレゼンテーション等)、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内課題(プレゼンテーション等)、期末レポート

[教科書（ISBN）]
CLIL 英語で学ぶ国際問題[改訂版]　著者名:笹島 茂 著/ 池田 真 著/ 山崎 勝 著/ 千田 享 著/ 藤澤さとみ 著/ 福島純子 著/ 仲谷 都 著/ 油木田美由紀 著　出版社:三修社 （978-4-384-33513-2 C1082 ）

[参考書（ISBN）]

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	R. バンデン			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement for practical daily usage of English
日常生活をこなせる英語コミュニケーション能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on communicating in socially and culturally sensitive ways that are relevant in the English speaking world.
このコースは、生徒がこれまでの英語学習で行ってきたことを定着させ、発展させることを目的としている。英語圏で通用する、社会的・文化的に配慮したコミュニケーションに重点を置く。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Review the previous lesson, and understand the course materials well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introduction
2. Power English Intermediate 6 + English Culture
3. Power English Intermediate 6 + English Culture
4. Power English Intermediate 7 + English Culture
5. Power English Intermediate 7 + English Culture
6. Power English Intermediate 8 + English Culture
7. mid-term review + exam
8. Power English Intermediate 8 + English Culture
9. Power English Intermediate 9 + English Culture
10. Power English Intermediate 9 + English Culture
11. Power English Intermediate 9 + English Culture
12. Power English Intermediate 10 + English Culture
13. final review + exam

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	R. バンデン			

[成績評価方法]
中間試験 45%　最終試験 45%　参加 10%
Mid-term exam 45%　　Final exam 45%　　Participation 10%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Answers and explanations on each unit will be given in class,
with notes posted to Manaba afterwards if necessary.
各単元の解答と解説は、授業で行い、
その後、必要に応じてマナバにノートを掲示します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Polling self-reflection by students

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Monitoring participation and attendance

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Polls

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Monitor student-to-student discussions

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Embedded in the test questions

[教科書(ISBN)]
Power English　著者名:Power English editorial team　出版社:大学教育出版(Daigaku Kyoiku Shuppan)
https://www.kyoiku.co.jp/　(Not given yet)

[参考書(ISBN)]

P10000860A [CH3-002]　　[3福栄A]*後期火5

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	R. バンデン			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement for practical daily usage of English
日常生活をこなせる英語コミュニケーション能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on communicating in socially and culturally sensitive ways that are relevant in the English speaking world.
このコースは、生徒がこれまでの英語学習で行ってきたことを定着させ、発展させることを目的としている。英語圏で通用する、社会的・文化的に配慮したコミュニケーションに重点を置く。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Review the previous lesson, and understand the course materials well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introduction
2. Power English Intermediate 6 + English Culture
3. Power English Intermediate 6 + English Culture
4. Power English Intermediate 7 + English Culture
5. Power English Intermediate 7 + English Culture
6. Power English Intermediate 8 + English Culture
7. mid-term review + exam
8. Power English Intermediate 8 + English Culture
9. Power English Intermediate 9 + English Culture
10. Power English Intermediate 9 + English Culture
11. Power English Intermediate 9 + English Culture
12. Power English Intermediate 10 + English Culture
13. final review + exam

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	R. バンデン			

[成績評価方法]
中間試験 45%　最終試験 45%　参加 10%
Mid-term exam 45%　　Final exam 45%　　Participation 10%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Answers and explanations on each unit will be given in class,
with notes posted to Manaba afterwards if necessary.
各単元の解答と解説は、授業で行い、
その後、必要に応じてマナバにノートを掲示します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Polling self-reflection by students

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Monitoring participation and attendance

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Polls

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Monitor student-to-student discussions

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Embedded in the test questions

[教科書(ISBN)]
Power English　著者名:Power English editorial team　出版社:大学教育出版(Daigaku Kyoiku Shuppan)
https://www.kyoiku.co.jp/　(Not given yet)

[参考書(ISBN)]

P10000860B [CH3-002]　　[1看A]*後期火3

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	深井　美智子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement for practical daily usage of English
日常生活をこなせる英語コミュニケーション能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
前回の授業内で指定された箇所(練習問題や作文)、または与えられた課題を必ず仕上げてきて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]
1. Introduction
2. background(1): register/style/genre
3. background(2): register/style/genre(continued)
4. background(3): politeness
5. advanced speech skills(1): persuasive speeches
6. advanced speech skills(2): longer speeches
7. advanced speech skills(3): students' speeches
8. Mid-term review
9. advanced presentation skills(1): longer, more detailed presentations
10. advanced presentation skills(2): questions and answers
11. advanced presentation skills(3): students' presentations
12. discussion skills(1): basics of argument
13. Overall review

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	深井　美智子			

[成績評価方法]
Active participation40%, Presentation 30%, Final assessment(Test) 30%
授業参加度（発言等） 40%、口頭発表 30%、小テスト 30%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
テストは実施後返却し、各自が自分の答案を見直す機会を設ける。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度・テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:授業態度・テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度・テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業態度・テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業態度・テスト

[教科書（ISBN）]
English In Tune
　著者名:Robert Hickling他
　出版社:センゲージラーニング （978-4-86312-393-9
）

[参考書（ISBN）]

科目名	基礎Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅠ			
担当者	阿部　まゆみ			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
「大学生としての学び」「キャリアマインド」の素地をつくる
1.　自立した大学生活の基本的なリズムをつくる
2. 自分の良さを知り、自信が持てるようになる
3.　4年間で頑張りたいと思うことを明確にする
4. 大学を卒業し、就職するには、日々の基礎力鍛錬が重要であることを認識し実践する

[授業概要]
充実した大学生活を送るために、4年間で何をどのように学ぶのかを考え、行動するきっかけを作るための授業です。キャリアコンサルタントの国家資格を持つ教員が、キャリア理論に基づいた講義を行い、ワークやグループディスカッションの指導を行います。これまでの自分を見つめ直して将来像を描き、そのためにどのように大学生活を過ごせばよいのかを、考え行動する支援をします。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
次回授業については、提示された資料などをよく読み、十分な予習をして臨むこと。また課題が授業内容の復習となるので、熟慮して取り組み、期限を守って提出すること。
各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
1. イントロダクション　　神戸女子大学での学び
2. 行吉学園・神戸女子大学の歴史を学ぶ
　　行吉学園理事長を迎えて
3. 自己理解(1)　　大学生の自分について考える　時間の管理
4. 自己理解(2)　　これまでの、これからの自分について考える
5. 自己理解(3)　　学生としての力
6. 自己理解(4)　　社会人基礎力
7. 新聞から生活・社会を読み解く
　　新聞記者を迎えて(学外特別講師)
8. コミュニケーショントレーニング(1)
　　合意形成・コンセンサス
9. コミュニケーショントレーニング(2)
　　アサーティブコミュニケーション
10. 活躍する先輩に学ぶ　　学科卒業生が語る「私の神女時代」
11.　アセスメント検査解説　　問題解決力を身に着ける
12. 行動計画の立案　　大学生活のプランを立てる
13. ふりかえりとまとめ

＊授業計画の内容と順序は、進度や都合によって変更したり入れ替えたりすることがあります。

P10020010 [CI1-001]　　[1健]*前期火4

科目名	基礎 I	前期	講義	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリア I			
担当者	阿部　まゆみ			

[成績評価方法]
授業中に行う個人・グループワークの提出物、小テスト、レスポン(30%)、
毎授業後の課題(40%)、まとめの課題(30%)
Google、manabaで提出

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
提出物は個別に採点し、必要に応じてフィードバックを行う

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:提出課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:小テスト、レスポン

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:グループワークの態度、提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:グループワークの態度、提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:提出課題

[教科書(ISBN)]
「MY LIFE MY CAREER」
著作・発行　神戸女子大学全学共通教育部

[参考書(ISBN)]

P10020010 [CI1-001]　　[1健]*前期火4

科目名	基礎Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅠ			
担当者	東　ますみ、中岡　亜希子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
「大学生としての学び」「キャリアマインド」の素地をつくる
1. 自立した大学生活の基本的なリズムをつくる。
2. 自分の良さを知り、自信が持てるようになる。
3. 4年間で頑張りたいと思うことを明確にする。
4. 大学を卒業し、就職するには、日々の基礎力鍛錬が重要であることを認識し実践する。

[授業概要]
充実した大学生活を送るために、4年間で何をどのように学ぶのかを考え、行動するきっかけを作るための授業です。「自分」を見つめ直し、将来なりたい自分を描き、そのためにどのように大学生活を過ごしたらよいのかを自分で考え、歩み出すあなたを応援します。
大学生としての学び、キャリアマインドの素地をつくるために、看護学部の教育理念と教育目標を理解し、4年間で何をどのように学ぶかをイメージする。またその時に必要とされる基本的な学習方法や態度を学び、学生生活を具体的にデザインする。さらに看護職が活躍している様々な場や看護職の役割を知って、自分自身の将来像を描き、目標を立てる。様々な立場の講師を招き、大学での学び、マナー、情報収集の方法、レポートの書き方等を学び、さらに将来像である看護職としての理解を深めていく。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
授業ごとに与えられる課題に関する資料等をよく読み、授業内容を復習しておくこと。次回授業の課題について1週間の間に充分に考え、自分なりの考えをまとめて授業に臨むこと。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1. イントロダクション「看護学部の教育理念と教育目標、4年間の学び」、未来を描く「大学生活をデザインする」(東ますみ)(4月11日月曜日)3限
2. 大学生活の過ごし方(1)「大学の授業とノート・テイキング」(中岡亜希子) (4月18日月曜日)3限
3. 情報収集の基礎(中岡亜希子) (4月25日月曜日)3限
4. 図書館の利用方法(中岡亜希子)(5月9日月曜日)3限
5. 成長する学生生活(1)「クリティカル・リーディング(1)」(中岡亜希子)(5月16日月曜日)3限
6. 行吉学園・神戸女子大学の歴史を学ぶ「行吉学園理事長をむかえて」(行吉宜孝・東ますみ)(5月23日月曜日)3限
7. 大学生活の過ごし方(2)「学生生活と健康管理」(東ますみ)(5月30日月曜日)3限
8. 成長する学生生活(2)「クリティカル・リーディング(2)」(中岡亜希子)(6月6日月曜日)3限
9. 大学生活で磨く社会人基礎力(1)「レポートの書き方(1)」(東ますみ)(6月13日月曜日)3限
10. 大学生活で磨く社会人基礎力(2)「レポートの書き方(2)」(東ますみ)(6月20日月曜日)3限
11. 大学生活の過ごし方(3)「大学生としてのマナー」(学外特別講師)(6月27日月曜日)3限
12. 今の自分を知る「自分の将来像を描く」(ベネッセ・中岡亜希子)(7月4日月曜日)3限
13. 活躍する先輩に学ぶ(学外特別講師) (7月11日月曜日)3限

＊授業計画の内容・順序は、進度・講師などの都合によって入替・変更することがあります。

教室　F304

P10020010A [CI1-001]　　[1看]*前期月3

科目名	基礎Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅠ			
担当者	東　ますみ、中岡　亜希子			

[成績評価方法]

レポート(70%)、学習態度(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
レポートは、manab等で全体に対して講評する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題、授業への取り組み態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題、授業への取り組み態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題、授業への取り組み態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題、授業への取り組み態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:レポート課題、授業への取り組み態度

[教科書(ISBN)]
アカデミック・スキルズ　大学生のための知的技法入門　第3版　著者名:佐藤望他編著　出版社:慶應義塾大学出版会　(978-4-7664-2656-4)

[参考書(ISBN)]

P10020010A [CI1-001]　　[1看]*前期月3

科目名	基礎Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅠ			
担当者	阿部　まゆみ			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
「大学生としての学び」「キャリアマインド」の素地をつくる
1. 自立した大学生活の基本的なリズムをつくる
2. 自分の良さを知り、自信が持てるようになる
3. 4年間で頑張りたいと思うことを明確にする
4. 大学を卒業し、就職するには、日々の基礎力鍛錬が重要であることを認識し実践する

[授業概要]
充実した大学生活を送るために、4年間で何をどのように学ぶのかを考え、行動するきっかけを作るための授業です。キャリアコンサルタントの国家資格を持つ教員が、キャリア理論に基づいた講義を行い、ワークやグループディスカッションの指導を行います。これまでの自分を見つめ直して将来像を描き、そのためにどのように大学生活を過ごせばよいのかを、考え行動する支援をします。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
次回授業については、提示された資料などをよく読み、十分な予習をして臨むこと。また課題が授業内容の復習となるので、熟慮して取り組み、期限を守って提出すること。
各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
1. イントロダクション　　神戸女子大学での学び
2. 行吉学園・神戸女子大学の歴史を学ぶ
　　行吉学園理事長を迎えて
3. 自己理解(1)　　大学生の自分について考える　時間の管理
4. 自己理解(2)　　これまでの、これからの自分について考える
5. 自己理解(3)　　学生としての力
6. 自己理解(4)　　社会人基礎力
7. 社会を読み解く(1)　(学外特別講師)
8. コミュニケーショントレーニング(1)
　　合意形成・コンセンサス
9. コミュニケーショントレーニング(2)
　　アサーティブコミュニケーション
10. 社会を読み解く(2)　(学外特別講師)
11. アセスメント検査解説　　問題解決力を身に着ける
12. 行動計画の立案　　大学生活のプランを立てる
13. ふりかえりとまとめ

＊授業計画の内容と順序は、進度や都合によって変更したり入れ替えたりすることがあります。

P10020010B [CI1-001]　　[1心]*前期火3

科目名	基礎 I	前期	講義	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリア I			
担当者	阿部　まゆみ			

[成績評価方法]
授業中に行う個人・グループワークの提出物、小テスト、レスポン(30%)、
毎授業後の課題(40%)、まとめの課題(30%)
Google、manabaで提出

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
提出物は個別に採点し、必要に応じてフィードバックを行う

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:提出課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:小テスト、レスポン

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:グループワークの態度、提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:グループワークの態度、提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:提出課題

[教科書(ISBN)]
「MY LIFE MY CAREER」
著作・発行　神戸女子大学全学共通教育部

[参考書(ISBN)]

P10020010B [CI1-001]　　[1心]*前期火3

科目名	基礎Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅡ			
担当者	阿部　まゆみ			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
1. 女性を取り巻く社会環境や、働くこと、仕事についての基礎的な知識を得る
2. 世の中の職業を理解し、自分の適性をイメージできる
3. なりたい自分のキャリア像を明確にし、実現するための行動計画を立てる
4. 自分のキャリアデザインを他者にわかりやすく伝えることができる

[授業概要]
卒業後の進路選択に備えて、「女性の働き方」について学び、考える授業です。キャリアコンサルタントの国家資格を持った教員が、キャリア理論に基づいた講義を行い、ワークやグループディスカッションの指導を行います。女性を取り巻く社会状況全般について学ぶことに加えて、身近な女性へのキャリアインタビューなども行い、自身の将来像をより具体的にイメージできるよう支援します。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
次回授業については、提示された資料などをよく読み、十分な予習をして臨むこと。また課題が授業内容の復習となるので、熟慮して取り組み、期限を守って提出すること。
各回、予習復習を合わせて4時間程度

[授業計画]
1.　イントロダクション　　ライフキャリアデザインとは何か
2.　女性のライフデザイン(1)　　社会との関わりと人生における役割
3.　女性のライフデザイン(2)　　働くとは仕事とは　様々な雇用形態と法律
4.　女性のライフデザイン(3)　　女性のライフコースと経済的自立
5.　就職にむけて(1)　　ウェブテストから自身の強みを知る
6.　就職にむけて(2)　　低学年時にやっておくべきこと
7.　シングルマザーの現状と問題　　支援者を迎えて(学外特別講師)
8.　女性の働く現場を知る　　企業の方を迎えて(学外特別講師)
9.　活躍する先輩に学ぶ　　内定を得た4年生に聞く就職活動
10.　コミュニケーショントレーニング　　ファシリテーション・プレゼンテーション
11.　自己表現と就職活動　　正しい文章表現と自己理解・社会理解
12.　女性のキャリアデザイン(1)　　キャリアインタビューの計画立案と準備
13.　女性のキャリアデザイン(2)　　キャリアインタビューの発表・共有　まとめ

※授業計画の内容と順序は、進度や都合によって変更したり入れ替えたりすることがあります。

科目名	基礎Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅡ			
担当者	阿部　まゆみ			

[成績評価方法]
授業中に行う個人・グループワークの提出物、小テスト、レスポン(30%)、
毎授業後の課題(40%)、まとめの課題(30%)
Google、manabaで提出

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
提出物は個別に採点し、必要に応じてフィードバックを行う

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:提出課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:グループワークの態度、提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業での発表態度
提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:提出課題

[教科書(ISBN)]
「MY LIFE MY CAREER」
著作・発行　神戸女子大学全学共通教育部

[参考書(ISBN)]

科目名	基礎Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅡ			
担当者	阿部　まゆみ			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
1. 女性を取り巻く社会環境や、働くこと、仕事についての基礎的な知識を得る
2. 世の中の職業を理解し、自分の適性をイメージできる
3. なりたい自分のキャリア像を明確にし、実現するための行動計画を立てる
4. 自分のキャリアデザインを他者にわかりやすく伝えることができる

[授業概要]
卒業後の進路選択に備えて、「女性の働き方」について学び、考える授業です。キャリアコンサルタントの国家資格を持った教員が、キャリア理論に基づいた講義を行い、ワークやグループディスカッションの指導を行います。女性を取り巻く社会状況全般について学ぶことに加えて、身近な女性へのキャリアインタビューなども行い、自身の将来像をより具体的にイメージできるよう支援します。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
次回授業については、提示された資料などをよく読み、十分な予習をして臨むこと。また課題が授業内容の復習となるので、熟慮して取り組み、期限を守って提出すること。
各回、予習復習を合わせて4時間程度

[授業計画]
1.　イントロダクション　　ライフキャリアデザインとは何か
2.　女性のライフデザイン（1）　　社会との関わりと人生における役割
3.　女性のライフデザイン（2）　　働くとは仕事とは　様々な雇用形態と法律
4.　女性のライフデザイン（3）　　女性のライフコースと経済的自立　次回準備
5.　メディア心理モデルを学ぶ（1）　（学外特別講師）
6. メディア心理モデルを学ぶ（2）　レポート発表と次回準備
7.　臨床心理モデルを学ぶ（1）　（学外特別講師）
8.　臨床心理モデルを学ぶ（2）　レポート発表と次回準備
9.　経営・消費者心理モデルを学ぶ（1）　（学外特別講師）
10. 経営・消費者心理モデルを学ぶ（2）　レポート発表と総括
11. 自己表現と就職活動　　正しい文章表現と自己理解・社会理解
12. 女性のキャリアデザイン（1）　　キャリアインタビューの計画立案と準備
13. 女性のキャリアデザイン（2）　　キャリアインタビューの発表・共有　まとめ

※授業計画の内容と順序は、進度や都合によって変更したり入れ替えたりすることがあります。

科目名	基礎Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅡ			
担当者	阿部　まゆみ			

[成績評価方法]
授業中に行う個人・グループワークの提出物、小テスト、レスポン(30%)、
毎授業後の課題(40%)、まとめの課題(30%)
Google、manabaで提出

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
提出物は個別に採点し、必要に応じてフィードバックを行う

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:提出課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:グループワークの態度、提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業での発表態度
提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:提出課題

[教科書(ISBN)]
「MY LIFE MY CAREER」
著作・発行　神戸女子大学全学共通教育部

[参考書(ISBN)]

科目名	基礎Ⅲ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅢ			
担当者	魚里　明子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
1.自己認識を深めることによって、どのような生き方、どのような働き方を目指すのか、そのために何をどのように学ぶべきなのかを考えることができる。
2.女性の特徴を理解することによって、社会に貢献する女性としての生き方を考え、自分のライフプランを考えることができる。
3.看護職として、どのような就業の場や活動の場があるのかを知り、将来の就職活動の基礎知識を得る。

[授業概要]
具体的な就職活動を念頭に置き、社会や仕事についての基本的知識を得ることによって、自らの人生設計、仕事観、ワークスタイル、働くことに関する自己意識を深め、各自の将来を考える。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
経済・政治・社会現象など世の中の流れに関心をもつこと。そして自分のやりたいことを重視し、かつ健康を考慮して、自分にとって「理想の人生」を具体的に考えてみる。各回、予習復習をあわせて4時間程度

[授業計画]
1. 科目概要説明・女性の生き方①:身近な人のライフヒストリーをきいて、様々な女性の生き方や価値観を知る(魚里)(4月8日金曜日)4限
2. 自己分析①:エゴグラムSHEを使って、自分の心や行動の特徴を知る(TA学校教育心の開発研究所　山本昭一所長)主担当(魚里)も同席(4月15日金曜日)4限
3. 自己分析②:エゴグラムSHEを使って、自分の心や行動の特徴を知る(TA学校教育心の開発研究所　山本昭一所長)主担当(魚里)も同席(4月15日金曜日)5限
4. 女性のライフプラン①:女性の身体のしくみと疾患、妊娠などの実態を知り、女性として大切にすることを考える(レディスクリニックハヤシ　林知恵子院長)主担当(魚里)も同席(4月21日木曜日)2限
5. 女性のライフプラン②:女性の身体のメカニズムからライフプランを考える(服部)(4月22日金曜日)4限
6. 女性のライフプラン③:グループディスカッション(魚里)(4月22日金曜日)5限
7. 女性の生き方②:身近な女性のライフヒストリーをきいて、様々な女性の生き方や価値観を知る(魚里)(5月13日金曜日)4限
8. 女性の生き方③:身近な女性のライフヒストリーから、様々な女性の生き方や価値観を考える(魚里)(5月20日金曜日)4限
9. 文書の書き方講座①:仕事をしていく上での必要な能力と獲得方法について学ぶ(学外特別講師を予定)主担当(魚里)も同席(5月27日金曜日)4限
10. 文書の書き方講座②:仕事をしていく上での必要な能力と獲得方法について学ぶ(学外特別講師を予定)主担当(魚里)も同席(6月3日金曜日)4限
11. 文書の書き方講座③:仕事をしていく上での必要な能力と獲得方法について学ぶ(学外特別講師を予定)主担当(魚里)も同席(6月10日金曜日)4限
12. 看護とはどんな仕事か:様々な看護職の活動状況を学ぶ(魚里)(6月17日金曜日)5限
13. マイキャリア・マイライフプラン:自分の将来を見据えて、マイキャリア・マイライフプランを考える(魚里)(6月24日金曜日)4限

P10020030 [CI1-003]　　[2看]*前期金4&一部金5

科目名	基礎Ⅲ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅢ			
担当者	魚里　明子			

[成績評価方法]
課題レポート(80点)、グループディスカッションにおける取り組み(20点)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・レポートは、後日添削して返却します。
・グループディスカッションにおける取り組みは、その都度助言します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題レポート、グループディスカッションにおける取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:課題レポート、グループディスカッションにおける取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:課題レポート、グループディスカッションにおける取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:課題レポート、グループディスカッションにおける取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題レポート、グループディスカッションにおける取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題レポート、グループディスカッションにおける取り組み

[教科書(ISBN)]
なし(プリント配布)

[参考書(ISBN)]

科目名	基礎Ⅲ	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	田和　真希			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
1. 自身と社会に対する理解を深め、生涯を通じたキャリア形成、ライフプランをより明確にする
2. 他者の視点を尊重しつつ、自分の考え方や意見を整理し、論理的に正しい日本語で伝えることができる
3. 就業の場や活動の場に関する情報に触れ、今後の就職活動に必要な知識を得る
4. 社会のできごとに対し、多角的・公正に理解・判断する際の礎となる時事力を高める

[授業概要]
グループワークや課題への取り組みを通して、自己理解を深め、社会・業界への理解・判断を高めていくと共に、自分はどのような生き方、どのような働き方を目指すのか、各々のキャリアプラン・ライフプランを一段と具体化、明確化していく。対話力・自己表現の力といった社会人基礎力を高めることで、社会人になる準備をする。時事問題の解説を聞き、世界の動きを知る。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
経済・政治・社会現象など世の中の流れに関心をもつこと。そして自分のやりたいことを見つめ直し、かつ健康を考慮して、自分にとって「理想の人生」を具体的に考えてみる。
各授業の提出課題をmanabaで期限内に提出すること。

[授業計画]
第1回　イントロダクション　ライフプランニングとは？キャリアプランとは？
第2回　自己理解(1)　　社会人基礎力 社会人基礎力診断
第3回　自己理解(2)
第4回　自己理解(3)
第5回　コミュニケーション(1)アサーティブコミュニケーション
第6回　コミュニケ―ション(2)正しい日本語
第7回　就活(1)WEBテストによる筆記試験対策
第8回　就活(2)WEBテストによる適性診断
第9回　就活(3)自分を知り社会を知ることからはじめよう
第10回　社会理解(1)　時事問題
第11回　社会理解(2)　時事問題
第12回　社会理解(3)　時事問題
第13回　ふりかえり

＊＊授業計画の形式・内容・順序は、社会状況・進度状況によって入替・変更することがあります。

科目名	基礎Ⅲ	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	田和　真希			

[成績評価方法]
提出課題 75%・最終レポート 25%により評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
提出課題の2回は評価をしてコメントを付けて返却する。(何度目の授業の提出課題かは未定)
まとめレポートは評価・コメントを付けて返却をする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:グループワーク、提出課題、まとめレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:グループワーク、提出課題、まとめレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:グループワーク、提出課題、まとめレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:グループワーク、提出課題、まとめレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:グループワーク、提出課題、まとめレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:グループワーク、提出課題、まとめレポート

[教科書(ISBN)]
なし(manabaで資料を公開する)

[参考書(ISBN)]

科目名	基礎トレーニング	前期	実技	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法			
担当者	野之上　操			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
　個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。

[授業概要]
　個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
　日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]

1. オリエンテーション（施設・設備の使い方等）
2. ストレッチングの意義とその効果について
3. 各部位のストレッチング方法を習得する
4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について／体力テスト
5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて／体力テスト
6. 各種のトレーニング方法の特徴について／体力テスト
7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得／体力テスト
8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり①
9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり②
10. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり①
11. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり②
12. 基礎体力づくり
13. まとめ

P10001410 [CI1-007]　　[1福AB]*前期火1

科目名	基礎トレーニング	前期	実技	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法			
担当者	野之上　操			

[成績評価方法]
実技（50%）、受講態度・課題レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、後日添削して返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：実技

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：受講態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

P10001410 [CI1-007]　　[1福AB]*前期火1

科目名	基礎トレーニング	前期	実技	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法			
担当者	野之上　操			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。

[授業概要]
個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]

1. オリエンテーション（施設・設備の使い方等）
2. ストレッチングの意義とその効果について
3. 各部位のストレッチング方法を習得する
4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について／体力テスト
5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて／体力テスト
6. 各種のトレーニング方法の特徴について／体力テスト
7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得／体力テスト
8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり①
9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり②
10. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり①
11. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり②
12. 基礎体力づくり
13. まとめ

科目名	基礎トレーニング	前期	実技	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法			
担当者	野之上　操			

[成績評価方法]
実技（50%）、受講態度・課題レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、後日添削して返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：実技

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：受講態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	基礎トレーニング	前期	実技	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法			
担当者	重福　京子			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。

[授業概要]
個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]

1. オリエンテーション（施設・設備の使い方等）
2. ストレッチングの意義とその効果について
3. 各部位のストレッチング方法を習得する
4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について／体力テスト
5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて／体力テスト
6. 各種のトレーニング方法の特徴について／体力テスト
7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得／体力テスト
8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり①
9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり②
10. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり①
11. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり②
12. 基礎体力づくり
13. まとめ

P10001410B [CI1-007]　　[1栄A]*前期水1

科目名	基礎トレーニング	前期	実技	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法			
担当者	重福　京子			

[成績評価方法]
実技（50%）、受講態度・課題レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、後日添削して返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：実技

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：受講態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	基礎トレーニング	前期	実技	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法			
担当者	重福　京子			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。

[授業概要]
個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]

1. オリエンテーション（施設・設備の使い方等）
2. ストレッチングの意義とその効果について
3. 各部位のストレッチング方法を習得する
4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について／体力テスト
5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて／体力テスト
6. 各種のトレーニング方法の特徴について／体力テスト
7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得／体力テスト
8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり①
9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり②
10. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり①
11. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり②
12. 基礎体力づくり
13. まとめ

P10001410C [CI1-007]　　[1栄B]*前期月3

科目名	基礎トレーニング	前期	実技	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法			
担当者	重福　京子			

[成績評価方法]
実技（50%）、受講態度・課題レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、後日添削して返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：実技

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：受講態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	基礎トレーニング	前期	実技	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法			
担当者	小島　理永			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。

[授業概要]
個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]

1. オリエンテーション（施設・設備の使い方等）
2. ストレッチングの意義とその効果について
3. 各部位のストレッチング方法を習得する
4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について／体力テスト
5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて／体力テスト
6. 各種のトレーニング方法の特徴について／体力テスト
7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得／体力テスト
8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり①
9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり②
10. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり①
11. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり②
12. 基礎体力づくり
13. まとめ

科目名	基礎トレーニング	前期	実技	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法			
担当者	小島　理永			

[成績評価方法]
実技（50%）、受講態度・課題レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポート等は後日または授業内で返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：実技

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：受講態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	基礎トレーニング	前期	実技	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法			
担当者	重福　京子			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。

[授業概要]
個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]

1. オリエンテーション（施設・設備の使い方等）
2. ストレッチングの意義とその効果について
3. 各部位のストレッチング方法を習得する
4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について／体力テスト
5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて／体力テスト
6. 各種のトレーニング方法の特徴について／体力テスト
7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得／体力テスト
8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり①
9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり②
10. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり①
11. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり②
12. 基礎体力づくり
13. まとめ

P10001410E [CI1-007]　　[1看B]*前期水2

科目名	基礎トレーニング	前期	実技	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法			
担当者	重福　京子			

[成績評価方法]
実技（50%）、受講態度・課題レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、後日添削して返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：実技

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：受講態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	基礎トレーニング	前期	実技	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法			
担当者	重福　京子			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。

[授業概要]
個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]

1. オリエンテーション（施設・設備の使い方等）
2. ストレッチングの意義とその効果について
3. 各部位のストレッチング方法を習得する
4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について／体力テスト
5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて／体力テスト
6. 各種のトレーニング方法の特徴について／体力テスト
7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得／体力テスト
8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり①
9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり②
10. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり①
11. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり②
12. 基礎体力づくり
13. まとめ

科目名	基礎トレーニング	前期	実技	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法			
担当者	重福　京子			

[成績評価方法]
実技（50%）、受講態度・課題レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、後日添削して返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：実技

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：受講態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	基礎トレーニング	前期	実技	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法			
担当者	野之上　操			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。

[授業概要]
個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]

1. オリエンテーション（施設・設備の使い方等）
2. ストレッチングの意義とその効果について
3. 各部位のストレッチング方法を習得する
4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について／体力テスト
5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて／体力テスト
6. 各種のトレーニング方法の特徴について／体力テスト
7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得／体力テスト
8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり①
9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり②
10. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり①
11. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり②
12. 基礎体力づくり
13. まとめ

科目名	基礎トレーニング	前期	実技	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法			
担当者	野之上　操			

[成績評価方法]
実技（50%）、受講態度・課題レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、後日添削して返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：実技

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：受講態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	教養英語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	井上　優大			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
To be able to understand short esseys written in English

[授業概要]
The aim of this course is to give students primary skills for reading texts written in English.
In addition to acquiring skills for reading English, students are expected to learn how to communicate with people with various cultural backgrounds through reading essays on global topics.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Review the previous lesson and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Hitchhiking Around the World
2. Olympic Spirit!
3. The Power of Greetings
4. Where's My Hotel?
5. Our Global Connections
6. Welcome Home!
7. The Secret of Life
8. Is This Seat Taken?
9. Exploring World Religions
10. Let's Study Abroad!
11. What's the Most Difficult Language?
12. A Crowded Planet!
13. Vocabulary Roadblocks

P10010000 [CH1-009]　　[1福AB]*前期火2

科目名	教養英語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	井上　優大			

[成績評価方法]
積極的な授業参加 (40%)、課題提出 (30%)、授業中課題 (30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題の形式に応じて、授業内やmanaba上で適宜フィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:積極的な授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:積極的な授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:積極的な授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:積極的な授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:積極的な授業参加

[教科書(ISBN)]
Off to the World! Adventures in Language and Life
　著者名:Kip A. Cates
栗原典子□出版社:金星堂□978-4-7647-3981-9)

[参考書(ISBN)]

P10010000 [CH1-009]　　[1福AB]*前期火2

科目名	教養英語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	井上　優大			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
To be able to understand short esseys written in English

[授業概要]
The aim of this course is to give students primary skills for reading texts written in English.
In addition to acquiring skills for reading English, students are expected to learn how to communicate with people with various cultural backgrounds through reading essays on global topics.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Review the previous lesson and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Hitchhiking Around the World
2. Olympic Spirit!
3. The Power of Greetings
4. Where's My Hotel?
5. Our Global Connections
6. Welcome Home!
7. The Secret of Life
8. Is This Seat Taken?
9. Exploring World Religions
10. Let's Study Abroad!
11. What's the Most Difficult Language?
12. A Crowded Planet!
13. Vocabulary Roadblocks

P10010000A [CH1-009]　　[1栄A]*前期水4

科目名	教養英語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	井上　優大			

[成績評価方法]
積極的な授業参加 (40%)、課題提出 (30%)、授業中課題 (30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題の形式に応じて、授業内やmanaba上で適宜フィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:積極的な授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:積極的な授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:積極的な授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:積極的な授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:積極的な授業参加

[教科書(ISBN)]
Off to the World! Adventures in Language and Life
　著者名:Kip A. Cates
栗原典子□出版社:金星堂□978-4-7647-3981-9)

[参考書(ISBN)]

P10010000A [CH1-009]　　[1栄A]*前期水4

科目名	教養英語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	井上　優大			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
To be able to understand short esseys written in English

[授業概要]
The aim of this course is to give students primary skills for reading texts written in English.
In addition to acquiring skills for reading English, students are expected to learn how to communicate with people with various cultural backgrounds through reading essays on global topics.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Review the previous lesson and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Hitchhiking Around the World
2. Olympic Spirit!
3. The Power of Greetings
4. Where's My Hotel?
5. Our Global Connections
6. Welcome Home!
7. The Secret of Life
8. Is This Seat Taken?
9. Exploring World Religions
10. Let's Study Abroad!
11. What's the Most Difficult Language?
12. A Crowded Planet!
13. Vocabulary Roadblocks

科目名	教養英語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	井上　優大			

[成績評価方法]
積極的な授業参加 (40%)、課題提出 (30%)、授業中課題 (30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題の形式に応じて、授業内やmanaba上で適宜フィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:積極的な授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:積極的な授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:積極的な授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:積極的な授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:積極的な授業参加

[教科書(ISBN)]
Off to the World! Adventures in Language and Life
　著者名:Kip A. Cates
栗原典子□出版社:金星堂□978-4-7647-3981-9)

[参考書(ISBN)]

P10010000B [CH1-009]　　[1福C栄B]*前期水2

科目名	教養英語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	Learning about culture and lifestyle in English			
担当者	M. チョル力			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
The purpose of this course is to help students develop their ability to understand information and express personal opinions about culture and lifestyle in English.

[授業概要]
This course offers a double approach towards English language practice. First, the course offers the opportunity to learn about a variety of different topics related to culture, entertainment, sports, healthy lifestyle, etc. Second, the class activities are designed to help students develop the four basic English language skills (Listening, Reading, Speaking, Writing) and to encourage them to formulate personal opinions after analyzing the information they have access to. The learning strategies presented in this course can also be used for English language exams such as TOEIC.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
The students should review the information learned each week and complete the assignments for each lesson, as advised in class.

[授業計画]
1. Introduction – Lesson 1: Drama (1)
2. Classroom activities – Lesson 1: Drama (2)
3. Classroom activities – Lesson 2: Literature (1)
4. Classroom activities – Lesson 2: Literature (2)
5. Classroom activities – Lesson 3: Films (1)
6. Classroom activities – Lesson 3: Films (2)
7. Classroom activities – Lesson 4: Music (1)
8. Classroom activities – Lesson 4: Music (2)
9. Classroom activities – Lesson 5: Sports (1)
10. Classroom activities – Lesson 5: Sports (2)
11. Classroom activities – Lesson 6: Food and Health (1)
12. Classroom activities – Lesson 6: Food and Health (2)
13. Final assessment

P10010000C [CH1-009] [1看]*前期火1

科目名	教養英語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	Learning about culture and lifestyle in English			
担当者	M. チョル力			

[成績評価方法]
General performance (active participation, assignments): 40%
Review tests: 30%
Final assessment: 30%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Answers and explanations for the tests and feedback for the assignments will be given during class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:積極的授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:積極的授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:積極的授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:小テスト、期末テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題、期末テスト

[教科書(ISBN)]
Let's Learn English through Various Subjects: From Culture to SDGs
著者名:Ito et al. 出版社:大学教育出版 (978-4-86692-203-4)

[参考書(ISBN)]

P10010000C [CH1-009] [1看]*前期火1

科目名	教養英語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	佐藤　晶子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
To understand the primary contents of history, society, and culture in countries and regions where people speak and use English.

[授業概要]
Work on 13 categories of VOA News. Understand the outline of American culture at the end of a semester. Aim to acquire practical English ability by working on homework and group activities following the textbook.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Participants will work on the assignments. Each participant will make a small presentation about the assigned theme.
□

[授業計画]
1. オリエンテーション。講義概要と授業方針の説明。
   Unit 1. Science and Technology: Truck Completes First Driverless
   Shipment: Beer
2. Unit 2. Gender:Flashback: The Fight for Women's Right to Vote
3. Unit 3. Education: You Do the Math
4. Unit 4. Environmental Protection: Oceans To Hold More Plastic Than Fish by 2050
5. Presentation, Unit 5. US Political History: George Washington: President, Man, Myth
6. Unit 6. Sports: Chicago Cubs Win World Series
7. Unit 7. Public Welfare: Program Helps Lift American Families Out of Poverty
8. Unit 8. Agriculture: Robot Can Help With Farm Work
9. Unit 9. Politics:2016 US Election is Hard for Civics Teachers
10. Presentation, Unit 10. Culture: Hold The Butter! Modern Diets Meet Holiday Traditions
11. Unit 11. Public Health and Social Security: One-Third of U.S.Counties Have More Deaths than Births
12. Unit 12. Racial and Ethnic Issue: Should Offensive Place Names Be Changed?
13.適正テスト:オンラインで受検(「受験」ではなく「受検」)

科目名	教養英語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	佐藤　晶子			

[成績評価方法]
課題提出 (40%)、積極的な授業参加 (60%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題の形式に応じて、授業内やmanaba上で適宜フィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:課題提出 (40%)、積極的な授業参加 (60%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:課題提出 (40%)、積極的な授業参加 (60%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:課題提出 (40%)、積極的な授業参加 (60%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:課題提出 (40%)、積極的な授業参加 (60%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題提出 (40%)、積極的な授業参加 (60%)

[教科書(ISBN)]
ボイス・オブ・アメリカ(VOA)ニュースで学ぶ英語　レベル2　著者名:杉田米行監修
佐藤晶子□出版社:大学教育出版□978-4-86429-451-5)

[参考書(ISBN)]

P10010000D [CH1-009]　　[1心]*前期金1

科目名	教養英語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	English for Japanese Learners			
担当者	井上　優大			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
To understand differences between Japanese and English by learning English mistakes that Japanese learners of English often make

[授業概要]
Japanese learners of English make some common mistakes due to the interference of Japanese. In this course we will learn what mistakes we usually make and why we make such mistakes, through which we will understand differences between Japanese and English.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Review the previous lesson and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Intruduction
2. Using Japanese English correctly 1
3. Using Japanese English correctly 2
4. Using Japanese English correctly 3
5. Common mistakes Japanese people make 1
6. Common mistakes Japanese people make 2
7. Common mistakes Japanese people make 3
8. Essential grammar points 1
9. Essential grammar points 2
10. Essential grammar points 3
11. How similar words are different 1
12. How similar words are different 2
13. How similar words are different 3

P10010010 [CH1-010]　　[1福]*後期火2

科目名	教養英語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	English for Japanese Learners			
担当者	井上　優大			

[成績評価方法]
積極的な授業参加（40%）、課題提出（30%）、授業中課題（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題の形式に応じて、授業内やmanaba上で適宜フィードバックを行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：積極的な授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：積極的な授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：積極的な授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：積極的な授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：積極的な授業参加

[教科書（ISBN）]
Odds & Ends
Essays on everyday conversation　著者名：James Tschudy
吉田　秀次　出版社：成美堂　(978-4-7919-4071-4)

[参考書（ISBN）]

P10010010 [CH1-010]　　[1福]*後期火2

科目名	教養英語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	English for Japanese Learners			
担当者	井上　優大			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
To understand differences between Japanese and English by learning English mistakes that Japanese learners of English often make

[授業概要]
Japanese learners of English make some common mistakes due to the interference of Japanese. In this course we will learn what mistakes we usually make and why we make such mistakes, through which we will understand differences between Japanese and English.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Review the previous lesson and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Intruduction
2. Using Japanese English correctly 1
3. Using Japanese English correctly 2
4. Using Japanese English correctly 3
5. Common mistakes Japanese people make 1
6. Common mistakes Japanese people make 2
7. Common mistakes Japanese people make 3
8. Essential grammar points 1
9. Essential grammar points 2
10. Essential grammar points 3
11. How similar words are different 1
12. How similar words are different 2
13. How similar words are different 3

科目名	教養英語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	English for Japanese Learners			
担当者	井上　優大			

[成績評価方法]
積極的な授業参加（40%）、課題提出（30%）、授業中課題（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題の形式に応じて、授業内やmanaba上で適宜フィードバックを行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：積極的な授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：積極的な授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：積極的な授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：積極的な授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：積極的な授業参加

[教科書（ISBN）]
Odds & Ends
Essays on everyday conversation　著者名：James Tschudy
吉田　秀次　出版社：成美堂　(978-4-7919-4071-4)

[参考書（ISBN）]

科目名	教養英語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	Learning about culture and lifestyle in English			
担当者	M. チョル力			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
The purpose of this course is to help students develop their ability to understand information and express personal opinions about culture and lifestyle in English.

[授業概要]
This course offers a double approach towards English language practice. First, the course offers the opportunity to learn about a variety of different topics related to culture, travel, SDGs, modern lifestyle, etc. Second, the classroom activities are designed to help students develop the four basic English language skills (Listening, Reading, Speaking, Writing) and to encourage them to formulate personal opinions after analyzing the information they have access to. The learning strategies presented in this course can also be used for English language exams such as TOEIC.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
The students should review the information learned each week and complete the assignments for each lesson, as advised in class.

[授業計画]
1. Introduction – Lesson 7: Travel (1)
2. Classroom activities – Lesson 7: Travel (2)
3. Classroom activities – Lesson 8: Customer service (1)
4. Classroom activities – Lesson 8: Customer service (2)
5. Classroom activities – Lesson 9: Environmental protection (1)
6. Classroom activities – Lesson 9: Environmental protection (2)
7. Classroom activities – Lesson 10: Gender inequality (1)
8. Classroom activities – Lesson 10: Gender inequality (2)
9. Classroom activities – Lesson 11: Poverty (1)
10. Classroom activities – Lesson 11: Poverty (2)
11. Classroom activities – Lesson 12: Peacebuilding (1)
12. Classroom activities – Lesson 12: Peacebuilding (2)
13. Final assessment

科目名	教養英語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	Learning about culture and lifestyle in English			
担当者	M. チョル力			

[成績評価方法]
General performance (active participation, assignments): 40%
Review tests: 30%
Final assessment: 30%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Answers and explanations for the tests and feedback for the assignments will be given during class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:積極的授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:積極的授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:積極的授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:小テスト、期末テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題、期末テスト

[教科書(ISBN)]
Let's Learn English through Various Subjects: From Culture to SDGs 著者名:Ito et al. 出版社:大学教育出版 (978-4-86692-203-4)

[参考書(ISBN)]

P10010010C [CH1-010] [1看]*後期火5

科目名	教養英語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	佐藤　晶子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
To understand the primary contents of history, society, and culture in countries and regions where people speak and use English.

[授業概要]
Work on 13 categories of VOA News. Understand the outline of American culture at the end of a semester. Aim to acquire practical English ability by working on homework and group activities following the textbook.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Participants will work on the assignments. Each participant will make a small presentation about the assigned theme.
□

[授業計画]
1. オリエンテーション。講義概要と授業方針の説明。
   Unit1. Business – Losing Weight Proves to Be Big Business
2. Unit 2. Environment – A Silent Killer – Carbon Monoxide Poisoning
3. Unit 3. Science and Technology – Scientific and Engineering Inventions Save Lives
4. Unit 4. History – The American Civil War: Who Should Memorials Honor?
5. Presentation 1 Unit 5. Agriculture – Farmer Invents New Way to Grow Crops
6. Unit 6. Finance – For a New Nation, Hamilton Seeks a Bank
7. Unit 7. Government Politics – President Adams Avoids War with France
8. Unit 8. Poverty – U.S. Poverty Rate Highest Since 1993
9. Unit 9. Education – Children at U.S. School Show Their Support for Victims in Japan
10. Presentation 2 Unit 10. Healthcare – Have a headache? You are not alone
11. Unit 11. Public Welfare – People with Disabilities Achieve New Opportunities
12. Unit 12. Law – U.S. Supreme Court Upholds Health Care Law, Strikes Down Much of Immigration Law
13.適正テスト:オンラインで受検(「受験」ではなく「受検」)

科目名	教養英語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	佐藤　晶子			

[成績評価方法]
課題提出 (40%)、積極的な授業参加 (60%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題の形式に応じて、授業内やmanaba上で適宜フィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:課題提出 (40%)、積極的な授業参加 (60%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:課題提出 (40%)、積極的な授業参加 (60%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:課題提出 (40%)、積極的な授業参加 (60%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:課題提出 (40%)、積極的な授業参加 (60%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題提出 (40%)、積極的な授業参加 (60%)

[教科書(ISBN)]
ボイス・オブ・アメリカ(VOA)ニュースで学ぶ英語　レベル1　著者名:佐藤晶子□出版社:大学教育出版□ 978-4864292726)

[参考書(ISBN)]

科目名	教養英語Ⅱ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	岡久　太郎			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for caregiving and nursing.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for caregiving and nursing. Today, there are many people from overseas in Japan and some of them have trouble with communication when making use of medical and caregiving service. In such a situation, it is very important whether healthcare professionals can speak English and understand what their patients say. In this course, we will learn about some topics including medical vocabulary, conversation in a hospital and reading short essays about medical care. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening in clinical settings. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introduction
2. Unit 1: Power of Language
3. Unit 2: Don't worry.
4. Unit 3: How may I help you?
5. Unit 4: How are you feeling?
6. Unit 5: Could you fill in this medical questionnaire?
7. Unit 6: Take the elevator, please.
8. Mid-term review
9. Unit 7: What are your symptoms?
10. Unit 8: Where does it hurt?
11. Unit 9: How long have you had these symptoms?
12. Unit 10: I'm going to take a blood sample.
13. Unit 11: Let me take your vital signs.
14. Unit 12: Your surgery will be tomorrow.
15. Overall review

P10010020 [CH2-003]　　[1看2福AB]*前期水5

科目名	教養英語Ⅱ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	岡久　太郎			

[成績評価方法]
Active participation 30%, Presentation 20%, Final assessment(Test) 50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内で適宜コメントを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業内のディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:コメントシート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:期末テスト

[教科書(ISBN)]
LIFESAVER: Basic English in Medical Situation　著者名:Maki Inoue Toshiya Sato　出版社:Cengage Learning　(978-4-86312-366-3)

[参考書(ISBN)]

P10010020 [CH2-003]　　[1看2福AB]*前期水5

科目名	教養英語Ⅱ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	英語の世界を探訪する			
担当者	金田　直子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
本授業を通して、異文化理解と総合的な英語力のアップをはかります。
世界各国の文化・風習・歴史・気候・宗教・人種・食文化・交通事情など興味深い側面を多角的に学びます。

[授業概要]
「日本ではそんなものは絶対に売れない！」「日本ではそんな使い方を絶対しない！」というような私たちの目には奇異に映るアイテムを通し、各ユニットで"Guess what?!"（なんだと思う？！）と問いかけながら紹介します。そしてそのアイテムがなぜその国で愛され、長年使用されているのかを知ることで、異文化理解を深めていきましょう。
授業では特に英語圏以外の世界各国の衝撃アイテムを通して、異なった文化間でのコミュニケーションにおける非言語と、言語の抱える問題点を解説します。また英語の大意把握ができる読解力も身につけます。外国語を学習することは、母語を見つめ直すことにつながります。表面的な意味内容を理解するだけでなく、考えや行動の背後にある文化のルールを楽しく学びましょう。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎回の授業で次回の授業のための予習があります。各自予習を終えて授業に参加してください。

[授業計画]
1. 授業オリエンテーション＋Unit1 Canada Natural Beauty Abounds 自然に恵まれた調和の文化とは！
2. Unit1
3. Unit2 Thailand Where Culture and Fragrance Harmonize 香りにこだわる文化とは！
4. Unit3 Germany Leaders in Protecting Our Environmentボールを愛する環境先進国ドイツとは！
5. Unit4 Turkey Finish Up Your Coffeeコーヒーとお茶がつなぐ人情文化とは！
6. Unit5 Russia Home to the Coldest Place Inhabited by Humans 極寒に生きる文化とは！
7. Unit6 Israel A Land of Tradition and Technology 伝統と文化が融合する文化とは！
8. Unit7 South Africa the County with 11 Different Names アフリカ最南端の親睦文化とは！
9. Unit12 South Korea: The Crossroads of Food, Culture, and Tradition 食で深まるきずな文化とは!
10. Unit8 The United States: A Nation on the Road 自動車大国、アメリカとは!
11. Unit10 Bangladesh: Where Chaos and Peace Coexist バングラディシュの混沌とのどかさとは!
12. まとめ
13. 確認テスト

P10010020A [CH2-003]　　[2福C栄]*前期火2

科目名	教養英語Ⅱ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	英語の世界を探訪する			
担当者	金田　直子			

[成績評価方法]
授業内での発表（30%）、小テスト（50%）、確認テスト（学期末）（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
毎回の授業での口頭発表については授業内で実施し、講評はmanabaを通して行う。筆記確認テストもmanabaで提出採点を行う。

提出物については基本的にmanaba経由で提出すること。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：毎週の小テスト、確認テスト（学期末）を通して学習内容のさらなる理解と確認をおこなう

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業内での発表(ペアワークやグループワーク含む)を通して自他の意見をまとめ互いの意見を理解しあう

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業内での発表(ペアワークやグループワーク含む)通して外国諸国の文化や言語に触れる

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：確認テスト（学期末）（20%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：小テストや確認テストを通して授業の内容を論理的に理解し、自分の言葉で簡潔にまとめる

[教科書（ISBN）]
Guess What?!-Intercultural Surprises-世界の衝撃アイテムから学ぶ15の国の文化と人々　著者名：Natsuki Matsui他
　出版社：南雲堂 （978-4-523-17930-6　C0082）

[参考書（ISBN）]

科目名	教養英語Ⅱ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	English Communication			
担当者	守家　輝			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.
Advanced class: TOEIC score (400～600)
Standard class: TOEIC score (300～400)

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introduction
2. classroom activities (based on textbook chapter 1)
3. classroom activities (based on textbook chapter 2)
4. classroom activities (based on textbook chapter 3)
5. classroom activities (based on textbook chapter 4)
6. classroom activities (based on textbook chapter 5)
7. classroom activities (based on textbook chapter 6)
8. mid-term review
9. classroom activities (based on textbook chapter 7)
10. classroom activities (based on textbook chapter 8)
11. classroom activities (based on textbook chapter 9)
12. classroom activities (based on textbook chapter 10)
13. classroom activities (based on textbook chapter 11)
14. classroom activities (based on textbook chapter 12)
15. Overall review

科目名	教養英語Ⅱ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	English Communication			
担当者	守家　輝			

[成績評価方法]
授業参加（毎回の宿題提出）60%
期末レポート40%（manabaまたは直接メールで提出、詳細はmanabaでご確認ください）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出課題については、一部授業内で取り上げ講評する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業内課題(英作文)、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業内課題(プレゼンテーション等)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業内課題(グループディスカッション)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業内課題(プレゼンテーション等)、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業内課題(プレゼンテーション等)、期末レポート

[教科書（ISBN）]
World Link 1 with My World Link Online Practice and Student's eBook　著者名：Nancy Douglas; James R. Morgan　出版社：Cengage Learning （9.7803575021e+12）

[参考書（ISBN）]

科目名	教養英語Ⅱ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	岡久　太郎			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
In this course, we will learn about some topics involving our health and eating habit. Although we have many means to get information about such topics today, there is a limited amount of article in Japanese. If you can make use of English sources without hesitation, you can acquire much more knowledge of the current situation. This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective communication. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introduction
2. Chapter 1: Why do people love sweets?
3. Chapter 2: Do you have a ″dessert stomach″?
4. Chapter 3: Why is Japanese cuisine so popular?
5. Chapter 4: Did you enjoy your school meals?
6. Chapter 5: Why do children dislike vegetables so much?
7. Chapter 6: How do you wash your dishes and vegetables?
8. mid-term review
9. Chapter 7: What a long way frozen food has come!
10. Chapter 8: Where do you get your food?
11. Chapter 9: Do you know the power of fermentation.
12. Chapter 10: Do you take your medicine correctly?
13. Chapter 11: Are you dieting the right way?
14. Chapter 12: Is collagen really effective?
15. Overall review

P10010030A [CH2-004]　　[2栄]*後期火2

科目名	教養英語Ⅱ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	岡久　太郎			

[成績評価方法]
Active participation 30%, Presentation 20%, Final assessment(Test) 50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内で適宜コメントを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業内のディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:コメントシート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:期末テスト

[教科書(ISBN)]
Living Well, Eating Well　著者名:Josh Norman
Hiroshi Ishibashi
Sumiko Akiyoshi
Fujiko Motoyama　出版社:Asahi Press　(978-4-255-15578-4)

[参考書(ISBN)]

P10010030A [CH2-004]　　[2栄]*後期火2

科目名	教養演習 I	後期	演習	2 単位
サブタイトル	地域子育て支援			
担当者	曽田　里美、下司　実奈			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
子育て支援活動を通して子どもやその保護者との適切な関わりを身に付ける。

[授業概要]
　この授業は、大学において毎月実施している子育て支援活動に参加する。活動では、日常生活ではなかなか体験できないような親子遊びを考えて提供していく。活動を通して親子と一緒に楽しみながら、子育て支援を展開していくうえでの配慮や工夫、子どもや保護者に対する適切な関わりについて体得していくことを目指す。担当教員は児童福祉施設での実践経験を活かして、子どもや保護者との関わり方を指導する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
各回について予習・復習2時間程度
日頃より子どもや子育てに関する問題、子どもの興味や遊びに関心をもつ。

[授業計画]
1. オリエンテーション　(下司・曽田)
2. 子育て支援活動①の準備　(下司・曽田)
3. 子育て支援活動①　(下司・曽田)
4. 子育て支援活動①　(下司・曽田)
5. 子育て支援活動②の準備　(下司・曽田)
6. 子育て支援活動②　(下司・曽田)
7. 子育て支援活動②　(下司・曽田)
8. 子育て支援活動③の準備　(下司・曽田)
9. 子育て支援活動③　(下司・曽田)
10. 子育て支援活動③　(下司・曽田)
11. 子育て支援活動④の準備　(下司・曽田)
12. 子育て支援活動④　(下司・曽田)
13. 子育て支援活動④　(下司・曽田)

※受講人数を10人に制限する。
　第1回のオリエンテーション時に授業概要・趣旨を説明したうえで、受講希望を確認する。
　受講希望者が10人を超えた場合は、抽選により選考する。

※子育て支援活動①～④は、月1回土曜日(午前)に2コマ行う。
　日程についてはオリエンテーション時に発表する。

科目名	教養演習 I	後期	演習	2 単位
サブタイトル	地域子育て支援			
担当者	曽田　里美、下司　実奈			

[成績評価方法]
授業（活動）参加態度（60%）、レポート（40%）により評価薄る。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは後日添削して返却する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：活動状況、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：活動状況、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：活動状況、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：活動状況、レポート

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	教養演習Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	地域子育て支援			
担当者	曽田　里美、下司　実奈			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
地域における子育て支援の必要性を理解するとともに、活動への参加を通して子どもや保護者に適切に関わる実践力を身に付ける。

[授業概要]
　この授業は、大学において毎月実施している子育て支援活動に参加してもらいます。活動では、日常生活ではなかなか体験できないような親子遊びを毎回考えて提供しています。活動前には、どのような遊びをどのように展開するのかという企画、活動に向けての準備(練習)、活動の後にはその振り返りを行います。これらのプロセスを通して、参加する親子と一緒に楽しみながら、子どもの立場にたって考えたり行動できる創造力、子どもやその保護者と適切に関わる実践力を体得していくことを目指します。担当教員は児童福祉施設での実践経験を活かして、子どもや保護者との関わり方を指導する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
各回について予習・復習2時間程度
日頃より子どもや子育てに関する問題、子どもの興味や遊びに関心をもつ。

[授業計画]
1. オリエンテーション （下司・曽田）
2. 子育て支援活動①の準備 （下司・曽田）
3. 子育て支援活動① （下司・曽田）
4. 子育て支援活動① （下司・曽田）
5. 子育て支援活動②の準備 （下司・曽田）
6. 子育て支援活動② （下司・曽田）
7. 子育て支援活動② （下司・曽田）
8. 子育て支援活動③の準備 （下司・曽田）
9. 子育て支援活動③ （下司・曽田）
10. 子育て支援活動③ （下司・曽田）
11. 子育て支援活動④の準備 （下司・曽田）
12. 子育て支援活動④ （下司・曽田）
13. 子育て支援活動④ （下司・曽田）

※受講人数を10人に制限する。
　第1回のオリエンテーション時に授業概要・趣旨を説明したうえで、受講希望を確認する。
　受講希望者が10人を超えた場合は、抽選により選考する。

※子育て支援活動①～④は、月1回土曜日(午前中)2コマ行う。
　日程についてはオリエンテーション時に発表する。

P10001580 [CI2-003]　　[2健]*前期集中

科目名	教養演習Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	地域子育て支援			
担当者	曽田　里美、下司　実奈			

[成績評価方法]
授業（活動）参加態度（60%）、レポート（40%）により評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは後日添削して返却する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：活動状況、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：活動状況、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：活動状況、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：活動状況、レポート

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

P10001580 [CI2-003]　　[2健]*前期集中

科目名	教養総合 I	前期	講義	2 単位
サブタイトル	心理・社会的介入			
担当者	津田　理恵子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
心理・社会的介入方法について理解できる
回想法が理解できる
音楽療法が理解できる
動物介在療法が理解できる
園芸療法が理解できる

[授業概要]
　臨床福祉学を学んだ教員が、心理・社会的介入方法として回想法、音楽療法、動物介在療法など、すぐに誰にでも活用できる技法として、その技法や効果とともに介入方法を指導する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
心理・社会的介入方法に興味が持てるように、授業の予習と復習を各回4時間程度行う

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.心理・社会的介入222. 様々な技法
3. 回想法と効果　回想法体験
4. 音楽療法と効果
5. 音楽療法の実際 (学外特別講師)
6. 音楽療法の体験
7. アニマルセラピーの効果
8. アニマルセラピー体験
9. 園芸療法の効果
10. 園芸療法体験
11. その他の技法について
12. その他の技法の体験
13. 振り返り

P10020411 [CI1-042]　　[1全]*前期月1

科目名	教養総合 I	前期	講義	2 単位
サブタイトル	心理・社会的介入			
担当者	津田　理恵子			

[成績評価方法]
毎回の授業アンケートの回答内容(50%)
レポート課題(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
毎回manabaに感想を提出してもらいコメントする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題
毎回の授業のアンケート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題
毎回の授業のアンケート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題
毎回の授業のアンケート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題
毎回の授業のアンケート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題
毎回の授業のアンケート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題
毎回の授業のアンケート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート課題
毎回の授業のアンケート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート課題
毎回の授業のアンケート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:レポート課題
毎回の授業のアンケート

[教科書(ISBN)]

P10020411 [CI1-042]　　[1全]*前期月1

科目名	教養総合 I	前期	講義	2 単位
サブタイトル	アカデミックスキルと日本語演習			
担当者	水川　布美子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
大学生に必要不可欠な学習スキルや日本語力(理解力、論理的思考力、正確で豊かな表現力)を学ぶ。

[授業概要]
①聞く・読む技術、②調べる・整理する技術、③まとめる・書く技術、④表現する・伝える技術を、講義や課題の作成・提出、発表などを通して学習する。
①では、ノートテイキングの方法や要約の方法を学ぶ。②では、図書館に行ったり、インターネットを使っての情報収集の方法を学んだりする。③では、アカデミック・ライティングとしてのレポートや論文の作成方法、パソコンを使った書き方を学ぶ。④では、プレゼンテーションの準備をして、実際に発表する。
授業は教科書を使用して進める。課題や発表を通して、大学生に必要な学習の方法を身に付けることを目指す。また、会話・手紙・メールなど、コミュニケーションを高める日本語能力を養うための課題プリントを毎回配布し、添削の上返却する。(提出は自由)
なお受講生が多数の場合、発表はグループ発表となる場合がある。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
学んだ内容を他の授業や日常生活で実際に活かすこと。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1. ガイダンス・アカデミックスキルズとは
2. ノートの取り方
3. 情報収集(図書館情報検索ツアー)
4. テーマの選び方・情報収集
5. 本の読み方・クリティカル・リーディング
6. インターネット・情報の整理
7. レポート・プレゼンテーション作成の準備
8. 発表の方法
9. 研究成果のアウトプット・レポートや論文を書く(1)レポートとは・文章の構成　発表①
10. レポートや論文を書く(2)参考文献の挙げ方・引用と剽窃・推敲　発表②
11. クリティカル・シンキング　発表③
12. プレゼンテーション・データの分析と文章化　発表④
13. まとめ

科目名	教養総合 I	前期	講義	2 単位
サブタイトル	アカデミックスキルと日本語演習			
担当者	水川　布美子			

[成績評価方法]
課題提出を含む受講態度（20%）、発表（40%）、レポート（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
毎回の課題、及び最終レポートは、添削あるいはコメントを付して次週に返却(またはmanabaにコメント)する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:提出物・最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:提出物・最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:提出物・最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:提出物・最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:提出物・最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:提出物・最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:提出物・最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:提出物・最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:提出物・最終レポート

[教科書（ISBN）]
アカデミック・スキルズ　大学生のための知的技法入門　第3版　著者名:佐藤望他編著　出版社:慶應義塾大学出版会　(978-4-7664-26564)
神戸女子大学全学共通教育部

[参考書（ISBN）]

P10020411A [CI1-042]　　[1全]*前期木1

科目名	教養総合Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	「百人一首」の文化史			
担当者	大山　範子			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
現代に至るまでもっとも広く親しまれている文学作品「百人一首」について、その成立の背景や享受の歴史を詳しく知るとともに、中世・近世の注釈を手がかりとして自分なりに和歌の解釈をできるようになる。

[授業概要]
はじめに「百人一首」の概要および成立の背景などを解説する。その後、実際に和歌を読み進め、享受の変遷を考察する。さらに、文化・芸術史における百人一首の広がりについてもさまざまな分野から言及する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
事前に講義内容を予告し、資料を配付するので、必ず目を通してくること。

[授業計画]
01.「百人一首」について
02.「百人一首」歌を読む（1）・享受史（1）
03.「百人一首」歌を読む（2）・享受史（2）
04.「百人一首」歌を読む（3）・享受史（3）
05.「百人一首」歌を読む（4）・享受史（4）
06.「百人一首」歌を読む（5）・享受史（5）
07.「百人一首」歌を読む（6）・異種百人一首（1）
08.「百人一首」歌を読む（7）・異種百人一首（2）
09.「百人一首」歌を読む（8）・異種百人一首（3）
10.「百人一首」歌を読む（9）・異種百人一首（4）
11.「百人一首」歌を読む（10）・異種百人一首（5）
12. 絵画と百人一首
13. かるたと百人一首

科目名	教養総合Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	「百人一首」の文化史			
担当者	大山　範子			

[成績評価方法]
期末試験（60%）および講義時の小課題（不定期、数回を予定）（40%）によって評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
小課題については次回講義時にコメントをする。期末レポートは提出・講評ともmanabaを利用。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：小課題および期末試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：小課題および期末試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：小課題および期末試験

[教科書（ISBN）]
なし。プリントを配布する。

[参考書（ISBN）]

科目名	教養総合Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	新聞を読もう～「実用日本語とメディアリテラシー　社会人基礎力を身につけるために」			
担当者	佐々木　宏			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
社会人としてのコミュニケーションに必要な「実用日本語」を使いこなせるようになる。情報の送り手の意図を理解し、事実や意見を相手に正確に伝える文章力とプレゼン力を身につける。

[授業概要]
実用日本語の宝庫である新聞を題材にするので、毎回、当日の朝刊を提供。医療や福祉に関する話題がどのように取り上げられているか、記事やコラムを読んで問題点を理解する。グループ討論やプレゼンで、記事に対する自分の意見を根拠を示しながら発表する。作文も課し、元朝日新聞記者の講師が添削。授業で取り上げて講評する。読者投稿欄にもトライし、紙面掲載も目指す。
　基礎的な語彙の訓練。就職採用試験における小論文、ESの書き方対策も視野に入れる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
講義の際に指示する。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
【対面授業】
1.講義概要 「実用日本語と社会人基礎力」
2.新聞の読み方（一面、コラム、社説、読者投稿欄、医療、福祉.社会面など）
3.文章の書き方（作文、小論文、レポートのまとめ方）
4.記事を読み解く・ビブリオバトル①（福祉と医療）
5.記事を読み解く・ビブリオバトル②（ネット社会・言論の自由）
6.記事を読み解く・ビブリオバトル③（男女格差・ジェンダー）
7.記事を読み解く・ビブリオバトル④（高齢化社会）
8.記事を読み解く・ビブリオバトル⑤（政治と選挙）
9.記事を読み解く・ビブリオバトル⑥（スポーツ）
10.グループ討論①
11.グループ討論②
12.ESに挑戦
13.総括「情報洪水化社会をどう生きる～問われるコミュニケーション力」

科目名	教養総合Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	新聞を読もう～「実用日本語とメディアリテラシー　社会人基礎力を身につけるために」			
担当者	佐々木　宏			

[成績評価方法]
課題（作文など）（60%）、語学力ミニテスト（20%）、プレゼン評価（20%）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
各課題に対して添削を行い、原則、次回にフィードバックする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：プレゼン発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：提出物・小テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：提出物

[教科書（ISBN）]
「朝日新聞」（朝刊）。毎回紙面そのものを届ける。記事コピーを配付することもある。 著者名：ー　出版社：朝日新聞社 （ー）

[参考書（ISBN）]

科目名	教養総合Ⅱ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	映像で学ぶ高齢者福祉			
担当者	清水　弥生			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
高齢者福祉に関する新聞記事や映像などを通して、社会福祉の歴史や問題の背景に関する基本的な知識を得る。またそのトピックに関するディスカッションをすることにより，問題とその原因、社会的な背景を結びつける視点を養うことを目的とする。

[授業概要]
高齢者，認知症当事者や社会福祉全般に関する映像と高齢者福祉に関する授業とを関連させながら学ぶ。全学科の学生を対象とするが、特に社会福祉学科の学生は2年生前期「高齢者福祉」が歴史や制度中心であるので、高齢者に関する基本的な理解および、具体的なイメージを持つことができるようになることを目指す。後半は介護保険や地域包括ケアの具体的なサービスについて同様に映像と授業を関連させながら学ぶ。
そのトピックに関して参加者全員でグループディスカッションをすることにより、その問題の複眼的な理解、かつ社会福祉的な立場からの見方を理解する。また、小レポートを書き，教員が添削することにより、レポート執筆の基本的技術の上達を目指す。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
新聞を毎日読む，ニュースを見る等、社会問題を理解するための基本的な知識を身につける。授業後，関連する新聞記事を集めたり，他の授業との関連性を整理する。各回、2時間程度。

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.認知症についての基本的知識
3.認知症当事者の視点から学ぶ認知症ケア
4.認知症高齢者を介護する家族の負担とケア
5.グループディスカッション
6.介護保険サービスの基本的知識
7.小規模多機能型居宅介護の支援
8.高齢者福祉施設に関する映像から学ぶ
9.高齢者福祉からみる地域包括支援制度
10.地域で暮らす高齢者の支援
11.グループディスカッション
12.社会福祉に関する記事や映像の読み解き
13.まとめ

科目名	教養総合Ⅱ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	映像で学ぶ高齢者福祉			
担当者	清水　弥生			

[成績評価方法]
発表やグループディスカッションへの参加態度（50%）、小レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
小レポートは添削して返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表内容やグループディスカッションへの参加、小レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：発表内容やグループディスカッションへの参加、小レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表内容やグループディスカッションへの参加、小レポート

[教科書（ISBN）]
なし（必要に応じて資料を配布する）

[参考書（ISBN）]

科目名	教養総合Ⅴ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	心理・社会的介入			
担当者	津田　理恵子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
心理・社会的介入方法について理解できる
回想法が理解できる
音楽療法が理解できる
動物介在療法が理解できる
園芸療法が理解できる

[授業概要]
　臨床福祉学を学んだ教員が、心理・社会的介入方法として回想法、音楽療法、動物介在療法など、すぐに誰にでも活用できる技法として、その技法や効果とともに介入方法を指導する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
心理・社会的介入方法に興味が持てるように、授業の予習と復習を各回4時間程度行う

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.心理・社会的介入222. 様々な技法
3. 回想法と効果　回想法体験
4. 音楽療法と効果
5. 音楽療法の実際 (学外特別講師)
6. 音楽療法の体験
7. アニマルセラピーの効果
8. アニマルセラピー体験
9. 園芸療法の効果
10. 園芸療法体験
11. その他の技法について
12. その他の技法の体験
13. 振り返り

P10020450A [CI3-001]　　[3全]*前期月1

科目名	教養総合Ⅴ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	心理・社会的介入			
担当者	津田　理恵子			

[成績評価方法]
毎回の授業アンケートの回答内容(50%)
レポート課題(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
毎回manabaに感想を提出してもらいコメントする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題
毎回の授業のアンケート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題
毎回の授業のアンケート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題
毎回の授業のアンケート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題
毎回の授業のアンケート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題
毎回の授業のアンケート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題
毎回の授業のアンケート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート課題
毎回の授業のアンケート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート課題
毎回の授業のアンケート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:レポート課題
毎回の授業のアンケート

[教科書(ISBN)]

P10020450A [CI3-001]　　[3全]*前期月1

科目名	教養総合Ⅴ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	アカデミックスキルと日本語演習			
担当者	水川　布美子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
大学生に必要不可欠な学習スキルや日本語力(理解力、論理的思考力、正確で豊かな表現力)を学ぶ。

[授業概要]
①聞く・読む技術、②調べる・整理する技術、③まとめる・書く技術、④表現する・伝える技術を、講義や課題の作成・提出、発表などを通して学習する。
①では、ノートテイキングの方法や要約の方法を学ぶ。②では、図書館に行ったり、インターネットを使っての情報収集の方法を学んだりする。③では、アカデミック・ライティングとしてのレポートや論文の作成方法、パソコンを使った書き方を学ぶ。④では、プレゼンテーションの準備をして、実際に発表する。
授業は教科書を使用して進める。課題や発表を通して、大学生に必要な学習の方法を身に付けることを目指す。また、会話・手紙・メールなど、コミュニケーションを高める日本語能力を養うための課題プリントを毎回配布し、添削の上返却する。(提出は自由)
なお受講生が多数の場合、発表はグループ発表となる場合がある。上級生の受講に対しては、復習及びさらなるスキルアップと、論文執筆の基礎を学べるよう、学年に応じて配慮する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
学んだ内容を他の授業や日常生活で実際に活かすこと。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1. ガイダンス・アカデミックスキルズとは
2. ノートの取り方
3. 情報収集(図書館情報検索ツアー)
4. テーマの選び方・情報収集
5. 本の読み方・クリティカル・リーディング
6. インターネット・情報の整理
7. レポート・プレゼンテーション作成の準備
8. 発表の方法
9. 研究成果のアウトプット・レポートや論文を書く(1)レポートとは・文章の構成　発表①
10. レポートや論文を書く(2)参考文献の挙げ方・引用と剽窃・推敲　発表②
11. クリティカル・シンキング　発表③
12. プレゼンテーション・データの分析と文章化　発表④
13. まとめ

科目名	教養総合Ⅴ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	アカデミックスキルと日本語演習			
担当者	水川　布美子			

[成績評価方法]
課題提出を含む受講態度（20%）、発表（40%）、レポート（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
毎回の課題、及び最終レポートは、添削あるいはコメントを付して次週に返却(またはmanabaにコメント)する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:提出物・最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:提出物・最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:提出物・最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:提出物・最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:提出物・最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:提出物・最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:提出物・最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:提出物・最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:提出物・最終レポート

[教科書（ISBN）]
アカデミック・スキルズ　大学生のための知的技法入門　第3版　著者名:佐藤望他編著　出版社:慶應義塾大学出版会　(978-4-7664-26564)
神戸女子大学全学共通教育部

[参考書（ISBN）]

P10020450C [CI3-001]　　[3全]*前期木1

科目名	教養総合Ⅵ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	「百人一首」の文化史			
担当者	大山　範子			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
現代に至るまでもっとも広く親しまれている文学作品「百人一首」について、その成立の背景や享受の歴史を詳しく知るとともに、中世・近世の注釈を手がかりとして自分なりに和歌の解釈をできるようになる。

[授業概要]
はじめに「百人一首」の概要および成立の背景などを解説する。その後、実際に和歌を読み進め、享受の変遷を考察する。さらに、文化・芸術史における百人一首の広がりについてもさまざまな分野から言及する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
事前に講義内容を予告し、資料を配付するので、必ず目を通してくること。

[授業計画]
01.「百人一首」について
02.「百人一首」歌を読む（1）・享受史（1）
03.「百人一首」歌を読む（2）・享受史（2）
04.「百人一首」歌を読む（3）・享受史（3）
05.「百人一首」歌を読む（4）・享受史（4）
06.「百人一首」歌を読む（5）・享受史（5）
07.「百人一首」歌を読む（6）・異種百人一首（1）
08.「百人一首」歌を読む（7）・異種百人一首（2）
09.「百人一首」歌を読む（8）・異種百人一首（3）
10.「百人一首」歌を読む（9）・異種百人一首（4）
11.「百人一首」歌を読む（10）・異種百人一首（5）
12. 絵画と百人一首
13. かるたと百人一首

科目名	教養総合Ⅵ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	「百人一首」の文化史			
担当者	大山　範子			

[成績評価方法]
期末試験（60%）および講義時の小課題（不定期、数回を予定）（40%）によって評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
小課題については次回講義時にコメントをする。期末レポートは提出・講評ともmanabaを利用。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：小課題および期末試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：小課題および期末試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：小課題および期末試験

[教科書（ISBN）]
なし。プリントを配布する。

[参考書（ISBN）]

科目名	教養総合Ⅵ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	新聞を読もう～「実用日本語とメディアリテラシー　社会人基礎力を身につけるために」			
担当者	佐々木　宏			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
社会人としてのコミュニケーションに必要な「実用日本語」を使いこなせるようになる。情報の送り手の意図を理解し、事実や意見を相手に正確に伝える文章力とプレゼン力を身につける。

[授業概要]
実用日本語の宝庫である新聞を題材にするので、毎回、当日の朝刊を提供。医療や福祉に関する話題がどのように取り上げられているか、記事やコラムを読んで問題点を理解する。グループ討論やプレゼンで、記事に対する自分の意見を根拠を示しながら発表する。作文も課し、元朝日新聞記者の講師が添削。授業で取り上げて講評する。読者投稿欄にもトライし、紙面掲載も目指す。
　基礎的な語彙の訓練。就職採用試験における小論文、ESの書き方対策も視野に入れる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
講義の際に指示する。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
【対面授業】
1.講義概要 「実用日本語と社会人基礎力」
2.新聞の読み方（一面、コラム、社説、読者投稿欄、医療、福祉.社会面など）
3.文章の書き方（作文、小論文、レポートのまとめ方）
4.記事を読み解く・ビブリオバトル①（福祉と医療）
5.記事を読み解く・ビブリオバトル②（ネット社会・言論の自由）
6.記事を読み解く・ビブリオバトル③（男女格差・ジェンダー）
7.記事を読み解く・ビブリオバトル④（高齢化社会）
8.記事を読み解く・ビブリオバトル⑤（政治と選挙）
9.記事を読み解く・ビブリオバトル⑥（スポーツ）
10.グループ討論①
11.グループ討論②
12.ESに挑戦
13.総括「情報洪水化社会をどう生きる～問われるコミュニケーション力」

科目名	教養総合Ⅵ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	新聞を読もう～「実用日本語とメディアリテラシー　社会人基礎力を身につけるために」			
担当者	佐々木　宏			

[成績評価方法]
課題（作文など）（60%）、語学力ミニテスト（20%）、プレゼン評価（20%）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
各課題に対して添削を行い、原則、次回にフィードバックする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：プレゼン発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：提出物・小テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：提出物

[教科書（ISBN）]
「朝日新聞」（朝刊）。毎回紙面そのものを届ける。記事コピーを配付することもある。 著者名：ー　出版社：朝日新聞社 （ー）

[参考書（ISBN）]

科目名	教養総合Ⅵ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	映像で学ぶ高齢者福祉			
担当者	清水　弥生			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
高齢者福祉に関する新聞記事や映像などを通して、社会福祉の歴史や問題の背景に関する基本的な知識を得る。またそのトピックに関するディスカッションをすることにより，問題とその原因、社会的な背景を結びつける視点を養うことを目的とする。

[授業概要]
高齢者，認知症当事者や社会福祉全般に関する映像と高齢者福祉に関する授業とを関連させながら学ぶ。全学科の学生を対象とするが、特に社会福祉学科の学生は2年生前期「高齢者福祉」が歴史や制度中心であるので、高齢者に関する基本的な理解および、具体的なイメージを持つことができるようになることを目指す。後半は介護保険や地域包括ケアの具体的なサービスについて同様に映像と授業を関連させながら学ぶ。
そのトピックに関して参加者全員でグループディスカッションをすることにより、その問題の複眼的な理解、かつ社会福祉的な立場からの見方を理解する。また、小レポートを書き，教員が添削することにより、レポート執筆の基本的技術の上達を目指す。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
新聞を毎日読む，ニュースを見る等、社会問題を理解するための基本的な知識を身につける。授業後，関連する新聞記事を集めたり，他の授業との関連性を整理する。各回、2時間程度。

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.認知症についての基本的知識
3.認知症当事者の視点から学ぶ認知症ケア
4.認知症高齢者を介護する家族の負担とケア
5.グループディスカッション
6.介護保険サービスの基本的知識
7.小規模多機能型居宅介護の支援
8.高齢者福祉施設に関する映像から学ぶ
9.高齢者福祉からみる地域包括支援制度
10.地域で暮らす高齢者の支援
11.グループディスカッション
12.社会福祉に関する記事や映像の読み解き
13.まとめ

科目名	教養総合Ⅵ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	映像で学ぶ高齢者福祉			
担当者	清水　弥生			

[成績評価方法]
発表やグループディスカッションへの参加態度（50%）、小レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
小レポートは添削して返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表内容やグループディスカッションへの参加、小レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：発表内容やグループディスカッションへの参加、小レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表内容やグループディスカッションへの参加、小レポート

[教科書（ISBN）]
なし（必要に応じて資料を配布する）

[参考書（ISBN）]

科目名	教養総合Ⅶ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	心理・社会的介入			
担当者	津田　理恵子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
心理・社会的介入方法について理解できる
回想法が理解できる
音楽療法が理解できる
動物介在療法が理解できる
園芸療法が理解できる

[授業概要]
　臨床福祉学を学んだ教員が、心理・社会的介入方法として回想法、音楽療法、動物介在療法など、すぐに誰にでも活用できる技法として、その技法や効果とともに介入方法を指導する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
心理・社会的介入方法に興味が持てるように、授業の予習と復習を各回4時間程度行う

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.心理・社会的介入222. 様々な技法
3. 回想法と効果　回想法体験
4. 音楽療法と効果
5. 音楽療法の実際 (学外特別講師)
6. 音楽療法の体験
7. アニマルセラピーの効果
8. アニマルセラピー体験
9. 園芸療法の効果
10. 園芸療法体験
11. その他の技法について
12. その他の技法の体験
13. 振り返り

P10020470A [CI4-001]　　[4全]*前期月1

科目名	教養総合Ⅶ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	心理・社会的介入			
担当者	津田　理恵子			

[成績評価方法]
毎回の授業アンケートの回答内容(50%)
レポート課題(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
毎回manabaに感想を提出してもらいコメントする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題
毎回の授業のアンケート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題
毎回の授業のアンケート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題
毎回の授業のアンケート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題
毎回の授業のアンケート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題
毎回の授業のアンケート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題
毎回の授業のアンケート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート課題
毎回の授業のアンケート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート課題
毎回の授業のアンケート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:レポート課題
毎回の授業のアンケート

[教科書(ISBN)]

P10020470A [CI4-001]　　[4全]*前期月1

科目名	教養総合Ⅶ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	アカデミックスキルと日本語演習			
担当者	水川　布美子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
大学生に必要不可欠な学習スキルや日本語力(理解力、論理的思考力、正確で豊かな表現力)を学ぶ。

[授業概要]
①聞く・読む技術、②調べる・整理する技術、③まとめる・書く技術、④表現する・伝える技術を、講義や課題の作成・提出、発表などを通して学習する。
①では、ノートテイキングの方法や要約の方法を学ぶ。②では、図書館に行ったり、インターネットを使っての情報収集の方法を学んだりする。③では、アカデミック・ライティングとしてのレポートや論文の作成方法、パソコンを使った書き方を学ぶ。④では、プレゼンテーションの準備をして、実際に発表する。
授業は教科書を使用して進める。課題や発表を通して、大学生に必要な学習の方法を身に付けることを目指す。また、会話・手紙・メールなど、コミュニケーションを高める日本語能力を養うための課題プリントを毎回配布し、添削の上返却する。(提出は自由)
なお受講生が多数の場合、発表はグループ発表となる場合がある。上級生の受講に対しては、復習及びさらなるスキルアップと、論文執筆の基礎を学べるよう、学年に応じて配慮する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
学んだ内容を他の授業や日常生活で実際に活かすこと。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1. ガイダンス・アカデミックスキルズとは
2. ノートの取り方
3. 情報収集(図書館情報検索ツアー)
4. テーマの選び方・情報収集
5. 本の読み方・クリティカル・リーディング
6. インターネット・情報の整理
7. レポート・プレゼンテーション作成の準備
8. 発表の方法
9. 研究成果のアウトプット・レポートや論文を書く(1)レポートとは・文章の構成　発表①
10. レポートや論文を書く(2)参考文献の挙げ方・引用と剽窃・推敲　発表②
11. クリティカル・シンキング　発表③
12. プレゼンテーション・データの分析と文章化　発表④
13. まとめ

科目名	教養総合Ⅶ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	アカデミックスキルと日本語演習			
担当者	水川　布美子			

[成績評価方法]
課題提出を含む受講態度（20%）、発表（40%）、レポート（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
毎回の課題、及び最終レポートは、添削あるいはコメントを付して次週に返却(またはmanabaにコメント)する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:提出物・最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:提出物・最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:提出物・最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:提出物・最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:提出物・最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:提出物・最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:提出物・最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:提出物・最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:提出物・最終レポート

[教科書（ISBN）]
アカデミック・スキルズ　大学生のための知的技法入門　第3版　著者名:佐藤望他編著　出版社:慶應義塾大学出版会　(978-4-7664-26564)
神戸女子大学全学共通教育部

[参考書（ISBN）]

P10020470C [CI4-001]　　[4全]*前期木1

科目名	教養総合Ⅷ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	「百人一首」の文化史			
担当者	大山　範子			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
現代に至るまでもっとも広く親しまれている文学作品「百人一首」について、その成立の背景や享受の歴史を詳しく知るとともに、中世・近世の注釈を手がかりとして自分なりに和歌の解釈をできるようになる。

[授業概要]
はじめに「百人一首」の概要および成立の背景などを解説する。その後、実際に和歌を読み進め、享受の変遷を考察する。さらに、文化・芸術史における百人一首の広がりについてもさまざまな分野から言及する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
事前に講義内容を予告し、資料を配付するので、必ず目を通してくること。

[授業計画]
01.「百人一首」について
02.「百人一首」歌を読む（1）・享受史（1）
03.「百人一首」歌を読む（2）・享受史（2）
04.「百人一首」歌を読む（3）・享受史（3）
05.「百人一首」歌を読む（4）・享受史（4）
06.「百人一首」歌を読む（5）・享受史（5）
07.「百人一首」歌を読む（6）・異種百人一首（1）
08.「百人一首」歌を読む（7）・異種百人一首（2）
09.「百人一首」歌を読む（8）・異種百人一首（3）
10.「百人一首」歌を読む（9）・異種百人一首（4）
11.「百人一首」歌を読む（10）・異種百人一首（5）
12. 絵画と百人一首
13. かるたと百人一首

科目名	教養総合Ⅷ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	「百人一首」の文化史			
担当者	大山　範子			

[成績評価方法]
期末試験（60%）および講義時の小課題（不定期、数回を予定）（40%）によって評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
小課題については次回講義時にコメントをする。期末レポートは提出・講評ともmanabaを利用。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：小課題および期末試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：小課題および期末試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：小課題および期末試験

[教科書（ISBN）]
なし。プリントを配布する。

[参考書（ISBN）]

科目名	教養総合Ⅷ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	新聞を読もう～「実用日本語とメディアリテラシー　社会人基礎力を身につけるために」			
担当者	佐々木　宏			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
社会人としてのコミュニケーションに必要な「実用日本語」を使いこなせるようになる。情報の送り手の意図を理解し、事実や意見を相手に正確に伝える文章力とプレゼン力を身につける。

[授業概要]
実用日本語の宝庫である新聞を題材にするので、毎回、当日の朝刊を提供。医療や福祉に関する話題がどのように取り上げられているか、記事やコラムを読んで問題点を理解する。グループ討論やプレゼンで、記事に対する自分の意見を根拠を示しながら発表する。作文も課し、元朝日新聞記者の講師が添削。授業で取り上げて講評する。読者投稿欄にもトライし、紙面掲載も目指す。
　基礎的な語彙の訓練。就職採用試験における小論文、ESの書き方対策も視野に入れる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
講義の際に指示する。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
【対面授業】
1.講義概要 「実用日本語と社会人基礎力」
2.新聞の読み方（一面、コラム、社説、読者投稿欄、医療、福祉.社会面など）
3.文章の書き方（作文、小論文、レポートのまとめ方）
4.記事を読み解く・ビブリオバトル①（福祉と医療）
5.記事を読み解く・ビブリオバトル②（ネット社会・言論の自由）
6.記事を読み解く・ビブリオバトル③（男女格差・ジェンダー）
7.記事を読み解く・ビブリオバトル④（高齢化社会）
8.記事を読み解く・ビブリオバトル⑤（政治と選挙）
9.記事を読み解く・ビブリオバトル⑥（スポーツ）
10.グループ討論①
11.グループ討論②
12.ESに挑戦
13.総括「情報洪水化社会をどう生きる～問われるコミュニケーション力」

科目名	教養総合Ⅷ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	新聞を読もう～「実用日本語とメディアリテラシー　社会人基礎力を身につけるために」			
担当者	佐々木　宏			

[成績評価方法]
課題（作文など）（60%）、語学力ミニテスト（20%）、プレゼン評価（20%）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
各課題に対して添削を行い、原則、次回にフィードバックする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：プレゼン発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：提出物・小テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：提出物

[教科書（ISBN）]
「朝日新聞」（朝刊）。毎回紙面そのものを届ける。記事のコピーを配付することもある。 出版社：朝日新聞社

[参考書（ISBN）]

科目名	教養総合Ⅷ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	映像で学ぶ高齢者福祉			
担当者	清水　弥生			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
高齢者福祉に関する新聞記事や映像などを通して、社会福祉の歴史や問題の背景に関する基本的な知識を得る。またそのトピックに関するディスカッションをすることにより，問題とその原因、社会的な背景を結びつける視点を養うことを目的とする。

[授業概要]
高齢者，認知症当事者や社会福祉全般に関する映像と高齢者福祉に関する授業とを関連させながら学ぶ。全学科の学生を対象とするが、特に社会福祉学科の学生は2年生前期「高齢者福祉」が歴史や制度中心であるので、高齢者に関する基本的な理解および、具体的なイメージを持つことができるようになることを目指す。後半は介護保険や地域包括ケアの具体的なサービスについて同様に映像と授業を関連させながら学ぶ。
そのトピックに関して参加者全員でグループディスカッションをすることにより、その問題の複眼的な理解、かつ社会福祉的な立場からの見方を理解する。また、小レポートを書き，教員が添削することにより、レポート執筆の基本的技術の上達を目指す。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
新聞を毎日読む，ニュースを見る等、社会問題を理解するための基本的な知識を身につける。授業後，関連する新聞記事を集めたり，他の授業との関連性を整理する。各回、2時間程度。

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.認知症についての基本的知識
3.認知症当事者の視点から学ぶ認知症ケア
4.認知症高齢者を介護する家族の負担とケア
5.グループディスカッション
6.介護保険サービスの基本的知識
7.小規模多機能型居宅介護の支援
8.高齢者福祉施設に関する映像から学ぶ
9.高齢者福祉からみる地域包括支援制度
10.地域で暮らす高齢者の支援
11.グループディスカッション
12.社会福祉に関する記事や映像の読み解き
13.まとめ

科目名	教養総合Ⅷ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	映像で学ぶ高齢者福祉			
担当者	清水　弥生			

[成績評価方法]
発表やグループディスカッションへの参加態度（50%）、小レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
小レポートは添削して返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表内容やグループディスカッションへの参加、小レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：発表内容やグループディスカッションへの参加、小レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表内容やグループディスカッションへの参加、小レポート

[教科書（ISBN）]
なし（必要に応じて資料を配布する）

[参考書（ISBN）]

科目名	芸術Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	美の探求			
担当者	松本　尚			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
芸術や身近なものたちの美に対する理解を深め、また再認識をし、生活の中での、それらの存在に関心を持つようになる。

[授業概要]
過去から現在に至る芸術全般の流れを追いながら、美とは何か、どのように表現されてきたのかを学び、実際に表現、形にしていくことを学びます。
芸術を通して日常生活に対する柔軟な視点を持ち、視野を広げ、自身のこれからの生活をより豊かにする、仕事に活かせる思考を身につけます。できるだけ多くの作品、教材を使用します。
視覚的な学びを言葉で語る力、手を動かすことでの経験、発想の広がりを実践的に身に付けていきます。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
授業の終わりに、次回のテーマを告知します。そのことについて各自が予備知識を持つように文献等を調べ、より一層関心を持ち、理解を深めるために授業内で挙げる参考文献等を読んでおいてください。また当日の講義内容について復習をしてください。予習復習合わせて4時間程度です。

[授業計画]
1. 美とは何か、芸術とは何か
2. ファッションの視点から1ーファッションの歴史、過去から現代まで
3. ファッションの視点から2ー世界のファッションデザイナー
4. デザインの視点から1ーグラフィックデザインの歴史、過去から現代まで
5. デザインの視点から2ー色彩、フォルム、テクスチャー
6. 絵画・彫刻の視点から1ー絵画の歴史、過去から現代まで
7. 絵画・彫刻の視点から2ー東洋の美、西洋の美、現代アートとは
8.プロダクトデザイン・工芸の視点から1ープロダクトデザイン・工芸の歴史、過去から現代まで
9.プロダクトデザイン・工芸の視点から2ー生活の美、日常の美
10.空間芸術・建築の視点から1ー建築の歴史、過去から現代まで
11. 空間芸術・建築の視点から2ー世界の建築、パブリックアート、日常における空間性
12. 映像の視点から1ー写真、映像、アニメーションの歴史、過去から現代まで
13. まとめ、芸術とは何か、美とは何かを各自テーマ設定を行い、レポートとしてまとめる

科目名	芸術 I	前期	講義	2 単位
サブタイトル	美の探求			
担当者	松本　尚			

[成績評価方法]
レポート課題提出(80%)、授業態度の総合評価(20%)。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題提出後の授業の中で、講評を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート及び課題提出

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート及び課題提出

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

科目名	芸術Ⅱ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	世界の音楽			
担当者	服部　智行			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
受講生がポピュラー音楽史に関する基本的な知識を身につけ、それに基づいて自らテーマを決めて調べ、レポートとしてまとめる能力を養うことを目標とする授業です。

[授業概要]
講義を中心に授業を進めます。本年度は第二次世界大戦後(1945年以降)のポピュラー音楽史を概観します。今回の講義ではいわゆる「洋楽」と「邦楽」をなるべく同じくらいの比率で扱い、現在の日本で聴かれているさまざまな音楽のルーツを確認し、それぞれのジャンルがどのような音楽からの影響によって誕生、変容し、他のジャンルにどのような影響を与えてきたのかという流れを、時代を追って見ていきます。さらに各時代の社会状況、テクノロジー、音楽産業、メディアなどが、その時代の音楽に与えた影響などについても考えます。なお、ポピュラー音楽の研究においては実際の楽曲や映像作品にまさる資料はないので、この授業でもできるだけたくさんの音資料、映像資料等を視聴します。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
授業内容と関連する音楽作品、映像作品等を可能な限り視聴し、関連文献に目を通して下さい。レポートのテーマ発表後は、その提出に向けてしっかり準備して下さい。 各回、予習復習合わせて4時間程度を望みます。

[授業計画]
1.1940年代前半までのポピュラー音楽
2.1940年代後半のポピュラー音楽
3.1950年代前半のポピュラー音楽
4.1950年代後半のポピュラー音楽
5.1960年代前半のポピュラー音楽
6.1960年代後半のポピュラー音楽
7.1970年代前半のポピュラー音楽
8.1970年代後半のポピュラー音楽
9.1980年代前半のポピュラー音楽
10.1980年代後半のポピュラー音楽
11.1990年代前半のポピュラー音楽
12.1990年代後半のポピュラー音楽
13.2000年以降のポピュラー音楽

P10020370 [CH1-046]　　[1全]*前期水4

科目名	芸術Ⅱ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	世界の音楽			
担当者	服部　智行			

[成績評価方法]
レポート(100%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
レポートの出題意図、書き方、採点のポイント等に関しては授業中に詳しく説明し、提出前の質問、相談等も受け付けます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート課題

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

P10020370 [CH1-046]　　[1全]*前期水4

科目名	現代社会 I	後期	講義	2 単位
サブタイトル	法と社会生活			
担当者	七野　敏光			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
法を身近なものと考え、政治問題などに関心を示す生活態度を身につける。

[授業概要]
普段の何げない生活。私たちはおよそ法など意識せずに過ごしている。だが、それは私たちが呼吸するときに空気の存在を意識することなどないことと似ている。意識の有無はどうあれ、私たちは法の存在なしには一時も生活できない、法の世界の住人なのである。少々びっくりするかもしれないが、これは紛れもない事実であり、この事実を皆さんに認識してもらい、法の世界の住人に相応しい知識を伝えることが、この授業の目的である。その昔、法に精通することは紳士(gentleman)の条件だった。今の世の中、当然、法に精通することは紳士ばかりでなく、淑女(lady)の条件ともなろう。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
インターネットなどを駆使し、話題となっている法律問題(紛争や事件など)につき、リアルな情報を把握したうえで授業に参加してください。毎授業ごとの授業準備と復習に4時間程度の時間をかけてください。

[授業計画]
1. はじめに
2. 日常生活と法(売買契約)
3. 日常生活と法(賃貸借・消費貸借契約)
4. 日常生活と法(家族関係一般)
5. 結婚と親子関係
6. 六法とは何か?(憲法)
7. 六法とは何か?(民法・商法と民事・刑事訴訟法)
8. 六法とは何か?(刑法)
9. 親族の基本知識
10. 財産相続(相続人・相続分など)
11. 財産相続(代襲相続・寄与分など)
12. 権利の主体と社会保障
13. まとめ

科目名	現代社会 I	後期	講義	2 単位
サブタイトル	法と社会生活			
担当者	七野　敏光			

[成績評価方法]
試験（100%）で評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験実施後、解答を提示し説明します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：試験（100%）で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：試験（100%）で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：試験（100%）で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験（100%）で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験（100%）で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：試験（100%）で評価します。

[教科書（ISBN）]
『新時代の法学・憲法』
　著者名：山田勉・笹田哲男編　出版社：建帛社
　（ISBN　978-4-7679-4346-6）

[参考書（ISBN）]

科目名	現代社会Ⅱ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	現代社会と経済			
担当者	小沢　康英			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
経済の基礎知識を習得しながら、現実の諸問題について経済面からの理解を深める。

[授業概要]
現代日本が抱える経済的諸問題について、やさしく講義する。戦後の日本経済は大きな発展を遂げた。戦後数十年の経済発展の間に確立した組織や雇用など企業運営の枠組みは、近年の経済の低成長のなかで変化が顕著となってきている。社会の枠組みの変化やそこから生じる課題などについて考えていく。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日頃から授業に関係するニュース等に関心を持つこと。

[授業計画]
1. 社会経済を構成する主な要素
2. 企業経営の目的
3. 職場組織の構造と組織の風土・文化の形成
4. 企業活動と社会的責任
5. 共働の効果を引き出す組織運営 とリーダーシップ
6. 職場でのさまざまな問題やストレス と心理的支援
7. 仕事と生活の調和＜学外講師:西本真理＞
8. 職場の多様性
9. 職業生活設計とキャリアコンサルティング
10. 職場の安全文化と労働災害への対応
11. 労働者の心の健康の保持
12. 適切な人材管理と職場生活の安定
13. 現代の経済構造の変化

科目名	現代社会Ⅱ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	現代社会と経済			
担当者	小沢　康英			

[成績評価方法]
授業における自立心・対話力（30%）、レポート（70%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポート課題に関する解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
プリントを配布する

[参考書（ISBN）]

科目名	現代社会Ⅲ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	現代社会論			
担当者	南　コニー			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
現代社会の抱える諸問題について知識を深めるとともに
自ら考える応用力を養う。

[授業概要]
本講義では、現代社会の諸相を女性の視点から多角的に考察します。授業のはじめにグローバルジェンダーギャップ指数をもとに各国のジェンダー格差を考察し、日本社会の課題である男女共同参画社会のあり方や少子高齢化社会などの社会問題について社会を担っていく女性の可能性について考察します。なお、授業の進度と内容については受講者の習熟度に配慮して適宜調整します。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
授業内容の予習復習をすること(各回の予習復習合わせて4時間程度)

[授業計画]
1.授業オリエンテーション
2. セックスとジェンダー
3. 子どものジェンダー化
4. 物語におけるジェンダー
5. エイジングとジェンダー
6. 映画
7. 精神疾患とジェンダーバイアス
8. 親密な関係における暴力
9. 母娘関係に見るジェンダー
10. キャリアと金融リテラシー
11.ロールモデルに学ぶキャリア
12.家事と社会と個人の日常生活
13.結婚・家族制度とジェンダー

科目名	現代社会Ⅲ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	現代社会論			
担当者	南　コニー			

[成績評価方法]
出席、感想（50%）、レポート課題（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題（レポート等）に関するフィードバックは、授業中返却し適宜行う

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業課題（50%）及び、学期末レポート(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業課題（50%）及び、学期末レポート(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業課題（50%）及び、学期末レポート(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業課題（50%）及び、学期末レポート(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業課題（50%）及び、学期末レポート(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業課題（50%）及び、学期末レポート(50%)

[教科書（ISBN）]
『アクティブラーニングで学ぶジェンダー』
購入不要：遠隔授業の際に資料を随時アップロード　著者名： 青野篤子編著　出版社：ミネルヴァ書房

[参考書（ISBN）]

科目名	現代社会Ⅳ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	現代社会と政治			
担当者	豊福　一			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
戦後の政治史を順に概観する中で、政党の役割、政治力学、諸制度を学び、さらにそれを基に現在存在する政治制度を理解する。

[授業概要]
政治に関する歴史、制度、政治と関連する現代社会の諸制度について、わかりやすく解説する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
授業中指示する事項について、復習と予習を行うこと(概ね30分程度)。日頃から、授業内容に関連するニュース等に注意しておくこと。

[授業計画]
1. 戦後の政治史(1)
2. 戦後の政治史(2)
3. 戦後の政治史(3)
4. 戦後の政治史(4)
5. 戦後の政治史(5)
6. 日本の選挙制度(選挙運動)
7. 日本の選挙制度(選挙要件等)
8. 日米安全保障条約
9. 日米安全保障条約
10. 日本の議会制度1
11. 日本の議会制度2
12. 現行の放送法の制定・改正の経緯・概要
13. 講義内容の総括

P10020280 [CH1-043]　　[1全]*後期月4

科目名	現代社会Ⅳ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	現代社会と政治			
担当者	豊福　一			

[成績評価方法]
試験

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
試験終了後に解説する予定です。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:試験

[教科書(ISBN)]
レジュメ・資料を作成し配付する。 著者名:なし　(なし　　)

[参考書(ISBN)]

科目名	現代社会Ⅴ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	社会福祉入門			
担当者	松井　順子、清水　弥生、植戸　貴子、曽田　里美、津田　理恵子、下司　実奈、泉　妙子、佐々木　勝一、田中　希世子			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業では私達の生活や暮らし、社会がかかえるさまざまな福祉的課題を知るきっかけを提供する。学生はそれらを自分のこととして考え、どのような支援が求められているのか、考察できる思考力と問題意識を養うことを期待している。社会福祉を学ぶ第一歩となることが本講義の到達目標である。

[授業概要]
本講義は社会福祉学科の教員がそれぞれの専門領域 —— 例えば、高齢者福祉・介護、障がい児者福祉、児童福祉、精神保健福祉、地域福祉・まちづくり等 —— から社会福祉の実態を論じ、全体を通じて多方向から社会福祉を中心にした現代社会の実像を教授することを主たる目的としている。その目的を達成するため、授業は学科の多くの教員と学外講師も招聘しオムニバス形式で進める。当然、講義のテーマは毎回異なる。テキストは使用せず、各講師がその都度、テーマに沿った資料を配付する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
新聞を毎日読む、ニュースを見る等、社会を理解するための基本的な知識を身につける。授業で取り上げられたテーマは自らも調べ、最終回のまとめの課題に反映させる。担当教員が毎回変わるが、わからない言葉や概念は、後日でも良いので質問したり社会福祉用語辞典等で調べる。予習復習を合わせて2時間程度行う。

[授業計画]
1. オリエンテーション・健康寿命と現代社会（松井 順子）
2. 高齢者の生きがいと回想法（津田 理恵子）
3. 社会福祉施設の面白さ　（佐々木 勝一）
4. 現代社会と障害者福祉　（植戸 貴子）
5. 認知症高齢者のケア　（清水 弥生）
6.「高齢社会を支える」を考える （松井 順子）
7. 地域で支える子育て　（曽田 里美）
8. 発達障害の子どもたち　（下司 実奈）
9.「『子どもの権利』から考える子どもの現在（いま）」（学外特別講師：佐々木 光明）
10. 地域復興とまちづくり　（学外特別講師：山 泰幸）
11. 病気と生活の深い関係　（田中 希世子）
12. ソーシャルマインド　（泉 妙子）
13. まとめと・レポート　（松井 順子）

科目名	現代社会Ⅴ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	社会福祉入門			
担当者	松井　順子、清水　弥生、植戸　貴子、曽田　里美、津田　理恵子、下司　実奈、泉　妙子、佐々木　勝一、田中　希世子			

[成績評価方法]
レポート(100%)により評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
その都度解説などのフィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート課題

[教科書(ISBN)]
なし(各教員が、資料を配付する)

[参考書(ISBN)]

科目名	神戸学	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	山内　有香子、松浦　紀美恵、道谷　卓			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
神戸の歴史と文化を習得し、教養を深める。

[授業概要]
この講義は、神戸の豊かな歴史と文化の営みを、多角的な視点から学習しようとするものである。歴史という点からは、古くから知られる神戸・須磨の地域的特性や明治以降の神戸の産業発展、そして中国とのつながりについて、また、文化面では、文学、服飾、料理、住居等多彩な分野に亘って神戸との関わりについて学ぶ。ふだん目や耳にする光景や言葉に込められた、奥深い歴史と文化を講義の中から感じとってほしい。それには、講義で紹介される関係文献に目を通すことはもちろん、興味をいだいた「場」にぜひ積極的に出かけ、肌で文化と歴史を感じてもらいたい。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
各担当教員から指示のある図書や文献を次回までに読んでおくこと。
復習を中心に4時間程度の前後学習をすること。

[授業計画]
1. オリエンテーション、神戸について　(山内有香子)
2. 神戸の下町文化　(松浦紀美恵)
3. 魅力、再発見～神戸のなぜに答えます！　(学外特別講師　神戸市教育委員会　松田慎吾)
4. 生田神社・神楽生田舞の誕生から考える神戸の歴史　(学外特別講師　生田神社宮司　酒井康博)
5. 神戸の食文化　(松浦紀美恵)
6. 神戸と災害　(松浦紀美恵)
7. 日本菓子文化を変えた神戸スイーツの原点　(学外特別講師　亀井堂総本店取締役　松井隆昌)
8. 神戸の歴史・序説　(道谷　卓)
9. 神戸の地名と伝説　(道谷　卓)
10. 平清盛、源平の争乱と神戸　(道谷　卓)
11. 「太平記」と神戸　(道谷　卓)
12. 嘉納治五郎と神戸　(道谷　卓)
13. 戦後の神戸・まとめ　(山内有香子)
担当者によって、取り上げるテーマが重複する場合もあるが、取り上げ方の視点、内容の詳細などが異なるので、あらかじめ了解しておくこと。

科目名	神戸学	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	山内　有香子、松浦　紀美恵、道谷　卓			

[成績評価方法]
授業の取り組み姿勢（20%）、提出物（80%）で評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
後日添削して返却する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業の取り組み姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：提出物

[教科書（ISBN）]
必要に応じてプリントを配布する。

[参考書（ISBN）]

科目名	心とからだの健康	後期	講義	2 単位
サブタイトル	心とからだの健康 （心とからだ）			
担当者	重福 京子、曽田 里美、坂元 美子、吉川 豊、泉 妙子、木村 大輔、西原 詩子			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
「心」と「からだ」の健康について、心身相関の視点を学びながら幅広い知識を習得することを到達目標とする。

[授業概要]
近年、いわゆる「健康」への関心が高まっている。一般に「健康」というとき、「からだ」の健康と「心」の健康という二つの面に分けて考えられることが多い。しかし、この二つの側面は互いに密接な関係がある。そこで、本講では、「心身相関」の視点をキーワードに、専門領域を異にする複数の教員によるオムニバス形式の講義を行うことで、「健康」をさまざまな側面から捉え理解を深めていく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業内容を復習し理解しておくこと。日頃から「心とからだの健康」ということについて、現代社会で問題となっている事柄について関心をもつこと。
各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.講義の目的と構成（重福京子）
2..生活支援に関連した心とからだの健康Ⅰ（泉妙子）
3.生活支援に関連した心とからだの健康Ⅱ（泉妙子）
4.心の健康とからだの健康Ⅰ（曽田里美）
5.心の健康とかただの健康Ⅱ（曽田里美）
6.看護とヘルスケアに関する心とからだの健康（西原詩子）
7.口腔内の健康と口腔ケア（西原詩子）
8.からだの健康と嗜好食品Ⅰ（吉川 豊）
9.からだの健康と嗜好食品Ⅱ（吉川 豊）
10.お腹から考えるメンタルヘルス（木村大輔）
11.からだの健康と食生活（坂元美子）
12.心の健康と食生活（坂元美子）
13.まとめ（重福京子）

科目名	心とからだの健康	後期	講義	2 単位
サブタイトル	心とからだの健康 （心とからだ）			
担当者	重福 京子、曽田 里美、坂元 美子、吉川 豊、泉 妙子、木村 大輔、西原 詩子			

[成績評価方法]
受講態度（40%）、試験（60%）後日返却

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
後日添削して返却します

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート課題・試験

[教科書（ISBN）]
なし。必要に応じて資料を配付する。

[参考書（ISBN）]

科目名	言葉と文学Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	日本の文学(古代・中古・中世・近世)			
担当者	大山　範子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
「須磨」や現在の神戸に関わる古典文学作品に触れて知識や教養を深めるとともに、日本古典文学史における各種ジャンルやその主要作品について知り、理解する。

[授業概要]
神戸女子大学のキャンパスのある須磨の地は、古来から歌枕として有名であり、数多くの文学作品に登場してきた。講義では、「須磨」のほか現在の神戸市の名所旧跡の登場する様々なジャンルの古典文学作品について概説する。さらに作品を講読し、「須磨」や神戸を手がかりとして古典文学に親しむ。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
各回、予習復習合わせて4時間程度。事前に次の講義の予告をし、使用する資料を配布するので、目を通してくること。

[授業計画]
01. 和歌と和歌説話にみる須磨　―『万葉集』ほか―
02.　〃　―『古今和歌集』ほか―
03. 中古の物語にみる須磨　―『源氏物語』1―
04.　〃　―『源氏物語』2―
05.　〃　―『源氏物語』とその注釈書から―
06. 中世の軍記物語にみる須磨　―『平家物語』1―
07.　〃　―『平家物語』2―
08. 中世の文芸にみる須磨
09. 中世の芸能にみる須磨　―宴曲・幸若舞など―
10.　〃　―能―
11. 近世の芸能にみる須磨　―浄瑠璃・歌舞伎など―
12. 近世の文芸にみる須磨(1)
13. 近世の文芸にみる須磨(2)

＊受講者の関心・興味に応じて授業計画を変更する場合があります。

P10020170 [CH1-032]　【閉講】[1全]*前期金4

科目名	言葉と文学Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	日本の文学(古代・中古・中世・近世)			
担当者	大山　範子			

[成績評価方法]
試験(60%)および講義時の小課題(不定期、数回を予定、40%)によって評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
小課題については次回講義時にコメントをする。期末レポートは提出・講評ともmanabaを利用。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:小課題および期末試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:小課題および期末試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:小課題および期末試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:小課題および期末試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:小課題および期末試験

[教科書(ISBN)]
なし。プリントを配布する。

[参考書(ISBN)]

科目名	言葉と文学Ⅲ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	イギリス文学の英詩をあじわう			
担当者	虹林　桃子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
英詩を読む楽しさを知る。
作品の時代背景や文化的背景を知ることで、よりその奥深さを理解する。
各自がそれぞれの観点を持って作品を読み、自分の考えを表現できるようになる。

[授業概要]
幅広い解釈が可能な英詩を読むことで、各自が世界や自分自身について考える機会を持つことができると考えられる。
本授業ではテキストで紹介される厳選された英詩を読み、その響きや意味を味わう。文学的に高く評価されつつ、親しみやすい英語で書かれた詩をあじわうことで各自が新たな着眼点を見いだすことができるのではないかと考える。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
授業で扱う詩を事前に音読し、それについて各自が考えたことをまとめること。授業後は小テストに備えて詩を読み直す(毎回の授業の予習復習には4時間程度の学習時間を設ける)。
学期中の学習を通して興味を持った事柄について各自が個別にテーマを設け、学期末にレポートを作成・提出すること。

[授業計画]
1. 英詩に関する概説と、授業の概要説明
2. I. Poems of Natureから一編
3. I. Poems of Natureから一編
4. I. Poems of Natureから一編
5. II. Poems of the Seasonsから一編
6. II. Poems of the Seasonsから一編
7. II. Poems of the Seasonsから一編
8. III. Poems of Flowersから一編
9. III. Poems of Flowersから一編
10. IV. Poems of Birds and Animalsから一編
11. IV. Poems of Birds and Animalsから一編
12. V. Poems of Nightから一編
13. V. Poems of Nightから一編

科目名	言葉と文学Ⅲ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	イギリス文学の英詩をあじわう			
担当者	虹林　桃子			

[成績評価方法]
授業パフォーマンス（ディスカッションへの参加等）20%、小テスト30%、学期末レポート50%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
小テストや学期末レポートはmanaba上で提出する。
フィードバックもmanaba上のコメント機能にて行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業パフォーマンス

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業パフォーマンス

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業パフォーマンス、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業パフォーマンス

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業パフォーマンス、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業パフォーマンス

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：小テスト、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：小テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業パフォーマンス、レポート

[教科書（ISBN）]
English Poems and Their Meanings　著者名：Peter Milward　出版社：音羽書房鶴見書店　(ISBN-10: 4755301025 ISBN-13: 978-4755301025)

[参考書（ISBN）]

科目名	自然と環境 I	後期	講義	2 単位
サブタイトル	自然の中の物理			
担当者	稲垣　善茂			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
自然の中に潜む物理法則の理解を目指す。一つ一つの物理現象を理解するための基礎的な素養を身につけ、自然現象を科学的視点から分析・探求できる力を習得する。

[授業概要]
【メディア授業】
自然界における物理法則について、高校の「物理基礎」を中心に、高校の「物理」、大学の基礎的な「物理学」を含めて概説する。基礎的な高校の物理の概略を復習しつつ、教員採用試験や公務員試験合格レベルの知識の習得を目指して講義を行う。これらの物理現象を理解するための基礎的な素養を身につけつつ、実際に物理の問題を解けるようになることを目指す。授業内容には小学校教育コースにおける小学校免許必須科目である「理科概説」「理科教育法」(エネルギー領域)における実験内容・指導案作成内容の原理・説明を含むので、小学校教職免許状取得を目指す学生には履修を勧める。高校での物理の達成度に不安を感じている一方で、大学で物理の履修が必要な学生向けである。本講義は高大連携科目となっており、高校生が参加する可能性があることも申し添えておく。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
高等学校「物理基礎」をよく理解しておくこと。この授業では、積み重ねが大切なので、前回の授業の内容を「manaba」の「小テスト」を利用してよく復習しておくこと。なお、テキストはpdfがmanabaからダウンロードできるので教科書,参考書は必ずしも必須ではない。 予習復習の時間数は各回、合わせて4時間程度。

[授業計画]
第1回　運動の表し方(速度、加速度、落体の運動)
第2回　運動の法則1(力とそのはたらき)
第3回　運動の法則2(力のつりあい)
第4回　運動の法則3(運動の法則)
第5回　運動の法則4(摩擦を受ける運動、)
第6回　運動の法則5(液体や気体から受ける力、浮力)
第7回　仕事と力学的エネルギー1(仕事、運動エネルギー)
第8回　仕事と力学的エネルギー2(位置エネルギー、力学的エネルギーの保存)
第9回　熱とエネルギー1(熱と熱量、熱と物質の状態)
第10回　熱とエネルギー2(熱と仕事、不可逆的変化と熱機関)
第11回　物質と電気1(電気の性質、電流と電気抵抗1)
第12回　物質と電気2(電流と電気抵抗2、電気とエネルギー)
第13回　磁場と交流(電流と磁場、交流と電磁波

科目名	自然と環境 I	後期	講義	2 単位
サブタイトル	自然の中の物理			
担当者	稲垣　善茂			

[成績評価方法]
試験(「manaba」小テスト100%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業動画を公開(試験的にオンデマンド型授業にも対応)。manabaの小テストによる課題に対しては、課題締め切り後に、ポートフォリオに採点結果と正答が公開されるようになっています。ポートフォリオを確認して復習に利用してください。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／　筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:試験(「manaba」小テスト)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:試験(「manaba」小テスト)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:試験(「manaba」小テスト)

[教科書(ISBN)]
プリントなどを各自「manaba」からダウンロードして印刷のこと。

[参考書(ISBN)]

科目名	自然と環境Ⅱ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	躍動する地球			
担当者	村田　恵子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
今日の地球の姿をプレートの動きや地球の長い歴史の中で理解する。

[授業概要]
【メディア授業】
　地質学的時間、地球の歴史に伴う生命の誕生と進化、固体地球表層とくに海洋リソスフェアの構造や動きについて理解する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
　毎回配布される次回のプリントを読み、おおまかな内容を予習し、疑問点を明確にしておく。
授業後は、テキストとノートで十分復習をすること。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.太陽・月・地球
2.地質学的時間(相対年代・放射年代・地磁気による編年)
3.生命の誕生と進化①
4.生命の誕生と進化②
5.固体地球の内部
6..プレートテクトニクス①
7..プレートテクトニクス②
8..地層と化石・岩石①
9.地層と化石・岩石②
10.地震活動・火山活動
11..プルームテクトニクス
12.日本列島の形成
13.まとめ

科目名	自然と環境Ⅱ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	躍動する地球			
担当者	村田　恵子			

[成績評価方法]
試験

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
試験の答案を回収後、希望者には解答の解説を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／　筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:試験

[教科書(ISBN)]
なし。プリント配布。

[参考書(ISBN)]

科目名	宗教	前期	講義	2 単位
サブタイトル	世界の宗教(宗教入門)			
担当者	栗山　はるな			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	コメントシートを用いた主体的学習	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
宗教がどのように我々の生活に影響を与えているのか、なぜそれを知る必要があるのかについて理解すること。様々な宗教の特徴について比較を通して理解し、世界的な宗教問題について考える視座を獲得すること。宗教的な文化芸術の背景について知ること。

[授業概要]
宗教は古代から近代に至るまで世界の社会、文化をリードしてきたいわば我々の社会の親とも言うべき存在です。宗教的な問題は世界中で大きな関心をもって取り上げられますが、一方で日本では比較的関心を持たれない傾向にあります。この授業ではそれぞれの教えに関する基礎知識を確認し、その現代社会に与える影響について考える中で、皆さんが宗教的な問題に向き合う際の姿勢を培うことを目指します。また、様々な宗教芸術作品や建築についても適宜紹介します。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
授業で配布したプリントをよく読んで、復習と予習合わせて2時間程度で準備しておく。授業内容と自身の生活との関わりについて考えたり、授業のテーマと内容的に関係する報道などに関心を持つ。

[授業計画]

1、ガイダンス
2、世界の宗教と宗教を学ぶ意味
3、ユダヤ教①
4、ユダヤ教②
5、キリスト教①
6、キリスト教②
7、イスラム教①
8、イスラム教②
9、仏教①
10、仏教②
11、神道
12、宗教と日本文化
13、まとめ

遠隔授業となった場合の受講方法はmanabaを見てください。

科目名	宗教	前期	講義	2 単位
サブタイトル	世界の宗教(宗教入門)			
担当者	栗山 はるな			

[成績評価方法]
授業内ミニレポート(60%)、最終テスト(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内でフィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:コメントシート及び期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:コメントシート及び期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:コメントシート及び期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:コメントシート及び期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:コメントシート及び期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:コメントシート及び期末レポート

[教科書(ISBN)]
なし。プリントを授業で配布

[参考書(ISBN)]

科目名	手話Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	手話の基礎			
担当者	下司　実奈			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
聴覚障害者と手話の歴史及び、聴覚障害者の生活における手話の役割について学ぶ。
言語としての手話の基礎知識を修得する。

[授業概要]
手話の歴史と特徴を学習すると共に、日常会話で使う手話について表現・読み取りについて学ぶ。
聴覚障害者の生活について学ぶ。
手話指導について経験の豊富な兵庫県聴力障害者協会より、聴覚障害者と手話通訳者が指導する。
担当教員はコーディネーターとして授業外支援に関わる。
※履修希望者が40名を超える場合は、初回講義時、人数調整を行うことがある。
平成29年度後期に教養総合ⅡⅣⅥⅧをまた平成30年度後期に教養総合ⅡⅣⅥⅧを履修済みの学生はこの科目を履修登録することができない。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
次回の課題を提示するので,各回、予習復習合わせて4時間程度学習すること。
実技については次回までに確実に表現できるようにしておく。

[授業計画]
1. オリエンテーション 「手話は見ることば」
　・形・動作・状況に合わせた具体的な表現
　・物の形や動きの特徴をとらえて伝える
2. 自己紹介①「名前」　指文字
　・名前を表す方法、自分の名前を表現する
　・あいさつの手話
　・疑問詞＜何＞
3. 自己紹介「家族」
　・人物表現の基礎となる家族の手話を学ぶ
　・疑問詞＜だれ＞
　自己紹介「数」
　・手話の数詞表現
　・疑問詞＜いつ＞＜いくつ＞＜いくら＞を使って会話する
4. 自己紹介「趣味」
　・趣味をテーマに自分のことを話す
　・＜得意＞＜苦手＞＜上手＞＜下手＞などを使い身近な話題について会話する
　自己紹介「仕事」
　・仕事についての会話をする
　・見てわかりやすい表現の工夫
5. 自己紹介「住所」
　・都道府県名、地名、建物、交通手段
　・空間を使って位置関係や距離感を表す方法を学ぶ
　・疑問詞＜どこ＞
6. 一日のことを話す
　・＜何時＞＜～した＞の表現を使い一日の行動を手話で話す
7. 手話の基礎知識
　・手話の歴史と特徴について
8. 一カ月のこと、一年のことを話す
　・身体の位置を使って過去・現在・未来を表すことを学ぶ
　・疑問詞＜なぜ＞＜いくつ＞を使って一カ月・一年の生活の様子、行動について会話する
　・＜どちら＞＜～したい＞を使って比較、好きな理由、これからしたいことなどについて会話する
9. パーティ、旅行についての会話
　・今までに学んだ疑問詞の復習と、数に関する話題を中心に生活のさまざまな場面を設定し会話をする。
10. .病院についての会話
　・病院場面での会話を通して病気や健康に関する語彙を増やす
11. 学校、職場についての会話
　・具体的でわかりやすい表現を工夫し伝え合う
12. 聴覚障害者の暮らし
13. 実技試験

※公益財団法人兵庫県聴覚障害者協会より学外特別講師を招聘して授業を行う(全15回)。

P10020720 [CI1-035]　　[1全]*前期木4

科目名	手話Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	手話の基礎			
担当者	下司　実奈			

[成績評価方法]
実技試験(30%)、授業内に小テスト実施(30%)、レポート(30%)、授業への積極的参加度(10%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
フィードバックは授業中に行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:実技試験・レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:実技試験・レポート課題

[教科書(ISBN)]
手話を学ぼう 手話で話そう　　著者名: 社会福祉法人　全国手話研修センター　出版社:一般財団法人全日本ろうあ連盟 (4902158396)

[参考書(ISBN)]

科目名	手話Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	手話の応用			
担当者	下司　実奈			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
聴覚障害者くらしについて理解を深め、手話の基本文法を学び、相手の手話が理解でき、手話で日常会話ができる。

[授業概要]
手話の基本文法を学び、相手の手話が理解でき、手話で日常会話ができるようになる。
聴覚障害者のくらし、歴史について学ぶ。手話指導について経験の豊富な兵庫県聴力障害者協会より、聴覚障害者と手話通訳者が指導する。
担当教員はコーディネーターとして授業外支援に関わる。

※履修希望者が40名を超える場合は、履修登録締め切り後、人数調整(抽選)を行うことがある。調整の結果はKISSにて登録者全員に知らせる。教科書の購入は調整の結果を受け取ってからにすること。第1回目の授業に教科書購入が間に合わなくても受講できるようにする。
平成30年度前期に教養総合ⅠⅢⅤⅦを履修済みの学生はこの科目を履修登録をすることができない。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
次回の課題を提示するので予習すること。
実技については次回までに確実に表現できるようにしておく。予習復習合わせて4時間程度の学習をする。

[授業計画]
1. 具体的表現①　形の大小、表情、強弱、速度
2. 具体的表現②　様子や形　　具体的表現③　動き
3. まとめ　　講義「手話サークル」
4. 格の決定①　位置・方向
5. 格の決定②　役割の切り替え　　格の決定③　指さし
6. まとめ　　講義「ろう者の歴史」
7. 空間活用①　左右・前後の空間
8. 空間活用②　上下空間・指さしと視線
9. 同時表現　両手の活用
10. 指の代理的活用
11. 繰り返し表現　複数、強調、継続
12. 置き換え表現　意味に合った手話
13. 実技試験(スピーチ)

※公益財団法人兵庫県聴覚障害者協会より学外特別講師を招聘して授業を行う(全15回)。

※手話Ⅱは手話Ⅰを履修済みでなくとも受講できるが、手話Ⅰを受講済みと同程度の理解・表現を取得していることが望ましい。

科目名	手話Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	手話の応用			
担当者	下司　実奈			

[成績評価方法]
実技試験（30%）、授業内に小テスト実施（30%）、レポート（30%）、授業への積極的参加度（10%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
フィードバックは授業中に行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：実技試験・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：実技試験・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技試験・レポート

[教科書（ISBN）]
手話を学ぼう 手話で話そう　著者名：社会福祉法人　全国手話研修センター　出版社：一般財団法人全日本ろうあ連盟　（4902158396）

[参考書（ISBN）]

科目名	情報 I	前期	演習	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作			
担当者	堀　桂太郎			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
②ワードを使って文書処理ができる
③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
タッチタイピングの練習　及び　前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1:表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3 :関数
11. データサイエンス入門4:基本統計
12. データサイエンス入門5:データ集計と可視化
13. まとめ
※コンピュータの台数が限られていますので、受講人数を制限することがあります。

科目名	情報 I	前期	演習	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作			
担当者	堀　桂太郎			

[成績評価方法]
タイピング（10%）、課題（70%）、最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題やレポートは、添削して返却する。また、必要に応じて個別に問題点等を指摘し、改善を求める。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：タイピング、課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／　筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題、最終レポート

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	情報 I	前期	演習	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作			
担当者	堀　桂太郎			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
②ワードを使って文書処理ができる
③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
タッチタイピングの練習　及び　前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1:表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3 :関数
11. データサイエンス入門4:基本統計
12. データサイエンス入門5:データ集計と可視化
13. まとめ
※コンピュータの台数が限られていますので、受講人数を制限することがあります。

P10020700A [CI1-005]　　[1福AB]*前期月3

科目名	情報 I	前期	演習	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作			
担当者	堀　桂太郎			

[成績評価方法]
タイピング（10%）、課題（70%）、最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題やレポートは、添削して返却する。また、必要に応じて個別に問題点等を指摘し、改善を求める。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：タイピング、課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／　筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題、最終レポート

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	情報 I	前期	演習	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作			
担当者	竹田　和恵			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
②ワードを使って文書処理ができる
③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
　高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
タッチタイピングの練習　及び　前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1:表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3 :関数
11. データサイエンス入門4:基本統計
12. データサイエンス入門5:データ集計と可視化
13. まとめ

科目名	情報 I	前期	演習	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作			
担当者	竹田　和恵			

[成績評価方法]
タイピング（10%）、課題（70%）、最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で必要に応じて適宜お知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：タイピング、課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／　筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題、最終レポート

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	情報 I	前期	演習	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作			
担当者	竹田　和恵			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
②ワードを使って文書処理ができる
③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
　高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
タッチタイピングの練習　及び　前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1:表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3 :関数
11. データサイエンス入門4:基本統計
12. データサイエンス入門5:データ集計と可視化
13. まとめ

P10020700C [CI1-005]　　[1栄B]*前期水1

科目名	情報 I	前期	演習	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作			
担当者	竹田　和恵			

[成績評価方法]
タイピング（10%）、課題（70%）、最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で必要に応じて適宜お知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：タイピング、課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／　筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題、最終レポート

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	情報 I	前期	演習	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作			
担当者	竹田　和恵			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
②ワードを使って文書処理ができる
③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
　高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
タッチタイピングの練習　及び　前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1:表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3 :関数
11. データサイエンス入門4:基本統計
12. データサイエンス入門5:データ集計と可視化
13. まとめ

科目名	情報 I	前期	演習	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作			
担当者	竹田　和恵			

[成績評価方法]
タイピング（10%）、課題（70%）、最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で必要に応じて適宜お知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：タイピング、課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／　筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題、最終レポート

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	情報 I	前期	演習	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作			
担当者	平田　真弓			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
②ワードを使って文書処理ができる
③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
タッチタイピングの練習　及び　前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1:表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3 :関数
11. データサイエンス入門4:基本統計
12. データサイエンス入門5:データ集計と可視化
13. まとめ

P10020700E [CI1-005]　　[1看B]*前期月2

科目名	情報 I	前期	演習	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作			
担当者	平田　真弓			

[成績評価方法]
タイピング（10%）、課題（70%）、最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートや課題については、個別に直接問題点等を指摘し改善を求めます。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：課題　最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：タイピング　課題　最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／　筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：課題　最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題　最終レポート

[教科書（ISBN）]
無し

[参考書（ISBN）]

科目名	情報Ⅰ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作			
担当者	浅木森　和夫			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
① Windows パソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
② ワードを使って文書処理ができる
③ 表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④ インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につける。情報モラル・セキュリティー等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。情報を積極的に活用する上でのルールやマナー、著作権やプライバシーの侵害をしないなど、情報発信における留意点についても学ぶ。また、ワープロ、表計算、プレゼンテーション等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
学習トピック、テキストはLMS上に公開されます。LMSに公開されるテキストを事前によく読み、積極的に予習・復習をしてください。各自、自分のパソコンを毎日使用し手足のように使えるようになりましょう。タイピングは基本です。毎日10分タッチタイピングの練習をしましょう。各回2時間程度の予習・復習

[授業計画]
1. 授業ガイダンス　学内情報資源へのアクセス
2. Windowsの基本操作
3. エクスプローラ、コマンドプロンプトの利用
4. ウェブブラウザのインストールとカスタマイズ(グループワーク)
5. 文字の入力(タッチタイピング)
6. 電子メールの利用(ウェブメール)
7. ワードの基礎(文書構造、レイアウト)
8. ワードを利用したレポート作成(グループワーク)
9. 表計算ソフトの基礎Ⅰ(データの入力、表のレイアウト)
10. 表計算ソフトの基礎Ⅱ(簡単な計算処理、関数)
11. 表計算ソフトの基礎Ⅲ(外部データの読み込み)
12. 表計算ソフトの基礎Ⅳ(アンケート処理)
13. まとめと学習成果確認、解説

P10020700F [CI1-005]　　[1心A]*前期火4

科目名	情報 I	前期	演習	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作			
担当者	浅木森　和夫			

[成績評価方法]
成績は、学習への参画、グループワーク(20%)、タイプ実技試験・小テスト(30%)、課題(30%)、まとめの試験(20%)で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
学習振り返りにある質問や感想に対しては、授業のはじめにまとめて提示し解説します。グループワークについてはその都度コメントをフィードバックします。テストや課題については終了後、解答、ポイントをフィードバックします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:グループワーク

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:グループワーク、ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:振り返り、課題、グループワーク

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

科目名	情報Ⅰ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作			
担当者	西本　実苗			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
① Windows パソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
② ワードを使って文書処理ができる
③ 表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④ インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につける。情報モラル・セキュリティー等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。情報を積極的に活用する上でのルールやマナー、著作権やプライバシーの侵害をしないなど、情報発信における留意点についても学ぶ。また、ワープロ、表計算、プレゼンテーション等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
学習トピック、テキストはLMS上に公開されます。LMSに公開されるテキストを事前によく読み、積極的に予習・復習をしてください。各自、自分のパソコンを毎日使用し手足のように使えるようになりましょう。タイピングは基本です。毎日10分タッチタイピングの練習をしましょう。各回2時間程度の予習・復習

[授業計画]
1. 授業ガイダンス　学内情報資源へのアクセス
2. Windowsの基本操作
3. エクスプローラ、コマンドプロンプトの利用
4. ウェブブラウザのインストールとカスタマイズ(グループワーク)
5. 文字の入力(タッチタイピング)
6. 電子メールの利用(ウェブメール)
7. ワードの基礎(文書構造、レイアウト)
8. ワードを利用したレポート作成(グループワーク)
9. 表計算ソフトの基礎Ⅰ(データの入力、表のレイアウト)
10. 表計算ソフトの基礎Ⅱ(簡単な計算処理、関数)
11. 表計算ソフトの基礎Ⅲ(外部データの読み込み)
12. 表計算ソフトの基礎Ⅳ(アンケート処理)
13. まとめと学習成果確認、解説

科目名	情報 I	前期	演習	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作			
担当者	西本　実苗			

[成績評価方法]
成績は、学習への参画、グループワーク(20%)、タイプ実技試験・小テスト(30%)、課題(30%)、まとめの試験（20%）で評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
学習振り返りにある質問や感想に対しては、授業のはじめにまとめて提示し解説します。グループワークについてはその都度コメントをフィードバックします。テストや課題については終了後、解答、ポイントをフィードバックします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:グループワーク

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:グループワーク、ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／　筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:振り返り、課題、グループワーク

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	情報Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	情報機器の活用			
担当者	堀　桂太郎			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①情報Ⅰで身に付けた各種のビジネスソフトを活用するスキルをさらに向上させる
② ICTを使って適切なコミュニケーションをとることができる
③情報社会にふさわしいモラルを身に付け、実践できる

[授業概要]
現代は様々なメディアから膨大な情報が提供される。この中から必要な情報を取捨選択し、整理・集計していかに効果的で効率よく情報を活用していくのか重要になってくる。「情報Ⅰ」で修得した基礎をもとにし、表計算ソフトやプレゼンテーションソフト等を利用した情報の効率的な活用方法について学習する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回の予習・復習、課題への取り組みを行うこと（各回、合わせて4時間程度）。

[授業計画]
1. 授業ガイダンス、情報社会に必要なモラル
2. 表計算ソフトウェアの概要とワークシートの基礎
3. データ入力と表の作成
4. 関数と数式の応用
5. グラフの応用
6. データ操作の応用
7. データの検索
8. 操作の自動化
9. プレゼンテーションソフトウェアの概要と効果的なプレゼンテーション方法
10.プレゼンテーションの作成
11.図・グラフ・表の挿入と編集
12.表計算やプレゼンテーションについての演習課題（基礎）
13.表計算やプレゼンテーションについての演習課題（応用）
※コンピュータの台数が限られていますので、受講人数を制限することがあります。

科目名	情報Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	情報機器の活用			
担当者	堀　桂太郎			

[成績評価方法]
課題(70%)、レポート(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題やレポートは、添削して返却する。また、必要に応じて個別に問題点等を指摘し、改善を求める。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／　筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

科目名	情報Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	情報機器の活用			
担当者	堀　桂太郎			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①情報Ⅰで身に付けた各種のビジネスソフトを活用するスキルをさらに向上させる
② ICTを使って適切なコミュニケーションをとることができる
③情報社会にふさわしいモラルを身に付け、実践できる

[授業概要]
現代は様々なメディアから膨大な情報が提供される。この中から必要な情報を取捨選択し、整理・集計していかに効果的で効率よく情報を活用していくのか重要になってくる。「情報Ⅰ」で修得した基礎をもとにしに、表計算ソフトやプレゼンテーションソフト等を利用した情報の効率的な活用方法について学習する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回の予習・復習、課題への取り組みを行うこと（各回、合わせて4時間程度）。

[授業計画]
1. 授業ガイダンス、情報社会に必要なモラル
2. 表計算ソフトウェアの概要とワークシートの基礎
3. データ入力と表の作成
4. 関数と数式の応用
5. グラフの応用
6. データ操作の応用
7. データの検索
8. 操作の自動化
9. プレゼンテーションソフトウェアの概要と効果的なプレゼンテーション方法
10.プレゼンテーションの作成
11.図・グラフ・表の挿入と編集
12.表計算やプレゼンテーションについての演習課題（基礎）
13.表計算やプレゼンテーションについての演習課題（応用）
※コンピュータの台数が限られていますので、受講人数を制限することがあります。

科目名	情報Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	情報機器の活用			
担当者	堀　桂太郎			

[成績評価方法]
課題(70%)、レポート(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題やレポートは、添削して返却する。また、必要に応じて個別に問題点等を指摘し、改善を求める。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／　筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

科目名	情報Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	情報機器の活用			
担当者	竹田　和恵			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①情報Ⅰで身に付けた各種のビジネスソフトを活用するスキルをさらに向上させる
② ICTを使って適切なコミュニケーションをとることができる
③情報社会にふさわしいモラルを身に付け、実践できる

[授業概要]
現代は様々なメディアから膨大な情報が提供される。この中から必要な情報を取捨選択し、整理・集計していかに効果的で効率よく情報を活用していくのか重要になってくる。「情報Ⅰ」で修得した基礎をもとにし、表計算ソフトやプレゼンテーションソフト等を利用した情報の効率的な活用方法について学習する。さらに、情報通信の活用を通じ、情報伝達の方法を学習する。現代では、インターネット犯罪が増加傾向にある。そこで表計算ソフトやプレゼンテーションソフト等を利用した情報の活用方法について学習すると共に、情報モラル・ネットワーク利用のエチケットやセキュリティを学ぶ。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス
2. 関数と数式の基礎
3. 関数と数式の応用
4. グラフの基礎
5. グラフの応用
6. データベースの活用(並べ替え、検索)
7.デ ータベースの活用(クロス集計)
8.プレゼンテーションの作成1
9.プレゼンテーションの作成2
10. 操作の自動化
11. インターネットの仕組み
12. 情報モラルと情報セキュリティ
13. まとめ

科目名	情報Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	情報機器の活用			
担当者	竹田　和恵			

[成績評価方法]
課題(80%)、最終レポート(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内で必要に応じて適宜お知らせします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題、最終レポート

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

科目名	情報Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	情報機器の活用			
担当者	竹田　和恵			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①情報Ⅰで身に付けた各種のビジネスソフトを活用するスキルをさらに向上させる
② ICTを使って適切なコミュニケーションをとることができる
③情報社会にふさわしいモラルを身に付け、実践できる

[授業概要]
現代は様々なメディアから膨大な情報が提供される。この中から必要な情報を取捨選択し、整理・集計していかに効果的で効率よく情報を活用していくのか重要になってくる。「情報Ⅰ」で修得した基礎をもとにし、表計算ソフトやプレゼンテーションソフト等を利用した情報の効率的な活用方法について学習する。さらに、情報通信の活用を通じ、情報伝達の方法を学習する。現代では、インターネット犯罪が増加傾向にある。そこで表計算ソフトやプレゼンテーションソフト等を利用した情報の活用方法について学習すると共に、情報モラル・ネットワーク利用のエチケットやセキュリティを学ぶ。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス
2. 関数と数式の基礎
3. 関数と数式の応用
4. グラフの基礎
5. グラフの応用
6. データベースの活用(並べ替え、検索)
7.デ ータベースの活用(クロス集計)
8.プレゼンテーションの作成1
9.プレゼンテーションの作成2
10. 操作の自動化
11. インターネットの仕組み
12. 情報モラルと情報セキュリティ
13. まとめ

科目名	情報Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	情報機器の活用			
担当者	竹田　和恵			

[成績評価方法]
課題(80%)、最終レポート(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内で必要に応じて適宜お知らせします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題、最終レポート

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

科目名	情報Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	情報機器の活用			
担当者	清光　英成			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
インターネットの仕組み及びコンピュータの基本を理解した上で、情報を主体的に扱う能力を養う。
授業を通して、次のことを目標とします。
①情報Ⅰで身に付けた各種のビジネスソフトを活用するスキルをさらに向上させる
② ICTを使って適切なコミュニケーションをとることができる
③情報社会にふさわしいモラルを身に付け、実践できる

[授業概要]
本講義では、パソコンの操作方法・利用法、役割・機能及び情報の利用、情報モラルなどに関わる基礎的な知識を身につける。社会に広く普及しているワープロソフト，表計算ソフト及びプレゼンテーションソフトを用い、ビジネス文章などの作成に必要なワープロ操作技術を身につけるとともに、発表の準備から本番までの活用方法を学ぶ。
また、インターネットの基本的な仕組みやサービスの知識、利用する時に注意すべきこと等、ネットワークや情報倫理について概説し、コンピュータを扱う上で身に付けておくべき基礎的事項を学習する。

＊コンピュータの台数が限られていますので、状況により受講人数を制限することがあります。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
タイプクイックの練習　及び　前回の講義の復習
・・課題の作成過程におけるスキルの確認
・・課題の相互評価(2時間程度)
・・次回の予習の事前課題(2－3時間程度)

[授業計画]
1. ドキュメント(論理構造と体裁)
2. ワードプロセッサ(美文書作成基礎)
3. ページレイアウト(用紙・余白・文字入力)
4. 罫線(履歴書フォーマット作成)
5. スタイル(段落単位での書式設定:ビジネス文書作成)
6. 表とグラフ(ビジュアル化とインターネット:出典と引用)
7. 長文の作成(目次・索引・図表番号・注釈)
8. プレゼンテーション(スピーチとの違い・良い/悪いプレゼン)
9. アウトラインの作成(スライドマスター，ストーリーの作り方・展開)
10. レイアウトの選択とテーマの適用(プレースホルダと背景)
11. ワードプロセッサの表とグラフ
12. グループワーク(みんなで作るプレゼンテーション)
13. プレゼンテーション実践(言語/非言語コミュニケーション)

科目名	情報Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	情報機器の活用			
担当者	清光　英成			

[成績評価方法]
課題(100%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
ルーブリックに従った相互評価ならびにコメントフィードバック

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／　筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:課題

[教科書(ISBN)]
Webテキストを用意しております。 著者名:清光英成　出版社:Webテキスト

[参考書(ISBN)]

科目名	情報Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	情報機器の活用			
担当者	清光　英成			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
インターネットの仕組み及びコンピュータの基本を理解した上で、情報を主体的に扱う能力を養う。
授業を通して、次のことを目標とします。
①情報Ⅰで身に付けた各種のビジネスソフトを活用するスキルをさらに向上させる
② ICTを使って適切なコミュニケーションをとることができる
③情報社会にふさわしいモラルを身に付け、実践できる

[授業概要]
本講義では、パソコンの操作方法・利用法、役割・機能及び情報の利用、情報モラルなどに関わる基礎的な知識を身につける。社会に広く普及しているワープロソフト，表計算ソフト及びプレゼンテーションソフトを用い、ビジネス文章などの作成に必要なワープロ操作技術を身につけるとともに、発表の準備から本番までの活用方法を学ぶ。
また、インターネットの基本的な仕組みやサービスの知識、利用する時に注意すべきこと等、ネットワークや情報倫理について概説し、コンピュータを扱う上で身に付けておくべき基礎的事項を学習する。

＊コンピュータの台数が限られていますので、状況により受講人数を制限することがあります。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
タイプクイックの練習　及び　前回の講義の復習
・・課題の作成過程におけるスキルの確認
・・課題の相互評価(2時間程度)
・・次回の予習の事前課題(2－3時間程度)

[授業計画]
1. ドキュメント(論理構造と体裁)
2. ワードプロセッサ(美文書作成基礎)
3. ページレイアウト(用紙・余白・文字入力)
4. 罫線(履歴書フォーマット作成)
5. スタイル(段落単位での書式設定:ビジネス文書作成)
6. 表とグラフ(ビジュアル化とインターネット:出典と引用)
7. 長文の作成(目次・索引・図表番号・注釈)
8. プレゼンテーション(スピーチとの違い・良い/悪いプレゼン)
9. アウトラインの作成(スライドマスター，ストーリーの作り方・展開)
10. レイアウトの選択とテーマの適用(プレースホルダと背景)
11. ワードプロセッサの表とグラフ
12. グループワーク(みんなで作るプレゼンテーション)
13. プレゼンテーション実践(言語/非言語コミュニケーション)

科目名	情報Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	情報機器の活用			
担当者	清光　英成			

[成績評価方法]
課題(100%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
ルーブリックに従った相互評価ならびにコメントフィードバック

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／　筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:課題

[教科書(ISBN)]
Webテキストを用意しております。 著者名:清光英成　出版社:Webテキスト

[参考書(ISBN)]

科目名	情報Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	情報機器の活用			
担当者	浅木森　和夫			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①情報Ⅰで身に付けたビジネスソフト各種の活用するスキルをさらに向上させる。
② ICTを使って適切なコミュニケーションをとることができる。
③情報社会にふさわしいモラルを身に付け、実践できる。

[授業概要]
「情報Ⅰ」で修得した基礎の上に、情報の統合を学ぶ。文章と画像のように、形式の違う情報をまとめて取り扱い処理する。さらに、情報通信(インターネット・電子メール)の活用を通じ、情報伝達の方法を学習する。現代では、インターネット犯罪が増加傾向にある。そこで表計算ソフトやプレゼンテーションソフト等を利用した情報の活用方法について学習すると共に、情報モラル・ネットワーク利用のエチケットやセキュリティを学ぶ。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
学習トピック、テキストはLMS上に公開されます。LMSに公開されるテキストを事前によく読み、予習・復習をしてください。各自、自分のパソコンを毎日使用し手足のように使えるようになりましょう。また、いろいろなメンバーとLMSの情報交換ルームなどを利用して学びを共有しましょう。各回、予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. 授業ガイダンス
2. プレゼンテーション(アウトラインの作成)
3. 文字、画像、イラストを使った資料作成
4. みんなで作るプレゼンテーション(グループワーク)
5. 電子メールを使った適切なコミュニケーション
6. グループ間でのコミュニケーション(グループワーク)
7. 情報検索と正しい情報の見分け方
8. 人の権利と情報(個人情報、著作権)
9. 情報セキュリティーとは
10. 情報セキュリティーを守る方法
11. 情報漏洩事例研究(グループワーク)
12. 持続的な社会を維持するための現代モラル
13. まとめと学習成果確認、解説

科目名	情報Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	情報機器の活用			
担当者	浅木森　和夫			

[成績評価方法]
成績は、学習への参画（10%）、グループワーク(20%)、プレゼンテーション(20%)、課題(30%)、まとめの試験（20%）で評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
質問や感想に対しては、授業のはじめにまとめて提示し解説します。グループワークやプレゼンテーションについてはその都度コメントをフィードバックします。テストや課題については終了後、解答、ポイントをフィードバックします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:ディスカッション、グループワーク

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション、ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:振り返り、課題、グループワーク

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	情報Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	情報機器の活用			
担当者	西本　実苗			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①情報Ⅰで身に付けたビジネスソフト各種の活用するスキルをさらに向上させる
② ICTを使って適切なコミュニケーションをとることができる
③情報社会にふさわしいモラルを身に付け、実践できる

[授業概要]
「情報Ⅰ」で修得した基礎の上に、情報の統合を学ぶ。文章と画像のように、形式の違う情報をまとめて取り扱い処理する。さらに、情報通信(インターネット・電子メール)の活用を通じ、情報伝達の方法を学習する。現代では、インターネット犯罪が増加傾向にある。そこで表計算ソフトやプレゼンテーションソフト等を利用した情報の活用方法について学習すると共に、情報モラル・ネットワーク利用のエチケットやセキュリティを学ぶ。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
学習トピック、テキストはLMS上に公開されます。LMSに公開されるテキストを事前によく読み、予習・復習をしてください。各自、自分のパソコンを毎日使用し手足のように使えるようになりましょう。また、いろいろなメンバーとLMSの情報交換ルームなどを利用して学びを共有しましょう。各回、予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. 授業ガイダンス
2. プレゼンテーション(アウトラインの作成)
3. 文字、画像、イラストを使った資料作成
4. みんなで作るプレゼンテーション(グループワーク)
5. 電子メールを使った適切なコミュニケーション
6. グループ間でのコミュニケーション(グループワーク)
7. 情報検索と正しい情報の見分け方
8. 人の権利と情報(個人情報、著作権)
9. 情報セキュリティーとは
10. 情報セキュリティーを守る方法
11. 情報漏洩事例研究(グループワーク)
12. 持続的な社会を維持するための現代モラル
13. まとめと学習成果確認、解説

P10020710G [CI1-006]　　[1心B]*後期火1

科目名	情報Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	情報機器の活用			
担当者	西本　実苗			

[成績評価方法]
成績は、学習への参画（10%）、グループワーク(20%)、プレゼンテーション(20%)、課題(30%)、まとめの試験（20%）で評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
質問や感想に対しては、授業のはじめにまとめて提示し解説します。グループワークやプレゼンテーションについてはその都度コメントをフィードバックします。テストや課題については終了後、解答、ポイントをフィードバックします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:ディスカッション、グループワーク

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション、ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／　筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:振り返り、課題、グループワーク

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	女性 I	前期	講義	2 単位
サブタイトル	女性学			
担当者	南 コニー			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
国際的なジェンダー知識を身につけ、社会に応用できる実践能力を養う。問題が生まれる社会背景を知り、問題解決の方法を考えられるようになる。

[授業概要]
【メディア授業】
SDGsの目標の一つである「ジェンダー」は近年注目を集めており、私たちの将来のあり方を考える上で非常に大事な科目です。「ジェンダー」という言葉をよく知らない人も、「LGBT」、「セクハラ」、「男女共同参画」という言葉は聞いたことがあるのではないでしょうか。私たちの将来や社会の在り方を考える上で、女性も男性も「ジェンダー学」を学ぶことは今とても重要になっています。ジェンダー学とは、わたしたちが性別をいかに認識し、慣習や文化として構築しているのか、また性別は社会システムの中でどのように機能しているのか考えるために、性別の社会的・文化的側面を学び調査研究や理論構築を行う学問です。本講義ではジェンダー学入門として、哲学、文学、心理学、政治学、経済学、社会福祉学などさまざまな視点からジェンダーについて学びます。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
テキスト及び配布プリントで、前回の講義の復習及び予習を4時間程度行うこと

[授業計画]
1. オリエンテーション
2.文化とジェンダー1　育つ・育てる－性教育、子育て
3.文化とジェンダー2　多様な文化・多様なくらし－婚姻、性別分業
4.文化とジェンダー3　'His story'を超えて－近代家族、農村女性史
5.文化とジェンダー4　想像と創造―エクリチュール、ことばとセクシュアリティー
6. 文化とジェンダー5　想像と創造―エクリチュール、つくられた身体
7.社会とジェンダー1サブカルチャーとジェンダー
8.社会とジェンダー2　ジェンダー・アイデンティティー　(DVD)
9.社会とジェンダー3　女性の貧困問題
10.社会とジェンダー4　法というシステム
11.社会とジェンダー5　ケアする、ケアされる―社会福祉政策とジェンダー
12.最前線1　LGBT、セクシュアル・マイノリティー― 日本と北欧の違い
13.最前線2　犯罪とジェンダー、ハラスメント―世界情勢

科目名	女性 I	前期	講義	2 単位
サブタイトル	女性学			
担当者	南 コニー			

[成績評価方法]
授業の課題(50%)
学期末課題レポート(50%)
＊授業の課題及び学期末レポートで
目標に到達したかを見る

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中にレポートを返却し、解説を行う

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業課題(50%)及び、学期末レポート(50%)

[教科書(ISBN)]
『よくわかるジェンダースタティーズ』 著者名:木村涼子他著　出版社:ミネルヴァ書房 (978-4-623-06516-5)

[参考書(ISBN)]

P10020050 [CH1-001]　　[1全]*前期月4(メ)

科目名	女性Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	女性と仕事			
担当者	小河　洋子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
日本の女性雇用労働者が置かれている状況と問題を、個別・具体的に理解する。また、問題の当事者になった場合でも、どうすれば自分なりに納得のいく対処ができるのかについて多角的に考えられるようになる。

[授業概要]
日本では働く女性の数は年々増加し、企業も女性を積極的に登用していると言われています。
働く女性と言っても、正社員がいれば派遣社員やパートタイムで働く人、初職の職場で働き続ける人がいれば転職する人、一度退職し何年かのブランクを経て再就職する人などその状況は多様化しており一概に語ることはできません。しかし、働いていて良かったと思えることや辞めてしまいたいと思うことなど、いろんなことが起こるという共通点はあります。
また女性が働くことは、結婚や子育てや介護などの家族の問題とも密接に関わってきます。それらの出来事が、なぜ女性に偏って起こるのか、その理由は何なのか、どうすれば状況を変えることができるのかを中心に理解を深めます。
卒業後の進路だけでなく、生涯にわたって働くことをどう位置づけるのかについて、一人ひとりが自分のこととして考え人生を切り拓いていくのに役立つような授業をめざします。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
・授業計画を見て、各回のテーマに関連する新聞記事やニュース等を確認し、関心を持つこと。
・配布資料は授業で説明がない部分も一通り読んでおくこと。
・関心を持ったテーマについては、参考図書を読んで理解を深めること。

[授業計画]
1. 雇われる働き方と雇われない働き方～働く女性はどう見られ、何を期待されているのか
2. 女性雇用労働者の権利を保障する法律
3. 雇用労働における男女の格差と偏り　賃金・労働時間・キャリア
4. 多様な女性雇用労働者①　正社員・一般職
5. 多様な女性雇用労働者②　正社員・総合職
6. 多様な女性雇用労働者③　パートタイム労働
7. 多様な女性雇用労働者④　派遣社員
8. 働き続けることと妊娠・出産
9. 職場の問題①　セクシュアル・ハラスメント
10. 職場の問題②　セクシュアル・ハラスメントの対処
11. 職場の問題③　パワー・ハラスメントとその対処
12. 事例から考える①　職場の問題を仲間と解決する
13. 事例から考える②　男女賃金差別裁判

科目名	女性Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	女性と仕事			
担当者	小河　洋子			

[成績評価方法]
試験(50%)・レポート①(12%)・レポート②(12%)・毎回の授業参加度評価(26%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
なし

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題、授業参加度評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:試験、授業参加度評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:試験、レポート課題、授業参加度評価

[教科書(ISBN)]
配布資料、関連新聞記事資料

[参考書(ISBN)]

科目名	女性Ⅲ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	女性と健康 （女性に関わる健康科学）			
担当者	吉川　豊、奥野　直、松本　衣代、泉　妙子、小島　理永、斎藤　あつ子			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
「女性」という観点から、健康科学の実際について解説を受け、新しい生命を生む性である女性の精神と身体の特徴および疾患との関連について理解することを目標とする。

[授業概要]
学内外のメディカル・コメディカル（医師免許・薬剤師免許・管理栄養士免許・その他の資格を持つ）分野の専門の講師陣によりオムニバス講義を行う。
女性として、人生の始まりから終わりまでに起こりうる問題について、体系的に学習する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと、日頃から授業に関係するニュース等に関心を持つこと。各回、予習復習合わせて4時間程度必要とする。

[授業計画]
1. 微量元素と健康　吉川豊（神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科）
2. 女性のメンタルヘルス　江尻真樹（医療法人きょう きょうこころのクリニック精神科）（学外特別講師）
3. 肥満とダイエット　松本衣代（神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科）
4. 母子感染する感染症　斎藤あつ子（神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科）
5. 乳腺疾患の診断と治療　佐古田洋子（加古川市立加古川中央市民病院乳腺外科）（学外特別講師）
6. 女性と障害　本田貴信（すう整形外科）（学外特別講師）
7. 水と健康　奥野直（神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科）
8. 女性と介護　泉妙子（神戸女子大学健康福祉学部社会福祉学科）
9. 骨と関節の健康を保つ為に-女性を中心に-　伊藤宣（倉敷中央病院整形外科）（学外特別講師）
10. 女性の健康-高齢者の栄養と健康-　加藤順一（兵庫県立リハビリテーションセンター西播磨病院）（学外特別講師）
11. 女性と健康-サプリメントと健康-　寺尾啓二（株式会社シクロケム）（学外特別講師）12. 産科学・婦人科学からみた女性の健康　山崎峰夫（医療法人社団純心会パルモア病院）（学外特別講師）
13. 女性と運動-運動と妊娠・出産・産後のプロセス-　小島理永（神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科）
※講師の都合により、順序が入れ替わることがあります。

科目名	女性Ⅲ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	女性と健康 （女性に関わる健康科学）			
担当者	吉川　豊、奥野　直、松本　衣代、泉　妙子、小島　理永、斎藤　あつ子			

[成績評価方法]
各回manabaなどでレポートを提出させ成績評価を行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
全ての授業終了後確認し、必要に応じ返却する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート

[教科書（ISBN）]
必要に応じて、プリント配布

[参考書（ISBN）]

科目名	女性Ⅳ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	女性史			
担当者	南　コニー			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
世界の「女性史」を学び、現代につながるジェンダー格差の問題を理解する。

[授業概要]
世界の「女性史」を学ぶことで、現代の男女格差の問題を紐解きます。人間の営みの半分は女性たちによって支えられてきたにも関わらず、歴史の舞台に登場する女性の数が少ないのは、女性が重要な出来事に関わってこなかったからではなく、「歴史」が男性中心で書かれていたからです。本講義では、ヨーロッパの女性たちの主要な実践や思考を紹介することで、現在私たちが抱えているさまざまな女性の問題、ジェンダー格差について学びます。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎回の授業内容に即した一般的な歴史の基礎知識を予習して、授業に臨むこと(各講義の予習復習は4時間程度)

[授業計画]
1. フランス
2. フランス
3. イギリス
4. イギリス
5. 映画
6. アメリカ
7. アメリカ
8. 映画
9. 復習とまとめ
10. ドイツ
11. ドイツ
12. 映画
13. ロシア

P10020080 [CH1-004]　　[1全]*後期火1

科目名	女性Ⅳ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	女性史			
担当者	南　コニー			

[成績評価方法]
出席・小レポート(50%)、レポート課題(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中にレポートを返却し、解説を行う

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／　筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業課題(50%)及び、学期末レポート(50%)

[教科書(ISBN)]
『ジェンダーの西洋史』 著者名:井上洋子　他　出版社:法律文化社 (ISBN978-4-589-03404-5-c1022)

[参考書(ISBN)]

P10020080 [CH1-004]　　[1全]*後期火1

科目名	心理学Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	心理学Ⅰ			
担当者	下司　実奈			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
　自分の日常生活に於ける心理学を科学的視点で捉えることと、自分以外の人の知覚・感覚に対する想像力を身につけていく。

[授業概要]
　心理学Ⅰでは、生活の中に点在する心理学的知見をひとつずつ学びながらそれらが点から線へ面へとつながるよう、理論とワークショップとを組み合わせて学んでいく。臨床心理士としての経験をふまえ、クライアントとそのご家族から学んだことを生かして講義します。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
　様々な生活場面において、自分と人を観察し、肯定的視点を育てていってほしい。各回、予習復習合わせて4時間程度、例えば新聞を毎日、1日30分以上かけて読み、その内容について2つ以上の意見・視点が存在することに気付く。

[授業計画]
1.心理学とは　記憶
2.睡眠
3.自尊感情　自律神経
4.うつ
5.対象喪失
6.ワークショップ「私は・・・」
7.アイデンティティ
8.LGBT
9.ストレス
10.DV
11.SNS
12.想像力　グループプレゼンテーション
13.まとめ

科目名	心理学Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	心理学Ⅰ			
担当者	下司　実奈			

[成績評価方法]
受講態度(30%)・レポート(10%)・試験(60%)を総合して評価する。
試験終了後解説を行う。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
質問は随時、授業中もしくはmanaba上で受け付け、授業中にフィードバックする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解
／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート

[教科書(ISBN)]
講義中に適宜紹介、適宜プリントを配布する

[参考書(ISBN)]

科目名	数学 I	前期	講義	2 単位
サブタイトル	数学と数的思考			
担当者	梅田　亨			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
数学的活動を通して創造性の基礎を培うとともに、数学的思考力を高めるなかで数学の楽しさを体感することができる。いろいろな計算をとおして、数学的な事実を予測し、できれば実証したい。

[授業概要]
小学校の算数や中学以降の数学で学んだ事柄と、数学にまつわる歴史や文化の話題も取り扱い、あらためて日常的な事象と数学の関わりを学び、数学的思考や論理的思考力を培う。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
講義内容の復習(練習問題を解く、用語・定義の確認など)は積極的に行ってください。
各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4 時間程度)。

[授業計画]
1. 2^nの表を見て考える。そこにどのような法則が見つけられるか。
2. 自然数、N進法
3. 数を広げる(ゼロ、負の数、整数、有理数)、指数法則とその拡張
4. 整数の合同、割り算の意味
5. 二項定理、パスカルの三角形
6. 周期性の解明
7. 周期性とフェルマの小定理
8. フェルマの小定理の拡張
9. ここまでのまとめ
10. 対数と数の近似
11. 大体の世界
12. 対数からみえる、さまざまな現象、音階、放射能、小数の由来
13. 一般二項定理とその応用、近似計算

科目名	数学Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	数学と数的思考			
担当者	梅田　亨			

[成績評価方法]
授業中に行う演習への取り組み(30%)、理解度確認テスト(70%)で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
演習後、解説をし理解を深める。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／　筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業中に行う演習への取り組み(30%)、理解度確認テスト(70%)で評価します。

[教科書(ISBN)]
適宜プリントを配布

[参考書(ISBN)]

科目名	数学Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	統計学入門			
担当者	梅田　亨			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
①データの適切な処理方法やデータの見方、また、データから導かれた情報を正確に読み、正しく理解することができる。
②データを有効に活用するための手法を身につけ、数学的論拠に基づいて判断することができる。

[授業概要]
まず、確実な知識を理解する方法(論理)を学びたい。しかし、データが不充分であるなどの場合の判断のしかた(確率的考え)を通じて、不確実ではあるが、どれほどの確実さが得られるかの数値的な指標を得る方法を知りたい。その一方、論理的には確実であっても、計算が膨大で、決定的なところまで至ることができない世界もある。我々の知識の階層を、数学の立場から知ることによって、現実の世界をどのように把握していくか。現在は AI の進歩によって、かなりのことができるようになっているが、信頼できるのか。できれば、そのようなところまで突っ込んでいきたい。可能であれば、演習等基礎的な考え方とその方法を学ぶ。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
講義内容の復習(練習問題を解く、用語・定義の確認など)は積極的に行ってください。
各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4 時間程度)。

[授業計画]
1. 論理について
2. 論理(続き)
3. 集合
4. 順列と組合せ
5. 確率と順列組合せ
6. 確率の意味
7. 偏差値の意味
8. 期待値1
9. 期待値2
10. パスカルの三角形
11. 二項分布
12. 正規分布
13. 検定(統計的判断)

科目名	数学Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	統計学入門			
担当者	梅田　亨			

[成績評価方法]
授業中に行う演習への取り組み(30%)、理解度確認テスト(70%)で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
演習後、解説をし理解を深める。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／　筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業中に行う演習への取り組み(30%)、理解度確認テスト(70%)で評価します。

[教科書(ISBN)]
適宜プリントを配布

[参考書(ISBN)]
黒田隆郎ほか　著者名:ちくま学芸文庫　出版社:978-4-480-09393-6

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	重福　京子			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバドミントン基礎的技術（skill)やルール・マナーなどを身につける

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニーケション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

[授業計画]
本年度・開講予定種目

（バドミントン）

1. オリエンテーション、バドミントンの用具やコートの説明
2. バドミントンの基礎姿勢とリストワーク
3. 基礎運動①オーバーヘッドストローク
4. 基礎運動②サイドステップ
5. 基礎運動③ハイクリアとドロップ
6. 基礎運動④ヘアピンとドライブ
7. 基礎運動⑤スマッシュ
8. シングルス競技の進め方、ルールの説明
9. シングルス試合
10. ダブルス競技の進め方、ルールの説明
11. ダブルス試合①
12. ダブルス試合②
13. まとめ

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります

P10001491 [CI1-037]　　[1福看心]*後期火4

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	重福　京子			

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

授業内で知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：技能

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：受講態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	前期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	重福　京子			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバドミントン基礎的技術（skill)やルール・マナーなどを身につける

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニーケション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

[授業計画]
本年度・開講予定種目

（バドミントン）

1. オリエンテーション、バドミントンの用具やコートの説明
2. バドミントンの基礎姿勢とリストワーク
3. 基礎運動①オーバーヘッドストローク
4. 基礎運動②サイドステップ
5. 基礎運動③ハイクリアとドロップ
6. 基礎運動④ヘアピンとドライブ
7. 基礎運動⑤スマッシュ
8. シングルス競技の進め方、ルールの説明
9. シングルス試合
10. ダブルス競技の進め方、ルールの説明
11. ダブルス試合①
12. ダブルス試合②
13. まとめ

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	前期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	重福　京子			

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

授業内で知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：実技

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

P10001491A [CI1-037]　　[2全]*前期火3

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	野之上　操			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバドミントン基礎的技術（skill)やルール・マナーなどを身につける

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニーケション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

[授業計画]
本年度・開講予定種目

（バドミントン）

1. オリエンテーション、バドミントンの用具やコートの説明
2. バドミントンの基礎姿勢とリストワーク
3. 基礎運動①オーバーヘッドストローク
4. 基礎運動②サイドステップ
5. 基礎運動③ハイクリアとドロップ
6. 基礎運動④ヘアピンとドライブ
7. 基礎運動⑤スマッシュ
8. シングルス競技の進め方、ルールの説明
9. シングルス試合
10. ダブルス競技の進め方、ルールの説明
11. ダブルス試合①
12. ダブルス試合②
13. まとめ

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	野之上　操			

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

授業内で知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：技能

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：受講態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅰ －1（球技）	後期	実技	1 単位
サブタイトル	球技の特性　指導法			
担当者	重福　京子			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる基礎的な技術やルール・マナーなどを身につける

[授業概要]
勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連しいて高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]
第1回：オリエンテーション　球技について
第2回：ネット型ゲームの実践　ゲームの特性とボールや用具の操作
第3回：ネット型ゲームの実践　基本技術の習得
第4回：ネット型ゲームの実践　打球の種類の理解とコントロール
第5回：ネット型ゲームの実践　ゲームのルールとゲームの進め方
第6回：ネット型ゲームの実践　ゲームの攻防とフォーメーション
第7回：ネット型ゲームの実践　ゲームとチームワーク
第8回：ゴール型ゲームの実践　ゲームの特性と基本技術の習得
第9回：ゴール型ゲームの実践　ゲームのルール
第10回：ゴール型ゲームの実践　ゲームの攻防とフォーメーション
第11回：ゴール型ゲームの実践　ゲームとチームワーク
第12回：ベースボール型ゲームの実践　ゲームの特性と基本技術の習得
第13回：ベースボール型ゲームの実践　ゲームとチームワーク

科目名	スポーツ実技Ⅰ －1（球技）	後期	実技	1 単位
サブタイトル	球技の特性　指導法			
担当者	重福　京子			

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で知らせる

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：技能

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：受講態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅰ －1（球技）	後期	実技	1 単位
サブタイトル	球技の特性　指導法			
担当者	重福　京子			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる基礎的な技術やルール・マナーなどを身につける

[授業概要]
勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連しいて高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]
第1回：オリエンテーション　球技について
第2回：ネット型ゲームの実践　ゲームの特性とボールや用具の操作
第3回：ネット型ゲームの実践　基本技術の習得
第4回：ネット型ゲームの実践　打球の種類の理解とコントロール
第5回：ネット型ゲームの実践　ゲームのルールとゲームの進め方
第6回：ネット型ゲームの実践　ゲームの攻防とフォーメーション
第7回：ネット型ゲームの実践　ゲームとチームワーク
第8回：ゴール型ゲームの実践　ゲームの特性と基本技術の習得
第9回：ゴール型ゲームの実践　ゲームのルール
第10回：ゴール型ゲームの実践　ゲームの攻防とフォーメーション
第11回：ゴール型ゲームの実践　ゲームとチームワーク
第12回：ベースボール型ゲームの実践　ゲームの特性と基本技術の習得
第13回：ベースボール型ゲームの実践　ゲームとチームワーク

科目名	スポーツ実技Ⅰ －1（球技）	後期	実技	1 単位
サブタイトル	球技の特性　指導法			
担当者	重福　京子			

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で知らせる

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：技能

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：受講態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅰ－4	前期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	重福　京子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる応用的な技術やルール・マナーなどを身につける。ペアと協力しながら正確なフォームでラリーを連続20回できるようになる。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間づくりにも役立たせたい。実技は、技術レベルや経験の有無に関係なくレベルに合った指導がなされるので誰でもが受講可能である。同種目を期ごとに重複して受講し、技能を高めることができる。基本的に使用する用具は大学のものを活用するが、持参してもよい。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎日規則正しい生活を送り、質の高い睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
(受講生が15名以上で開講するが、人数により種目を調整する。)

(バドミントン)

1. オリエンテーション・授業の進め方・ウォーミングアップの仕方
2. 基礎技術の復習
3. 応用技術(ドリル練習)
4. 応用技術(ドリル練習)＋ミニゲーム(作品つくり)①
5. グループづくり＋応用技術＋ミニゲーム②
6. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)②
7. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)③
8. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)④
9. ゲーム(作品つくり)④
10. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)⑤
11. 応用技術＋ゲーム(作品つくり)⑥
12. ゲームリーグ戦(作品発表)①
13. ゲームリーグ戦(作品発表)②

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。

P10001460 [CI3-003]　　[3全／バドミントン]*前期火3

科目名	スポーツ実技Ⅰ－4	前期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	重福　京子			

[成績評価方法]
技能(50%)、受講態度(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業等で説明・解説します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実技

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:授業態度

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

P10001460 [CI3-003]　　[3全／バドミントン]*前期火3

科目名	スポーツ実技Ⅰ－4	前期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	野之上　操			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる応用的な技術やルール・マナーなどを身につける。ペアと協力しながら正確なフォームでラリーを連続20回できるようになる。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間づくりにも役立たせたい。実技は、技術レベルや経験の有無に関係なくレベルに合った指導がなされるので誰でもが受講可能である。同種目を期ごとに重複して受講し、技能を高めることができる。基本的に使用する用具は大学のものを活用するが、持参してもよい。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎日規則正しい生活を送り、質の高い睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
(受講生が15名以上で開講するが、人数により種目を調整する。)

(テニス)

1. オリエンテーション・授業の進め方・ウォーミングアップの仕方
2. 基礎技術の復習
3. 応用技術(ドリル練習)
4. 応用技術(ドリル練習)＋ミニゲーム(作品つくり)①
5. グループづくり＋応用技術＋ミニゲーム②
6. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)②
7. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)③
8. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)④
9. ゲーム(作品つくり)④
10. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)⑤
11. 応用技術＋ゲーム(作品つくり)⑥
12. ゲームリーグ戦(作品発表)①
13. ゲームリーグ戦(作品発表)②

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。

科目名	スポーツ実技Ⅰ－4	前期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	野之上　操			

[成績評価方法]
技能(50%)、受講態度(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業等で説明・解説します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実技

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:受講態度

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

P10001460A [CI3-003]　　[3全／ﾃﾆｽ]*前期火3

科目名	スポーツ実技Ⅰ－4	前期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	山本　辰生			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる応用的な技術やルール・マナーなどを身につける。ペアと協力しながら正確なフォームでラリーを連続15回できるようになる。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間づくりにも役立たせたい。実技は、技術レベルや経験の有無に関係なくレベルに合った指導がなされるので誰でもが受講可能である。同種目を期ごとに重複して受講し、技能を高めることができる。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
(受講生が15名以上で開講するが、人数により種目を調整する。)

(バレーボール)

1. オリエンテーション・授業の進め方・ウォーミングアップの仕方
2. 基礎技術の復習
3. 基礎技術の復習
4. 応用技術(ドリル練習)
5. 応用技術(ドリル練習)＋ミニゲーム(作品つくり)①
6. グループづくり＋応用技術＋ミニゲーム②
7. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)①
8. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)②
9. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)③
10. ゲーム(作品つくり)④
11. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)⑤
12. 応用技術＋ゲーム(作品つくり)⑥
13. ゲームリーグ戦(作品つくり)⑦

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。

P10001460B [CI3-003]　　[3全／バレー]*前期火3

科目名	スポーツ実技Ⅰ－4	前期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	山本　辰生			

[成績評価方法]
技能(50%)、受講態度(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内でお知らせします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実技

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:授業態度

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

科目名	スポーツ実技Ⅰ－4	前期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	小島　理永			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる応用的な技術やルール・マナーなどを身につける。ペアと協力しながら正確なフォームでラリーを連続20回できるようになる。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間づくりにも役立たせたい。実技は、技術レベルや経験の有無に関係なくレベルに合った指導がなされるので誰でもが受講可能である。同種目を期ごとに重複して受講し、技能を高めることができる。基本的に使用する用具は大学のものを活用するが、持参してもよい。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎日規則正しい生活を送り、質の高い睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
(受講生が15名以上で開講するが、人数により種目を調整する。)

(卓球)

1. オリエンテーション・授業の進め方・ウォーミングアップの仕方
2. 基礎技術の復習
3. 応用技術(ドリル練習)
4. 応用技術(ドリル練習)＋ミニゲーム(作品つくり)①
5. グループづくり＋応用技術＋ミニゲーム②
6. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)②
7. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)③
8. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)④
9. ゲーム(作品つくり)④
10. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)⑤
11. 応用技術＋ゲーム(作品つくり)⑥
12. ゲームリーグ戦(作品発表)①
13. ゲームリーグ戦(作品発表)②

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。

P10001460C [CI3-003]　　[3全／卓球]*前期火3

科目名	スポーツ実技Ⅰ－4	前期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	小島　理永			

[成績評価方法]
技能(50%)、受講態度(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業等で説明・解説します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実技

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:授業態度

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

P10001460C [CI3-003]　　[3全／卓球]*前期火3

科目名	スポーツ実技Ⅰ－5	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	重福　京子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる応用的な技術やルール・マナーなどを身につける。ペアと協力しながら正確なフォームでラリーを連続30回できるようになる。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間づくりにも役立たせたい。実技は、技術レベルや経験の有無に関係なくレベルに合った指導がなされるので誰でもが受講可能である。同種目を期ごとに重複して受講し、技能を高めることができる。基本的に使用する用具は大学のものを活用するが、持参してもよい。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎日規則正しい生活を送り、質の高い睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
(受講生が15名以上で開講するが、人数により種目を調整する。)

(卓球)

1. オリエンテーション・授業の進め方・ウォーミングアップの仕方
2. 基礎技術の復習
3. 応用技術(ドリル練習)
4. 応用技術(ドリル練習)＋ミニゲーム(作品つくり)①
5. グループづくり＋応用技術＋ミニゲーム②
6. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)②
7. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)③
8. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)④
9. ゲーム(作品つくり)④
10. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)⑤
11. 応用技術＋ゲーム(作品つくり)⑥
12. ゲームリーグ戦(作品発表)①
13. ゲームリーグ戦(作品発表)②

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。

科目名	スポーツ実技Ⅰ－5	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	重福　京子			

[成績評価方法]
技能(50%)、受講態度(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業等で説明・解説します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実技

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:受講態度

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

科目名	スポーツ実技Ⅰ－5	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	野之上　操			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる応用的な技術やルール・マナーなどを身につける。ペアと協力しながら正確なフォームでラリーを連続30回できるようになる。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間づくりにも役立たせたい。実技は、技術レベルや経験の有無に関係なくレベルに合った指導がなされるので誰でもが受講可能である。同種目を期ごとに重複して受講し、技能を高めることができる。基本的に使用する用具は大学のものを活用するが、持参してもよい。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎日規則正しい生活を送り、質の高い睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
(受講生が15名以上で開講するが、人数により種目を調整する。)

(バドミントン)

1. オリエンテーション・授業の進め方・ウォーミングアップの仕方
2. 基礎技術の復習
3. 応用技術(ドリル練習)
4. 応用技術(ドリル練習)＋ミニゲーム(作品つくり)①
5. グループづくり＋応用技術＋ミニゲーム②
6. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)②
7. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)③
8. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)④
9. ゲーム(作品つくり)④
10. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)⑤
11. 応用技術＋ゲーム(作品つくり)⑥
12. ゲームリーグ戦(作品発表)①
13. ゲームリーグ戦(作品発表)②

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。

科目名	スポーツ実技Ⅰ－5	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	野之上　操			

[成績評価方法]
技能(50%)、受講態度(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業等で説明・解説します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実技

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:受講態度

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

科目名	スポーツ実技Ⅰ－5	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	山本　辰生			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる応用的な技術やルール・マナーなどを身につける。ペアと協力しながら正確なフォームでラリーを連続15回できるようになる。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間づくりにも役立たせたい。実技は、技術レベルや経験の有無に関係なくレベルに合った指導がなされるので誰でもが受講可能である。同種目を期ごとに重複して受講し、技能を高めることができる。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
(受講生が15名以上で開講するが、人数により種目を調整する。)

(バレーボール)

1. オリエンテーション・授業の進め方・ウォーミングアップの仕方
2. 基礎技術の復習
3. 基礎技術の復習
4. 応用技術(ドリル練習)
5. 応用技術(ドリル練習)＋ミニゲーム(作品つくり)①
6. グループづくり＋応用技術＋ミニゲーム②
7. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)①
8. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)②
9. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)③
10. ゲーム(作品つくり)④
11. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)⑤
12. 応用技術＋ゲーム(作品つくり)⑥
13. ゲームリーグ戦(作品つくり)⑦

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。

P10001470B [CI3-004]　　[3全／バレー]*後期火3

科目名	スポーツ実技Ⅰ－5	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	山本　辰生			

[成績評価方法]
技能(50%)、受講態度(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内でお知らせします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実技

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:授業態度

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

P10001470B [CI3-004]　　[3全／バレー]*後期火3

科目名	スポーツ実技Ⅰ－5	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	小島　理永			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる応用的な技術やルール・マナーなどを身につける。ペアと協力しながら正確なフォームでラリーを連続30回できるようになる。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間づくりにも役立たせたい。実技は、技術レベルや経験の有無に関係なくレベルに合った指導がなされるので誰でもが受講可能である。同種目を期ごとに重複して受講し、技能を高めることができる。基本的に使用する用具は大学のものを活用するが、持参してもよい。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎日規則正しい生活を送り、質の高い睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
(受講生が15名以上で開講するが、人数により種目を調整する。)

(卓球)

1. オリエンテーション・授業の進め方・ウォーミングアップの仕方
2. 基礎技術の復習
3. 応用技術(ドリル練習)
4. 応用技術(ドリル練習)＋ミニゲーム(作品つくり)①
5. グループづくり＋応用技術＋ミニゲーム②
6. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)②
7. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)③
8. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)④
9. ゲーム(作品つくり)④
10. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)⑤
11. 応用技術＋ゲーム(作品つくり)⑥
12. ゲームリーグ戦(作品発表)①
13. ゲームリーグ戦(作品発表)②

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。

科目名	スポーツ実技Ⅰ－5	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	小島　理永			

[成績評価方法]
技能(50%)、受講態度(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業等で説明・解説します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実技

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:授業態度

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

P10001470C [CI3-004]　　[3全/ﾃﾆｽ]*後期火3

科目名	スポーツ実技Ⅰ－6	前期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	重福　京子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる応用的な技術やルール・マナーなどを身につける。ペアと協力しながら正確なフォームでラリーを連続20回できるようになる。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間づくりにも役立たせたい。実技は、技術レベルや経験の有無に関係なくレベルに合った指導がなされるので誰でもが受講可能である。同種目を期ごとに重複して受講し、技能を高めることができる。基本的に使用する用具は大学のものを活用するが、持参してもよい。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎日規則正しい生活を送り、質の高い睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
(受講生が15名以上で開講するが、人数により種目を調整する。)

(バドミントン)

1. オリエンテーション・授業の進め方・ウォーミングアップの仕方
2. 基礎技術の復習
3. 応用技術(ドリル練習)
4. 応用技術(ドリル練習)＋ミニゲーム(作品つくり)①
5. グループづくり＋応用技術＋ミニゲーム②
6. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)②
7. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)③
8. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)④
9. ゲーム(作品つくり)④
10. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)⑤
11. 応用技術＋ゲーム(作品つくり)⑥
12. ゲームリーグ戦(作品発表)①
13. ゲームリーグ戦(作品発表)②

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。

P10001480 [CI4-003]　　[4全／バドミントン]*前期火3

科目名	スポーツ実技Ⅰ－6	前期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	重福　京子			

[成績評価方法]
技能(50%)、受講態度(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業等で説明・解説します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実技

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:授業態度

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

P10001480 [CI4-003]　　[4全／バドミントン]*前期火3

科目名	スポーツ実技Ⅰ－6	前期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	野之上　操			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる応用的な技術やルール・マナーなどを身につける。ペアと協力しながら正確なフォームでラリーを連続40回できるようになる。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間づくりにも役立たせたい。実技は、技術レベルや経験の有無に関係なくレベルに合った指導がなされるので誰でもが受講可能である。同種目を期ごとに重複して受講し、技能を高めることができる。基本的に使用する用具は大学のものを活用するが、持参してもよい。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎日規則正しい生活を送り、質の高い睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
(受講生が15名以上で開講するが、人数により種目を調整する。)

(テニス)

1. オリエンテーション・授業の進め方・ウォーミングアップの仕方
2. 基礎技術の復習
3. 応用技術(ドリル練習)
4. 応用技術(ドリル練習)＋ミニゲーム(作品つくり)①
5. グループづくり＋応用技術＋ミニゲーム②
6. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)②
7. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)③
8. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)④
9. ゲーム(作品つくり)④
10. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)⑤
11. 応用技術＋ゲーム(作品つくり)⑥
12. ゲームリーグ戦(作品発表)①
13. ゲームリーグ戦(作品発表)②

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。

科目名	スポーツ実技Ⅰ－6	前期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	野之上　操			

[成績評価方法]
技能(50%)、受講態度(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業等で説明・解説します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実技

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:受講態度

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

P10001480A [CI4-003]　　[4全／ﾃﾆｽ]*前期火3

科目名	スポーツ実技Ⅰ－6	前期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	山本　辰生			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる応用的な技術やルール・マナーなどを身につける。ペアと協力しながら正確なフォームでラリーを連続15回できるようになる。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間づくりにも役立たせたい。実技は、技術レベルや経験の有無に関係なくレベルに合った指導がなされるので誰でもが受講可能である。同種目を期ごとに重複して受講し、技能を高めることができる。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
(受講生が15名以上で開講するが、人数により種目を調整する。)

(バレーボール)

1. オリエンテーション・授業の進め方・ウォーミングアップの仕方
2. 基礎技術の復習
3. 基礎技術の復習
4. 応用技術(ドリル練習)
5. 応用技術(ドリル練習)＋ミニゲーム(作品つくり)①
6. グループづくり＋応用技術＋ミニゲーム②
7. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)①
8. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)②
9. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)③
10. ゲーム(作品つくり)④
11. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)⑤
12. 応用技術＋ゲーム(作品つくり)⑥
13. ゲームリーグ戦(作品つくり)⑦
14. ゲームリーグ戦(作品発表)⑧
15. ゲームリーグ戦(作品発表)⑨

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。

科目名	スポーツ実技Ⅰ－6	前期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	山本　辰生			

[成績評価方法]
技能(50%)、受講態度(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内でお知らせします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実技

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:授業態度

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

P10001480B [CI4-003]　　[4全／バレー]*前期火3

科目名	スポーツ実技Ⅰ－6	前期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	小島　理永			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる応用的な技術やルール・マナーなどを身につける。ペアと協力しながら正確なフォームでラリーを連続40回できるようになる。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間づくりにも役立たせたい。実技は、技術レベルや経験の有無に関係なくレベルに合った指導がなされるので誰でもが受講可能である。同種目を期ごとに重複して受講し、技能を高めることができる。基本的に使用する用具は大学のものを活用するが、持参してもよい。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎日規則正しい生活を送り、質の高い睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
(受講生が15名以上で開講するが、人数により種目を調整する。)

(卓球)

1. オリエンテーション・授業の進め方・ウォーミングアップの仕方
2. 基礎技術の復習
3. 応用技術(ドリル練習)
4. 応用技術(ドリル練習)＋ミニゲーム(作品つくり)①
5. グループづくり＋応用技術＋ミニゲーム②
6. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)②
7. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)③
8. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)④
9. ゲーム(作品つくり)④
10. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)⑤
11. 応用技術＋ゲーム(作品つくり)⑥
12. ゲームリーグ戦(作品発表)①
13. ゲームリーグ戦(作品発表)②

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。

P10001480C [CI4-003]　　[4全／卓球]*前期火3

科目名	スポーツ実技Ⅰ－6	前期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	小島　理永			

[成績評価方法]
技能(50%)、受講態度(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業等で説明・解説します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実技

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:授業態度

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

P10001480C [CI4-003]　　[4全／卓球]*前期火3

科目名	スポーツ実技Ⅰ－7	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	重福　京子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる応用的な技術やルール・マナーなどを身につける。ペアと協力しながら正確なフォームでラリーを連続30回できるようになる。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間づくりにも役立たせたい。実技は、技術レベルや経験の有無に関係なくレベルに合った指導がなされるので誰でもが受講可能である。同種目を期ごとに重複して受講し、技能を高めることができる。基本的に使用する用具は大学のものを活用するが、持参してもよい。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎日規則正しい生活を送り、質の高い睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
(受講生が15名以上で開講するが、人数により種目を調整する。)

(卓球)

1. オリエンテーション・授業の進め方・ウォーミングアップの仕方
2. 基礎技術の復習
3. 応用技術(ドリル練習)
4. 応用技術(ドリル練習)＋ミニゲーム(作品つくり)①
5. グループづくり＋応用技術＋ミニゲーム②
6. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)②
7. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)③
8. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)④
9. ゲーム(作品つくり)④
10. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)⑤
11. 応用技術＋ゲーム(作品つくり)⑥
12. ゲームリーグ戦(作品発表)①
13. ゲームリーグ戦(作品発表)②

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。

科目名	スポーツ実技Ⅰ－7	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	重福　京子			

[成績評価方法]
技能(50%)、受講態度(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業等で説明・解説します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実技

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:受講態度

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

科目名	スポーツ実技Ⅰ－7	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	野之上　操			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる応用的な技術やルール・マナーなどを身につける。ペアと協力しながら正確なフォームでラリーを連続50回できるようになる。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間づくりにも役立たせたい。実技は、技術レベルや経験の有無に関係なくレベルに合った指導がなされるので誰でもが受講可能である。同種目を期ごとに重複して受講し、技能を高めることができる。基本的に使用する用具は大学のものを活用するが、持参してもよい。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎日規則正しい生活を送り、質の高い睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
(受講生が15名以上で開講するが、人数により種目を調整する。)

(バドミントン)

1. オリエンテーション・授業の進め方・ウォーミングアップの仕方
2. 基礎技術の復習
3. 応用技術(ドリル練習)
4. 応用技術(ドリル練習)＋ミニゲーム(作品つくり)①
5. グループづくり＋応用技術＋ミニゲーム②
6. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)②
7. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)③
8. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)④
9. ゲーム(作品つくり)④
10. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)⑤
11. 応用技術＋ゲーム(作品つくり)⑥
12. ゲームリーグ戦(作品発表)①
13. ゲームリーグ戦(作品発表)②

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。

科目名	スポーツ実技Ⅰ－7	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	野之上　操			

[成績評価方法]
技能(50%)、受講態度(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業等で説明・解説します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実技

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:受講態度

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

科目名	スポーツ実技Ⅰ－7	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	山本　辰生			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる応用的な技術やルール・マナーなどを身につける。ペアと協力しながら正確なフォームでラリーを連続15回できるようになる。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間づくりにも役立たせたい。実技は、技術レベルや経験の有無に関係なくレベルに合った指導がなされるので誰でもが受講可能である。同種目を期ごとに重複して受講し、技能を高めることができる。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
(受講生が15名以上で開講するが、人数により種目を調整する。)

(バレーボール)

1. オリエンテーション・授業の進め方・ウォーミングアップの仕方
2. 基礎技術の復習
3. 基礎技術の復習
4. 応用技術(ドリル練習)
5. 応用技術(ドリル練習)＋ミニゲーム(作品つくり)①
6. グループづくり＋応用技術＋ミニゲーム②
7. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)①
8. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)②
9. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)③
10. ゲーム(作品つくり)④
11. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)⑤
12. 応用技術＋ゲーム(作品つくり)⑥
13. ゲームリーグ戦(作品つくり)⑦

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。

P10001490B [CI4-004]　　[4全／バレー]*後期火3

科目名	スポーツ実技Ⅰ－7	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	山本　辰生			

[成績評価方法]
技能(50%)、受講態度(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内でお知らせします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実技

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:授業態度

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

科目名	スポーツ実技Ⅰ－7	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	小島　理永			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる応用的な技術やルール・マナーなどを身につける。ペアと協力しながら正確なフォームでラリーを連続50回できるようになる。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間づくりにも役立たせたい。実技は、技術レベルや経験の有無に関係なくレベルに合った指導がなされるので誰でもが受講可能である。同種目を期ごとに重複して受講し、技能を高めることができる。基本的に使用する用具は大学のものを活用するが、持参してもよい。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎日規則正しい生活を送り、質の高い睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
(受講生が15名以上で開講するが、人数により種目を調整する。)

(卓球)

1. オリエンテーション・授業の進め方・ウォーミングアップの仕方
2. 基礎技術の復習
3. 応用技術(ドリル練習)
4. 応用技術(ドリル練習)＋ミニゲーム(作品つくり)①
5. グループづくり＋応用技術＋ミニゲーム②
6. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)②
7. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)③
8. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)④
9. ゲーム(作品つくり)④
10. 応用技術(ドリル練習)＋ゲーム(作品つくり)⑤
11. 応用技術＋ゲーム(作品つくり)⑥
12. ゲームリーグ戦(作品発表)①
13. ゲームリーグ戦(作品発表)②

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。

科目名	スポーツ実技Ⅰ－7	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	小島　理永			

[成績評価方法]
技能(50%)、受講態度(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業等で説明・解説します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実技

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:授業態度

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	山本　辰生			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバレーボールの基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
（バレーボール）

1. ガイダンス　講義の進め方と評価方法
2. ルール説明　審判方法　ネット設置方法
3. 基礎運動①アンダーハンドパス(構えの姿勢、腕の組み方、ステップワーク)
4. 基礎運動?オーバーハンドパス(回内動作、上肢下肢の連動)
5. 基礎運動?スパイク(3歩助走、腕の振りあげ、スイング方法)
6. 基礎運動?サーブ(アンダー、オーバー、フローター―サーブ)
7. 基礎運動?ブロック(サイドステップ、クロスステップ)
8. 応用運動①対人パス、ランニングパス、三角パストス
9. 応用運動?レシーブトス、3人レシーブ
10. 応用運動?サーブレシーブトス、スパイク
11. ゲーム班別対抗戦
12. ゲーム班別対抗戦
13. ゲーム班別対抗戦

＜＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。＞

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	山本　辰生			

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内でお知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：技能

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：受講態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

P10001492 [CI1-038]　　[1福看心]*後期火4

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	前期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	山本　辰生			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバレーボールの基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
（バレーボール）

1. ガイダンス　講義の進め方と評価方法
2. ルール説明　審判方法　ネット設置方法
3. 基礎運動①アンダーハンドパス(構えの姿勢、腕の組み方、ステップワーク)
4. 基礎運動?オーバーハンドパス(回内動作、上肢下肢の連動)
5. 基礎運動?スパイク(3歩助走、腕の振りあげ、スイング方法)
6. 基礎運動?サーブ(アンダー、オーバー、フローター―サーブ)
7. 基礎運動?ブロック(サイドステップ、クロスステップ)
8. 応用運動①対人パス、ランニングパス、三角パストス
9. 応用運動?レシーブトス、3人レシーブ
10. 応用運動?サーブレシーブトス、スパイク
11. ゲーム班別対抗戦
12. ゲーム班別対抗戦
13. ゲーム班別対抗戦
＜＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。＞

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	前期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	山本　辰生			

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内でお知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：技能

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：受講態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

P10001492A [CI1-038]　　[2全]*前期火3

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	山本　辰生			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバレーボールの基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
（バレーボール）

1. ガイダンス　講義の進め方と評価方法
2. ルール説明　審判方法　ネット設置方法
3. 基礎運動①アンダーハンドパス(構えの姿勢、腕の組み方、ステップワーク)
4. 基礎運動?オーバーハンドパス(回内動作、上肢下肢の連動)
5. 基礎運動?スパイク(3歩助走、腕の振りあげ、スイング方法)
6. 基礎運動?サーブ(アンダー、オーバー、フローター―サーブ)
7. 基礎運動?ブロック(サイドステップ、クロスステップ)
8. 応用運動①対人パス、ランニングパス、三角パストス
9. 応用運動?レシーブトス、3人レシーブ
10. 応用運動?サーブレシーブトス、スパイク
11. ゲーム班別対抗戦
12. ゲーム班別対抗戦
13. ゲーム班別対抗戦
＜＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。＞

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	山本　辰生			

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内でお知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感
／会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：技能

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力　／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：受講態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅱ－C	後期	実技	1 単位
サブタイトル	水泳(背泳ぎ)			
担当者	重福　京子、小島　理永、住本　純			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
技能に応じて安全にスポーツを楽しむ。
生涯スポーツの一つとして、水泳を習得する。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。実技は、技術レベルや経験の有無に関係なくレベルに合った指導がなされるので誰でもが受講可能である。

開講種目は水泳を行う。
技能に応じて安全にスポーツを楽しむ。

受講定員15人名の人数に満たない場合は不開講とする。1～4回生の基礎トレーニング修了者で、内科検診に異常の無い人

2022年9月14日、20日、21日
場所:神戸市立ポートアイランドスポーツセンター
　　ポーアイキャンパスD304

下記説明会にて詳細を説明するので、申し込み登録を行った者に限る。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食を摂る。
日常的によく体を動かしたり、意図的に運動を実施しておくことが望ましい。

[授業計画]
1. 概要説明
2. グループ分け
3. 基礎技術　浮く
4. 基礎技術　姿勢(仰向き)
5. 基礎技術　姿勢とキック①
6. 基礎技術　姿勢とキック②
7. 基礎技術　キックと呼吸方法
8. 基礎技術　腕の動作
9. 基礎技術　腕の動作と呼吸方法
10. 背泳ぎ25m①
11. 背泳ぎ25m②
12. 背泳ぎ50m
13. まとめ

【履修希望者への説明会】
希望者は必ず下記の日時のzoomに参加すること
・5月13日(金)12:20～　説明会

ミーティングID: 839 340 9480
パスコード: 20220513

科目名	スポーツ実技Ⅱ－C	後期	実技	1 単位
サブタイトル	水泳(背泳ぎ)			
担当者	重福　京子、小島　理永、住本　純			

[成績評価方法]
技能(50%)、受講態度(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内等で連絡します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:技能

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

科目名	スポーツ実技Ⅱ －D	後期	実技	1 単位
サブタイトル	水泳（バタフライ・指導法）			
担当者	重福　京子、小島　理永、住本　純			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
技能に応じて安全にスポーツを楽しむ。
生涯スポーツの一つとして、水泳を習得する。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。実技は、技術レベルや経験の有無に関係なくレベルに合った指導がなされるので誰でもが受講可能である。

開講種目は水泳を行う。
技能に応じて安全にスポーツを楽しむ。

受講定員15人名の人数に満たない場合は不開講とする。1～4回生の基礎トレーニング修了者で、内科検診に異常の無い人

2022年9月14日、20日、21日
場所:神戸市立ポートアイランドスポーツセンター
　　ポーアイキャンパスD304

下記説明会にて詳細を説明するので、申し込み登録を行った者に限る。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食を摂る。
日常的によく体を動かしたり、意図的に運動を実施しておくことが望ましい。

[授業計画]
1. 概要説明
2. グループ分け
3. 基礎技術　浮く
4. 基礎技術　ドルヒィンキックの動作①
5. 基礎技術　ドルヒィンキックの動作②
6. 基礎技術　プルの動作と呼吸法
7. 基礎技術　プルとキック動作①
8. 基礎技術　プルとキック動作②
9. バタフライ25m①
10. クロールの指導の要点説明
11. 平泳ぎの指導の要点説明
12. 背泳ぎ・バタフライの指導の要点説明
13. まとめ

【履修希望者への説明会】
希望者は必ず下記の日時のzoomに参加すること
・5月13日（金）12:20～　説明会

ミーティングID: 839 340 9480
パスコード: 20220513

科目名	スポーツ実技Ⅱ －D	後期	実技	1 単位
サブタイトル	水泳（バタフライ・指導法）			
担当者	重福　京子、小島　理永、住本　純			

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内等で連絡します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：技能

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅲ（卓球）	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	野之上　操			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる卓球の基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎日規則正しい生活を送り、十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べること。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 基礎練習（打ち方、姿勢、ラケットの種類、グリップ）＋ゲーム（ルール説明を中心に）
3. 基礎練習（ラリー）
4. 基礎練習（サービス）＋ゲーム形式練習（ダブルス）
5. 基礎練習（フォアハンド打法）＋フォアハンドラリー
6. 基礎練習（バックハンド打法）＋ゲーム形式練習（シングルス）
7. 基礎練習（スマッシュ）＋ゲーム（ダブルス）
8. 基礎練習（ドライブ打法）＋ゲーム（ダブルス）
9. 基礎練習（レシーブ）＋バックハンドラリー
10. 基礎練習（3球目攻撃と5球目攻撃）＋ゲーム（ダブルス）
11. ゲーム（個人戦）
12. ゲーム（団体戦）
13. まとめ

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更の可能性があります。

科目名	スポーツ実技Ⅲ（卓球）	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	野之上　操			

[成績評価方法]
技能(50%)、受講態度(50%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:技能

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:受講態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅲ（卓球）	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	野之上　操			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる卓球の基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎日規則正しい生活を送り、十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べること。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 基礎練習（打ち方、姿勢、ラケットの種類、グリップ）＋ゲーム（ルール説明を中心に）
3. 基礎練習（ラリー）
4. 基礎練習（サービス）＋ゲーム形式練習（ダブルス）
5. 基礎練習（フォアハンド打法）＋フォアハンドラリー
6. 基礎練習（バックハンド打法）＋ゲーム形式練習（シングルス）
7. 基礎練習（スマッシュ）＋ゲーム（ダブルス）
8. 基礎練習（ドライブ打法）＋ゲーム（ダブルス）
9. 基礎練習（レシーブ）＋バックハンドラリー
10. 基礎練習（3球目攻撃と5球目攻撃）＋ゲーム（ダブルス）
11. ゲーム（個人戦）
12. ゲーム（団体戦）
13. まとめ

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更の可能性があります。

科目名	スポーツ実技Ⅲ（卓球）	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	野之上　操			

[成績評価方法]
技能(50%)、受講態度(50%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:技能

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:受講態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅲ（卓球）	前期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	小島　理永			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる卓球の基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎日規則正しい生活を送り、十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べること。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 基礎練習（打ち方、姿勢、ラケットの種類、グリップ）＋ゲーム（ルール説明を中心に）
3. 基礎練習（ラリー）
4. 基礎練習（サービス）＋ゲーム形式練習（ダブルス）
5. 基礎練習（フォアハンド打法）＋フォアハンドラリー
6. 基礎練習（バックハンド打法）＋ゲーム形式練習（シングルス）
7. 基礎練習（スマッシュ）＋ゲーム（ダブルス）
8. 基礎練習（ドライブ打法）＋ゲーム（ダブルス）
9. 基礎練習（レシーブ）＋バックハンドラリー
10. 基礎練習（3球目攻撃と5球目攻撃）＋ゲーム（ダブルス）
11. ゲーム（個人戦）
12. ゲーム（団体戦）
13. まとめ

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更の可能性があります。

科目名	スポーツ実技Ⅲ（卓球）	前期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	小島　理永			

[成績評価方法]
技能(50%)、受講態度(50%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:技能

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:受講態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅲ（卓球）	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	重福　京子			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる卓球の基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎日規則正しい生活を送り、十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べること。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 基礎練習（打ち方、姿勢、ラケットの種類、グリップ）＋ゲーム（ルール説明を中心に）
3. 基礎練習（ラリー）
4. 基礎練習（サービス）＋ゲーム形式練習（ダブルス）
5. 基礎練習（フォアハンド打法）＋フォアハンドラリー
6. 基礎練習（バックハンド打法）＋ゲーム形式練習（シングルス）
7. 基礎練習（スマッシュ）＋ゲーム（ダブルス）
8. 基礎練習（ドライブ打法）＋ゲーム（ダブルス）
9. 基礎練習（レシーブ）＋バックハンドラリー
10. 基礎練習（3球目攻撃と5球目攻撃）＋ゲーム（ダブルス）
11. ゲーム（個人戦）
12. ゲーム（団体戦）
13. まとめ

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更の可能性があります。

科目名	スポーツ実技Ⅲ（卓球）	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	重福　京子			

[成績評価方法]
技能(50%)、受講態度(50%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で知らせます

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:技能

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:受講態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅳ（テニス）	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	小島　理永			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるテニスの基礎的技術（skill)やルール・マナーなどを身につける

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニーケション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

[授業計画]

1. オリエンテーション、テニスの用具やコートの説明
2. テニスのルールや基礎技術の説明
3. 基礎技術①フォアハンドストローク
4. 基礎技術②バックハンドストローク
5. 基礎技術③ボレー
6. 基礎運動④サーブ
7. 基礎運動⑤ダブルスの戦術理解
8. 基礎運動⑥シングルスの戦術理解
9. 基礎運動⑦ゲーム形式練習
10. 試合の進め方、ルールの説明
11. ダブルスの試合
12. シングルスの試合
13. まとめ

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります

科目名	スポーツ実技Ⅳ（テニス）	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	小島　理永			

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

授業内で知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：技能

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：受講態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅳ（テニス）	前期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	野之上　操			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるテニスの基礎的技術（skill)やルール・マナーなどを身につける

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニーケション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

[授業計画]

1. オリエンテーション、テニスの用具やコートの説明
2. テニスのルールや基礎技術の説明
3. 基礎技術①フォアハンドストローク
4. 基礎技術②バックハンドストローク
5. 基礎技術③ボレー
6. 基礎運動④サーブ
7. 基礎運動⑤ダブルスの戦術理解
8. 基礎運動⑥シングルスの戦術理解
9. 基礎運動⑦ゲーム形式練習
10. 試合の進め方、ルールの説明
11. ダブルスの試合
12. シングルスの試合
13. まとめ

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります

科目名	スポーツ実技Ⅳ（テニス）	前期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	野之上　操			

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

授業内で知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：技能

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：受講胎動

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

P10001494A [CI1-040]　　[2全]*前期火3

科目名	スポーツ実技Ⅳ（テニス）	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	小島　理永			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるテニスの基礎的技術（skill)やルール・マナーなどを身につける

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニーケション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

[授業計画]

1. オリエンテーション、テニスの用具やコートの説明
2. テニスのルールや基礎技術の説明
3. 基礎技術①フォアハンドストローク
4. 基礎技術②バックハンドストローク
5. 基礎技術③ボレー
6. 基礎運動④サーブ
7. 基礎運動⑤ダブルスの戦術理解
8. 基礎運動⑥シングルスの戦術理解
9. 基礎運動⑦ゲーム形式練習
10. 試合の進め方、ルールの説明
11. ダブルスの試合
12. シングルスの試合
13. まとめ

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります

科目名	スポーツ実技Ⅳ（テニス）	後期	実技	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築			
担当者	小島　理永			

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

授業内で知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：技能

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：受講態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅴ（学外）	後期	実技	1 単位
サブタイトル	水泳			
担当者	重福　京子、小島　理永、住本　純			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
技能に応じて安全にスポーツを楽しむ。
生涯スポーツの一つとして、水泳を習得する。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。実技は、技術レベルや経験の有無に関係なくレベルに合った指導がなされるので誰でもが受講可能である。

開講種目は水泳を行う。
技能に応じて安全にスポーツを楽しむ。

受講定員15人名の人数に満たない場合は不開講とする。1～4回生の基礎トレーニング修了者で、内科検診に異常の無い人

2022年9月14日、20日、21日
場所:神戸市立ポートアイランドスポーツセンター
　　ポーアイキャンパスD304

下記説明会にて詳細を説明するので、申し込み登録を行った者に限る。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食を摂る。
日常的によく体を動かしたり、意図的に運動を実施しておくことが望ましい。

[授業計画]
1. 概要説明
2. グループ分け
3. 基礎技術　浮く
4. 基礎技術　姿勢（仰向き）
5. 基礎技術　姿勢とキック①
6. 基礎技術　姿勢とキック②
7. 基礎技術　キックと呼吸方法
8. 基礎技術　腕の動作
9. 基礎技術　腕の動作と呼吸方法
10. クロール25m
11. 平泳ぎ25m
12. クロール・平泳ぎ25m
13. まとめ

【履修希望者への説明会】
希望者は必ず下記の日時のzoomに参加すること
・5月13日（金）12:20～　説明会

ミーティングID: 839 340 9480
パスコード: 20220513

科目名	スポーツ実技Ⅴ（学外）	後期	実技	1 単位
サブタイトル	水泳			
担当者	重福　京子、小島　理永、住本　純			

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内等で連絡します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：技能

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツと健康の科学	前期	講義	2 単位
サブタイトル	理論と実践を通じた生涯にわたる健康・運動に関する教養			
担当者	小島　理永			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他	授業で出されたテーマに関する課題、演習等（軽運動を含む）。	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
生涯にわたる生きがいやライフスタイルの構築にむけ、その基盤となる健康や体力に関する基礎的知識を習得することで、個々人が日常生活において健康科学に基づいたに対処および行動ができる。

[授業概要]
科学技術の発達によって日常生活の身体的負担は軽減する一方で、運動不足病と総称されるように運動不足が危険因子（リスクファクター）となる疾病は数多い。このように身体活動が健康に及ぼす影響は多大である。健康を支える要因の解明としては、疫学、心理学、情報科学、社会学等の分野で検証が行われている。そこで本講義では、多角的な視点を通して生涯を通した健康、運動、スポーツの捉え方について考えを深めていくことを目的とする。また、運動の重要性および健康づくりについて理解し習慣化して実践できるよう、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃から健康に関する記事や映像などから情報を得るようにしておくこと。また、運動、スポーツやについて興味関心を抱き、積極的に実施すること。

[授業計画]
1. 健康とQOL
2. ヘルスリテラシー
3. 人口の動向と少子・超高齢化社会（ロコモ度テスト）
4. 心と健康、ストレス
5. 運動・休養と健康
6. 栄養と健康
7. 生活習慣病と運動
8. 体力の測定と評価
9. トレーニング、フィットネスとは
10. 救命救急法（一次救命・応急処置法・RICE・テーピング）
11. 飲酒、喫煙、感染症について
12. 妊娠と出産 （女性のからだ、高齢出産、避妊、母子衛生）
13. まとめ

P10001420 [CI2-007]　　[1看2健]*前期木1

科目名	スポーツと健康の科学	前期	講義	2 単位
サブタイトル	理論と実践を通じた生涯にわたる健康・運動に関する教養			
担当者	小島　理永			

[成績評価方法]
試験・課題レポート(50%)、授業態度(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業等で説明・解説します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:試験・課題・小レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:試験・課題・小レポート

[教科書(ISBN)]
なし　プリント配布(manaba利用)

[参考書(ISBN)]

P10001420 [CI2-007]　　[1看2健]*前期木1

科目名	地域学習	前期～後期	演習	2 単位
サブタイトル	地域学習			
担当者	清水　弥生			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
学生自身がこの授業に関わることにより、地域社会や社会を構成する重要な機関･施設を知る。そして異世代の人々や利用者と主体的に関わることにより、他者とコミュニケーションを取り、そのコミュニティでの自分の役割を発見することを目標とする。将来的には主体性のある〝市民”として、それぞれの生きる地域社会の核として貢献できることを目標とする。

[授業概要]
大学内での講義・演習を中心とはせず、学生自らの興味・関心にもとづいて、様々な地域社会で催されている行事・活動に社会貢献活動の一環として主体的に参加する。
履修期間は通年（1年）として、次年度へのポイントを持ち越すことはできない。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃から学生一人一人の興味関心を常に社会に向け、様々な情報を収集すること。また各種の出来事について積極的で主体的な学修態度を涵養しするよう、普段から意識して生活をすること。各回調べ、まとめの時間を合わせて2時間程度

[授業計画]
1. 前期・後期の最初に学内でオリエンテーションを行う。日程は掲示にて知らせる。
2. 学習の参加は、原則として大学の授業時間外の時間帯及び日程で行なう。
3. 学習は地域社会の行事・活動（学校・施設等を含む）に9回以上参加した上でレポートを作成して、manaba「レポート」に提出する。
4. 参加の確認は、履修学生に発行する「履修カード」で、行事・活動の責任者等、または指導・担当教員に押印してもらうこと。
5. 年度末に「地域学習まとめの報告書」と「履修カード」を提出する
6. 回数の数え方は原則1日1単位とし、時間の長短は行事によって違うが、最低1時間以上とする。

P10000740 [CH1-006]　　[1福]*通年集中

科目名	地域学習	前期～後期	演習	2 単位
サブタイトル	地域学習			
担当者	清水　弥生			

[成績評価方法]
活動・行事への参加確認（85%）と最終レポート、活動報告書（15%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
最終レポートは添削して返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：活動・行事の参加確認、最終レポート、活動報告書

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：最終レポート、活動報告書

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：最終レポート、活動報告書

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：最終レポート、活動報告書

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：最終レポート、活動報告書

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：最終レポート、活動報告書

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：最終レポート、活動報告書

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：最終レポート、活動報告書

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	地域学習	前期～後期	演習	2 単位
サブタイトル	地域学習			
担当者	奥野　直			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
学生自身が自主性・社会性・人間性を育て、大きく成長していく「イニシエーション」の過程として位置づける生涯学習のプロセスであり、学習によって自覚的に育った学生たちが、将来主体性のある“市民”として、それぞれの生きる地域社会の核として貢献できることを目標とする。

[授業概要]
大学での講義・演習を中心とはせず、学生自らの興味、関心に基づいて様々な地域社会で催されている行事、活動に社会貢献活動の一環として主体的に参加する。
履修期間は通年（1年）として、次年度へのポイントを持越すことはできない。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃から学生一人一人の興味関心を常に社会に向け、様々な情報を収集すること。また各種の出来事について積極的で主体的な学修態度を涵養するよう、普段から意識して生活すること。
これから活動する内容について予習（30分）し、活動後は内容をノートに整理するなど復習（30分）すること。

[授業計画]
1. 原則として大学の授業時間外の時間帯及び日程で行なう。
2. 地域社会の行事・活動（学校・施設等を含む）に9回以上、13回上限で参加した上で、記録ノートのレポートを提出する。
3. 回数（準備打合せ等を含む）の数え方は、原則1日単位とし、時間の長短は行事によって異なる。
4. 指定の地域社会の行事・活動は、担当教員及び学内の地域連携推進員委員会の承認を得たものに限る。
5. 参加の確認は、履修学生に発行する「履修カード」に、行事・活動の責任者等または指導・担当教員の押印による。
6.「活動記録」冊子に毎回活動を記録し、「最終レポート」と共に担当教員に提出し、確認を受ける。
7. この科目の説明会を4月中旬に開催する。

P10000740A [CH1-006]　　[1栄]*通年集中

科目名	地域学習	前期～後期	演習	2 単位
サブタイトル	地域学習			
担当者	奥野　直			

[成績評価方法]
活動、行事への参加確認（85%）と記録ノートのレポート（15%）により評価します

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、後日添削して返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：活動・行事への参加とレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：活動・行事への参加とレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：活動・行事への参加とレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：活動・行事への参加とレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：活動・行事への参加とレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：活動・行事への参加とレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：活動・行事への参加とレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：活動・行事への参加とレポート

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

P10000740A [CH1-006]　　[1栄]*通年集中

科目名	地域学習	前期～後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	小坂　素子			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
学生自身が主体性、社会性、人間力を育て、大きく成長していく「イニシエーション」の過程として位置づける生涯学習のプロセスであり、学習によって自覚的に育った学生たちが将来主体性のある“市民”として、それぞれの生きる地域社会の核として貢献できることを目標とする

[授業概要]
大学での講義、演習を中心とはせず、学生自らの興味・関心に基づいてさまざまな地域社会で催されている行事、活動に社会貢献活動の一環として主体的に参加する。
履修期間は通年（1年）として、次年度へのポイントを持ち越すことはできない。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日ごろから学生一人ひとりの興味関心を常に社会に向け、さまざまな情報を収集すること。また、各種の出来事について積極的で主体的な学修態度を涵養するよう、普段から意識して生活すること。

[授業計画]
1. 地域学習は地域社会の行事、活動（学校、施設等含む）に9回以上参加した上で、定められた期限までにまとめのレポートを提出する。
2. 回数の数え方は、原則1日単位とし、時間の長短は行事によって異なる。
3. 履修登録した学生に「履修カード」と「活動記録」を発行する。
4. 参加の確認は履修登録を行った学生に発行する「履修カード」と「活動登録」に、参加した行事、活動の責任者等の押印をもらうこと。
5.「活動記録」冊子に毎回活動記録を記録し、各行事の担当者に提出し確認を受ける。
6. 最終提出の前に活動実績を振り返り、到達目標に対する自己評価を行う。
7. 最終レポートは学部の担当教員に提出する。
8. 学生の参加は、大学の授業時間外の時間帯、日程で行うことを原則とする。

科目名	地域学習	前期～後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	小坂　素子			

[成績評価方法]
13回の参加確認（85%）とレポート（15%）により評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
記録物・レポートは後日添削して返却します

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：課題で評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：課題で評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：課題で評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／ 立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：課題で評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：課題で評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：課題で評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題で評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：課題で評価

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

科目名	地域学習	前期～後期	演習	2 単位
サブタイトル	地域学習			
担当者	小沢　康英、吉川　祐介			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
学生自身が主体性、社会性、人間力を育て、大きく成長していく「イニシエーション」の過程として位置づける生涯学習のプロセスであり、学習によって自覚的に育った学生たちが将来主体性のある“市民”として、それぞれの生きる地域社会の核として貢献できることを目標とする

[授業概要]
日ごろから学生一人ひとりの興味関心を常に社会に向け、さまざまな情報を収集すること。また、各種の出来事について積極的で主体的な学修態度を涵養するよう、普段から意識して生活すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃から学生一人一人の興味関心を常に社会に向け、様々な情報を収集すること。また各種の出来事について積極的で主体的な学修態度を涵養するよう、普段から意識して生活すること。

[授業計画]
1. 地域学習は地域社会の行事、活動（学校、施設等含む）に9回以上参加した上で、定められた期限までにまとめのレポートを提出する。
2. 回数の数え方は、原則1日単位とし、時間の長短は行事によって異なる。
3. 履修登録した学生に「履修カード」と「活動記録」を発行する。
4. 参加の確認は履修登録を行った学生に発行する「履修カード」と「活動登録」に、参加した行事、活動の責任者等の押印をもらうこと。
5.「活動記録」冊子に毎回活動記録を記録し、各行事の担当者に提出し確認を受ける。
6. 最終提出の前に活動実績を振り返り、到達目標に対する自己評価を行う。
7. 最終レポートは学部の担当教員に提出する。
8. 学生の参加は、大学の授業時間外の時間帯、日程で行うことを原則とする。

P10000740C [CH1-006]　　[1心]*通年集中

科目名	地域学習	前期～後期	演習	2 単位
サブタイトル	地域学習			
担当者	小沢　康英、吉川　祐介			

[成績評価方法]
参加確認(85%)とレポート(15%)により評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
記録物・レポートは後日添削して返却します

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／ 課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:レポート課題

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

P10000740C [CH1-006]　　[1心]*通年集中

科目名	中国語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	佐原　陽子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1.中国語式ローマ字「ピンイン」のしくみを理解し、読むことができる。
2.中国語の簡化字「簡体字」の字形を理解し、書くことができる。
3.中国語の基礎語彙200語程度を使うことができる。
4.中国語の入門段階の文法(動詞述語、形容詞述語文、存在文の肯定形・否定形・各種疑問文など)を理解し、文を組み立てることができる。
5.中国語のごく簡単な会話文を聞いて理解できる。

[授業概要]
一から中国語を始める人向けに、中国語について詳しく解説し、豊富な練習によって中国語習得の確かな基礎を固めるための授業である。中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。
　英語以外の外国語を学ぶことで、外国語観をより豊かにし、世界の多様性を理解することにもつながる。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
1.教科書付属のCDを聴いて、教科書本文を朗読する。
2.毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要

[授業計画]
【.発音1 声調・母音
2.発音2 子音、発音3 複母音・鼻音　第4課 軽声・声調変化・アール化
3. 第1課① 私は学生です。
4. 第1課②「私／あなた」・「～は～です」・「～ですか」
5. 第2課① これは中日辞典ですか。
6. 第2課②「これ／あれ」・「～の」・「～も」「～はすべて」
7. 第3課① なにを勉強しているの。
8. 第3課②「どうする」「どんなだ」「どれ／誰／何」
9. 第4課① 神戸は夏が暑いですか。
10. 第4課②「彼女は成績がいい」「～ですか、それとも」「～より／～ほど」
11. 第5課① 烏龍茶はありますか。
12. 第5課②「ここ／あそこ」「～がある／～にある」「～は？」数の数え方
13. 第1課～第5課のまとめ

科目名	中国語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	佐原　陽子			

[成績評価方法]
授業中の発表や課題30%、授業中実施のテスト（発音テスト・テキスト内容に基づくテスト）70%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／
成績評価方法：授業中の発表や課題、授業中実施のテスト（発音テスト・テキスト内容に基づくテスト）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／
成績評価方法：授業中の発表や課題、授業中実施のテスト（発音テスト・テキスト内容に基づくテスト）

[教科書（ISBN）]
『新訂　初級中国語課本』 2010　著者名：王霜媚・柴田清継・平坂仁志・市成直子・陳建平　出版社：好文出版
（978-4-255-45172-5 ）

[参考書（ISBN）]

P10001030 [CH1-017]　　[1全]*前期火5

科目名	中国語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	佐原　陽子			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1.中国語式ローマ字「ピンイン」のしくみを理解し、読むことができる。
2.中国語の簡化字「簡体字」の字形を理解し、書くことができる。
3.中国語の基礎語彙500程度を使うことができる。
4.中国語の初級段階の文法（助動詞、前置詞、連動文、二重目的語文、完了相、進行相、持続相、変化の“了”など）を理解し、文を組み立てることができる。
5.中国語のごく簡単な会話文を聞いて理解できる

[授業概要]
半年学んだ中国語の初歩を忘れないように復習しつつ、初級中国語の半ばまでを学ぶ。授業で一層の練習を積み、中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
1.教科書付属のCDを聴いて、教科書本文を朗読する。
2. 毎課の新出語句と補充語句の発音を事前に練習しよう。毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。

[授業計画]
1.第6課① 今年は何年ですか。
2.第6課② 西暦年、時刻の言い方
3.第7課① 買い物に行きたい。
4.第7課②「～して～する」「～したい」「～と／～から」、練習問題
5.第8課① いいですか。
6.第8課②「この～／あの～」「ちょっと～する」「～に～する」、練習問題
7.第9課① 郵便局はどこにありますか。
8.第9課②「～にある／～で」「～した／～になった」「～から／～まで」、練習問題
9.
10. 第10課① 何をしているのですか。
11. 第10課②「～している」「～できる」「～しましょう／～でしょう」
12. 第10課③ 練習問題
13. 第6課～第10課のまとめ

科目名	中国語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	佐原　陽子			

[成績評価方法]
授業中の発表や課題30%、授業中実施のテスト（発音テスト・テキスト内容に基づくテスト）70%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／
成績評価方法：授業中の発表や課題、授業中実施のテスト（発音テスト・テキスト内容に基づくテスト）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／
成績評価方法：授業中の発表や課題、授業中実施のテスト（発音テスト・テキスト内容に基づくテスト）

[教科書（ISBN）]
『新訂　初級中国語課本』 2010　著者名：王霜媚・柴田清継・平坂仁志・市成直子・陳建平　出版社：好文出版
（978-4-255-45172-5 ）

[参考書（ISBN）]

P10001040 [CH1-018]　　[1全]*後期火5

科目名	中国語会話Ⅰ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	佐原　陽子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
中国語の基礎を固め、初歩的な会話能力を身に付けることです。

[授業概要]
教科書の構成に従い、次のような順序で学習します。
1:例文によって新しく学ぶ文法項目を確認します。
2:練習問題によって、文法パターンを定着させます。
3:例文を使って繰り返し会話練習をして表現を定着させます。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
新出単語の発音練習をしたうえで、授業に臨んでください。
終了した課の例文を繰り返し音読して暗唱できるよう努力してください。
予習、復習を合わせて90～120分の事前、事後学習を望みます。

[授業計画]

1. 3課:人称代名詞、判断文、連体修飾語
2. 4課:指示代名詞、SVO文型、省略疑問文
3. 5課:連動文、前置詞句①、助動詞①
4. 6課:存在、所有の文型、助動詞②、動詞の重ね型
5. 7課:完了のアスペクト、形容詞述語文、助動詞③
6. 8課:所在の文型、前置詞句②、助動詞④
7. 9課:変化の語気助詞、程度補語、離合動詞
8. 10課:前置詞③、仮定の表現、方向補語
9. 11課:強調構文、前置詞④⑤
10. 12課:様態補語、結果補語、助動詞⑤
11. 13課:可能補語、SVOO文型、比較の構文
12. 14課:過去の経験のアスペクト、受け身文、兼語文①
13. 15課:使役文、存現文、兼語文②

P10010140 [CH2-018]　　[1看2健]*後期火4

科目名	中国語会話Ⅰ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	佐原　陽子			

[成績評価方法]
授業での発表・提出物50%、試験50%の割合で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の発表や課題、授業中実施のテスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業中の発表や課題、授業中実施のテスト

[教科書(ISBN)]
実用シーンで学ぶ　入門中国語　著者名:宮本大輔・温琳　出版社:朝日出版社 (ISBN978-4-255-45340-8
)

[参考書(ISBN)]

P10010140 [CH2-018]　　[1看2健]*後期火4

科目名	中国語講読 I	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	佐原　陽子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
中国語の文章の初級から中級程度の読解力を身に付けることです。

[授業概要]
中国の国情や文化について述べた文章を講読することを中心とし、時間が許せば、文章に出てくる文型の確認や練習問題、文章の内容に関連するミニ会話の練習も行います。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
予習として、授業で進む予定の課を音読練習をし、日本語訳の準備、練習問題の準備をすること。授業では、間違いを確認し、フレーズをよく暗記するよう音読練習してください。予習、復習を合わせて毎回90～120分程度。。

[授業計画]
1. 中国の大学生活について
2. 中国の食文化について
3. 北京の交通事情について
4. 数字に関するイメージ
5. 1課～4課のまとめ・復習
6. 大学生のアルバイト事情
7. 集団生活のよしあし
8. 買い物のやり取りについて
9. 贈答の習慣
10. 中国の結婚式
11. 共働き家庭の状況
12. 中国人の呼称
13. 理想の職業

P10010160 [CH2-020]　　[2全]*前期火4

科目名	中国語講読 I	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	佐原　陽子			

[成績評価方法]
授業での発表・提出物50%、試験50%の割合で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の発表や課題、授業中実施のテスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業中の発表や課題、授業中実施のテスト

[教科書(ISBN)]
知っておきたい中国事情　改訂版　著者名:　吉田泰謙・相原里美・葛?　著
　出版社:白水社　(ISBN978-4-560-06937-0
)

[参考書(ISBN)]

P10010160 [CH2-020]　　[2全]*前期火4

科目名	朝鮮語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	できる朝鮮語 初級Ⅰ			
担当者	鄭　東憲			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
韓国・朝鮮語の文字や基礎的な文法・文型を学習し、自己紹介などの基礎会話ができることを目指す。

[授業概要]
本講義は初めて朝鮮語を学ぶ者を対象とする。
Ⅰ－1では、文字の読み書き、そして基礎文法・応用会話の順に朝鮮語の仕組みを学んでいく。「使える言葉を学習する」ために、発音や会話の練習など、受講生一人ひとりの発話機会をできるだけ多く設けているので、各自の積極的な参加が要求される。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度、前回の内容を復習して理解することと次回の授業の内容を予習しておくこと。また、日頃から韓国に関連するメディア等の報道等に関心を持つこと。

[授業計画]
1. 朝鮮語の概要
　基本母音
2. 基本子音①②
3. 合成子音と合成母音
4. バッチム
5. 第1課　私は日本人です①
6. 第1課　私は日本人です②
7. 第2課　日本人ではありません①
8. 第2課　日本人ではありません②
9. 第3課　それは何ですか①
10. 第3課　それは何ですか②
11. 第4課　約束があります①
12. 第4課　約束があります②
13. まとめ

P10001110 [CH1-020]　　[1福AB心A]*前期火5

科目名	朝鮮語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	できる朝鮮語 初級Ⅰ			
担当者	鄭　東憲			

[成績評価方法]
レポート(15%)・小テスト(15%)・授業態度(20%)・テスト(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
発表については授業内で講評を行う。
提出物についてはmanabaでコメントする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート、授業態度、小テスト、テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:レポート、授業態度、小テスト、テスト

[教科書(ISBN)]
新装版　できる韓国語　初級Ⅰ　著者名:新大久保語学院　著　出版社:アスク出版　(978-4-87217-723-7)

[参考書(ISBN)]

P10001110 [CH1-020]　　[1福AB心A]*前期火5

科目名	朝鮮語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	できる朝鮮語 初級Ⅰ			
担当者	李　春子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
韓国・朝鮮語の文字の読み書きを基盤に基礎的な文法・文型を学習し、自己紹介などの基礎会話ができることを目指す。

[授業概要]
本講義は初めて朝鮮語を学ぶ者を対象とする。
文字の読み書き、そして基礎文法・応用会話の順に朝鮮語の仕組みを学んでいく。実際、使える言葉を学習するために、発音や会話の練習などの機会をできるだけ多く設けている。各自の積極的な参加が要求される。また、歌やドラマ・映画等、言葉を習得しながら異文化理解も取り入れる。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
予習・復習合わせて2時間程度すること。また、日頃から韓国に関連するメディア等の報道等に関心を持つこと。

[授業計画]

1. 朝鮮語の概要
   基本母音と子音の紹介
2. 基本子音
3. 基本子音と合成母音
4. バッチム
5. 文字と発音のまとめ
6. 私は日本人です
7. 自己紹介を練習する
8. 中間復習
9. 日本人ではありません
10. 約束があります
11. OOあります・ありますか？
12. 場所／位置を学ぶ
13. まとめ

P10001110A [CH1-020]　　[1福C栄看心B]*前期火5

科目名	朝鮮語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル	できる朝鮮語 初級Ⅰ			
担当者	李　春子			

[成績評価方法]
試験50%、課題25%、受講態度25%
筆記試験及び課題や授業に積極的に参加し、発表等を評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
試験後、解説によって達成度を確認する。授業に積極的に参加し、様々な発表を評価する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験、課題、スピーチ発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:試験、課題、スピーチ発表

[教科書(ISBN)]
新装版　できる韓国語　初級Ⅰ　著者名:新大久保語学院　著　出版社:DEKIRU出版　(978-4-87217-723-7)

[参考書(ISBN)]

科目名	朝鮮語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	できる朝鮮語 初級Ⅰ			
担当者	鄭　東憲			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
初級レベルの韓国・朝鮮語を読む、書く、聞く、話す能力を身につけ、簡単な日常会話や作文ができることを目指す。

[授業概要]
本講義は朝鮮語Ⅰ－1を学んだ受講者を対象とし、「読む」、「書く」、「聞く」そして「話す」ことをバランスよく学習して行く。
基礎文法を応用した会話を繰り返し練習して、学習したのが発話につながるようにしていく。そのためには、受講者の積極的な授業参加が必要である。本講義を受講した学生は是非、初級の朝鮮語の資格試験に挑戦してほしい。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度ハングルの文字を覚えること。

[授業計画]
1. 第5課　会社はどこにありますか①
2. 第5課　会社はどこにありますか②
3. 第6課　週末には何をしますか①
4. 第6課　週末には何をしますか②
5. 第7課　そんなに遠くありません①
6. 第7課　そんなに遠くありません②
7. 第8課　いつ行きますか①
8. 第8課　いつ行きますか②
9. 第9課　プサンまでどうやって行きますか①
10. 第9課　プサンまでどうやって行きますか②
11. 第10課　何時からですか①
12. 第10課　何時からですか②
13. まとめ

P10001120 [CH1-021]　　[1福AB心A]*後期火5

科目名	朝鮮語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	できる朝鮮語 初級Ⅰ			
担当者	鄭　東憲			

[成績評価方法]
レポート(15%)・小テスト(15%)・授業態度(20%)・テスト(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
発表については授業内で講評を行う。
提出物についてはmanabaでコメントする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート、授業態度、小テスト、テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:レポート、授業態度、小テスト、テスト

[教科書(ISBN)]
新装版　できる韓国語　初級Ⅰ　著者名:新大久保語学院　著　出版社:アスク出版　(978-4-87217-723-7)

[参考書(ISBN)]

科目名	朝鮮語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	できる朝鮮語 初級Ⅰ			
担当者	李　春子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
初級レベルの韓国・朝鮮語を読む、書く、聞く、話す能力を身につけ、簡単な日常会話や作文ができることを目指す。

[授業概要]
本講義は朝鮮語Ⅰ－1を学んだ受講者を対象とし、「読む」、「書く」、「聞く」そして「話す」ことをバランスよく学習して行く。 基礎文法を応用した会話を練習して、学習したのが発話につながるようにしていく。また、韓国の歌や映画、文学作品等を取り入れて言葉の向こうの異文化理解も行う。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
予習・復習合わせて2時間程度すること。実際、韓国に行った時に活用できうる様々な場面の会話を身につけるように努力すること。

[授業計画]
1. 後期概要・レベルチェック
2. 動詞を学ぶ(韓国の歌を学ぶ)
3. 動詞を使った日常会話の練習
4. 動詞の否定文
5. 数字の表現
6. 数字を使った日常会話
7. 中間復習(ドラマの表現)
8. 時間の表現
9. ～ます・ですの表現
10. ～ます・ですの表現の応用会話
11. 過去形
12. 過去形の会話練習
13. まとめ

科目名	朝鮮語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	できる朝鮮語 初級Ⅰ			
担当者	李　春子			

[成績評価方法]
試験50%、課題25%、受講態度25%
筆記試験と課題、そして授業に積極的に参加し、様々な発表を評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業の後、返却

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験、課題、スピーチ発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:試験、課題、スピーチ発表

[教科書(ISBN)]
新装版　できる韓国語　初級Ⅰ　著者名:新大久保語学院　著　出版社:アスク出版　(978-4-87217-723-7)

[参考書(ISBN)]

科目名	朝鮮語会話Ⅰ	後期	演習	1 単位
サブタイトル	できる朝鮮語 初級Ⅰ			
担当者	鄭　東憲			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
聞く、話す力をより発展させ、旅行などの日常の場面において自分の考えをある程度表現できるようになることを目指す。

[授業概要]
簡単な会話の復習を行い、その上で様々な表現を学んでいくことにする。朝鮮語Ⅰと同様に、会話練習と、1人ひとりの発話機会を多く設けていく予定である。受講者には積極的な授業参加が必要となる。
本講義を受講した学生は是非、初級や中級の朝鮮語の資格試験に挑戦してほしい。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度、基礎文法と簡単な会話を覚えること。

[授業計画]
1. 第11課　いつ日本にきましたか①
2. 第11課　いつ日本にきましたか②
3. 第12課　お名前は①
4. 第12課　お名前は②
5. 第13課　どちらへ行っていらっしゃいましたか①
6. 第13課　どちらへ行っていらっしゃいましたか②
7. 第14課　日本と韓国は似ているけど、けっこう違うでしょう①
8. 第14課　日本と韓国は似ているけど、けっこう違うでしょう②
9. 第15課　温泉に行きたいです①
10. 第15課　温泉に行きたいです②
11. 会話①
12. 会話②
13. まとめ

P10010180 [CH2-023]　　[1看2健]*後期火4

科目名	朝鮮語会話Ⅰ	後期	演習	1 単位
サブタイトル	できる朝鮮語 初級Ⅰ			
担当者	鄭　東憲			

[成績評価方法]
レポート(15%)・小テスト(15%)・授業態度(20%)・テスト(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
発表については授業内で講評を行う。
提出物についてはmanabaでコメントする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート、授業態度、小テスト、テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:レポート、授業態度、小テスト、テスト

[教科書(ISBN)]
新装版　できる韓国語　初級Ⅰ　著者名:新大久保語学院　著　出版社:アスク出版　(978-4-87217-723-7)

[参考書(ISBN)]

P10010180 [CH2-023]　　[1看2健]*後期火4

科目名	朝鮮語講読Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	できる朝鮮語 初級Ⅰ			
担当者	鄭　東憲			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
基本的な文法や文型の学習を通じて、簡単な文章の「解読」、「作文」ができる能力を身につける。

[授業概要]
朝鮮語の表現力のアップと共に言語を支えている発想の仕組みについても考え、隣国である韓国の文化や社会を理解する。また、文法にのっとった会話だけではなく、実際に使われる表現も取り入れながら、韓国語の根底にある考え方にも触れていく。
Ⅱ－1に比べ、語彙や表現が大幅に増えているので、受講生には自発的に覚えていくことが必要とされる。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度、基礎文法を覚えること。

[授業計画]
1. 第16課　プレゼントを買うのでお金をたくさん使います①
2. 第16課　プレゼントを買うのでお金をたくさん使います②
3. 第17課　結婚式に何を着ていけばいいですか①
4. 第17課　結婚式に何を着ていけばいいですか②
5. まとめ
6. 第18課　食事でも一緒にしましょうか①
7. 第18課　食事でも一緒にしましょうか②
8. 第19課　写真をちょっと撮っていただけますか①
9. 第19課　写真をちょっと撮っていただけますか②
10. まとめ
11. 第20課　自転車に乗ることができますか①
12. 第20課　自転車に乗ることができますか②
13. まとめ

P10010200 [CH2-025]　　[2全]*前期火4

科目名	朝鮮語講読 I	前期	演習	1 単位
サブタイトル	できる朝鮮語 初級 I			
担当者	鄭　東憲			

[成績評価方法]
レポート(15%)・小テスト(15%)・授業態度(20%)・テスト(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
発表については授業内で講評を行う。
提出物についてはmanabaでコメントする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート、授業態度、小テスト、テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:レポート、授業態度、小テスト、テスト

[教科書(ISBN)]
新装版　できる韓国語　初級 I　著者名:新大久保語学院　著　出版社:アスク出版　(978-4-87217-723-7)

[参考書(ISBN)]

科目名	哲学	前期	講義	2 単位
サブタイトル	哲学入門			
担当者	栗山　はるな			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	コメントシートを用いた主体的学習	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
普段の生活の中で当たり前のように思っているルール、社会的な事件の基盤に哲学的思考があることを知り、またそれを通して、正解のない問題に取り組む際の考え方を身につけることを目指す。

[授業概要]
我々の生きる現実について考えることは本来とても難しいことです。特に多様化の時代と言われる現代社会では、個々の疑問に対して正解があるのかすら見えにくい状況にあります。この講義では世界的なできごとや先人達のアイデア(正しさや自由、平等などについて)を頼りに皆さんと共に我々の生活について向き合うことを目指します。人文知の楽しさを知ってもらうことで、この授業が皆さん自身の生に向き合う一助となればと思います。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
授業で配布したプリントをよく読んで、復習と予習合わせて2時間程度で準備しておく。授業のテーマと自分の生活との関わりについてよく考える。

[授業計画]

1、ガイダンス
2、哲学の生まれる場面　反出生主義
3、デカルトとカント　正しさの追求
4、ニーチェと道徳の崩壊
5、ベンサムと功利主義
6、ミルと自由主義
7、マルクスと資本主義
8、ロールズの正義論
9、格差の思想
10、仏教の思想とわたしの哲学
11、フェミニズム
12、環境思想
13、まとめ

遠隔授業となった場合の受講方法はmanabaを見てください。

科目名	哲学	前期	講義	2 単位
サブタイトル	哲学入門			
担当者	栗山 はるな			

[成績評価方法]
毎回の授業内ミニレポート(60%)、最終テスト(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内でフィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:コメントシート及び期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:コメントシート及び期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:コメントシート及び期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:コメントシート及び期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:コメントシート及び期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:コメントシート及び期末レポート

[教科書(ISBN)]
なし。プリントを授業で配布する。

[参考書(ISBN)]

科目名	ドイツ語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	K. ボーネルト			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
簡単な日常会話ができることを目指します。

[授業概要]
この授業では、初めてドイツ語を学ぶ人を対象に、「発音・文法・会話」の基礎を学習していきます。またドイツ語圏の文化事情も紹介し、異文化理解を深めることも重要視します。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
語学の勉強は積み重ねが大切です。平素から予習・復習を心がけ、授業に臨んでください。(各回、2時間程度)

[授業計画]
1. イントロダクション、アルファベート、発音、あいさつ
2. 人称代名詞、動詞の現在人称変化
3. sein、habenの現在人称変化
4. 名詞の性・冠詞,名詞の格変化
5. 並列の接続詞・動詞の現在人称変化(不規則動詞)
6. 命令形
7. 人称代名詞の3格と4格、非人称のes
8. 名詞の複数形
9. 冠詞類
10.keinとnichtの使い方
11. 前置詞
12. まとめ
13. アラカルト

P10000870 [CH1-011] [1全]*前期火5

科目名	ドイツ語Ⅰ－1	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	K. ボーネルト			

[成績評価方法]
試験（60%）、授業内評価（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験の後、次の授業で答え合わせを行う。
レポートに関してはmanaba等でコメントをする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業内評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業内評価

[教科書（ISBN）]
『アー・ツェット 楽しく学ぶドイツ語（Deutsch A-Z）』 著者名：小野　寿美子
中川　明博　　出版社：朝日出版社 （978-4-255-25420-3）

[参考書（ISBN）]

P10000870 [CH1-011]　　[1全]*前期火5

科目名	ドイツ語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	ドイツ語入門Ⅰ			
担当者	K. ボーネルト			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
総合的なドイツ語能力の基礎をつくります。

[授業概要]
前期に引き続き、ドイツ語の世界の更なる理解と興味を深めます。これまでに学習した知識の定着を図りながら、より多彩な日常会話表現を学んでいきます。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
語学の勉強は積み重ねが大切です。平素から予習・復習を心がけ、授業に臨んでください。(各回、2時間程度)

[授業計画]
1. 話法の助動詞
2. 未来形・従属の接続詞と副文
3. 時刻の表現
4. 形容詞の格変化
5. 形容詞・副詞の比較
6. 分離動詞・非分離動詞
7.zu不定詞
8. 動詞の3基本形
9. 現在完了形(助動詞haben＆seinを使う動詞)
10. 過去形
11. 再帰代名詞と再帰動詞
12. まとめ
13. アラカルト

科目名	ドイツ語Ⅰ－2	後期	演習	1 単位
サブタイトル	ドイツ語入門Ⅰ			
担当者	K. ボーネルト			

[成績評価方法]
試験（60%）、授業内評価（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験の後、次の授業で答え合わせを行う。
レポートに関してはmanaba等でコメントをする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業内評価・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業内評価・レポート

[教科書（ISBN）]
『アー・ツェット 楽しく学ぶドイツ語（Deutsch A-Z）』 著者名：小野　寿美子
中川　明博　出版社：朝日出版社 （978-4-255-25420-3）

[参考書（ISBN）]

科目名	日本国憲法	前期	講義	2 単位
サブタイトル	日本国憲法			
担当者	豊福　一			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
日本国憲法の基礎的理解

[授業概要]
日本国憲法の基礎的な内容を条文や判例、現実の社会問題に照らして解説します。
また、余剰時間が生じた場合、理解力の定着のため公務員試験等の過去問の検討も行います。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
教科書に目を通し,関連するニュースに注意しておくこと。

[授業計画]
【対面授業】※状況によっては遠隔授業

1. 国民主権と人権・個人の尊重
2. 法の下の平等
3. 精神の自由
4. 人身の自由
5. 経済活動の自由
6. 社会権
7. 参政権と義務
8. 立法権
9. 行政権
10. 司法権／地方自治
11. 平和主義
12. 象徴天皇制
13. まとめ

P10020240 [CH1-039]　　[1全]*前期月5

科目名	日本国憲法	前期	講義	2 単位
サブタイトル	日本国憲法			
担当者	豊福　一			

[成績評価方法]
試験による評価を基本とする。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
試験については、対面授業の場合は講義時に、遠隔授業の場合はmanabaに提示し説明します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:試験

[教科書(ISBN)]
「新時代の法学・憲法」
現代社会Ⅰと共通　著者名:山田勉他　出版社:建帛社 (978-4-7679-4346-6)

[参考書(ISBN)]

P10020240 [CH1-039]　　[1全]*前期月5

科目名	フランス語Ⅰ －1	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	廣岡　江梨子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
フランス語を読む、書く、聞く、話すための基礎的な能力を身につけることを目指す。

[授業概要]
フランス語の発音と文法の基礎を学ぶとともに、フランスの文化にも触れます。
フランス語習得の第一歩である発音は慣れが必要なので、毎回少しずつ規則を覚えながら繰り返し読むことにより、無理なく定着させていきます。文法としては、名詞や形容詞の扱い方、動詞の活用などを学び、フランス語の基本的な仕組みをしっかりと理解していきます。また、実際にフランス人と話す時に使えるフレーズを覚えて、簡単な会話ができるようにします。基礎を身に付けることが目的なので授業はゆっくり進めますが、みなさんの理解度に応じて応用にも挑戦できるようにします。
言葉の背景にある文化を知ってもらうため、フランスの食べ物やファッション、映画、本などを紹介し、フランスでの生活についても折に触れて話していきたいと思います。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度。重要な事項については覚えるように指示しますので、それを中心に各自復習しておいてください。練習問題を宿題にすることもあります。

[授業計画]
1. アルファベット、あいさつ、自己紹介／フランスの基礎知識(1)国土、地名
2. 主語人称代名詞(私は、君は、彼は…)／発音の基本／フランスの基礎知識(2)文化、社会
3. 動詞etre(～です)／国籍や職業の言い方
4. 名詞の性と数、不定冠詞、定冠詞／「ここに～があります」「これは～です」
5. 形容詞の性と数、形容詞と名詞の組み合わせ
6. 動詞avoir(～を持っている)／家族の言い方
7. 第一群規則動詞:-er動詞／「話す」、「住む」、「～が好き」…
8. 否定文の作り方、指示形容詞(この、その…)、疑問文の作り方、応答の仕方
9. 動詞aller(行く)とvenir(来る)、前置詞と定冠詞の縮約、命令文
10. 所有形容詞(私の、君の、彼の…)
11. 強勢形人称代名詞、疑問形容詞(どの～)、数詞／年齢や好きなものの聞き方、答え方
12. いろいろな動詞を使った文を読む、書く
13. まとめ

科目名	フランス語Ⅰ －1	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	廣岡　江梨子			

[成績評価方法]
受講態度(30%)、小テスト(30%)、確認テスト(40%)。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
口頭の小テストはその場で結果を伝え、正解するまで何度も挑戦できるようにします。記述の課題は結果とともにヒントを書き込んで返却し、それをもとに質問を受け付けます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:受講態度、小テスト、確認テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:受講態度、小テスト、確認テスト

[教科書(ISBN)]
ピエールとユゴー[三訂版] 著者名:小笠原洋子著　出版社:白水社 (978-4-560-06130-5)

[参考書(ISBN)]

P10000950 [CH1-014]　　[1全]*前期火5

科目名	フランス語Ⅰ －2	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	廣岡　江梨子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
現地のレストランやブティックなどで簡単なやり取りができるレベルを目指す。

[授業概要]
前期に引き続き、フランス語の発音と基礎文法を学び、フランスについての知識を身に付けます。
発音については、繰り返し読む練習をして無理なく定着させていきます。文法としては、いろいろな動詞の活用に加え、目的語人称代名詞などを学び、初等文法を完成させます。また、実際にフランス人と話す時に使えるフレーズを覚えて、簡単な会話ができるようにします。基礎を身に付けることが目的なので授業はゆっくり進めますが、みなさんの理解度に応じて応用にも挑戦できるようにします。
言葉の背景にある文化を知ってもらうため、フランスの食べ物やファッション、映画、本などを紹介し、フランスでの生活についても折に触れて話していきたいと思います。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度。重要な事項については覚えるように指示しますので、それを中心に各自復習しておいてください。練習問題を宿題にすることもあります。

[授業計画]
1. フランス語Iの復習(1)名詞、形容詞
2. フランス語Iの復習(2)動詞
3. 部分冠詞、第2群規則動詞:-ir動詞
4. 動詞vouloir(～したい)とpouvoir(～できる)
5. 非人称構文／時刻の聞き方、答え方
6. 直接目的語人称代名詞(私を、君を、彼を…)
7. 間接目的語人称代名詞(私に、君に、彼に…)
8. 代名動詞 、いろいろな動詞の活用
9. 近接未来(～しようとしている)、近接過去(～したばかりだ)／注文の仕方
10. 中性代名詞、比較級と最上級
11. 時制について／会話の練習
12. 読解の練習
13. まとめ

科目名	フランス語Ⅰ －2	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	廣岡　江梨子			

[成績評価方法]
中間課題(40%)、期末課題(60%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題実施後、解答を提示し説明します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:中間課題、期末課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:中間課題、期末課題

[教科書(ISBN)]
ピエールとユゴー[三訂版] 著者名:小笠原洋子著　出版社:白水社 (978-4-560-06130-5)

[参考書(ISBN)]

P10000960 [CH1-015]　　[1全]*後期火5

科目名	フランス語会話Ⅰ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	廣岡　江梨子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
基本的なフレーズの運用能力を身につけ、自分の考えをある程度表現できることを目指す。

[授業概要]
1年目に学んだことを復習しつつ、さまざまな文章に触れることを通して文法や表現を学び、使えるボキャブラリーを増やしていきます。
フランスへの旅を全体の主なテーマとし、毎回異なる角度からテーマを扱った文章を読んで、そこから実際に会話で使える表現を学びます。地方や都市の文化、歴史から、旅行ガイド、交通手段、道の尋ね方、美術館、買い物の会話まで、多様な教材を使って学び、会話におけるフランス語運用能力とフランス文化についての知識を同時に身に付けます。繰り返し聞いて話す練習も行います。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度。毎回、学習した文法や表現を各自復習しておいてください。
テーマについての予習などを授業内で指示することもあります。

[授業計画]
1. フランスの都市と地方の概要／文法の復習
2. パリ／疑問代名詞
3. パリの美術館／関係代名詞
4. 観光案内所での会話
5. 地方①イル・ド・フランス／強調構文
6. 道を尋ねる会話
7. 地方②ヴァル・ド・ロワール／受動態
8. カフェでの会話
9. 地方③コート・ダジュール／指示代名詞
10. 買い物の会話
11. 地方④プロヴァンス／所有代名詞
12. 駅での会話、展覧会での会話
13. まとめ

P10010100 [CH2-013]　　[1看2健]*後期火4

科目名	フランス語会話Ⅰ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	廣岡　江梨子			

[成績評価方法]
中間課題(40%)、期末課題(60%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題実施後、解答を提示し説明します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:中間課題、期末課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:中間課題、期末課題

[教科書(ISBN)]
プリント配布

[参考書(ISBN)]

P10010100 [CH2-013]　　[1看2健]*後期火4

科目名	フランス語講読Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	廣岡　江梨子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
フランス語の基礎を固めつつ、文の仕組みを把握し、まとまった文章を理解できるようになる。

[授業概要]
1年目に学んだことを復習しつつ、さまざまな文章に触れることを通して新たに文法や表現を学び、使えるボキャブラリーを増やしていきます。
フランスの食文化を全体の主なテーマとし、毎回異なる角度からテーマを扱った文章を精読します。カフェやレストランの文化的背景から、そうした場所で交わされる会話、フランス料理特有の食材や郷土料理についての文章、メニューやレシピまで、多様な教材を使い、読解力とフランス文化についての知識を同時に身に付けていきます。学んだ表現を実際に使えるようになることを念頭に置いて、繰り返し読んで書く練習も行います。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度。毎回、学習した文法や表現を各自復習しておいてください。テーマについての予習などを授業内で指示することもあります。

[授業計画]
1. フランスの食文化の概要／発音の復習
2. マルシェ(市場)、食材／名詞と冠詞の復習
3. カフェ、飲み物／形容詞の復習
4. フロマージュ(チーズ)／動詞の復習
5. パティスリー(お菓子)／文の種類
6. クレープとガレット／複合過去
7. クロワッサンとバゲット／半過去
8. ワイン、マリアージュ(料理とワインの組み合わせ)／大過去
9. ショコラ(チョコレート)／単純未来
10. サロン・ド・テ(ティールーム)／前未来
11. レストラン、メニュー／条件法、接続法
12. ルセット(レシピ)、郷土料理／関係代名詞
13. まとめ

P10010120 [CH2-015]　　【閉講】[2全]*前期火4

科目名	フランス語講読 I	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	廣岡　江梨子			

[成績評価方法]
受講態度（30%）、小テスト（30%）、確認テスト（40%）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
口頭の小テストはその場で結果を伝え、正解するまで何度も挑戦できるようにします。記述の課題は結果とともにヒントを書き込んで返却し、それをもとに質問を受け付けます。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：受講態度、小テスト、確認テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／ 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：受講態度、小テスト、確認テスト

[教科書（ISBN）]
プリント配布

[参考書（ISBN）]

科目名	歴史Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	戦国時代の村の生活			
担当者	永松　圭子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1. 公家の日記である『政基公旅引付』を読み、中世史料の基本的文体や用語の知識を身に付ける。
2. 戦国時代における村の生活がどのようなものであったか理解する。

[授業概要]
16世紀初頭に、九条政基は和泉国日根荘に4年間滞在して『政基公旅引付』を著した。この日記には、荘園支配の様相や村の四季・祭り・芸能・戦争と飢饉等が描かれており、人々の姿を生き生きと浮かび上がらせている。授業では、『政基公旅引付』を一年のサイクルで抜粋した記事について、受講生が順に現代語訳を発表し、戦国時代の村民はどのように生活していたかを考える。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
『政基公旅引付』の読み下し文と語彙の説明を読んで、現代語訳を考えておく。授業の後、復習を行い、興味を感じた項目について参考文献を読む。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.『政基公旅引付』について
2. 正月の行事
3.　〃
4. 大木村職事腰刀盗難事件
5.　〃
6. 2・3月ー飢饉・疾病
7.　〃
8. 4月ー祭りと田植・麦刈
9. 5月ー端午の節句と春段銭の賦課、根来寺
10. 6月ー守護方の来襲と防御
11. 7月ー盂蘭盆・風流
12. 8月ー雨乞・祭り
13. 戦争と村民

P10020210 [CH1-036]　　[1全]*前期水2

科目名	歴史Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	戦国時代の村の生活			
担当者	永松　圭子			

[成績評価方法]
授業中の課題（40%）、レポート（40%）、アンケートの回答（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
アンケートは授業で講評を行い、レポートはmanabaでコメントする

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／ 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題（40%）、レポート（40%）、アンケートの回答（20%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／ 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題（40%）、レポート（40%）、アンケートの回答（20%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／ 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業中の課題（40%）、レポート（40%）、アンケートの回答（20%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業中の課題（40%）、レポート（40%）、アンケートの回答（20%）

[教科書（ISBN）]
レジュメ・資料を作成し配布する。（なし
）

[参考書（ISBN）]

科目名	歴史Ⅲ	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	上山　益己			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
ヨーロッパの歴史についての基本的な知識をマスターする。
過去の出来事を知り考察することを通して、現在を生きる力を養う。

[授業概要]
現在の状況を正しく認識し、これからの世界を展望するには、過去の歴史を知ることが不可欠である。なかでもヨーロッパの歴史は、日本をはじめとする多くの社会が、物質的にも精神的にもヨーロッパで形作られた文明や思想の影響を受けているだけに、重要である。本講義では、ヨーロッパ世界の成立から現代にいたる歴史を概観し、ヨーロッパ世界がどのように生まれ、広がり、浸透していったかを見る。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎回のテーマについて、概説書などで一般的な知識を予習しておくこと。

[授業計画]
1. ガイダンス
2. 古代地中海世界の概要
3. ガリア、ゲルマニア、ブリタニア
4. ラテン・カトリック世界の成立
5. 中世の地中海世界
6. 西欧諸国家の成立
7. オスマン帝国とイベリア両国
8. 世界規模での交易の開始
9. 啓蒙の世紀
10. 帝国主義の時代
11. 列強の対立～第一次世界大戦
12. 再度の悪夢～第二次世界大戦
13. 東西冷戦～そして現代へ

科目名	歴史Ⅲ	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	上山　益己			

[成績評価方法]
試験90%　受講態度10%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:期末試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:期末試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:期末試験

[教科書(ISBN)]
適宜プリントを配布

[参考書(ISBN)]

全学共通教養科目

（ポーアイ教養科目）

（授業科目名 五十音順）

科目名	健康・生活支援指導論実習	後期	講義	1 単位
サブタイトル				
担当者	賀屋　光晴			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
(1)スポーツに関する幅広い知識と技術が習得できる。
(2)健康づくりと運動との関係に関する知識を身につけることができる。
(3)状況や対象に合わせた行動をとることができる。
(4)状況に応じて適切にコミュニケーションをとることができる。
(5)自分たちの考えを周囲に伝えることができる。

[授業概要]
スポーツ実践を通してスポーツの楽しさを体感するとともに、運動習慣を身につけるための基礎を身につける。また、障害者スポーツなど様々なスポーツを体験することでスポーツの持つ奥深さや多様性を知る。さらに、身体表現(創作ダンス)の実践などにより、表現力を身につける。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
授業前後にウォーミングアップ、クールダウンを充分に行なう。
ストレッチを毎日5分程度行なう。
10分程度の運動・活発な身体活動を週3回程度行なう。
日々の運動を記録し、定期的に振り返りを行なう。

[授業計画]
1. ガイダンス、スポーツ実践(身体表現　創作)
2. スポーツ実践(身体表現　創作)
3. スポーツ実践(身体表現　創作)
4. スポーツ実践と評価法(身体表現の発表(実践)と評価)
5. スポーツ実践1 (バスケットボール、ショートテニス、トレーニング　など)
6. スポーツ実践1 (バスケットボール、ショートテニス、障害者スポーツ)
7. スポーツ実践1 (バスケットボール、ショートテニス、障害者スポーツ)
8. スポーツ実践2 (バスケットボール、ショートテニス、トレーニング　など)
9. スポーツ実践2 (バスケットボール、ショートテニス、障害者スポーツ)
10. スポーツ実践2 (バスケットボール、ショートテニス、障害者スポーツ)
11. 体力の測定と評価
12. 体力の測定と評価
13. スポーツ実践3 (バスケットボール、ショートテニス、トレーニング　など)
14. スポーツ実践3 (バスケットボール、ショートテニス、障害者スポーツ)
15. スポーツ実践3 (バスケットボール、ショートテニス、障害者スポーツ)、まとめ

科目名	健康・生活支援指導論実習	後期	講義	1 単位
サブタイトル				
担当者	賀屋　光晴			

[成績評価方法]
(1)授業に関連したレポートを実施する。
(2)参加態度(35%)、協調性(25%)、習熟度(20%)、レポート(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
必要に応じて個別に対応する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:参加態度等

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:参加態度等

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:参加態度等

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]
編:アメリカスポーツ医学会、日本体力医学会　著者名:南江堂　出版社:978-4-524-26216-8 (運動生理学　生理学の基礎から疾病予防まで(第2版))
三共出版　著者名:978-4-7827-0802-6　出版社:健康・スポーツ科学講義　第2版 (出村慎一監修)
978-4-7644-1125-8

科目名	健康づくり・生活支援ワークショップ	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	片田　千尋、岡本　恵、石原　あや			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
(1)子育ての営みに関係する事柄が列記できる。
(2)文化について具体的に述べることができる。
(3)現代の子育ての特徴が説明できる。
(4)現代の子育ての問題、課題、解決のための対策について考えることができる。
(5)子育てについて、自分の考えを述べることができる。
(6)課題のグループワークに積極的に参加し、自分の意見を述べることができる。
(7)各ライフステージにおけるセクシュアリティの意味と課題について議論し、自己の考えを述べることができる。
(8)様々な健康レベルにおけるセクシュアリティの意味と

[授業概要]
この講義は、「子育てと文化」と「ヒューマンセクシュアリティと看護」の2つから成る。
(1)子育てと文化
子育てをめぐる社会状況・社会システムの変化、地域社会の変化等に伴う子ども観や育児観の変遷を追いながら、現代の子育ての問題や課題について考えていく。また子育て中の母親のドキュメンタリー映画を鑑賞する機会を設け、育児の実際について理解を深める。
(2)ヒューマンセクシュアリティと看護
本科目では、セクシュアリティに関する基本的な知識を獲得し、様々な環境や立場、価値観をもつ人におけるセクシュアリティの多様性や課題について考える。また、一般的にセクシュアルマイノリティとされる人へのピアサポートや当事者運動を実践している特別講師から、性の多様性、LGBTのおかれる現状、当事者運動などについて講義を受け、セクシュアリティを基本的人権として捉え、その意味や課題について考える。
上記の考えを通して、自己のセクシュアリティについて改めて考え、他者のセクシュアリティを尊重するための態度や支援について深く考える力を身につける。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
授業前:グループワークのテーマに関する事前学習【2時間】
授業後:深めたい点に関する追加学習【1時間】
全授業終了後:各自が関心を持った問題や課題を1つ取り上げ、まとめのレポートを作成する【4時間】

[授業計画]
1. 子育てと文化－授業ガイダンス(石原)
2. 子育ての実際(映画「ママをやめてもいいですか」鑑賞)(石原)
3. 子育ての実際(映画「ママをやめてもいいですか」鑑賞)
   グループワーク打ち合わせ(石原)
4. 現代の子育て事情(グループワーク)(石原)
5. 子育てにまつわる文化的慣習(グループワーク)(石原)
6. 母性愛神話・3歳児神話(グループワーク)(石原)
7. 海外の子育て(グループワーク)(石原)
8. 子育てについての悩み(グループワーク)(石原)
9. ヒューマンセクシュアリティと看護－授業ガイダンス(片田)
10. セクシュアルマイノリティ(講義)(特別講師・片田)
11. ジェンダーとセクシュアリティ(ディスカッション)(片田・岡本)
12. ライフステージとセクシュアリティ(ディスカッション)(片田・岡本)
13. セクシュアルヘルス(講義)(特別講師・片田)
14. 障がいとセクシュアリティ(ディスカッション)(片田・岡本)
15. まとめ　セクシュアリティの多様性の理解とその支援(プレゼンテーション)(片田)
16. まとめ　セクシュアリティに関する考えの統合

科目名	健康づくり・生活支援ワークショップ	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	片田　千尋、岡本　恵、石原　あや			

[成績評価方法]
授業への参加度（事前学習レポート、講義の感想レポート、グループディスカッションに関するレポート 、プレゼンテーションへの参加度を重視）70%、最終レポート30%
なお、本授業では定期試験は行わない。提出物の期限を遵守しない場合は減点対象とする。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
グループワークについては各授業内で、講義の感想やレポートについては最終授業のまとめでフィードバックを行い、より深い思考につなげる。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への参加度（事前学習レポート、講義の感想レポート、グループディスカッションに関するレポート 、プレゼンテーションへの参加度を重視）70%、最終レポート30%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業への参加度（事前学習レポート、講義の感想レポート、グループディスカッションに関するレポート 、プレゼンテーションへの参加度を重視）70%、最終レポート30%

[教科書（ISBN）]
適宜、各担当者が資料を配付する。

[参考書（ISBN）]

P30003040 [CI1-026(U),GI1407(J)]　　[1健心／PI4大学共通教養]*後期火4

科目名	地域コミュニティ入門	前期	講義	2 単位
サブタイトル	～新しいつながりと仕組みで構築する地域コミュニティ～			
担当者	飛田　敦子			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
①地域コミュニティの抱える現代的課題の理解
②考える力の構築
③コミュニケーション能力（話す力・聴く力・調整する力）の向上

[授業概要]
少子高齢化、人口減少、税収減、非正規雇用の増加、格差の拡大など、現代社会は様々な課題を抱えています。行政や企業だけでは、それらの課題すべてを解決するのは難しい時代となってきました。そこで注目されているのが、NPOや地域コミュニティといった新たな機能です。高齢者、子ども、まちづくりなど、その分野は多岐にわたり、様々な事例が構築されています。また、それらの主体（地域コミュニティ、行政、企業など）がともに手を取り合って行動する「協働（きょうどう）」も、なくてはならない手法となってきました。

2020年春以降、新型コロナウイルスの影響で、対面して多様な人間関係を構築するのが難しい状況が続いています。リアルな交流の機会が激減する中で、高齢者の認知および身体機能の低下、産後うつを抱える親の増加など、自粛や孤立による新たな社会課題も浮かび上がってきています。しかし一方で、「感染症による命のリスク」と「孤立による命のリスク」のバランスに苦慮しながらも、少しでも現状を打破しようとする挑戦も各地で生まれています。地域コミュニティの役割を再考するためにも、これらコロナ禍における取組事例も授業内で多数紹介します。
また、様々な分野で活躍する実践者の方にもゲストスピーカーとしてご登壇いただき、現場での様々なチャレンジに触れながら、地域コミュニティの実態や役割、またその可能性について共に考えたいと思います。

※担当教員はNPOや地域コミュニティをフィールドにした仕事に従事しており、「実務経験のある教員」です。

① 学生、講師、ゲストスピーカーが皆で一緒に創る授業です。90分授業の前半を講義、後半をグループディスカッションやゲストスピーカーとの質疑応答等の参加型形式で行います。講義を聞いたり、板書したりするだけでなく、他人と議論することに重点を置き、「人と学び、人から学ぶ」授業を目指します。そのため、受身ではなく積極的な参加態度を求めます。
② ゲストスピーカーの関係で授業スケジュールや内容が変更する場合があります。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
ディスカッション課題は事前に発表します。授業時間外にも積極的に調べ、考え、学ぶ姿勢を奨励します。

[授業計画]
1.ガイダンス
2.なぜ今、地域コミュニティなのか？１　社会の変化
3.なぜ今、地域コミュニティなのか？２　家族の変化
4.地域コミュニティの現場～事例紹介①障害者と地域コミュニティ～
5.地域コミュニティの現場～事例紹介②外国人と地域コミュニティ～
6.地域コミュニティの現場～事例紹介③若者と地域コミュニティ～
7.地域コミュニティの現場～事例紹介④まちあそびと地域コミュニティ～
8.地域コミュニティの現場～事例紹介⑤地域組織と地域コミュニティ～
9.地域コミュニティの現場～事例紹介⑥中間支援と地域コミュニティ～
10.企業と地域コミュニティ
11.行政と地域コミュニティ
12.多様な主体による「協働」の可能性
13.グループワーク1～私たち大学生が地域コミュニティでできること～
14.グループワーク2～私たち大学生が地域コミュニティでできること～
15.発表・まとめ

科目名	地域コミュニティ入門	前期	講義	2 単位
サブタイトル	～新しいつながりと仕組みで構築する地域コミュニティ～			
担当者	飛田　敦子			

[成績評価方法]
授業ごとのコミュニケーションシート45%、中間ポート15%、期末試験40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
原則、課題提出の翌週に抜粋してフィードバック

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業ごとのコミュニケーションシート60%、ミニレポート20%、期末レポート20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業ごとのコミュニケーションシート60%、ミニレポート20%、期末レポート20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業ごとのコミュニケーションシート60%、ミニレポート20%、期末レポート20%

[教科書(ISBN)]
教科書なし。資料は都度パワーポイントのハンドアウトを配布します。

[参考書(ISBN)]
佐藤友美子・土井勉・平塚伸治著　著者名:岩波書店　出版社:4000014048 (『ソーシャルデザイン実践ガイド』)
英治出版　著者名:4862761496　出版社:『つながるカフェ～コミュニティの〈場〉をつくる方法～』(山納洋)
4761513616

P30003010 [CI1-022(U),GI5404(J)]　　[1健心／PI4大学共通教養]*前期金1

科目名	地域連携インターンシップ Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	前田　光子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
①参加したプログラムの趣旨や参加者を理解し、その意義を第三者に説明できる。(知識・態度)
②地域連携に参画して、地域の問題点を挙げることができる。(知識)
③活動内容や目的、自身はどのように貢献できたかを、客観的に評価し、表現できる。(技能・態度)
④連携事業の多様なプログラムへの参画や自主活動を通して、新たに企画をたてる際の手順を学び、説明できる。(知識・技能)

[授業概要]
毎週定時に集合して行う座学ではなく、自主立案、実行、報告のインターンシップ科目です。
将来、安全で楽しい社会を築くことのできる人材となるために、地域や社会の多大な情報の中から自分の個性に合った事項を選択し、参加し、その活動を客観的に捉え、次へのステップのためにフィードバックをする、というPDCAサイクルを習得します。
この科目は、学外でのインターンシップを主とし、実践的教育から構成される授業科目です。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
初回(4月9日、神戸学院大学ポートアイランドキャンパス)のガイダンス後は、事前に計画した事業参加申告書に基づき、普段は活動します。期末の活動報告会(7月9日を予定)で、全ての内容を報告し、討議します。

[授業計画]
1. ガイダンス
2. ポーアイ4大学連携事業への参加
3. 市民救命士講習の受講
4. 市民救命士講習救急インストラクター活動
5. ポーアイ・セーフティタウン・コミュニティ ボランティア活動
6. 減災SCOP活動
7. DMAT研修運営補助ボランティアへの参加
8.「禁煙キャンパス地区」を目指した禁煙支援活動への参加
9. リレー・フォー・ライフ・ジャパン神戸への参加
10. KOBEエイズフェスタへの参加
11. 公開講座(大学や各地域で開催される講演会)の聴講
12. その他、大学関連事業として認定する事業への参加
13. 学生からの提案事業(事前相談を要します)
14. 活動報告会
15. まとめ

P30003080 [CI3-006(U),GI5408(J)]　　[3・4健／PI4大学共通教養]*前期集中

科目名	地域連携インターンシップ Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	前田　光子			

[成績評価方法]
単位認定となる参加回数（チップ）の基本は10チップとします。
参加態度(50%)、事業貢献度(30%)、プレゼンテーション(20%) で評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
活動報告会でのプレゼンテーションで、フロアとの間で質疑応答を行い、コメントをもらいます。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：参加態度(50%)、事業貢献度(30%)、プレゼンテーション(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：参加態度(50%)、事業貢献度(30%)、プレゼンテーション(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：参加態度(50%)、事業貢献度(30%)、プレゼンテーション(20%)

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

P30003080 [CI3-006(U),GI5408(J)]　　[3・4健／PI4大学共通教養]*前期集中

科目名	地域連携インターンシップⅡ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	前田　光子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
①参加したプログラムの趣旨や参加者を理解し、その意義を第三者に説明できる。(知識・態度)
②地域連携に参画して、地域の問題点を挙げることができる。(知識)
③活動内容や目的、自身はどのように貢献できたかを、客観的に評価し、表現できる。(技能・態度)
④連携事業の多様なプログラムへの参画や自主活動を通して、新たに企画をたてる際の手順を学び、説明できる。(知識・技能)

[授業概要]
毎週定時に集合して行う座学ではなく、自主立案、実行、報告のインターンシップ科目です。
将来、安全で楽しい社会を築くことのできる人材となるために、地域や社会の多大な情報の中から自分の個性に合った事項を選択し、参加し、その活動を客観的に捉え、次へのステップのためにフィードバックをする、というPDCAサイクルを習得します。
この科目は、学外でのインターンシップを主とし、実践的教育から構成される授業科目です。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
初回(9月24日、神戸学院大学ポートアイランドキャンパス)のガイダンス後は、事前に計画した事業参加申告書に基づき、普段は活動します。期末の活動報告会(1月7日を予定)で、全ての内容を報告し、討議します。

[授業計画]
1. ガイダンス
2. ポーアイ4大学連携事業への参加
3. 市民救命士講習の受講
4. 市民救命士講習救急インストラクター活動
5. ポーアイ・セーフティタウン・コミュニティ ボランティア活動
6. 減災SCOP活動
7. DMAT研修運営補助ボランティアへの参加
8.「禁煙キャンパス地区」を目指した禁煙支援活動への参加
9. 神戸マラソン等、地域ボランティアへの参加
10. 公開講座(大学や各地域で開催される講演会)の聴講
11. 阪神淡路大震災関連メモリアル行事への参加
12. その他、大学関連事業として認定する事業への参加
13. 学生からの提案事業(事前相談を要します)
14. 活動報告会
15. まとめ

科目名	地域連携インターンシップⅡ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	前田　光子			

[成績評価方法]
単位認定となる参加回数（チップ）の基本は10チップとします。
参加態度(50%)、事業貢献度(30%)、プレゼンテーション(20%) で評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
活動報告会でのプレゼンテーションで、フロアとの間で質疑応答を行い、コメントをもらいます。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：参加態度(50%)、事業貢献度(30%)、プレゼンテーション(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：参加態度(50%)、事業貢献度(30%)、プレゼンテーション(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：参加態度(50%)、事業貢献度(30%)、プレゼンテーション(20%)

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

P30003090 [CI3-007(U),GI5409(J)]　　[3・4健／PI4大学共通教養]*後期集中

科目名	人間関係づくりワークショップ	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	浜中　惠美子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
①コミュニケーションの理論やスキルを習得することができます。
②他者の気持ちを「受容」「共感」することを味わい、自分自身や他者への気づきを深めることができます。
③感情のコントロールについて理解し、他者からのフィードバックを受け入れ、冷静に対話をすることを学び、自己成長することができます。
④プレゼンテーションが求められる場面や初めて出会う人の前で、不安や緊張をコントロールし、自信を持ってパブリック・スピーキングができるよう習得します。
⑤これまで一過性の個人的体験であった自己のコミュニケーションスタイ

[授業概要]
授業は、一方的に話を聞いたり、テキストや教材を読むだけではなく、4大学という異なった文化的背景を持つ受講生が、小グループで様々なアクティビティに取り組み、受講生同士が感じた事をリアルに交流し合うという双方向型の「体験」を通じた学びを重視します。
ワークショップ形式の授業を通じ、グループ内の刻々と変化する人間関係の中で他者の気持ちを「受容」「共感」し、自己理解や他者理解への気づきを深め、自己のコミュニケーションスタイルを見直し、新しい行動様式を身につけることを学びます。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
日常においても、授業内容やソーシャルスキルを意識し行動化することを心がけてください。

[授業計画]
1. オリエンテーション　・ワークショップとは・体験学習の理論・授業の考え方
2. 「対話」とコミュニケーション　・『他者』と関わる、『経験』することということの意味
3. 自分に見えない自分の姿に気づく
4. 出会いの試み　・自己理解や他者理解を深める
5. より良い人間関係を築くために
6. コミュニケーションの弊害とは　・「聴く力」「話す力(伝える)」「観る力」について
7. 心の枠組みを点検する　・厄介な人間関係のからくり
8. コミュニケーションと『感情』
9. オールタナティブな問題解決法
10. 相手を理解し自分の考えを伝える
11. 「Who am I ?」「私」とは　・私を表現する
12. 協力ゲーム　・集団意思決定の方法を知り、コミュニケーション特性に気づく
13. 「考える」ということ、私をデザインする
14. 『自分を語る』　・作品のフィードバック
15. 全体の分かち合い　・これからに向かって

P30003051 [CI1-027(U),GH2419(J)　[1健心／PI4大学共通教養]*後期集中

科目名	人間関係づくりワークショップ	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	浜中　惠美子			

[成績評価方法]
1.授業に取り組む姿勢70%(・授業参画態度40%　・課題、発表他30%)
2.課題レポート30%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業開始時もしくは終了時にフィードバックを行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:1.授業に取り組む姿勢70%(・授業参画態度40%　・課題、発表他30%)
2.課題レポート30%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:1.授業に取り組む姿勢70%(・授業参画態度40%　・課題、発表他30%)
2.課題レポート30%

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

科目名	防災・防犯指導論実習	後期	実習	1 単位
サブタイトル	身近な犯罪・火災と自然災害から自分自身を守る			
担当者	松下　眞			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
身近な犯罪被害からの防止対策の習得、自然災害の原因や結果を自分で考える基礎知識を身につけます

[授業概要]
防災・防犯に関わる専門家による講話と実習、及び自然災害の事象を様々な切り口からメディアが編集・映像化した記録等を教材として、見て・知り・考えることにより疑似体験的に防災・防犯を学びます。阪神・淡路大震災などの対応経験を有する教員が、さまざまな災害の特徴を踏まえて対処法を指導します。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
災害・犯罪等に関連するニュースや社会事象への注意と関心を払い、履修授業の復習と疑問点の探求をおこないます。

[授業計画]
1. 防災・防犯指導論実習 概論(松下)
2. 地域の防災・防犯活動(松下・学外特別講師)
3. 警察の役割と防犯対策(松下・学外特別講師)
4. 消防署の役割と火災防止(松下・学外特別講師)
5. 巨大地震(松下)
6. 巨大津波(松下)
7. 地震と火山(松下)
8. 感染症1(歴史を変えた感染症)(松下)
9. 感染症2(新型コロナウイルスへの対応)(松下)
10. 長周期地震動(松下)
11. 住宅耐震(松下・学外特別講師)
12. 最近の豪雨災害と線状降水帯(松下)
13. 深層崩壊による土砂災害(松下)
14. 局地豪雨と堤防決壊(松下)
15. 複合災害(松下)

科目名	防災・防犯指導論実習	後期	実習	1 単位
サブタイトル	身近な犯罪・火災と自然災害から自分自身を守る			
担当者	松下　眞			

[成績評価方法]
授業中に作成するレポート（100%）で評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポート内容にはコメントを付けて返却し、次回以降に反映できるようにします。
多くの人に共通する作成上の問題を指摘し、レポート作成の改善を図ります。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業中に作成するレポート（100%）で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業中に作成するレポート（100%）で評価します。

[教科書（ISBN）]
レジメ・資料を作成し配布する。

[参考書（ISBN）]

P30003060 [CI1-028(U),GI5407(J)]　　[1健心／PI4大学共通教養]*後期木4

科目名	防災・防犯入門	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	舩木　伸江			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
防犯や防災についての見識を備え、いざという時に行動できる。

[授業概要]
21世紀の課題の1つは安全で安心な社会の構築にあります。阪神・淡路大震災や東日本大震災で学んだ教訓は、日常的な取り組みと助け合いの精神の大切さです。この教訓は安全で安心な暮らしを守る防災と防犯対策にとっても重要なキーワードです。自分と愛する人を守るためには何が必要なのかについて、自分のこととして考えます。市民救命士の資格の取得や生活安全確保のための防犯対策など、各界の人々のお話を含めた授業展開をしてきます。

※本科目の履修に当たっては、神戸学院大学の開講判断はもちろん、神戸女子大学・神戸女子短期大学(以下、本学)の他大学キャンパスへの本学学生派遣に対する判断も加味されることから、履修中にコロナ感染症拡大となった際には、神戸学院大学が開講可能と判断しても、本学独自の判断により、状況によっては履修中止措置を取ることがあることを申し添えます。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
新聞等をよく読むなど最低2時間以上予習復習する。

[授業計画]
1. ガイダンス　15回の講義の進め方、成績評価の仕方などを説明する
2. 防災入門①　1995年に神戸で発生した阪神・淡路大震災を事例に災害の被害と防災のあり方について学ぶ
3. 防災入門②　2011年に東北で発生した東日本大震災を事例に災害の被害と防災のあり方について学ぶ
4. 防災入門③　災害に備えるためには日ごろからどのようなことをしておけばいいのか、備えのあり方について学ぶ
5. 防災ワークショップ　防災教育教材を用いて災害の被害を追体験しながら、防災についてワークショップ形式で学ぶ
6. 神戸地方気象台　気象と災害　(学外特別講師)
7. 市民救命士講習Ⅰ　家族が倒れたり、町を歩いていて誰かが倒れていた際の応急手当の知識を学びます。正式な神戸市の市民救命士講習です。
8. 市民救命士講習Ⅱ　実際に倒れた人を救うために、胸骨圧迫や人工呼吸、AEDの取扱方法などの的確な応急処置法を学びます(この講習を修了することで神戸市消防局の修了証を取得できます)。(学外特別講師)
9. 兵庫県神戸水上警察署　身近に迫る犯罪の防止　(学外特別講師)
10. 兵庫県警本部　被害者支援の現状、取り組み　(学外特別講師)
11. 兵庫県神戸水上警察署　交通安全教育の参画　(学外特別講師)
12. 消費者教育　消費者犯罪について　(学外特別講師)
13. 災害と被災者①　災害にあうということは、その後の生活にどのような影響を与えるのか、実際の被災者の声から学ぶ
14. 災害と被災者②　災害にあうということは、その後の生活にどのような影響を与えるのか、実際の被災者の声から学ぶ(阪神・淡路大震災の直接経験者から話を聞きます)(学外特別講師)
15. 防災・防犯知識の活用　これまでの講義で学んだ防災・防犯の事例を生活に活かす方法を学ぶ

P30003020 [CI1-023(U),GI5405(J)]　　[1健心／PI4大学共通教養]*前期木1

科目名	防災・防犯入門	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	舩木　伸江			

[成績評価方法]
授業態度・授業への積極的貢献度（40%）、レポート（60%、提出3回）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
講義の感想やレポートについては最終授業でフィードバックを行い、より深い思考につなげる。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度・授業への積極的貢献度（40%）、レポート（60%、提出3回）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業態度・授業への積極的貢献度（40%）、レポート（60%、提出3回）

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

P30003020 [CI1-023(U),GI5405(J)]　　[1健心／PI4大学共通教養]*前期木1

科目名	防災・防犯ワークショップ	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	室﨑　友輔			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
防災・防犯について自分の言葉で説明することができる。(知識)
日頃から防災・防犯に関するニュース等に関心を持つ。(態度・習慣)
防災・防犯における危機管理能力を身につける。(技能)

[授業概要]
生活を支える安全・安心は平素の備えが重要です。多発する災害事象は複雑多様化し顕在化しています。また、犯罪など身近な社会生活の安全をおびやかすリスクも凶悪化し多様化しています。この授業では現代社会に求められている安全・安心についての視野を広げ、防災・防犯のリーダーとなり得る人材の育成を目指します。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
日頃から防災・防犯に関係するニュース等に関心を持つこと。

[授業計画]
1. ガイダンスと防災ゲーム(なまずの学校)体験
2. 護身術(実技)(学部特別講師:警察)
3. 交通安全講話(学部特別講師:警察)
4. ワークショップ(防災Ⅰ)ダイレクトロード
5. 生活安全講話(学部特別講師:警察)
6. 気象と災害(学部特別講師:気象台)
7. ワークショップ(土砂災害・風水害Ⅰ)―気象庁ワークショップ
8. ワークショップ(土砂災害・風水害Ⅱ)―EVAG
9. 地震と津波
10. ワークショップ(防災Ⅱ)―クロスロード
11. ワークショップ(防災Ⅲ)―さすけなぶる
12. 災害への備え
13. 携帯被害・サイバー被害対策(学部特別講師:警察)
14. 防災・防犯の啓発Ⅰ―防災アニメの視聴(ORANGE、おたすけ犬ポチ)
15. 防災・防犯の啓発Ⅱ―防災ゲームの体験(シャッフル、たすカルテット)

科目名	防災・防犯ワークショップ	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	室﨑　友輔			

[成績評価方法]
授業貢献度（30%）と、毎回の授業テーマ関連課題の小レポートによる授業理解度（70%）で評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
小レポート回収後、授業内で解説を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業貢献度（30%）と、毎回の授業テーマ関連課題の小レポートによる授業理解度（70%）

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

教　職　科　目

（授業科目名 五十音順）

科目名	栄養教育実習	前期	実習	1 単位
サブタイトル	実践力のある栄養教諭を目指して			
担当者	宮本　晃郎、榎元　十三男			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
各学校での教育実習を通じて、教育の実際を学び、確実な栄養教育指導や授業などの教育実践ができる力を身につける。

[授業概要]
各学校での管理職をはじめ校務担当教員の講話、学級担任・教科担任・栄養担当教職員の指導を受けて、観察実習、授業実践、栄養指導などを行う。また、生徒指導をはじめとする校務にも携わり、実践的な指導力の向上を図る。事後の指導では、教育課題への対応の仕方、実習後の課題の整理などを行う。その際、学校現場における校長、教頭、教諭（学級担任、教務主任等）の経験を生かして具体的な対応について指導助言する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
栄養教育指導法、栄養教育学習指導案の作成、人権・学級経営・生徒指導等の児童生徒の学習指導に必要な事項について、その概要を復習しておくこと。

[授業計画]
学校実習（1週間）
・管理職の講話、校務担当教職員の講話と指導
・実習校の学級担任・教科担任の指導と観察実習
・栄養担当職員の指導と指導案の作成及び実践授業
・栄養教育指導の実際
・大学教員、実習校教職員の指導等
・研究授業と反省
・実習のまとめ
事後指導（3単位時間）
・実習後の課題の整理等

P19020190 [CH4-006]　　【教職】[4栄]*前期集中

科目名	栄養教育実習	前期	実習	1 単位
サブタイトル	実践力のある栄養教諭を目指して			
担当者	宮本　晃郎、榎元　十三男			

[成績評価方法]
実習状況（40%）、実習校からの評価資料（40%）、実習記録等（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題については事後指導の中で意見交換ならびに解説をおこなう。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：実習状況・実習校評価・実習記録評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：実習状況・実習校評価・実習記録評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：実習状況・実習校評価・実習記録評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実習状況・実習校評価・実習記録評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：実習状況・実習校評価・実習記録評価

[教科書（ISBN）]
適宜プリント等を配布

[参考書（ISBN）]

科目名	栄養教育実習指導	後期	講義	1 単位
サブタイトル	有意義な栄養教育実習のために			
担当者	宮本　晃郎、谷山　優子、榎元　十三男			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
栄養教育実習に参加するに当たり、教育実習の目的・意義、授業の指導力、児童生徒との対応力等を学び、教育実習に必要な実践力を身につけ、有意義な教育実習ができる力をみにつける。

[授業概要]
教育実習の目的・意義、教育実習への心構え、授業の実際、学習指導案の書き方、実習校での活動、実習記録のとり方、教育課題への対応の仕方等を学ぶ。また、実習後の課題の整理などを行う。その際、学校現場における校長、教頭、教諭(学級担任、教務主任等)の経験を生かして具体的な対応について指導助言する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
栄養教育指導法、栄養教育学習指導案の作成、人権・学級経営・生徒指導等の児童生徒の学習指導に必要な事項について、その概要を復習しておくこと。

[授業計画]
(事前指導)
1. 教育実習の依頼について(宮本)
2. 前年度教育実習の様子・よさと留意点(宮本)
3. 教育実習の目的・意義・内容(宮本)
4. 教育実習の様子(宮本)
5. 教育実習の心得(宮本)
6. 課題教育「特別支援教育・人権教育」(谷山)
7. 生徒指導(谷山)
8. 指導案の書き方(谷山)
9. 学級経営(谷山)
10. 授業の実際(宮本)
11. 教育実習と教員採用試験(宮本)
12. 実習直前講話・実習ノート(榎元)
13. 教育実習の総まとめ(宮本)

(事後指導)
1. 実習後の情報交換会(宮本)
2. 課題の整理・最新教育課題(宮本)
3. まとめ・今後の資質能力の向上に向けて(宮本)

科目名	栄養教育実習指導	後期	講義	1 単位
サブタイトル	有意義な栄養教育実習のために			
担当者	宮本　晃郎、谷山　優子、榎元　十三男			

[成績評価方法]
グループワーク[ディスカッション等取組姿勢](50%)
レポート課題[実習ノート含む](50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題やレポートについては、事前指導と事後指導の中で意見交換や解説をおこなう。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:グループワーク・レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:グループワーク・レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:グループワーク・レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:グループワーク・レポート課題

[教科書(ISBN)]
適宜プリント等を配布

[参考書(ISBN)]

科目名	介護等体験	後期～2023年度	実習	1 単位
サブタイトル	個人の尊厳や社会連帯の認識を深める			
担当者	榎元　十三男、植戸　貴子、谷山　優子、佐々木　勝一、松井　順子			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
義務教育に従事予定の教員志望者が、個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深め、教員としての資質の向上に努める。そのために、障がい者・高齢者との関わり方について体験を通して学ぶ。

[授業概要]
事前指導では、施設等の状況、介護等体験の意義、心構え、社会福祉、高齢者福祉等を学ぶ。また、実習では、特別支援学校・社会福祉施設等で、当該職員の指導を受けながら、障がい者・高齢者等との関わり方について、体験を通して学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
人権教育、特別支援教育、社会福祉施設等について、予習・復習をすること。

[授業計画]
事前指導
・オリエンテーション（榎元、教職支援センター）
・社会福祉の動向と介護等体験の意義について（佐々木）
・特別支援教育の指導の実際について（谷山）
・障がい者施設等の状況について（植戸）
・高齢者福祉施設の介護について（松井）
・体験上の心構えについて（榎元）
・申請手続き説明会（教職支援センター）
（現場体験実習）
・福祉施設等での体験実習（5日間）
・特別支援学校での体験実習（2日間）
（事後指導）
・まとめと反省（教職支援センター）

科目名	介護等体験	後期～2023年度	実習	1 単位
サブタイトル	個人の尊厳や社会連帯の認識を深める			
担当者	榎元　十三男、植戸　貴子、谷山　優子、佐々木　勝一、松井　順子			

[成績評価方法]
実習体験記録（40%）、取組姿勢（40%）、レポート等（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポート等は添削後返却する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
特別支援学校における介護等体験ガイドブック　新フィリア　著者名：全国特別支援学校長会　全国特別支援教育推進連盟　編著　出版社：ジアース教育新社　(978-4-86371-522-6)
増田　雅暢（執筆代表者）　著者名：全国社会福祉協議会　出版社：978-4-7935-1277-3

[参考書（ISBN）]

P19020250A [CH2-040]　　【教職】[2栄]*2022後期から3期木5&集中

科目名	学校観察実習A	前期～後期	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	宮本　晃郎			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
学校での体験実習とその活動記録を作成し、体験の反省と試行を行いながら、児童生徒との関わり方を学び、教師を目指しての実践力の向上と教師観の構築を図る。主に基礎的な学習を目指す。

[授業概要]
神戸市をはじめ、各市町で実施されている学校ボランティア事業と連携し、学校現場で教職員から指導を受けながら、児童生徒との関わり方を学び、児童生徒理解力や実践的指導力を身につける。どうしても教師になりたいという希望を持っており、週に1日か半日の空き時間のある学生が受講可能である。履修前年度末または履修年度始まりに説明会を実施する。
また、大学においても学校現場での教員経験のあるものが、その経験を生かして具体的な対応を指導助言する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各教科指導法の概要・人権教育・学級経営・生徒指導等、学校現場で児童生徒の指導に必要な事項を中心に、可能な範囲で予習・復習をしながら受講すること。

[授業計画]

・面接による意思確認
・オリエンテーション
・学校現場での活動（5月末から開始、週1回程度）
・中間報告会と指導助言
・学校現場での活動（週1回程度）
・中間報告会と指導助言
・まとめの報告会と指導助言

科目名	学校観察実習A	前期～後期	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	宮本　晃郎			

[成績評価方法]
活動時間数（40%）、取組姿勢（30%）、実習記録等（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
中間及びまとめの報告会で意見交換や解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：実習状況評価・実習校評価・記録評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：実習状況評価・実習校評価・記録評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実習状況評価・実習校評価・記録評価

[教科書（ISBN）]
活動校での資料、必要に応じて作成

[参考書（ISBN）]

P19020260 [CH2-032]　　【教職】[2栄]*通年集中

科目名	学校観察実習B	前期～後期	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	宮本　晃郎			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
学校での体験実習とその活動記録を作成し、体験の反省と試行を行いながら、児童生徒との関わり方を学び、教師を目指しての実践力の向上と教師観の構築を図る。主に基礎的な学習を目指す。

[授業概要]
神戸市をはじめ、各市町で実施されている学校ボランティア事業と連携し、学校現場で教職員から指導を受けながら、児童生徒との関わり方を学び、児童生徒理解力や実践的指導力を身につける。どうしても教師になりたいという希望を持っており、週に1日か半日の空き時間のある学生が受講可能である。履修前年度末または履修年度始まりに説明会を実施する。
また、大学においても学校現場での教員経験のあるものが、その経験を生かして具体的な対応を指導助言する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各教科指導法の概要・人権教育・学級経営・生徒指導等、学校現場で児童生徒の指導に必要な事項を中心に、可能な範囲で予習・復習をしながら受講すること。

[授業計画]

・面接による意思確認
・オリエンテーション
・学校現場での活動（5月末から開始、週1回程度）
・中間報告会と指導助言
・学校現場での活動（週1回程度）
・中間報告会と指導助言
・まとめの報告会と指導助言

科目名	学校観察実習B	前期～後期	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	宮本　晃郎			

[成績評価方法]
活動時間数（40%）、取組姿勢（30%）、実習記録等（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
中間及びまとめの報告会で意見交換や解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：実習状況評価・実習校評価・記録評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：実習状況評価・実習校評価・記録評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実習状況評価・実習校評価・記録評価

[教科書（ISBN）]
活動校での資料、必要に応じて作成

[参考書（ISBN）]

科目名	教育課程論	前期	講義	2 単位
サブタイトル	教育課程は「学校力」の最高傑作			
担当者	宮本　晃郎			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
かつてないほどに「教育課程」が注目されている背景をさぐり、「教育課程」とは何かを具体的に整理する。教育課程の基準となる学習指導要領について、戦後の教育改革から現在に至る改訂の変遷を大まかにつかみ、未来の学校教育のあり方を考える。また、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、実際の学校現場における教育課程編成のプロセスを学び、教育課程の創造的編成の基礎を習得する。

[授業概要]
教育課程には、教育目標や年間学習指導計画、週時程表、生活時間帯など数多くの内容が含まれている。教育課程は、各学校が独自に編成すべきものであるが、公教育を担っている性格上、守るべき水準がある。しかし、それぞれの学校には、歴史的な経緯や地域性の違いだけでなく、学校規模や施設環境などの違いもある。何よりも、克服すべき課題が異なる。この課題を克服しようと努力していく過程で、各学校の特色ある教育活動は生まれてくる。
　学習指導要領の改訂の変遷を概観するとともに、今日的な教育課題としての新型コロナ対応やGIGAスクール構想の実現に向けた努力も学んでいく。そのうえで、各学校が行う教育課題の克服に向けた大きな計画が「教育課程」にあることを理解する。教育課程の実施状況に加えて、学校評価や学校運営協議会（コミュニティ・スクール構想）も幅広く学び、教育課程全般の基礎を理解する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
学習指導要領（平成29年告示）解説・総則編を中心に概要を調べておくことが望ましい。授業後は、本時の学習内容について、配付プリント等や学習指導要領解説・総則編等を参考に復習すること。

[授業計画]
1.「教育課程」が急速に注目され出した背景とは何か
2.「教育課程」の具体的な種類と内容、方法とは何か
3.「新型コロナ」対応で教育課程はどう変わったのか
4.「GIGAスクール構想」で教育課程はどう変わるのか
5.「学習指導要領の変遷」に学ぶ教育課程の意義とは何か
6.「教科書の変遷」が教育課程に与えた影響は何か
7.「特色ある教育活動」が生まれてくる根本要因は何か
8.「学校行事の変化」が教育課程に与えた影響は何か
9.「健全育成等の他の要因」が教育課程に与えた影響は何か
10.「教育課程実施状況調査」の現状における課題は何か
11.「新たな学校評価」のあり方と教育課程編成の関係は何か
12.「カリキュラム・マネジメント」が機能するかどうかの分岐点は何か
13. まとめ

科目名	教育課程論	前期	講義	2 単位
サブタイトル	教育課程は「学校力」の最高傑作			
担当者	宮本　晃郎			

[成績評価方法]
・1～12回　10分程度のミニレポート（60%）
・1～12回　授業中のグループワーク・スピーチ等（20%）
・13回目　　まとめのレポート（20%）

欠席の場合には、個別に相談して、回復できるように努力します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・レポートや最終テストは、後日添削して返却します。
・質問や望ましい意見は、要約して次回の講義で紹介する。
・解決できていない学習上の問題点については、個別に対応する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題・グループ討議

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他社に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題・グループ討議

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート課題・グループ討議

[教科書（ISBN）]
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　総則編　□著者名:文部科学省　出版社:東洋館出版社
（9.7844910346e+12）

[参考書（ISBN）]

科目名	教育原理	前期	講義	2 単位
サブタイトル	教育の理念・思想・歴史			
担当者	山内　紀幸			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1 教育概念や教師ー子ども関係について、基本的な知識を身に着けている。
2 西洋や日本の教育史や教育思想について、基礎的な事項を理解している。
3 授業論や学び論について、概念的に把握している

[授業概要]
本授業では、教育を巡る様々な概念(教育、学習、子ども、教師、人間形成)について講義した後に、西洋の教育史、西洋の教育思想家の教育思想について理解させる。その後、日本の教育史を学ばせ、現代の教育問題や授業論や学び論について基本的な事項を習得させる。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
教育に関する理念や思想を学ぶために、毎回、指定テキストの論考の要約課題を出す。加えて、各回、授業の復習を行うこと。合わせて4時間程度を充てること。

[授業計画]
1.教育の基本理念――語源・目的・目標
2.教師と子どもの臨床哲学――信頼される教師
3.人間形成の理論①――エリオット先生の差別授業
4.人間形成の理論②――デーケンの悲嘆のプロセス
5.古代ギリシアの教育――スパルタとアテネ
6.西洋の子ども観――子ども期の発見・近代家族の成立
7.西洋教育思想①――ソクラテス・コメニウス・ロック・ルソー
8.西洋教育思想②――ペスタロッチ・ヘルバルト・フレーベル・ケイ・デューイ・モンテッソーリ・パーカスト
9.日本の子ども観――子宝思想の誕生
10.近代教育制度の成立――森有礼と元田永孚
11.戦後日本教育史――学習指導要領と教育問題
12.授業論――学びの楽しさを生み出す授業
13.学びの空間論――学びのスタイルと学習空間

科目名	教育原理	前期	講義	2 単位
サブタイトル	教育の理念・思想・歴史			
担当者	山内　紀幸			

[成績評価方法]
授業後の小テスト（70%）と課題提出（30%）。課題への講評はmanabaに行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
小テストについてはmanabaを通じて採点し、結果を閲覧できるようにする。
要約課題については、manabaから講評を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：小テスト・感想

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：小テスト・ 課題・感想

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：小テスト・ 課題

[教科書（ISBN）]
『ちょっと変わった校長式辞集：教育哲学者からのメッセージ』 著者名：山内紀幸　出版社：一藝社 （978-4-86359-237-7）

[参考書（ISBN）]

科目名	教育実習指導	後期	講義	1 単位
サブタイトル	有意義な教育実習のために			
担当者	宮本　晃郎、谷山　優子、榎元　十三男			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
教育実習を行うに当たり、教育実習の心構えや在り方、授業実践方法や教育課題について学び、教育実習が充実したものとなる力量を身につける。また、実習後の課題整理と教員に向けての心構えを整理する。

[授業概要]
事前指導では、先輩学生の教育実習経験から留意事項を学び、教育実習の意義・目的の理解、教育実習を受けるにあたっての心構え・記録の仕方などを学ぶ。また、授業、生徒指導、教育課題への対応の仕方を学び、教育実践や児童生徒への対応の基礎を学ぶ。事後指導では、実習後の課題の整理と、今後の資質向上を目指す。その際、学校現場における校長、教頭、教諭（学級担任、教務主任等）の経験を生かして具体的な対応について指導助言する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各教科指導法の概要・学習指導案の作成、人権教育・学級経営・生徒指導等の復習をしておくこと。

[授業計画]
(事前指導)
1. 教育実習の準備手続きの仕方（宮本、教職支援センター）
2. 前年度教育実習の様子・よさと留意点（宮本）
3. 教育実習の目的・意義・内容（宮本）
4. 教育実習の心得（宮本）
5. 学級経営の在り方（谷山）
6. 生徒指導の在り方（谷山）
7. 学習指導案の書き方（谷山）
8. 人権教育、特別支援教育の在り方（谷山）
9. 授業の実際（宮本）
10. 教員採用試験と教育実習（宮本）
11. 実習直前講話（榎元）
12. 実習ノートの記入（榎元）
13. 教育実習の事務的準備について（教職支援センター）

(事後指導)
1. 実習後の情報交換会(宮本)
2. 課題の整理、今後に向けて(宮本)
3. まとめ（教職支援センター運営委員）

科目名	教育実習指導	後期	講義	1 単位
サブタイトル	有意義な教育実習のために			
担当者	宮本　晃郎、谷山　優子、榎元　十三男			

[成績評価方法]
グループワーク[取組姿勢・プレゼン含む](50%)、レポート課題(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
グループワークやレポートの課題については、事前・事後指導の中で意見交換や解説を行う。
質問等については、授業後の教室での対応やメール受付も行う。その他については、教職支援センターを通して、場所や日程等を調整して行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:グループワーク・レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:グループワーク・レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:グループワーク・レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:グループワーク・レポート課題

[教科書(ISBN)]
適宜プリント等を配布

[参考書(ISBN)]

科目名	教育心理学	前期	講義	2 単位
サブタイトル	児童生徒の発達と学習			
担当者	久木山　健一			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
・教育活動の中での心理学の有効性の理解
・今自分が受けている教育の意義の理解
・過去自分が受けてきた教育の影響の理解
・学習活動を支えるさまざまな心理的要因の理解

[授業概要]
本授業では教育という現象を心理学的に理解できるようになることを目標として教育心理学のさまざまな理論を概観します。その際、単に理論を知識として学ぶだけでなく、過去から現在までに自分が体験してきた教育活動と関連づけて修得できることを目指します。学習過程、動機づけ、知能と学力、教室の仲間関係、教師と生徒の関係、教育評価などの基礎的な知識に加え、いじめ、不登校などの学校不適応への対応や、心身障害児への対応などの理解も目指します。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
予習:授業で学ぶ予定のある内容について各自で事前に予習をしてください。
復習:授業で学んだことを参考に自分自身，自分の受けてきた教育，これから自分が行おうと考えている教育について考察をしてください。
各回、予習復習合わせて4時間程度が求められます。

[授業計画]
1 教育心理学とは(意義，他の学問とのかかわり，研究法など)
2 発達(基本的法則，発達の要因，ピアジェ，エリクソンなど)
3 学習(定義，条件づけ，行動分析，社会的学習，認知論など)
4 動機づけ(コンピテンス，種類，原因帰属，自己調整学習など)
5 知能・記憶・メタ認知(定義，知能テストの種類，記憶，メタ認知など)
6 教授学習過程(授業形態，授業構造，有意味受容学習と発見学習など)
7 教育評価(意義，通知表，評価の時期と方法，相対・絶対評価など)
8 教師(好まれる教師像，ビリーフ，リーダーシップ，ピグマリオン効果など)
9 仲間関係(遊びの発達，仲間関係の理解法，児童期・青年期の仲間関係など)
10 パーソナリティ(定義，類型論，特性論，性格検査の種類など)
11 学校における不適応(いじめ，非行，不登校，学級集団の荒れなど)
12 ストレスと健康(ストレス過程，学校ストレス，PTSD，摂食行動など)
13 発達障害と特別支援教育(種類，特別支援教育，ユニバーサルデザインなど)

科目名	教育心理学	前期	講義	2 単位
サブタイトル	児童生徒の発達と学習			
担当者	久木山　健一			

[成績評価方法]
毎回の小テストおよび授業の感想の提出，定期試験などによって行います。
小テストおよび授業の感想（3割），定期試験（7割）で成績評価します。
ただし，定期試験が実施できない場合は，小テストおよび授業の感想（7割），
最終レポート課題（3割）で成績評価を行います。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
フィードバックは問合せに応じて回答を解説します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業内の活動や小テスト，授業の感想などへの取り組み方から総合的に評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業内の活動，小テスト，授業の感想，定期試験などで示された自己理解のありかたを総合的に評価します。

[教科書（ISBN）]
三訂版　ようこそ教育心理学の世界へ
　著者名：神藤貴昭・久木山健一　出版社：北樹出版　(9.7847793062e+12)

[参考書（ISBN）]

P19020030 [CH2-036]　　【教職】[2栄]*前期月1

科目名	教育相談	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	谷山　優子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他	1分間スピーチ	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・学校における教育相談緒意義と課題を理解している。
・教育相談を進める際に必要な基礎的知識(カウンセリングに関す基礎知識を含む)を理解している。
・いじめ、不登校、虐待、非行、発達障害等、最近の教育課題への教育相談の進め方や組織的な取組みや連携の必要性を理解している。
・全学共通のディプロマ・ポリシーに基づき、基礎・基本となる力の「知識・技能」、考える力としての「思考力・判断力・表現力等の能力」、そして、それらを活用するときの態度に現れる「主体性・多様性・協働性」を身につける。

[授業概要]
この授業では、学校現場における教員経験があるものが、その経験を活かして、今日的な課題への対応を指導する。学校現場では、いじめ、不登校、非行、学級崩壊といった教育課題にどう対処するかが重要になっている。児童生徒一人ひとりの発達に即して、好ましい人間関係を育て、生活によく適応させ、自己理解を深めさせ、人格を成長させる力が教員には求められている。
この授業では、学校教育におけるカウンセリングマインドの必要性、教育相談の意義や基本的な技法、教育相談の進め方などを事例からアクティブラーニングで主体的に学習し、身につけることをめざす。また、発達障害のある子供の理解や支援の方法、保護者や関係機関との望ましい連携のaあり方(カウンセリングの基礎基本を含む)を身に付け、実践していくことをめざす。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
・授業で出された宿題や探究課題について主体的に取り組む(復習)。＜2時間＞
・授業で予告された次回の講義内容について図書館やラーニングコモンズで調べておく(予習)。＜2時間＞

[授業計画]
1.教育相談の意義(個性の伸長と人格の成長)
2.教育相談の校内体制づくり、学級づくり(目標の立て方や進め方)
3.自己理解と好ましい人間関係(予防的・開発的教育相談)
4.教育相談に関わる心理学の基礎理論と技法(受容、傾聴、共感)
5.リフレ―ミング、ストレスマネジメントの指導
6.教育相談の進め方①(カウンセリングマインド)
7.教育相談の進め方②(いじめ、不登校、虐待、非行等)
8.教育相談の進め方③(進路や生き方)<学外フィールドワーク＞
9.教育相談の進め方④(保護者との連携)
10.グループエンカウンター、アサーショントレーニングの実践
11.「ケース会議」のロールプレイ
12. スクールカウンセラー・関係諸機関との連携＜学外特別講師＞
13. まとめ

科目名	教育相談	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	谷山　優子			

[成績評価方法]
試験（50%）、授業中の課題（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
コメント等のフィードバックを返します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業等の課題、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:授業等の課題、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:授業等の課題、試験

[教科書（ISBN）]
『生徒指導提要』 著者名:文部科学省　出版社:教育図書 （978-4-87730-274-0）

[参考書（ISBN）]

科目名	教育の制度と経営	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	山下　晃一			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
教職に必要となる教育の制度と経営に関する基本的かつ多様な知識・考え方を修得する。
教育の制度と経営をめぐる諸学説等を用いて、自分の教育経験を客観的に理解できる。
教育の制度と経営の知識や考え方を基に、現代教育課題について論理的に思考できる。

[授業概要]
いかにすぐれた教育の思想も実践も、現代社会においては「制度」となることによって、はじめて広く実現される。そうして作られた学校制度は、教職員を含む実にさまざまな人々の知恵と工夫で動かされる＝「経営」されることによって、はじめて高い効果を発揮する。
本講義では複雑化する教育課題をふまえて、これからの教師そして国民全体に必要な、教育の制度や経営に関する知識の習得をめざすとともに、教育の思想や実践を効果的に実現できるような、教育制度・教育経営に向き合う力量の基礎を培う。とくに学校と地域の連携や、安全と安心の学校づくりなど、現代的な課題にも焦点をあてる。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
授業前学習:前回のノートを見返し大事な視点・論点を復習する。テキストの指定箇所を読む。新聞・ニュースなどで日頃から関連情報に気を配る。
授業後学習:授業で取り上げた内容について、日常生活や読書を通じて自分の考えを深め、質問紙の回答を練り上げる。
各回、予習復習合わせて4 時間程度。

[授業計画]
1. 教育の制度と経営の基礎(1) －教育法規の枠組－
2. 教育の制度と経営の基礎(2) －教育基本法－
3. 教育の制度と経営の基礎(3) －日本の学校体系－
4. 教育行政の組織と役割(1) －国と地方の教育行政－
5. 教育行政の組織と役割(2) －教育委員会の理想－
6. 教員を支える制度(1) －公立学校教員の立場－
7. 教員を支える制度(2) －教員の研修・評価－
8. 教員を支える制度(3) －教科書制度の概要－
9. 組織としての学校(1) －学校経営の概念と実践－
10. 組織としての学校(2) －学校における個業と協業－
11. 現代学校経営の課題(1) －開かれた学校づくり－
12. 現代学校経営の課題(2) －安全・安心の学校づくり－
13. 現代学校経営の課題(3) －格差社会と学校－

科目名	教育の制度と経営	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	山下　晃一			

[成績評価方法]
講義各回に提出する小レポート60%、期末試験(またはレポート課題)40%。
小レポートについて、講義中の説明に即して、教育の制度と経営に関する基本的論点を、どの程度、正確に理解できているか、また、講義で説明した事例などについて、自分なりの分析や考えを的確に述べることができているか等の観点から評価する。
期末試験について、講義中の説明をどの程度、理解できているか、また、それらを用いてどの程度、的確に、自分なりに教育の制度と経営をめぐる諸課題に対して見解を述べることができているか等の観点から評価する。
フィー

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
主として講義中に(あるいはmanabaを通じて)、各回の小レポートおよびコメントを抜粋し、それぞれ説明・紹介します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:講義内(または各回後)課題、試験(または最終レポート)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:講義内(または各回後)課題、試験(または最終レポート)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:講義内(または各回後)課題、試験(または最終レポート)

[教科書(ISBN)]
法規で学ぶ教育制度　著者名:古田薫 編著　出版社:ミネルヴァ書房 (9.7846230818e+12)

[参考書(ISBN)]

科目名	教育の方法及び技術	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	黒田　昌克			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
基礎的な教育方法や技術を理解し、基礎的な教育におけるICTの活用能力を身につける。

[授業概要]
授業設計（インストラクショナルデザイン）に関わる基本的な考え方、授業場面での指導技術等を学びます。また、教育におけるICTを活用するための理論や事例を知り、実際に情報端末に触れながらICTを活用するための演習を行います。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習合わせて4時間程度の主体的な学修を求めます。予習としては、事前に資料を配布する場合は、その資料の内容を大まかに理解しておいてください。復習としては、重要な内容に関して振り返り、自分の言葉で説明できるようにノートにまとめる等してください。

[授業計画]
1.これからの子どもたちに育みたい資質・能力
2.教師に求められる授業力
3.授業をつくるということ。授業づくりのプロセス
4.授業評価をデザインする・目標・指導・評価の一体化の意義
5.学習環境のデザイン・授業企画書の発表会
6.授業を支える指導技術・学びを引き出す指導技術
7.オリエンテーション・現代社会におけるICT活用の意義と理論の概要
8.教師のICT活用指導力及び情報活用能力育成の基礎的な指導法の概要
9.情報活用能力育成の理論と実践①（情報モラル、各教科等における指導事例）
10.情報活用能力育成の理論と実践②（プログラミング教育、STEAM教育等）
11.ICT活用による学習指導や校務の推進の理論と実践①（デジタル教材の作成と利用等）
12.ICT活用による学習指導や校務の推進の理論と実践②（遠隔授業、LMSによる学習履歴の活用、統合型校務支援システム等）
13.まとめ

P19020090 [CH3-018]　　【教職】[2看3栄]*前期水5

科目名	教育の方法及び技術	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	黒田　昌克			

[成績評価方法]
各回の小レポート及び小テスト（40%）、最終課題（60%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
小レポートのフィードバックは適宜授業やmanabaにおいて行うことがあります。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：各回の小レポート及び小テスト、最終課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：各回の小レポート及び小テスト、最終課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：各回の小レポート及び小テスト、最終課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]

P19020090 [CH3-018]　　【教職】[2看3栄]*前期水5

科目名	教職実践演習(栄養教諭)	後期	演習	2 単位
サブタイトル	教職のまとめと実践力のさらなる向上			
担当者	重福　京子、佐藤　誓子、本田　まり、宮本　晃郎			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
栄養教諭の職務に必要な、食に関する指導と学校給食の管理を一体のものとして、その重要性を理解する。さらに、演習を通じて教員としての自己の課題を自覚し、必要に応じた知識や技能を補い、定着を図る。

[授業概要]
学校見学や栄養教諭の講義等で、学校現場の実情を学び、実務に当たっての心構えを学ぶ。また、指導計画・模擬実施、地場産業や食文化の調査等から、栄養教諭としての必要な知識を学ぶ。これらによって、教員としての自己の課題を自覚するとともに、必要な知識・技能の定着を図る。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
栄養教育指導法、人権教育、生徒指導等、学校現場での学習指導に必要な事項を中心に、実際の教員生活を想定した学習の仕上げであることを意識して復習しながら受講すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション・教職の意義と教員の役割(宮本)
2. 学校現場における実務実習(食材の調達、管理)(重福)
3. 学校現場における実務実習(学校給食の運営・管理)(重福)
4. 学校現場における実務実習(教職員、家庭との連絡調整)(重福)
5. 栄養教諭教育実習:食に関する指導等に関する振り返り:発表の準備(本田)
6. 発表とディスカッション①(本田)
7. 発表とディスカッション②(本田)
8. 発表とディスカッション③(本田)
9. 学校給食経営管理①学校給食法と個別対応(佐藤)
10. 学校給食経営管理②給食を活用した献立作成(佐藤)
11. 学校給食経営管理③給食献立を活用した食育発表会(佐藤)
12. 特別支援学校での給食経営(佐藤)
13. まとめ(グループ発表、指導助言)(宮本)

科目名	教職実践演習(栄養教諭)	後期	演習	2 単位
サブタイトル	教職のまとめと実践力のさらなる向上			
担当者	重福　京子、佐藤　誓子、本田　まり、宮本　晃郎			

[成績評価方法]
授業の理解度(30%)、取組姿勢(30%)、課題レポート(20%)後日返却、発表等(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
レポートは後日添削して返却します

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:受講態度

[教科書(ISBN)]
適宜プリント等を配布

[参考書(ISBN)]

科目名	教職実践演習(養護教諭)	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	丸山　有希、榎元　十三男、宮本　晃郎			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
養護教諭としての使命や職務内容の重要性を理解し、具体的な実践演習の展開を通して養護教諭に関する専門性を広く学ぶことで、教育現場に適応する知識とスキルを習得する。

[授業概要]
「養護教諭としての実践的な知識とスキルの習得を目指す」をテーマに、以下の項目について、学校現場での教員経験がある者が、調査、分析、討議、ロールプレイ、事例研究等の方法で演習授業を展開し、学校現場の現状に即した実践的な指導力を養う。
① 養護教諭としての使命感や責任感、教育的愛情に関する事項
② 他の教職員との連携と調整に関する事項
③ 児童生徒理解および、ヘルスプロモーションについて
④ 養護教諭が行う保健指導と保健管理
⑤ 適切な保健室経営
本演習は4年生の後期に実施されるものであり、受講者はすでに養護実習を終了している。これまでに授業で学んだこと、および実習校で学んだ養護教諭の職務に関する学びの集大成として、これまでの復習を兼ね、学校現場で即対応できる能力の研鑽の場としたい。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
過去の関連項目の授業を復習し、当日の授業に臨むこと。
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1.ガイダンスおよび教職の意義と教員の役割(宮本　晃郎)(11月9日水曜日)3限
2.養護実習の体験を発表し、養護教諭の職務内容について、グループ討論で意見を出し合う(丸山有希)(11月9日水曜日)4限
3.「私の考える理想の養護教諭」のテーマで考えを発表し合い、学びを深める(丸山有希)(11月9日水曜日)5限
4.模擬検診を実施し、健康診断の実践と事後措置を学ぶ①(丸山有希)(11月16日水曜日)　3限　F209
5.模擬検診を実施し、健康診断の実践と事後措置を学ぶ②(丸山有希)(11月16日水曜日)4限　F209
6.救急処置について、事例を挙げながら対応を学ぶ①(丸山有希)(11月18日金曜日)2限　F209
7.救急処置について、事例を挙げながら対応を学ぶ②(丸山有希)(11月18日金曜日)3限　F209
8.学校での緊急時を想定し、ロールプレイで対応について学ぶ。(丸山有希)(11月18日金曜日)4限　F209
9.障害児の健康管理と支援に関する養護教諭の役割を考える。(丸山有希)(11月25日金曜日)3限
10.児童生徒の現代的な健康課題と健康相談活動に関するケースを挙げ、それについての対応を検討する(丸山有希)　(11月25日金曜日)4限
11.壁面掲示と保健だよりの作成例を見て、その意義について学ぶ
グループで討議しながら学校保健計画案・保健室経営計画案を作成する
(丸山有希)(11月30日水曜日)3限
12.児童生徒理解と健康相談を含む支援についてグループ討議で意見を出し合い、養護教諭の職務を考える(丸山有希)(11月30日水曜日)4限
13.保護者対応をロールプレイで検証する。また、まとめとして、社会人としての基本姿勢や教師としての資質能力の確認をする(榎元十三男)　(12月2日金曜日)3限

科目名	教職実践演習(養護教諭)	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	丸山　有希、榎元　十三男、宮本　晃郎			

[成績評価方法]
授業への取組み姿勢(授業態度・発表内容・授業内課題等)80%
課題レポート20%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
レポートの評価は希望者に開示する

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業への取組み姿勢(授業態度・発表内容・授業内課題等)、課題レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業への取組み姿勢(授業態度・発表内容・授業内課題等)、課題レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業への取組み姿勢(授業態度・発表内容・授業内課題等)、課題レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業への取組み姿勢(授業態度・発表内容・授業内課題等)、課題レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業への取組み姿勢(授業態度・発表内容・授業内課題等)、課題レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:授業への取組み姿勢(授業態度・発表内容・授業内課題等)、課題レポート

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

科目名	教職論	後期	講義	2 単位
サブタイトル	教職の在り方を追究する・教職への適性を考える			
担当者	宮本　晃郎			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
学校教育全般についての理解を深めるとともに、「教職とは何か」について、教職の意義や役割、資質能力、職務内容等を概観する。また、期待される教職像を探究し、教職の適性を考え、教職への基礎づくりを行う。

[授業概要]
変化する社会情勢と教育動向を概観し、「教育とは」「学校とは」「教育者とは」何かを考える。そして、教育関係法規や学習指導要領などをもとに公教育の重要性を理解し、教職に求められる資質・能力について考え、将来の教職像を明らかにしていく。また、最新の教育課題を事例研究で学び、現場の厳しさにも目を向けて、幅広い視野と強い責任感が求められることを意識したい。その際、現場経験（校長、教頭、教諭）と教育委員会事務局（教職員課・指導課）の経験も活かして、今日的課題への対応についてともに考えたい。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
次回の授業までに、課題のキーワードを調べることと、そこから派生して自分自身が疑問に思うことや、さらに調べてみたいことを明らかにする。授業での配付資料を熟読して、次回の授業に臨むようにする。授業に関係するニュースにも関心をもって、情報交換できるようにする。「各回、予習復習合わせて2時間程度」

[授業計画]

1. 教育の目的と意義・役割　－人間にとっての教育・忘れられない魅力的な教師－
2. 学校教育と教職の意義等　－家庭教育との違い・学校の種類・教育関係法規－
3. 公教育を担う教職への道　－公務員と民間の違い・教育公務員・教員免許－
4. 教職の役割及び資質能力　－聖職者・労働者・専門職としての教職観の変遷－
5. 教員の資質能力の構造化　－新たな専門職的教職観・学習指導と生徒指導等－
6. これからの授業力の向上　－素材研究・教材研究・発問や板書・ICT活用－
7. これからの指導力の向上　－生徒指導・健康安全指導・特別支援教育の視点－
8. これからの教師力の向上　－行事・校務分掌・保護者対応・関係機関連携等－
9. 信頼される学校力の向上　－情報発信・地域連携・学校評価・教育課程編成－
10. 教育公務員としての教職　－教員採用・研修・教員としてのライフサイクル－
11. 教育新時代における教職　－新たな教育課題・幅広い知見と「チーム学校」－
12. 学び続ける教師への期待　－若手教員の輝きと苦悩・自分自身の適性と力点－
13. まとめ

科目名	教職論	後期	講義	2 単位
サブタイトル	教職の在り方を追究する・教職への適性を考える			
担当者	宮本　晃郎			

[成績評価方法]
毎時間のレポート課題（50%）・グループ討議や発表（30%）
まとめの試験（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・レポートや最終テストは、後日添削して返却します。
・質問や望ましい意見は、要約して次回の講義で紹介する。
・解決できていない学習上の問題点については、個別に対応する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題・グループ討議・まとめ試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題・グループ討議・まとめ試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題・グループ討議・まとめ試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート課題・グループ討議・まとめ試験

[教科書（ISBN）]
レジメ・資料を作成して配付する

[参考書（ISBN）]

科目名	生徒・進路指導論	後期	講義	2 単位
サブタイトル	ー児童生徒の自己指導能力を育てるー			
担当者	榎元　十三男			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・生徒指導の理論と方法を修得し、児童生徒の自尊感情の高め方や健全な発達について演習等を
通して理解を深めていく。
・いじめの問題に関する認識を深め、未然防止や事前・事後指導等を適切に行う能力を高める。
・学校現場で起こっている不登校・非行等の問題行動や発達障害・児童虐待等についての実情を
認識しつつ、児童生徒の支援の方策等について理解を深める。
・生き方の指導として、またキャリア教育としての進路指導の理論と方法について理解する。

[授業概要]
生徒指導は「教師と生徒の信頼関係と生徒相互の好ましい人間関係を育てるとともに、生徒が自主的に判断、行動し積極的に自己を生かす」ことができるよう、指導と援助を行うことにある。この目的を達成するためには、今を生き生きと生きることを目標とした生徒指導と未来から「こうありたい」と願う進路指導の両面から、一人一人の生徒理解を深める必要がある。この講義では、生徒指導の理論及び方法や学習指導、教育相談、進路指導の理論及び方法を学ぶ。発達障害等のある子どもの特性を踏まえつつも、障害のあるなしにかかわらず子どもが遭遇する具体的な問題行動事例をについてその指導方法や教員に求められる姿勢や態度についても理解を深める。特に、いじめの問題について適切に対処できる能力を高める。キャリア教育を生かした現代の進路指導の在り方についても積極的に考えていく。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
前回の授業を復習し、関心を持った教育課題について、新聞、書籍等で調べるなど自分なりの課題意識をもって授業に臨むこと。
manabaで送付した授業資料を一読し、分からないキーワード等を整理して授業に臨むこと。

[授業計画]
1.イントロダクション　ー生徒指導の意義・内容・領域・自己指導能力等ー
2.生徒指導の理論及び方法　ー集団指導・個別指導ー
3.教育課程と生徒指導ー　教科指導等との関連ー
4.児童生徒の心理と児童生徒理解　ー児童生徒を理解するとは？ー
5.児童生徒の発達課題　ー発達とは？　その捉え方ー
6.発達障害についての理解・アセスメント
7.学校における生徒指導体制　ー組織的対応とは？さしすせそー
8.生徒指導における教育相談　ー意義・体制の構築・進め方等ー
9.生徒指導と法制度　ー校則・懲戒・体罰・ゼロトレランスー
10.問題行動ーいじめ・不登校の現状、構造、対応(ロールプレイ)等ー
11.生徒指導と進路指導の理論及び方法(学級担任・ホームルーム担任の指導)
12.キャリア教育を生かした現代の進路指導の在り方ー教職への道ー
13.生徒・進路指導のまとめ

P19020110 [CH3-019]　　【教職】[3栄]*後期火3

科目名	生徒・進路指導論	後期	講義	2 単位
サブタイトル	ー児童生徒の自己指導能力を育てるー			
担当者	榎元　十三男			

[成績評価方法]
授業中の課題(30 %)、レポート(20%)、試験(50%)
レポートは添削してmanabaにて返却する。
試験後は解答の開設を行う。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaを積極的に活用し、その都度コメント等でフィードバックを行う。
教職支援センター又は研究室にて個別指導も可

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解力／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題

[教科書(ISBN)]
生徒指導提要　著者名:文部科学省　出版社:教育図書 (978-4-87730-274-0　)

[参考書(ISBN)]

P19020110 [CH3-019]　　【教職】[3栄]*後期火3

科目名	生徒指導論(栄教・養教)	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	榎元　十三男			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・生徒指導の理論と方法を修得し、児童生徒の自尊感情の高め方や健全な発達について、演習等を通して理解を深めていく。
・いじめの問題に関する認識を深め、未然防止や事前・事後指導等を適切に行う能力を高める。
・学校現場で起こっている不登校・非行等の問題行動や発達障害・児童虐待等についての実情を認識しつつ、その支援の方策等についての理解を深める。
・学校組織の一員としての役割やチーム学校等の意味について自分なりの考えを持つ。

[授業概要]
生徒指導は「教師と生徒の信頼関係と生徒相互の好ましい人間関係を育てるとともに、生徒が自主的に判断、行動し積極的に自己を生かす」ことができるよう、指導と援助を行うことにある。この目的を達成するためには、今を生き生きと生きることを目標とした生徒指導を行い、一人一人の生徒理解を深める必要がある。この講義では、生徒指導の理論及び方法、食や健康についての学習指導、教育相談の理論及び方法等を学ぶ。子どもが遭遇する具体的な問題行動事例や支援の必要な子どもにもわかりやすい指導についての方法や教員に求められる資質や能力についても理解を深める。特に、学級担任と連携して児童生徒へ適切に対処できる能力を高める。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
前回の授業を復習し、関心を持った教育課題について、新聞、書籍等で調べるなど自分なりの課題意識を持って授業に臨むこと。
manabaで送付した授業資料を一読し、分からないキーワード等を整理して授業に臨むこと。

[授業計画]
1.イントロダクション　－生徒指導の意義・内容・領域・自己指導能力とは－ (9月27日　4限)
2.生徒指導の理論及び方法　－集団指導・個別指導－ (9月27日　5限)
3.教育課程と生徒指導－　教科指導等との関連－ (10月4日　4限)
4.児童生徒の心理と児童生徒理解　－児童生徒を理解するとは？－ (10月4日　5限)
5.児童生徒の発達課題　－発達とは？　その捉え方－ (10月11日　4限)
6.発達障害についての理解・アセスメント (10月11日　5限)
7.学校における生徒指導体制　－組織的対応とは？さしすせそ－ (10月18日　4限)
8.生徒指導における教育相談　－意義・体制の構築・進め方等－ (10月18日　5限)
9.生徒指導と法制度　－校則・懲戒・体罰・ゼロトレランス－ (10月25日　4限)
10.問題行動－いじめ・不登校の現状、構造、対応(ロールプレイ)等－ (10月25日　5限)
11.生徒指導における栄養教諭・養護教諭の役割とカウンセリングの基礎　(11月1日　4限)
12.学校安全危機管理と組織の一員としての役割－教職への道－　(11月1日　5限)
13.生徒指導のまとめ　(11月8日　4限)

科目名	生徒指導論(栄教・養教)	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	榎元　十三男			

[成績評価方法]
授業中の課題(30%)、レポート(20%)、試験(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
レポートは添削してmanabaにて返却する。
試験後は解答の解説を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート課題

[教科書(ISBN)]
生徒指導提要　著者名:文部科学省　出版社:教育図書　(978-4-87730-274-0)

[参考書(ISBN)]

P19020100 [CH3-017]　　【教職】[2看3栄]*後期火4・5

科目名	総合的な学習の時間の指導法	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	溝邊　和成			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小・中学校学習指導要領に示された総合的な学習の時間の目標および内容をはじめ、教育課程上の位置付けや他教科等との関連をとらえるとともに、具体的な演習等を通して、初等中等教育における総合学習の指導のあり方について理解を深める。

[授業概要]
小・中学校学習指導要領に示された総合的な学習の時間の特徴に係るテーマについて、講義とともに演習形式(グループワークやプレゼンテーション、スキルアップワークなど)を取り入れ、理解の充実と具体的な指導力向上をめざす。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
前時に行った「スキルアップワーク」の内容・方法を復習するとともに、本時における課題について概略を把握したり、分担箇所等の予習(発表準備等)を行ったりしてきている。

[授業計画]
第1回:本講義の特徴と授業計画の提示(講・演)～ラーニングストーリーの自覚～
　スキルアップワーク(自己紹介・他者紹介)「総合的な学習の時間と私」
第2回:「総合的な学習の時間」の成立とその変遷(講・演)～体験した授業から見る特徴～
　スキルアップワーク(発表、分類・関係付け)「出身校における取り組み」
第3回:「総合的な学習の時間」の成立とその変遷(講・演)～学習指導要領から見る特徴～
　グループワーク(ジグソー法の活用)「小中学校学習指導要領上に見られる特徴とその変化」
第4回:「総合的な学習の時間」の源流(講・演)～総合学習につながる実践(国内編)～
　スキルアップワーク(情報検索・編集)「国内に見られる総合学習」
第5回:「総合的な学習の時間」の源流(講・演)～総合学習につながる実践(外国編)～
　スキルアップワーク(編集・報告)「諸外国における総合学習」
第6回:「総合的な学習の時間」の事例探究(演)～総合的な学習の時間におけるテーマ～
　グループワーク(テーマ選択)「例:環境・福祉・キャリア・情報・経済・遺産等」
第7回:「総合的な学習の時間」の事例探究(演)～プレゼンテーションのためのスキルとその活用～
　グループワーク(ICT操作)「プレゼンテーションの準備(発表用資料作成、リハーサル等)」
第8回:「総合的な学習の時間」の事例探究(演)～発表形式と内容省察の観点～
　プレゼンテーション(ICT活用、サークル対話:リフレクション)「発表と省察」
第9回:「総合的な学習の時間」の実践上の課題とその対策(講・演)～カリキュラムマネジメント「年間指導計画・教科横断・探究プロセス」への工夫～
　グループワーク(共同作成モデル)「教科横断型、探究型」「年間指導計画」
第10回:「総合的な学習の時間」の実践上の課題とその対策(講・演)～教材開発の視点とそのアクセス～
　スキルアップワーク(ブレイン・ストーミング、KJ法)「教材開発・教材分析」
第11回:「総合的な学習の時間」の実践上の課題とその対策(講・演)～指導・評価スキルの内容と活用～
　スキルアップワーク(資料分析)「指導上の留意事項、評価」
第12回:「総合的な学習の時間」の学習指導案(講・演)～アクティブラーニングを支援する指導案の試み～
　スキルアップワーク(思考の可視化)「形式とその意図」
第13回:本講義のまとめ(講・演)～ラーニングストーリーの整理～
　スキルアップワーク(リフレクション)「自らの学びに対する成果と課題」

P19020070 [CH2-039]　　【教職】[2栄看]*前期集中

科目名	総合的な学習の時間の指導法	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	溝邊　和成			

[成績評価方法]
出席レポート提出(15%)、課題(スキルアップワーク/グループワーク/プレゼンテーション)レポート・作品等提出(65%)、授業中の態度(20%)とともに、学生による自己評価も加味して、総合的に評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
発表や提出レポート等の内容については、授業内で取り上げ、教員とともに学生同士のコメントを加えフィードバックを行うようにする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:発表、課題レポート(スキルアップワーク)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:発表、課題レポート(スキルアップワーク)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:課題レポート(スキルアップワーク)

[教科書(ISBN)]
小学校学習指導要領解説　総合的な学習の時間編　著者名:文部科学省　出版社:東洋館出版社　(9.78E+12)
文部科学省　著者名:東山書房　出版社:4827815615

[参考書(ISBN)]
文部科学省　著者名:東山書房　出版社:4827815593

P19020070 [CH2-039]　　【教職】[2栄看]*前期集中

科目名	道徳教育の理論と指導法	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	田中　美紀子			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
教育活動全体を通じて行われる道徳教育の意義を考え、道徳教育の内容を把握し、教育の現場における様々な状況を想定しながら、実践的な指導力が身につく。

[授業概要]
本講義では『学習指導要領』に明記される道徳教育の意義と目標、道徳教育の内容、道徳教育の実践を主要な柱として扱う。児童・生徒の発達段階に応じて、道徳心を培うために選択した資料を用いて学習指導案を考案・作成する。それに基づいて模擬授業を行い、実践的能力を養う。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
指定されたテキスト・資料をあらかじめ読んでおくこと。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
第1回:オリエンテーション、道徳教育の意義
第2回:道徳教育の目標
第3回:道徳教育の内容①　自分自身に関すること、人とのかかわり
第4回:道徳教育の内容②　集団や社会とのかかわり:公平、公正、社会正義
第5回:道徳教育の内容③　生命、自然、崇高なものとのかかわり
第6回:道徳の指導法について
第7回:学習教材・資料の分析
第8回:学習指導案の考案・作成、班に分かれて模擬授業の準備
第9回:研究授業鑑賞(DVD)、班に分かれて模擬授業の準備
第10回:模擬授業① 低学年
第11回:模擬授業② 中学年
第12回:模擬授業③ 高学年
第13回:総括および授業に関する反省と評価

科目名	道徳教育の理論と指導法	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	田中　美紀子			

[成績評価方法]
学習指導案と模擬授業（20%）、模擬授業観察シート提出（12%）、筆記試験（68%）および授業態度を総合的に評価。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
模擬授業のコメントと筆記試験の解答例はmanabaで公表する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：模擬授業、筆記試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：模擬授業

[教科書（ISBN）]
「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」 著者名：文部科学省　出版社：廣済堂あかつき （978-4-908255-35-9）

[参考書（ISBN）]

P19020060 [CH3-010]　　【教職】[1看3栄]*後期月1

科目名	特別活動の指導法	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	長瀬　善雄			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
1.特別活動の教育的意義について正確に理解している。
2.学習指導要領における特別活動の目標及び主な内容を正確に理解している。
3.教科、道徳、総合的な学習の時間等との関連について正確に理解している。
4.教育課程全体で取り組む特別活動の指導の在り方を考え、実践的な指導力を身に付けている。
5.特別活動における評価・改善活動の重要性を認識している。
6.特別活動における家庭・地域住民や関係機関との連携の在り方を理解している。

[授業概要]
特別活動は学校における様々な構成の集団活動を通して課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して様々に行われる活動の総体である。これを踏まえ、学習指導要領に示された目標及び内容について理解を図るとともに、学校教育全体における特別活動の意義について学修する。さらに、特別活動の歴史的変遷から特別活動の果たす役割を考察する。また、学級活動・ホームルーム活動、児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の特質について概説する。その上で、現在の学校のもつ現代的な諸課題の解決と特別活動との関連を考察し、特別活動の指導に必要な知識や素養を身に付けることの重要性を認識する学修にする。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
1.テキストの指定した範囲を熟読
2.毎回の学修内容の整理
3.レポート課題への取組
4.学習指導案の作成と修正
以上について、各回、予習復習合わせて4時間程度の学習を行う。

[授業計画]
1. 特別活動の歴史的変遷と教育課程上の意義
2. 特別活動と教科、道徳、生徒指導等との関連
3. 人間形成と特別活動
4. 特別活動で育成する資質・能力
5. 学級活動・ホームルーム活動の内容と指導
6. 学校行事、児童会・生徒会活動、クラブ活動の内容と家庭・地域との連携
7. 体験活動の言語化と特別活動における評価の考え方
8. 中学校「学級活動(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」の模擬実践と考察①
・「思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応」の実践と考察
9. 中学校「学級活動(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」の模擬実践と考察②
・「心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成」の実践と考察
10. 中学校「学級活動(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」の模擬実践と考察③
・「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」の実践と考察
11. 小学校「学級活動(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」の模擬実践と考察④
・「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」の実践と考察
12. 小学校「学級活動(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」の模擬実践と考察⑤
・「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」の実践と考察
13. まとめ

P19020080 [CH3-011]　　【教職】[1看3栄]*後期水5

科目名	特別活動の指導法	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	長瀬　善雄			

[成績評価方法]
学修意欲・態度(20%)、学習指導案・模擬実践・レポート(40%)、試験(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
レポートは評価をして返却します。また、学習指導案はmanabaを通じて、その内容の適否を伝えます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:①レポート課題
②課題解決過程における表現

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:①レポート課題
②課題解決過程における表現

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:①レポート課題
②課題解決過程における表現

[教科書(ISBN)]
文部科学省『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説　特別活動編』東山書房、平成29年7月　著者名:文部科学省　出版社:東山書房　(978-4-8278-1578-8)

[参考書(ISBN)]

科目名	特別支援学校体験活動	後期	実習	1 単位
サブタイトル				
担当者	丸山　有希			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
幼児・児童生徒の障害特性と特別支援学校での活動を知り、養護教諭を含む教職員の支援のあり方を考えることができる。

[授業概要]
学校現場には、特別支援学校だけでなく通常の学校においても、何らかの障害を有する子供たちが在籍しており、これらの子供たちの健やかな成長と有意義な学校生活を保障するため、教職員には決め細やかな配慮が求められる。
「特別支援学校体験活動」では、特別支援学校にて各学校での管理職、学級担任、養護教諭等の指導を受けて、ボランティア活動を行う。特別支援学校で子供たちとともに活動したり、教員の業務補助などを体験することにより、特別支援学校の現状に触れ、養護教諭にとって必要不可欠な、「子供たちの障害(特性)理解」、「障害に応じた適切な関わり」について学ぶ。
本科目は学校現場での教員経験がある者が指導を行い、学校現場の現状に即した実践力を身につけられるような指導を目指す。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
脳性まひ、自閉症、ダウン症候群など、特別支援学校に多く在籍している子供たちの障害について予め学習し、最低限の知識を持って活動に臨むこと。
各回、予習復習合わせて2時間程度。
この科目の履修希望者は履修学年の前年度までの養護教諭1種免許取得に関する必修科目の単位をすべて修得していなければならない。

[授業計画]
＜事前指導(大学にて)＞
特別支援学校体験活動の目的と意義、学生としての心構え

＜体験活動(各特別支援学校にて)＞
＊学生が各自で希望する特別支援学校に実習を依頼し、9月から2月の間に合計5日間(40時間相当)の体験活動を実施する。以下は活動内容の一例であり、実習校の状況により内容は異なる場合がある。

1.児童生徒の健康管理および保健室来室者への対応と救急処置の実際
2.教室等における学習場面の参観および児童生徒理解
3.児童生徒の介助体験
4.慢性疾患や障害のある児童生徒への配慮の実際・学校安全管理と救急体制の実際　等

＜事後指導＞
体験活動で学んだことを各自がレポートにまとめ、学びを深める

P19020290 [CH2-038]　　【教職】[2看]*後期集中

科目名	特別支援学校体験活動	後期	実習	1 単位
サブタイトル				
担当者	丸山　有希			

[成績評価方法]
5日間(40時間相当)の特別支援学校での活動確認　60%
日々の活動の内容、活動記録、レポート等　40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
レポートの評価については希望者に開示する

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:日々の活動の内容、活動記録、レポート等

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:日々の活動の内容、活動記録、レポート等

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:日々の活動の内容、活動記録、レポート等

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:日々の活動の内容、活動記録、レポート等

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:日々の活動の内容、活動記録、レポート等

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

科目名	特別支援教育	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	岡村　章司			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
1. 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を理解する。
2. 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する教育課程や支援の方法を理解する。
3. 障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応を理解する。

[授業概要]
通常の学級にも在籍している発達障害や軽度知的障害をはじめとする様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が授業において学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるよう、幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
事前学修として、文部科学省による特別支援教育に係わる文書を熟読すること。
(例　共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(報告)概要)
各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
第1回:特別支援教育の理念
第2回:学校における特別支援教育:教育課程
第3回:インクルーシブ教育システム
第4回:LDの特性理解
第5回:ADHDの特性理解
第6回:ASDの特性理解
第7回:個別の指導計画と個別の教育支援計画
第8回:特別な教育的ニーズに応じた指導
第9回:特別な教育的ニーズに応じた指導の実際
第10回:小学校等の校内支援体制
第11回:母国語や貧困、抑うつの問題等による多様な特別な教育的ニーズ
第12回:通常の学級における特別支援教育
第13回:保護者や関係機関との連携
試験

科目名	特別支援教育	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	岡村　章司			

[成績評価方法]
試験（70%）、講義・演習への取り組みの状況（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験を回収後、回答の解説を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業での取り組み状況、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:授業での取り組み状況

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業での取り組み状況、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業での取り組み状況、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:試験

[教科書（ISBN）]
授業中に資料を配布します

[参考書（ISBN）]
渡部匡隆・岡村章司　著者名:学苑社　出版社:9.78E+12 （応用行動分析入門ハンドブック）
金剛出版　著者名:9.78E+12

P19020040 [CH1-052]　　【教職】[1栄]*後期集中

科目名	養護実習A	後期	実習	4 単位
サブタイトル				
担当者	丸山　有希、榎元　十三男、宮本　晃郎			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
実習校の教育環境や状況を理解し、学校組織の実際と、その中での学校保健の位置づけを学び、養護教諭の役割について理解する。実際に子供と対応し、養護教諭としての児童生徒への適切な接し方を身につける。

[授業概要]
養護実習Aでは、大学で学んだ理論・技術を実習校での実際の体験を通じて応用し、さらに深く理解することを目的とする。各学校での管理職をはじめ、校務担当教員の講話、学級担任、教科担任、養護教諭の指導を受けて、学校教育や、児童生徒理解、児童生徒の健康課題について学び、それらに関わる養護教諭の役割について理解する。観察実習、保健指導、救急処置等を行い、また、生徒指導をはじめとする校務にも携わり、実践的な指導力の向上を図る。事前指導では教育実習の意義、実習記録のとり方、教育課題への対応の仕方などを学ぶ。
本科目は学校現場での教員経験がある者が指導を行い、学校現場の現状に即した実践力を身につけられることを目指すものである。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
過去の授業内容を復習しておく。学校現場に出る上では、一社会人として、また一教員としての自覚を持ち、誠実な態度で実習に臨むこと。
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
事前指導(大学にて)
　教育実習の目的と意義、実習生としての心構え等

教育実習(各実習校にて)
1.管理職の講話、校務担当教員の講話と指導
2.学級担任、教科担任の指導
3.保健室の整備および備品の管理について
4.教室等における学習場面の参観および児童生徒観察の実際
5.保健室来室者への対応と救急処置の実際
6.学校安全管理と環境衛生管理の実際
7.学校救急体制の実際
8.児童生徒の健康管理
9.慢性疾患や障害を抱える児童生徒への配慮
10.教職員の健康管理の実際
11.学校行事、児童生徒保健委員会活動
12.健康教育の実際　等

P19020220 [CH4-008]　　【教職】[4看]*後期集中

科目名	養護実習A	後期	実習	4 単位
サブタイトル				
担当者	丸山　有希、榎元　十三男、宮本　晃郎			

[成績評価方法]
実習の成績評価票に基いた実習校の指導者の評価(70%)
実習記録の内容等(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
実習記録等の評価については希望者に開示する

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:実習の成績評価票に基いた実習校の指導者の評価、実習記録の内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実習の成績評価票に基いた実習校の指導者の評価、実習記録の内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:実習の成績評価票に基いた実習校の指導者の評価、実習記録の内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:実習の成績評価票に基いた実習校の指導者の評価、実習記録の内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:実習の成績評価票に基いた実習校の指導者の評価、実習記録の内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:実習の成績評価票に基いた実習校の指導者の評価、実習記録の内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:実習の成績評価票に基いた実習校の指導者の評価、実習記録の内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:実習の成績評価票に基いた実習校の指導者の評価、実習記録の内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:実習の成績評価票に基いた実習校の指導者の評価、実習記録の内容

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

科目名	養護実習B	後期	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	丸山　有希、榎元　十三男、宮本　晃郎			

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
実習校の教育環境や状況を理解し、学校組織の実際と、その中での学校保健の位置づけを学び、養護教諭の役割について理解する。実際に子供と対応し、養護教諭としての児童生徒への適切な接し方を身につける。

[授業概要]
養護実習Bでは、大学で学んだ理論・技術を実習校での実際の体験を通じて応用し、さらに深く理解することを目的とする。各学校での管理職をはじめ、校務担当教員の講話、学級担任、教科担任、養護教諭の指導を受けて、学校教育や、児童生徒理解、児童生徒の健康課題について学び、それらに関わる養護教諭の役割について理解する。観察実習、保健指導、救急処置等を行い、また、生徒指導をはじめとする校務にも携わり、実践的な指導力の向上を図る。事前指導では教育実習の意義、実習記録のとり方、教育課題への対応の仕方などを学ぶ。
本科目は学校現場での教員経験がある者が指導を行い、学校現場の現状に即した実践力を身につけられることを目指すものである。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
過去の授業内容を復習しておく。学校現場に出る上では、一社会人として、また一教員としての自覚を持ち、誠実な態度で実習に臨むこと。
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
事前指導(大学にて)
　教育実習の目的と意義、実習生としての心構え等

教育実習(各実習校にて)
1.管理職の講話、校務担当教員の講話と指導
2.学級担任、教科担任の指導
3.保健室の整備および備品の管理について
4.教室等における学習場面の参観および児童生徒観察の実際
5.保健室来室者への対応と救急処置の実際
6.学校安全管理と環境衛生管理の実際
7.学校救急体制の実際
8.児童生徒の健康管理
9.慢性疾患や障害を抱える児童生徒への配慮
10.教職員の健康管理の実際
11.学校行事、児童生徒保健委員会活動
12.健康教育の実際　等

P19020230 [CH4-009]　　【教職】[4看]*後期集中

科目名	養護実習B	後期	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	丸山　有希、榎元　十三男、宮本　晃郎			

[成績評価方法]
実習の成績評価票に基いた実習校の指導者の評価(70%)
実習記録の内容等(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
実習記録等の評価については希望者に開示する

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:実習の成績評価票に基いた実習校の指導者の評価、実習記録の内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実習の成績評価票に基いた実習校の指導者の評価、実習記録の内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:実習の成績評価票に基いた実習校の指導者の評価、実習記録の内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:実習の成績評価票に基いた実習校の指導者の評価、実習記録の内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:実習の成績評価票に基いた実習校の指導者の評価、実習記録の内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:実習の成績評価票に基いた実習校の指導者の評価、実習記録の内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:実習の成績評価票に基いた実習校の指導者の評価、実習記録の内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:実習の成績評価票に基いた実習校の指導者の評価、実習記録の内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:実習の成績評価票に基いた実習校の指導者の評価、実習記録の内容

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]

科目名	養護実習指導	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	丸山　有希、谷山　優子、榎元　十三男、宮本　晃郎			

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
養護教育実習生として必要な心得や行動、救急処置や保健指導の実際、保健室経営に携わる素地を身につけ、養護教諭としての責務を理解する。また、それぞれの教育実習に臨む前に自己の課題を見出し、より効果的な実習ができるように準備をする。

[授業概要]
「養護教育実習」参加の前提として、事前の履修が課せられている。
本講義では、教育職員免許法の趣旨に基づき、これまでに学習した関係科目の内容の総合的理解を図り、教育実習生として必要な心得や行動を学ぶ。それとともに、保健指導や保健管理の実際、保健室経営などの養護教諭の職務に携わる素地を身につける。また、模擬授業の実施により、学習指導案の書き方や保健指導の方法等も整理する。合わせて、養護教諭の職務の中核をなす救急処置について演習を行い、学校現場で即対応できる技術を身につける。
本科目は、学校現場での教員経験を有する者が、これらの養護教諭の多様な職務に関して、教育活動の一環としてその機能を果たすために、どのように職務をとらえ、展開するのかを、学校での実際の活動場面に即して指導する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
これまでに学んだ関連分野の内容について、復習して理解を深めておく。
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1.実習の目的・意義・心得および、授業・採用試験について(宮本　晃郎)(7月26日火曜日)1限
2.生徒指導・学級経営・指導案について(榎元十三男)(7月26日火曜日)2限
3.特別支援教育・人権教育(谷山　優子)(7月26日火曜日)3限
4.養護教諭の職務と役割について学び、求められる養護教諭像を考える(丸山有希)(7月27日水曜日)1限
5.保健指導の実際、指導案の書き方、および実習記録の書き方について学ぶ(丸山有希)　(7月27日水曜日)2限
6.保健指導案に沿って実際の指導を体験する。(丸山有希)(7月27日水曜日)3限
7.学校における安全管理と養護教諭の役割、緊急時対応について学ぶ。
(丸山有希)　(7月27日水曜日)4限
8.人形を使い、演習形式で心肺蘇生法を学ぶ　その1(丸山有希)(7月29日金曜日)1限 F529
9.人形を使い、演習形式で心肺蘇生法を学ぶ　その2(丸山有希)(7月29日金曜日)2限 F529
10.学校現場でよく見られるけがや病気の対応について学ぶ。(丸山有希)(7月29日金曜日)3限 F529
11.けがの手当て、救急処置について学ぶ(丸山有希)(7月29日金曜日)4限 F529
12.実習生の実習報告　(宮本　晃郎)　(11月26日土曜日)1限
13.事後の課題・レポート作成(宮本　晃郎)　(11月26日土曜日)11/26　2限

P19020210 [CH4-007]　　【教職】[4看]*前期集中

科目名	養護実習指導	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	丸山　有希、谷山　優子、榎元　十三男、宮本　晃郎			

[成績評価方法]
授業への取組み姿勢(授業態度、発表・活動内容等) 40%
授業内課題、レポート等 60%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
レポートの評価は希望者に開示する

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業への取組み姿勢(授業態度、発表・活動内容等)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:授業への取組み姿勢(授業態度、発表・活動内容等)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業への取組み姿勢(授業態度、発表・活動内容等)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業への取組み姿勢(授業態度、発表・活動内容等)
課題レポート

[教科書(ISBN)]
なし(適宜指示する)

[参考書(ISBN)]

P19020210 [CH4-007]　　【教職】[4看]*前期集中